

騎兵第一中隊隊欠

海軍装甲自動車隊四輛 隊欠

其他ハ略スルモ概ネ從來ノ通リトス

附記

- 一 歩兵第三十六聯隊ハ事實三小隊ヲ缺キ其一小隊ハ野戰重砲兵第一大隊ニ配屬セラレアリ
- 二 臨時派遣工兵隊ハ二十四日師團長ノ指揮ヲ脱シ爾後ノ使用ノ爲陸軍運輸部臨時上海派出所ニ到リテ待命シ第二次攻撃ニ參加セス

各部隊ノ任務

四 各部隊ノ任務

- 一 吳淞支隊ハ吳淞「クリーク」北岸ノ敵ニ對シ吳淞鐵道棧橋附近ヲ確保シ且師團主力ノ右側ヲ警戒ス
 - 二 混成第二十四旅團ハ概ネ現在ノ地點ニ於テ西方ノ敵ニ對シ攻撃ヲ續行シ北方ノ敵ニ對シ南、北孫宅附近ヲ堅固ニ保持ス
 - 其進出線ヲ楊煥橋、朱家宅ノ線ト豫定ス
 - 三 右翼隊ハ概ネ現在ノ地點ニ於テ攻撃ヲ準備シ四車頭註、廟巷鎮西端南方一軒七、沈家江灣鎮西端西方一軒ノ線ニ進出ス（水車頭）註、廟巷鎮西端南方一軒七、沈家江灣鎮西端西方一軒ノ線ニ進出ス
 - 四 左翼隊ハ現在地ヲ堅固ニ保持シ右翼隊ノ攻撃ヲ容易ナラシム
- 狀況之ヲ許ス限リ其據點ヲ推進スルコトニ勉ム

五 突撃ノ爲ノ諸準備ハ二十四日午前十時マテニ完了シ準備射撃及爆撃ヲ午前六時三十分ヨリ開始シ突撃實施ハ午前十時トス

六 左側警戒隊ハ方濱江灣鎮西南方八百米及屈家橋江灣鎮南方一軒半附近ヲ占領シ師團主力ト海軍陸戰隊間トノ連絡並警備ニ任ス

七 海軍陸戰隊ハ關北方面ノ警戒ニ任シ且師團主力方面ト連絡ス

八 砲兵隊

(イ) 主力ヲ以テ右翼隊、各一部ヲ以テ混成第二十四旅團及左翼隊ノ戰鬪ニ協カス其協力ノ程度ハ右翼隊ヲ第一トシ混成第二十四旅團及左翼隊之ニ次ク

(ロ) 野戰重砲兵陣地ハ狀況之ヲ許サハ鐵道線及其以西ノ地區ニ推進ス

(ハ) 攻城重砲兵陣地ハ概ネ現在陣地トスルモ狀況之ヲ要セハ更ニ推進スルコトアルヘシ

(ニ) 掩護ノ爲歩兵第三十六聯隊ノ一小隊ヲ屬ス

九 飛行隊

(イ) 偵察ニ關スル事項

- 1 師團ノ主攻撃地區及各翼隊主攻地區ノ寫眞撮影五千分一ト豫定ス
- 2 砲兵ニ一部ヲ協力セシメ其射撃效果ヲ増大ス

- 3 攻撃時歩兵ノ攻撃ニ協力ス
- 4 一般及後方ニ對スル偵察ハ常ニ之ヲ繼續ス

(ロ) 空中戦闘ニ關スル事項

主トシテ敵機ノ驅逐ニ任シ敵兵退却時有利ナル目標アルトキハ之ニ對シ攻撃ヲ行フ

(ハ) 爆撃ニ關スル事項

- 1 海軍機ニテ師團主攻方面ニ對シ砲兵準備射撃ト相俟ツテ攻撃ヲ準備ス
- 2 退却スル部隊ニ對シテハ之ヲ攻撃ス

十 防空ニ關スル事項

1 師團主力方面ハ各隊ノ自衛ニ依ル外高射砲隊及戦闘機ノ戰場附近ニ於ケル活動ニ依リ間接ニ之ヲ行フ

2 飛行機ノ防空ハ自ラ之ヲ行フ

十一 豫備隊ハ天樂寺附近ニ位置シ狀況ノ變化ニ應スルト共ニ江灣鎮ノ敵ヲ監視シ且砲兵其他ノ掩護ニ任ス

戦闘地境

五 戦闘地境 註、原文ニハ要圖ヲ以テ示シアリ

混成第二十四旅團、右翼隊間

陸家橋 江灣鎮馬場北、西方二軒、吳家宅 陸家橋西、西方二軒、沈家溝 吳家宅西方、西方一軒三百、童江宅 大場鎮西端北方六百米ノ線

右翼隊、左翼隊間

朱家橋 江灣鎮馬場、西方一軒、西部唐家舍 朱家橋北端西、西方一軒八百、廿三園 西部唐家舍西、西方一軒半、夏宅 大場鎮東部南方一軒半ノ線

左翼隊、海軍陸戰隊間

屈家橋、宋家宅 註、江灣鎮西端南西方二軒、當時ノ線地圖不明瞭ナル爲朱家宅ト稱セリ

線上ハ左方部隊ニ屬ス

附記 戦闘地境中混成第二十四旅團ト右翼隊トノ境界ハ二十三日夜白楊村ヲ右翼隊ニ含ム如ク又二十四日夜吳家宅(陸家橋西方二軒)、南孟宅(吳家宅西南西方二軒八百)、童江宅(大場鎮西端北方六百米)ヲ連ナル線(線上ハ右部隊ニ屬ス)ト改メタリ

六 補給

一 補給ハ上海倉庫ヨリ兵站自動車中隊ニ依リ主トシテ天樂寺交付所ニ前送集積シ同所ヨリ適時輻重兵中隊ヲ基幹トスル人夫ノ臂力ニ依リ交付地點ヲ推進シ爾後ハ各部隊大、小行李ノ臂力 一部ハ配屬人夫ニ依リ第一線ニ補給ス

第一線ノ前進距離擴大ト共ニ自動車道ヲ整備推進シ補給ノ迅速圓滑ヲ期ス

二 左翼隊方面一部ノ補給ノ爲ニハ復旦大學交付所ニ於テ行フモノトス

七 通信

一 攻撃ニ於ケル通信各隊ノ使用ヲ左ノ如ク計畫ス

1 師團通信隊ハ有線通信ヲ以テ吳淞支隊、混成第二十四旅團、兩翼隊、海軍陸戰隊、砲兵隊、飛行隊並倉庫トノ間ヲ、無線通信ヲ以テ混成第二十四旅團、兩翼隊及吳淞支隊トノ間ヲ連絡ス

2 無線電信隊ヲ以テ飛行場並海軍トノ間ヲ連絡ス

3 鳩ハ天樂寺附近ニ於テ訓練セルモノヲ第一線ニ分配交付ス

二 追撃ニ際シテハ有線ヲ以テ勉メテ部隊ニ追隨スルト共ニ無線電信、鳩等ノ使用ニ依リ連絡ヲ斷タサルコトヲ期ス

八 衛生

衛生隊ハ師團第一線ノ進出ニ伴ヒ第一線主力ノ後方ニ推進シ野戰病院ハ之ヲ集結シテ使用ス之カ爲衛生隊ノ前方勤務ハ主トシテ擔架中隊、後方勤務ハ主トシテ快速ナル輸送具ニ依ルコトトシ第一線ノ傷者ハ部隊ノ手ニ依リ後方適宜ノ部落ニ集結シ其位置ヲ衛生隊ニ通報スルコトトス而シテ初期ニ於テハ衛生隊ヲ陸家橋附近ニ開設セシメ野戰病院ハ終始上海租界内ニ併立位置セシム

衛生班ノ配屬運用ハ故ノ如クス

其二 攻撃計畫ニ伴フ師團長ノ部署

二十三日午後三時敵情ニ得タル

二十三日飛行隊ノ搜索ニ依レハ大場鎮東側及大場鎮東端ヨリ南方石谷墳宅(石谷墳宅)東側地區ニハ敵兵新ニ陣地ヲ構築セルカ如ク眞茹驛東側ノ陣地モ尚南方ニ延長セラレアリ又陣地内部ニ於ケル兵力移動ハ相當實施セラレアルカ如ク午後三時二十五分約三、四營ノ敵ハ馬橋宅(大場鎮西端)ヨリ廟巷鎮方向ニ前進中ナリ

附記 飛行隊ハ直ニ兩中隊ヨリ各一編隊ヲ出シテ之カ爆撃ヲ圖リシカ遂ニ效果ヲ收ムルヲ得サリキ此日飛行隊ハ五萬分一地域ヲ寫眞百八十部ヲ完成シテ師團司令部ニ提出セリ

此日午後混成第二十四旅團ヨリ師團司令部ニ護送シ來レル一俘虜(永野某ト稱スル十八、九歳ノ日本人ニシテ渡支ニテ戰闘中脱走ノ機ヲ訊問シテ知り得タルトコロニ依レハ支那軍ノ志氣ハ相當沮喪シアルカ如ク我カ飛行機及白兵ヲ恐ルルコト大ナルモノアリ其他爾後ノ戰闘指導上參考トナルヘキ若干ノ資料ヲ獲タリ

海軍ハ午前八時頃阿武隈及驅逐艦卯月ヲ以テ七了口(實稱七了口(附圖第五參照))方面ニ遊弋シ午前七時頃卯月ハ楊林口(附圖第五參照)附近江岸ノ敵陣地ヲ砲撃セリ又二十三日敵ノ「ボーイング」戰闘機ノ敢然我カ攻撃機ヲ要撃セラルカ如キ狀況ニ鑑ミ午前八時三十分頃前進基地飛行隊ハ其戰闘機六機(大尉柳村義種、同玉井淺一ヲ各一機)ヲ伴ヘル攻撃機六機(大尉青木武、同佐多直大ヲ以テ蘇州(附圖第五參照)飛行場ヲ襲撃シテ格納庫及飛行場ヲ爆撃シ又同九時二十分頃戰闘機三機(大尉白濱重豊ヲ伴ヘル攻撃機六機(長大尉川口登、同小山茂ヲ各一機)並同十一時頃更ニ同機數機(編隊(長大尉生田乃木次)、攻撃機二機(編隊(長大尉平林長元、同安延多計夫))ヲ以テ飛行機整備用飛行場タル虹橋飛行場(附圖第五參照)ヲ爆撃粉碎シテ全ク

使用ニ堪ヘサラシメタリ 第十九卷第一〇二頁參照

師團長ハ二十三日午後四時ニ至リ攻撃計畫ニ基キ左ノ命令ヲ下達セリ

九師作命第十八號

第九師團命令 二月二十三日午後三時 於天樂寺師團司令部

- 一 敵ハ堅固ニ構成セラレタル陣地内ニ蟄伏シ其行動ハ活潑ナラサルモ頑強ニ抵抗シアリ 俘虜ノ言ニ依レハ我カ攻撃特ニ飛行機ノ爲極度ニ志氣沮喪シ戰意乏シキカ如シ
 - 二 師團ハ明二十四日更ニ攻撃ヲ續行セントス
 - 三 各部隊ハ別紙攻撃計畫 註、第五三三頁參照ニ基キ攻撃スヘシ
 - 四 予ハ依然現在地ニ在リ
- 明二十四日午前七時命令受領者ヲ出スヘシ

第九師團長 植田 謙吉

下達法

豫メ要旨ヲ内示シ後印刷セルモノヲ交付ス

附記 右命令ト共ニ左ノ注意ヲ配布セリ

支那軍ニ對スル心得

- 一 支那軍ハ日本軍ノ勇敢ト裝備ノ優秀トニ依リ恐怖ノ念ニ襲ハレ志氣沮喪シ戰々鼓々タリ
- 二 彼等ノ陣地ハ掩蓋ヲ以テ掩ハルレトモ抵抗力薄弱ニシテ損害多大ナルコトハ我カ奪取セシ陣地ニ遺棄セル屍體ニ依リ明瞭ナリ
- 三 彼等ハ飛行機ヲ最モ怖ル故ニ飛行機カ上空ヲ飛行セル際突入スルハ好機會ナリ
- 四 昨夜約五、六百名ノ敵ノ攻勢ニ對シ三、四小隊ヲ以テ完全ニ之ヲ拒止シ敵ハ陣地前ニ多大ノ屍體ヲ遺棄シテ退却セリ彼等ハ銃劍術ヲ演練シタルコトナキヲ以テ大抵我カ陣地前三、四十米ノ地點ヨリ近接セシコトナシ此際我カ近距離射撃ニ依リ多大ノ損害ヲ受ケ退却セリ彼ノ攻勢ハ最モ弱ムトコロニシテ必勝ノ信念ヲ以テ四周ニ對シ各部分毎ニ固守シ最後ニ銃劍ニ訴ヘナハ著シク優勢ナル敵ニ對シテ勝利ヲ得ルコト確實ナリ特ニ夜間ニ於テ此注意ヲ必要トス

右攻撃計畫確立シ之ニ關スル命令ヲ下達セシハ午後四時ニシテ同六時頃混成第二十四旅團及右翼隊長等ノ意見具申 第五五三、五九六頁參照ニ依リ各隊ハ周到ナル準備ヲ行フノ餘裕ナク特ニ第一線諸隊ハ連續四日間ノ不眠不休ノ戰鬪行動ノ爲疲勞困憊甚シキモノアルノ實情ヲ明ニシ得タルヲ以テ師團長ハ同七時攻撃實施ヲ二十五日ニ延期セリ

附記 二十三日午後四時過砲兵指導ノ爲砲兵中佐菰田康一(野戰砲兵學校教官)、同少佐加島三郎(重砲兵學校教官)師團司令部附トシテ著任シ爾後ノ師團攻撃計畫ニ參與セリ

午後七時師團長ハ砲兵隊長及兩翼隊副官等ヲ天樂寺師團司令部ニ招致シテ二十四日ノ攻撃ヲ二十五日

ニ延期スヘキ件ヲ命スルト共ニ左ノ件ヲ指示シ之ニ基キテ歩、砲兩者ノ協定 第五七四頁參照ヲ律セシメタリ

- 一 海軍飛行隊ハ午前六時三十分ヨリ同八時マテ右翼隊攻撃ノ重點ニ向ヒ爆撃ヲ行フ
- 二 午前八時ヨリ同十時マテ砲兵ノ集中射撃ヲ實施ス

三 午前十時第一線歩兵ハ突撃ヲ行フ

右突撃時若干時前ヨリ敵ノ第二線ニ向ヒ海軍飛行隊ノ爆撃ヲ行フ

午後八時二十分師團長ハ參謀次長ヨリ「上海方面ニ約二師團ヲ増派セララル豫定ニシテ其内歩兵一聯隊、十五榴一大隊、十加一中隊ハ二月二十九日頃吳淞鎮附近ニ、他ハ三月二日頃ヨリ某方面ニ上陸スル筈」ナル要旨ノ電報ヲ受領セシカ一般ニ之ヲ知ラシムルコトナク依然攻撃準備ヲ進ムルニ決セリ

附記 詳細ハ二十四日午後九時參謀總長ヨリ電報セラレタリ

各隊ハ二十五日ノ攻撃ノ爲孜々トシテ準備ヲ進ム

附記

- 一 臨時派遣工兵隊ハ二十三日早朝ヨリ梅園(天樂寺西北方八百米)西側ヨリ丁家宅(梅園西方一軒二百)北側ニ至ル約一軒半ノ急造道路ヲ構築シ午後五時頃自動車ヲ通シ得ル程度ニ完成シ之ニ依リ白楊村及姚家宅(白楊村北方五百米)方面ノ補給者シク容易トナレリ(二十四日午後四時頃マテニ更ニ野戰重砲兵ヲ通過シ得ル如ク補修セリ)
- 二 師團通信隊ハ吳淞支隊ニ無線電信機一機ヲ配置シ尙第二次攻撃ノ爲補給上後方トノ連絡重要トナリシニ鑑ミ特ニ倉庫ニ至ル線路ヲ増加シ無線電信隊ハ依然前任務ヲ續行セリ(此日無線電信隊ノ取扱ヒシ電報九十四通、二萬二千三百三十七字)
- 三 師團衛生隊ハ部吉寺(江灣鎮東端北方一軒半)ニ中隊所ヲ設ケ第一次攻撃ニ於ケル傷者ノ後送ニ任シ(此日ノ收容人員三百七名)野戰病院ハ前任務ヲ續行セリ(此日ノ收容人員第一野戰病院ニ於テ百六十三名、第四野戰病院ニ於テ百三十四名ニ達ス)

此夜第一線ノ銃聲頗ル熾ニシテ特ニ混成第二十四旅團右第一線タル歩兵第二十四聯隊第一大隊正面ニ於テハ晝間既ニ敵後續部隊ノ増加到著ヲ思ハシムルモノアリ薄暮ヨリ夜半ニ互リ數回各數十名ノ逆襲アリ大隊長以下悲壯ナル覺悟ヲ以テ之ヲ邀ヘ力戰シテ直ニ之ヲ擊退セリ其他ノ正面亦銃聲終夜絶エサ

レトモ悉ク是敵ノ濫射ニシテ午後九時頃邵甸宅吳家宅西北側及同十時三十分頃東部唐家舍附近ニ各百餘名ノ敵襲アリシ外戰線概ネ異狀ナシ

附記 敵ノ夜襲ハ多ク我カ陣地前若干距離ニ近接シ射撃ヲ行フノミニテ敢テ突入セス當時我カ軍ハ之ヲ「火力防禦」ト唱ヘタリ

師團長ハ江灣鎮東側並左翼隊方面ノ兵力ニ鑑ミ午後十一時頃師團豫備隊ノ一中隊步兵第七聯隊第十一中隊(一小隊欠)及第五中隊ノ一小隊ヲ江灣競馬場ニ出シテ野戰重砲兵第一大隊長ノ指揮ニ屬セシメ尙別ニ一中隊同聯隊第三中隊ヲ左翼隊ニ増加シ且吳淞支隊ノ位置ニ在ル騎兵第一中隊ノ主力ヲ二十四日早朝天樂寺ニ招致スル如ク部署セリ

附記 步兵第七聯隊第十一中隊(一小隊欠)ハ午後十一時頃、同第五中隊ノ一小隊ハ夜十二時頃野戰重砲兵第一大隊長ノ指揮ニ入リテ同隊ノ掩護ニ任シ同第三中隊ハ午後十一時三十分頃梁股宅(江灣鎮中部北方一軒半)ニ到リ左翼隊ノ豫備隊トナリ中隊長大尉平山得爾郎ハ從前ノ豫備隊(步兵第七聯隊第七中隊ノ一小隊及步兵第三十五聯隊第七中隊)ヲ併セ指揮セリ

二十四日午前二時頃突如海軍陸戰隊指揮官ヨリ「當正面ノ敵約一萬名北停車場附近ニ集合シアリシカ北方ニ移動セル徵アリ」トノ飛報アリ依テ或ハ敵ノ江灣鎮以南ヨリ出撃スルコトナキヤヲ慮リ師團司令部及師團豫備隊ニ緊急集合ヲ命シ參謀ヲ復旦大學及屈家橋各守備隊ニ派遣シテ急ヲ傳ヘ「敵情ヲ搜索シ一層警戒ヲ嚴ニシ萬一ニ備フヘキ」ヲ命スルト共ニ野戰重砲兵第一大隊及攻城重砲兵第一中隊ヲシテ江灣鎮西端ニ阻止射撃ヲ行ハシム砲兵隊長ハ山砲兵ノ主力ヲ以テ江灣鎮西端ニ阻止射撃ノ準備ヲ整ヘタリ午前四時二十分ヨリ般々タル砲聲曉天ヲ震ハシタレト狀況變化ナク二十四日ノ天明ヲ迎ヘタリ

二十四日朝來雲低ク飛行機ノ搜索特ニ寫真搜索困難ナリシカ各隊ハ銳意攻撃準備ヲ進ム

二十三日
夜ニ於ケル
師團一
般ノ態勢
及敵ノ夜襲
長ノ部署

幕僚會議
 師團長ハ午前九時ヨリ幕僚會議ヲ開キテ軍ノ増遣ニ伴フ師團將來ノ作戰特ニ二十五日ノ攻撃ニ關シ研究セシカ師團長ハ從來ノ方針ヲ持續シ師團固有ノ任務ニ邁進スルト共ニ進シテ軍主力爾後ノ作戰ヲ容易ナラシムル爲飽クマテ積極攻勢進取的ニ任務ヲ解決スヘク其手段トシテハ先ツ穿貫的ニ局部ヲ攻略シ逐次戰果ヲ擴張シ勉メテ戰鬥人員ト資材トノ調節ヲ圖ルノ要アルヲ認メ依然二十五日ノ攻撃ヲ敢行スルニ決セリ

附記 幕僚會議ニ於テ研究セシ事項概テ次ノ如シ

- 一 (一)依然攻撃ヲ續行シテ大場鎮附近マテ突破ヲ敢行スヘキヤ(二)或ハ現状ヲ維持シテ軍ノ來著ヲ待ツヘキヤ(三)或ハ概テ現状ヲ維持スレトモ局部的ノ攻撃ニ依リ戰況ノ發展ヲ圖ルヘキヤニ關シ最後ノ案ヲ概テ現狀ニ即シ而モ師團ノ任務ヨリスルモ亦軍主力ノ作戰ヲ有利ナラシムル見地ヨリスルモ至當ナルモノト認メタリ蓋シ第一ノ案ハ師團ノ現況(部隊ノ損害大ニシテ其補充未タ行ハレス彈藥ノ補給ハ二十九日マテ不可能ニシテ二十五日ノ戰鬥ニ要スル最小限ノ數量ヲ有スルニ過キス)ニ鑑ミ殆ト成功ノ望ナク第二ノ案ハ無爲無策敵ニ我カ攻撃頓挫セルノ感ヲ與フルノミナラス居留民ニ不安ヲ懷カシムルヲ以テ適當ナラサレハナリ
- 二 江灣鎮ニ對スル處置ニ關シテハ戰術上、政略上連ニ之ヲ奪取スルノ要ヲ認ムレトモ現在之ヲ力攻スル兵力ノ餘裕ナキヲ以テ爆撃、燒夷等ニ依テ徹底的ニ之ヲ制壓スル等ノ手段ヲ講スルヲ適當ト爲セリ
- 三 後續師團使用方面(師團ニ意見ヲ求メラレタル場合ヲ顧慮シテ研究ス)ニ關シテハ北方ニ一師團、南方ニ一師團ヲ使用スルヲ至當ト爲セリ蓋シ瀏河口(附圖第五參照)若ハ七了口(同上參照)附近ニ軍主力ヲ上陸セシムルハ戰略關係良好ナレト交通特ニ補給ノ關係上一師團以上ヲ使用スルハ困難ナルヘク從テ他ノ一師團ハ上海方面(交通ノ關係上江灣鎮、閘北間ノ地區ニ使用スルヲ可トス)ニ上陸セシムルヲ要スヘケレハナリ而シテ兵力使用ノ順序ハ先頭ノ歩兵一聯隊ヲ吳淞鎮附近、次ノ一師團ヲ瀏河口方面、最後ノ一師團ヲ上海ニ上陸セシムルヲ可ト認メタリ

敵軍ニ對スル降伏勸告

師團長ハ敵軍ノ志氣沮喪セルニ鑑ミ海軍ニ要求シ午前十一時前後ヲ期シテ敵ノ全線ヲ爆撃シ敵ヲ震駭セシメタル後午後一時頃勸降文附註第三其五參照ヲ敵陣内ニ散布シ若之ニ應セスハ再ヒ爆撃ヲ實施スルニ決シ第一線ニ所要ノ注意勸降文投下間敵ヲ射撃セサルコト、敵ノ欺騙投降ニ欺カレサルコト等ヲ與ヘ夫々處置スルトコロアリ

附記 第三艦隊ハ師團ノ要求ニ基キ能登呂飛行機ノ七機ヲ以テ午前十時四十五分ヨリ廟巷鎮西方楊橋附近ヲ、前進基地飛行隊ノ六機ヲ以テ午前十一時ヨリ江灣鎮西側附近ヲ爆撃シ次テ勸降文ヲ散布セシカ所要ノ效果ナカリシヲ以テ午後三時頃ヨリ江灣鎮及敵ノ後方地域ニ對シ再ヒ爆撃ヲ實施セリ

師團攻撃計畫第二變更

正午過左翼隊司令部ヨリ『後郭家宅東端敵陣地ニハ巧ニ偽裝セル「コンクリート」製掩蓋機關銃座アリ我カ小銃彈反跳スルヲ見ル』トノ報告步兵第三十五聯隊長ヨリ第十中隊長高瀨大尉ノ實見セルモノトシテ報告セシモノアリ又右翼隊司令部ヨリモ再ヒ田園東方及金家塘ノ陣地ニハ「コンクリート」製掩蓋ヲ有スル機關銃座アル旨報告シ來レリ

師團長ハ敵陣地構築ノ時日ニ鑑ミ「コンクリート」製陣地ノ存在ハ疑問ナレトモ相當堅固ニ構築セラレアルヘキヲ以テ之ニ對シ砲兵ノ準備彈藥十分ナラサル現況ニ於テ徒ラニ多クノ目標ヲ奪取セントスルカ如キハ愈々成功ノ望少キヲ思ヒ師團攻撃ノ重點方面ニ於テ奪取スヘキ目標ヲ更ニ限定スルノ要ヲ認メ右翼隊長ノ意見第五三一頁參照ヲ參酌シテ二十五日攻略スヘキ目標第五七四頁參照中ヨリ田園「ハ」陣地ヲ除キ午後四時之ニ關スル左ノ命令午後九時印刷交付中ノ要旨第五五九頁參照ヲ下達セリ

九師作命第二十號

第九師團命令 二月二十四日午後九時
 於天樂寺師團司令部

一 當面ノ敵情大ナル變化ナキモ混成第二十四旅團方面ニハ逐次兵力増加シツツアルモノノ如シ
吳淞鎮方面ハ兵力減少ノ微アリ

二 師團ハ明二十五日右翼隊正面ニ於ケル麥家宅(登家宅)東方陣地「ロ」及金家塘東方陣地「イ」ヲ攻
略セントス

海軍重爆撃機ハ本戰闘ニ協力ス

三 右翼隊ハ明二十五日麥家宅(登家宅)東方陣地「ロ」及金家塘東方陣地「イ」ヲ攻略スヘシ

四 砲兵隊ハ全火力ヲ擧ケテ右翼隊ノ戰闘ニ協力スヘシ

五 飛行隊ハ左記任務ニ服スヘシ

1 師團ノ右側背及江灣鎮、閘北間ノ敵情搜索

2 一部ヲ以テ砲兵協力

3 敵ノ第一、第二線間ニ於ケル敵陣地ノ變化及兵力移動搜索

4 午前九時五十分頃ヨリ約一時間右翼隊主攻撃地區上空ニ於ケル威嚇遊弋

5 敵機ノ襲來時之ニ對スル攻撃

通信筒投下位置ハ梅園トス

六 爾餘ノ第一線諸隊ハ現陣地ニ在リテ爾後ノ攻撃ヲ準備スルト共ニ主トシテ其配屬砲兵ヲ以テ右

翼隊ノ攻撃ニ協力スヘシ

又爲シ得ル限リ兵力ヲ集結シアルヘシ

七 爾餘ノ諸隊ハ前任務ヲ續行スヘシ

八 予ハ依然現在地ニ、午前九時以後梅園戰闘司令部ニ在リ

第九師團長 植田謙吉

第一次攻撃後逐次彈藥特ニ小銃、機關銃彈ノ缺乏ヲ告ク

補給ニ關
スル海軍
ノ協力

附記 戰後ノ調査ニ依レハ實際ハ缺乏シアララスシテ運搬機關ノ不備ニ因リ戰場ニ集積ノ儘放置セラレタルモノ相當ノ數量ニ達セ

依テ二十二日第三艦隊ニ補給ヲ交渉セシニ翌二十三日午後ニ至リ意想外ニ多量ノ彈藥小銃彈百十二萬發、機關銃彈二十六萬發

ノ補給ヲ快諾シ來リシノミナラス二十四日更ニ師團ノ要求ニ應シ相當數量ノ山砲彈約四千發ニシテ當時同艦隊全所有量ノ約七割

ニ當リ提供シ來リ茲ニ一同愁眉ヲ開キ確信ヲ以テ第二次攻撃ヲ實施スルニ至レリ

附記 第一線ノ眺望セシ發煙筒ハ既ニ戰場ニ到着セリトノ通報アリシカ何等カノ事情ニ依リ遂ニ補給セララルルニ至ラザリキ

二十四日夜半マテニ師團長ハ諸情報ヲ綜合シテ概ネ次ノ如キ敵情ヲ得タリ

當面ノ敵情ハ大ナル變化ナケレトモ逐次其兵力ヲ我カ右翼混成第二十四旅團方面ニ増加シツツアリ

特ニ大場鎮附近ニハ逐日其兵力増大シアルカ如シ諸情報共ニ一致シアリ

我カ軍ト交戦セル支那軍ノ配置概ネ左ノ如シ

第二次攻
撃開始マ
テニ得タ
ル敵情

一 真茹鎮附近及其以東

第十九路軍司令部 真茹驛西方約一軒四百 小部落内ノ「コンクリート」製地下室

第六十師 長沈光漢、七千名 主力開北、一部吳淞鎮

第六十一師 長毛維壽、八千名 主力江灣鎮、大場鎮間

第七十八師 長區壽年、一萬名 主力真茹鎮、一部開北、浦東 黃浦口東、岸地區、吳淞鎮

第八十七師 長張治中、一萬三千名 主力江灣鎮、大場鎮方面

第八十八師 長俞濟時、五千名 江灣鎮北方廟巷鎮附近

大刀隊 馮玉祥系、二千名 細部ノ位置不明

以上合計五師、四萬四千名、外ニ憲兵二團、保安隊及義勇團等アリ

二 真茹鎮以西

第八十九師 長王寶、八千名 南翔鎮、嘉定、羅店鎮 以上附圖間、第五參照

第四十八師 崑山 同右、參照ニ集結後某方面ニ向フ

第四十七師 近ク南京 同右、參照發上海方面ニ向フトノ情報アリ

支那軍ノ損害ハ二十一、二十二兩日三千名餘ニ達シ紅十字病院二十二箇所ニ收容セラレアリ

附記 外國武官ノ談ニ依レハ支那軍死傷ノ大部ハ江灣鎮北方及廟巷鎮ノ戰鬪ニ於テ生シ殊ニ第八十八師ノ退却中第十九路軍ト

相撃ノ結果生シタルモノ少カラスト謂フ(卷末支那軍ノ行動第一二頁參照)

二十四日夜ハ敵陣地ヨリノ亂射特ニ甚シク終夜暫クモ歇ムコトナク前夜ト略、同時刻同方面ニ夜襲シ來リシカ直ニ之ヲ擊退セリ

附記 午後六時三十分頃廟巷鎮正面ニ約八十名、同七時三十分頃周行(廟巷鎮北方八百米)方向ヨリ廟巷鎮東北側ニ向ヒ機關銃二挺ヲ有スル數十名、同九時三十分頃邵甸宅正面ニ百數十名、同十時三十分頃東部唐家舍正面ニ數十名、同十一時及午前三時ノ兩回田園方向ヨリ麥家宅(客家宅)正面ニ數十名ノ敵襲アリ

斯クテ諸隊ハ二十五日拂曉マテニ概ネ諸準備ヲ完了シ必勝ノ信念ヲ以テ天明ヲ迎フ

附記

- 一 吳淞支隊所屬ノ騎兵第一中隊主力ハ二十四日午前五時出發、同七時天樂寺ニ歸還シテ師團豫備隊トナリ如月陸戰隊主力ハ午前十時所屬ニ復歸セリ而シテ步兵第十四聯隊第二大隊ノ步兵砲隊ハ混成第二十四旅團長ノ招致ヲ受ケ午後二時出發、同四時原所屬ニ復歸シ支隊(長步兵大尉友枝敏一)ノ兵力ハ步兵第十四聯隊第八中隊、同機關銃一小隊、騎兵一小隊、師團通信隊ノ無線電信一分隊、海軍裝甲自動車二輛、海軍無線電信機一機トナレリ
- 二 左側警戒隊トシテ屈家橋附近ニ在リシ步兵第十九聯隊第三中隊ノ一小隊ハ二十四日正午頃同聯隊第十一中隊(長大尉福井健三郎、一分隊欠、午前十時白楊村發)ト交代シテ白楊村ニ歸還セリ(第五四頁末尾附記參照)新左側警戒隊ハ海軍裝甲自動車二輛ヲ指揮シ一小隊ヲ以テ屈家橋、主力ヲ以テ其北方六百米獨立家屋附近ヲ占領シ午後附近ノ部落ヲ掃蕩セリ
- 三 海軍陸戰隊方面ニ於テハ前日來狀況大ナル變化ナシ
- 四 師團通信隊及無線電信隊(二十四日五十五通九千九百三十字ヲ取扱フ)ハ前任務ヲ續行セリ
- 五 輜重隊(支那苦力百九十五名ヲ屬ス)ハ新設セル自動車道ニ依リ白楊村及梁股宅(江灣鎮中部北方一軒半)ニ彈藥及土囊ヲ補給集積セリ
- 六 衛生隊ハ二十四日天樂寺棚帶所ニ傷者八十八名ヲ收容シ第一野戰病院ハ同日午前十一時復旦大學病院ヲ閉鎖シ午後二時上海臨青路上海紡績工場寄宿舎ニ開設(此間收容傷者八十一名)シ第四野戰病院(二十四日收容人員七十名)ハ前任務ヲ續行セリ

第二款 各部隊ノ攻撃準備

二十五日拂曉前ニ於ケル師團一般ノ態勢

其一 右翼隊附圖第二

甲 二月二十三日ノ狀況

右翼隊長ハ二十三日依然現陣地ヲ確保シ敵情ヲ搜索スルニ決シ夫々部下兩聯隊長ニ命令スルトコロアリシカ此日午後明二十四日同隊方面ニ重點ヲ指向シテ攻撃ヲ行フヘキ師團長ノ企圖ヲ知ルヤ彈藥其他ノ資材ヲ補給收集セシムルト共ニ特ニ步兵第三十六聯隊ヲシテ攻撃築城ノ要領ニ依リ攻撃陣地ヲ推進セシメ且午後二時頃兩聯隊ニ攻撃ノ腹案本節第一款師團長ニ對スル意見具申(第五三一頁參照)ニ同シケレト右第一線ヲ歩隊ノ一小隊ヲ示シテ爾後ノ攻撃ヲ準備セシメタリ

附記

此間右翼隊配屬ノ山砲兵第二大隊ハ主トシテ步兵第三十六聯隊正面タル普西西方及金家塘ノ敵機關銃ヲ求メテ射撃シ此兩方面ニ於テ各、三箇ノ掩蔽機關銃座ヲ破壞セシカ射撃ノ濫費ヲ避ケ概テ各中隊一門ヲ使用セシカハ效果十分ナラス午後三時頃勉メテ歩兵ニ密接ニ協力スル爲第五中隊ノ一分隊ヲ普西ニ推進セントセシカトモ丁家宅附近ニ於テ敵彈ニ妨ケラレテ果サザリキ

尙右翼隊長ハ午後三時三十分『本夜現在地ヲ確保シ明二十四日以後ニ於ケル攻撃ヲ準備シ且敵情地形ヲ搜索シ夜襲ニ對シ極力警備ヲ嚴ニスヘキ』ヲ命令シ配屬ノ山砲兵第二大隊(在樓殿宅)ニ步兵第十次テ同三時五十分三、四營ノ敵馬橋宅ヨリ廟巷鎮ニ向フ』トノ師團通報ニ基キ第一線ニ命スルニ更ニ『警戒ヲ嚴ニスヘキ』ヲ以テセリ

附記

午後六時三十分頃混成第二十四旅團司令部南齊家宅ニ移動(第五九六頁參照)セシヲ以テ右翼隊長ハ同地ニ在リシ步兵第十

九聯隊第十中隊ヲ白楊村ニ招致シ所屬ニ復歸セシメタリ

步兵第三十六聯隊
長ノ腹案ニ關スル
示各ノ腹案ノ大體
陣地ノ進攻ノ進

午後六時三十分二十四日攻撃再興ニ關スル師團命令午後三時發九師團命令第十八號(第五四二頁參照)及攻撃計畫ヲ受領セシカ準備上到底明二十四日ノ攻撃不可能ナリシヲ以テ此旨師團長ニ具申セシニ同七時過二十五日ニ延期スヘキ通報アリ依テ各隊ニ之ニ基キ攻撃準備ヲ進ムヘキヲ命スルト共ニ師團司令部ニ派遣中ノ副官少佐平井亮助ヲシテ明後二十五日ノ攻撃ニ關シ砲兵隊ト協定セシムルトコロアリ第五七四頁參照

步兵第三十六聯隊攻撃ニ關スル腹案

- 一 第一大隊ハ二十五日拂曉ヨリ金家塘ノ敵陣地ヲ奪取ス此際第三大隊ハ側面ヨリ之ヲ援助ス第一期
- 二 次テ第三大隊ハ麥家宅(登家宅)東方陣地ヲ奪取ス此際第二大隊ハ此攻撃ヲ容易ナラシムル如ク

勉ム第二期

- 三 各大隊一齊ニ前進シ麥家宅(登家宅)、竹園墩(團墩)ノ線ニ進出ス第三期
- 各大隊ハ成ルヘク速ニ攻撃資材ノ整備ニ努力ス
- 細部ノ計畫ハ後刻之ヲ示ス

第一線各大隊特ニ第三、第一大隊ニ於テハ殆ト不眠不休作業ヲ續行シ各兵ハ疲勞ノ餘リ動モスレハ其

場ニ睡眠ヲ貪ラントシ此間幹部ハ身ヲ挺シテ督勵大ニ勉メ中隊長自ラ圓匙ヲ把ツテ率先範ヲ示シ只管
攻撃陣地ノ推進ニ没頭セリ

歩兵第十九聯隊長ハ第二大隊午後三時三十分第七中隊ヲ復歸シ同五時歩兵砲隊ヲ配屬スヲ第一線トシ其他ヲ以テ白楊村ニ在リテ爾後ノ攻
撃ヲ準備セリ

歩兵第十九聯隊ノ
第二大隊ノ
攻撃準備
據點ノ推進

附記 第十中隊(一小隊欠、機關銃一小隊ヲ屬ス)ハ南齊家宅及白楊村ノ中間ヲ守備シ同七時三十分白楊村ニ歸ル

歩兵第十九聯隊ノ第一線タル第二大隊ハ齊家宅、邵甸宅ノ線ニ於テ攻撃準備ヲ進メ日没直後第五中隊

ヨリ二組ノ將校斥候長少尉山下二三雄及少尉泉坂熊太郎ヲ出シ敵情ヲ搜索セシメタルニ麥家宅(齊家宅)北側ノ東面セル陣地

深サ約四米ノ堅固ナラサル有刺此敵ノ爲山下斥候長以下四名負傷スアレト其北方陣地邵甸宅ト田ニハ守兵ナキノ報告

アリシヲ以テ大隊長ハ一部ヲシテ該地點ヲ占領セシメタリ

附記 泉坂斥候ノ報告ニ判決トシテ夜間同方面ニ攻撃陣地ヲ推進シ爾後該方向ヨリ重點ヲ指向スル如ク攻撃スルヲ要スル旨

附記 シアリシヲ以テ大隊長ハ午後十時頃第七中隊ノ一小隊ヲ邵甸宅西方約三百米ノ地點ニ推進シテ攻撃ノ爲ノ據點ヲラシムルト
共ニ混成第二十四旅團トノ連絡ニ任セシメタリ

乙 二月二十四日ノ狀況

二十四日右翼隊ハ前日ニ引續キ著々攻撃準備ヲ進メ支分セル兵力ハ逐次原所屬ニ復歸セリ

支分セル
兵力ノ復歸

附記 二十二日以來混成第二十四旅團ニ配屬セラレシ歩兵第十九聯隊第一中隊(一小隊欠)ハ午前八時、江灣驛馬場附近ヲ守備セ
シ同中隊ノ一小隊ハ午後二時四十分、舊左側警戒隊タル同聯隊第三中隊ノ一小隊ハ午後四時頃何レモ白楊村ニ歸還セシヲ以テ右
翼隊長ハ夫々原所屬ニ復歸セシメタリ

右翼隊長少將小野幸吉ハ午前十時第二次攻撃ノ爲左ノ命令ヲ下達セリ

攻撃ノ爲
ノ右翼隊
命令

軍隊區分

右 第一線

歩兵第十九聯隊第三大隊欠

工兵一小隊

左 第一線

歩兵第三十六聯隊二小隊(在上海倉庫衛兵)欠

工兵一小隊

豫 備 隊

歩兵第十九聯隊第三大隊第十一中隊(在方濱左側警戒隊)欠

工兵第一中隊二小隊欠

右翼隊命令 二月二十四日午前十時
於白楊村旅團司令部

一 敵ハ堅固ニ構成セラレタル陣地内ニ於テ頑強ニ抵抗シアルモ俘虜ノ言ニ依レハ我カ攻撃特ニ飛

行機ノ爲極度ニ志氣沮喪シ戰意乏シキモノノ如シ

師團ハ明二十五日更ニ攻撃ヲ再興シ右翼隊正面ニ主攻撃ヲ指向シ之ヲ突破シテ大場鎮南北ノ線ニ

進出ヲ企圖ス

- 二 右翼隊ハ概ネ現在ノ線ニ於テ攻撃準備ヲ完了シ當面ノ敵陣地ヲ突破シテ先ツ四車頭、沈家ノ線ニ向ヒ進出セントス
 - 三 諸隊ハ別紙攻撃計畫ニ基キ各當面ノ敵陣地ヲ攻撃スヘシ
 - 四 予ハ依然現在地ニ在リ
- 明二十五日午前十時命令受領者ヲ出スヘシ

右翼隊長 小野 少將

命令別紙

右翼隊
攻撃計畫

右翼隊攻撃計畫

方針

- 一 右翼隊ハ概ネ現在ノ線ヨリ逐次攻撃陣地ヲ推進シ二十五日午前六時マテニ突撃準備ヲ完了シ飛行機ノ爆撃及砲兵ノ突撃準備射撃完了ト共ニ突撃ヲ敢行ス。
- 二 右翼隊ノ攻撃重點ハ吳家宅西南方陣地ニ指向シ一舉ニ四車頭、沈家ノ線ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

指導要領

- 一 攻撃陣地ノ推進ハ二十三日夜ヨリ開始シ二十五日午前六時マテニ其突撃陣地敵前概ネ百五十米ヲ完成シ諸準備ヲ完了ス

突撃器材等ヲ前送シ置ク

- 二 午前六時三十分マテニ第一線ハ敵陣地前概ネ三百米附近ノ陣地ニ位置シ該陣地ノ胸牆ニ國旗及標示幕ヲ地上ノ敵ニ暴露セサル如ク布置シ飛行機ノ爆撃開始ニ備フ
- 爆撃實施ハ午前六時三十分ヨリ一時間三十分連續シテ敵第一線陣地ニ施行シ午前八時完了ス
- 此間爆撃ヲ被ラサル敵陣地ニ對シテハ第一線部隊自ラモ敵ノ制壓ニ勉ムルヲ要ス
- 三 午前八時爆撃終了ト共ニ砲兵ノ突撃準備射撃ヲ開始ス

第一線突撃部隊ハ直ニ突撃陣地ニ推進シテ機ヲ待ツ

突撃準備射撃ハ左ノ順序ニ行ハル

1 午前八時ヨリ時間的ニ實施ス

第一回 金家塘ノ陣地「イ」

第二回 吳家宅西南方陣地「ロ」

第三回 田園ノ陣地「ハ」

- 2 第一線部隊ハ前項ノ順序ニ依リ射撃終了ト共ニ最後ノ砲彈ニ追従スル如ク逐次突撃ヲ敢行ス

3 右聯隊第一線部隊ハ左聯隊右大隊カ「ロ」陣地突撃直前豫メ構築セル攻撃陣地ニ進出シ「ロ」陣地ニ對スル左聯隊ノ突撃ニ協力シ「ハ」陣地ニ對スル突撃準備射撃完了ニ伴ヒ「ハ」陣地ニ突撃ス

4 突撃準備射撃間一部ノ砲兵ハ爆撃ニ引續キ敵陣地ノ制壓ニ任スルモ第一線部隊自ラモ亦之カ制壓ニ勉ムルモノトス

四 突撃準備射撃實施ト概ネ同時頃ニ飛行機ハ沈家溝 廟巷鎮西端、金家碼頭 廟巷鎮南東端ヲ連ヌル線上ニ對シ第二回爆撃ヲ敢行ス

五 第一線部隊ハ突撃實施後逐次進出ヲ企圖スヘキモ第二回爆撃ノ效果ヲ利用スルト共ニ危險ヲ除去スル爲常ニ國旗及標示幕ヲ以テ飛行機ニ對シ友軍ナルコトヲ標示スル注意ヲ必要トス

六 第一線部隊ハ突撃、戰果擴張、掃蕩ノ各任務ニ服スル部隊ニ對シ明確ナル任務ヲ課シテ一意進出線ニ向ヒ前進ヲ敢行ス

通信其他

一 第一線兩聯隊ハ聯隊本部ト右翼隊司令部間ニ電話通信網ヲ構築ス

二 資材ハ勉メテ現存スルモノヲ有利ニ使用スルモノトス要求セシ資材ニシテ師團司令部ニテ調辨シ得ルモノハ逐次補給セララル筈

三 行李荷物ノ運搬ニ關シテハ適宜計畫實施ス

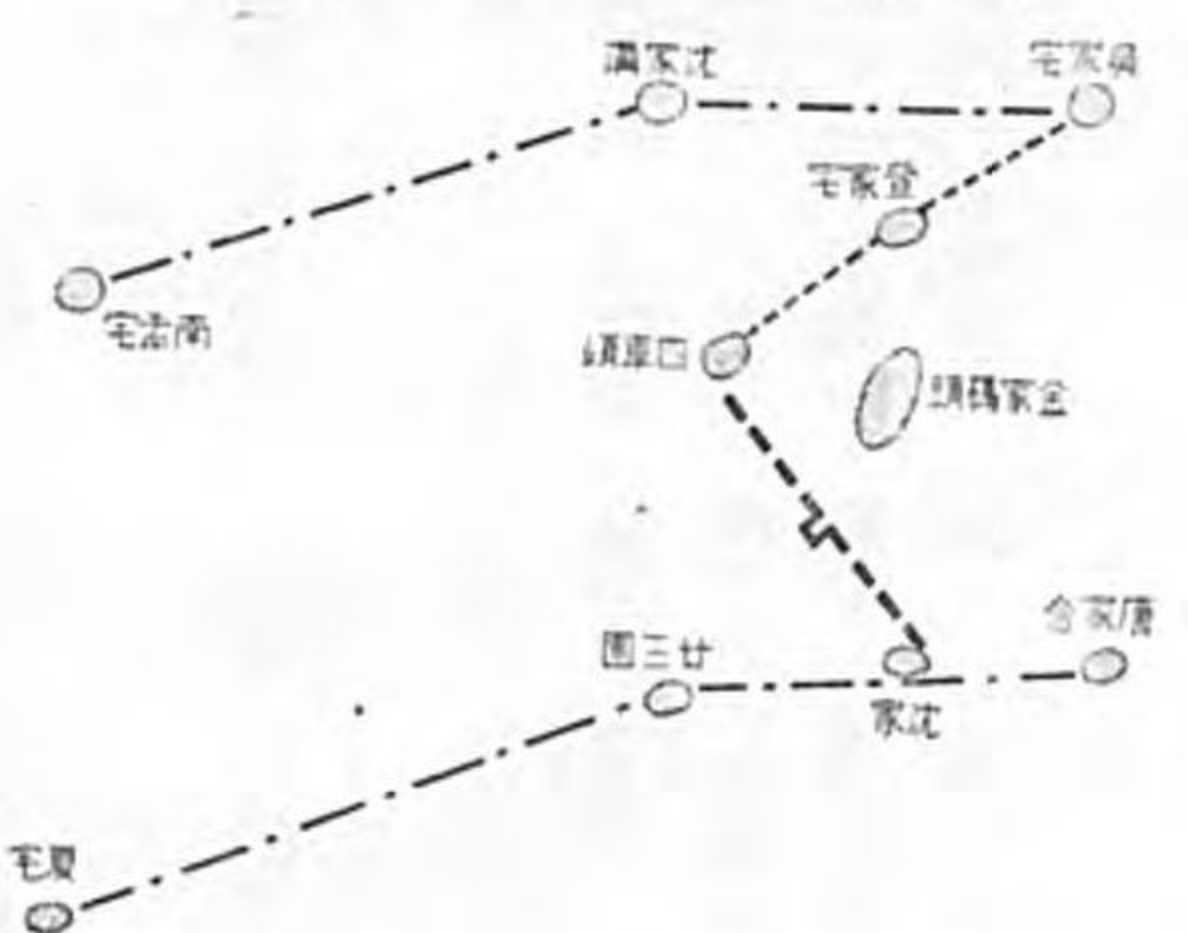
四 補給衛生ニ關シテハ師團ノ指示ニ依ル

戰鬪地境

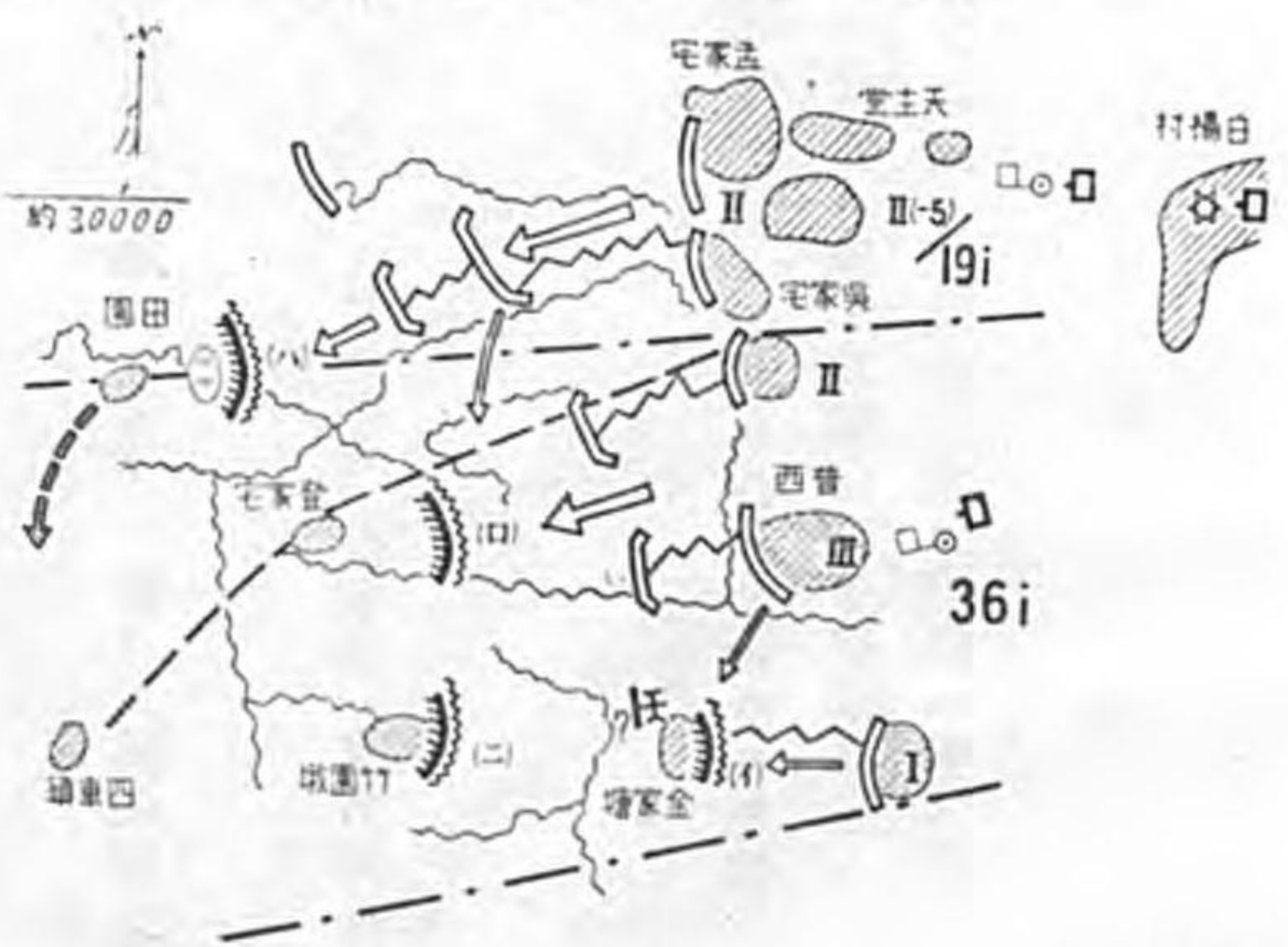
下圖ノ如シ

右翼隊ノ攻撃計畫變更ノ之ニ伴フ命令

戰鬪地境ノ界



右翼隊攻撃計畫圖要



右翼隊正面ニ於テハ「イ」陣地及「ロ」陣地ヲ奪取シテ之ヲ確保スルニ止メ「ハ」陣地ハ攻略セサルモノトス又左翼隊ハ現陣地ヲ確保シテ師團ノ右側ヲ警戒セシムトノ師團命令ヲ受領ス次テ砲兵隊副官井上長三來リテ砲兵隊戰鬪計畫ヲ提示シ所要ノ説明ヲ爲シタルヲ以テ右翼隊長ハ其攻撃計畫ニ所要

ノ修正ヲ加ヘテ之ヲ同官ニ交付シ兩者ノ意志ヲ疏通セリ爾後右翼隊長ハ計畫ノ變更ヲ兩聯隊長ニ通報シ午後六時十五分命令ヲ下シテ攻撃準備ヲ進捗セシメシカ同十一時師團命令（午後九時發九師作命第二十號ヲ筆記命令、第五四七頁參照）受領スルヤ攻撃實行ノ爲左ノ命令ヲ下達セリ

右翼隊命令 二月二十四日午後十一時三十分於白楊村旅團司令部

- 一 當面ノ敵ハ大ナル變化ナキモ混成第二十四旅團方面ハ兵力逐次増加セシモノノ如ク又吳淞鎮方面ハ兵力減少ノ微アリ

師團ハ明二十五日右翼隊正面ニ於ケル麥家宅（登家宅）東方陣地「ロ」及金家塘（金家塘）東方陣地「イ」ヲ攻略ス

- 二 右翼隊ハ明二十五日「ロ」及「イ」陣地ヲ攻略セントス

師團全砲兵及海軍重爆撃機ハ本攻撃ニ協力スル筈

- 右翼隊ヲ除ク其他ノ第一線部隊ハ現陣地ニ於テ右翼隊ノ戰鬥ニ協力スルト共ニ將來ノ攻撃ヲ準備ス
- 三 右第一線聯隊ハ一部ヲ以テ左聯隊ノ攻撃ニ直接協力セシメ其他ハ依然攻撃作業ヲ促進スヘシ
- 四 左第一線聯隊ハ右翼隊ノ攻撃計畫ニ基キ「ロ」及「イ」陣地ヲ攻略シ奪取後ハ之カ確保ニ勉メ以テ將來ノ攻撃ヲ準備スヘシ
- 五 豫備隊 註、白楊村ハ現在地ニ位置スヘシ
- 六 予ハ現在地ニ在リ

午前十時命令受領者ヲ出スヘシ

右翼隊長 小野 少 將

步兵第三十六聯隊
ノ攻撃準備
ノ爲ノ命令

右翼隊左第一線タル步兵第三十六聯隊長大佐一男ハ右翼隊攻撃計畫ヲ受領シ攻撃準備ヲ促進スル爲逐次命令ヲ下シ攻撃ノ爲ノ資材ヲ補充シ特ニ第一大隊方面ニハ步兵砲隊長大尉南部好範（聯隊本部ニ在リテ聯隊長ヲ輔佐ス）ヲ派シ聯隊長ノ企圖ヲ傳ヘ歩、砲協調ニ關スル打合セヲ行ハシム第五六九頁參照等著々所要ノ準備ヲ整ヘシメシカ二十三日以來概ネ下圖ノ如キ敵情ヲ得タルヲ以テ右翼隊攻撃計畫及午後四時頃ニ於ケル一部攻撃計畫ノ變更ヲ參酌シ聯隊攻撃計畫ヲ確定シ左ノ命令ヲ下達セリ

步兵第三十六聯隊正面敵情要圖
昭和七年二月二十二日



備考
本圖、外麥家宅（金家宅）附近ニ位置不明ノ追撃砲四門機關銃四挺アリ

作命第十九號

步兵第三十六聯隊命令

二月二十四日午後六時
於普西聯隊本部

- 一 敵ハ堅固ニ構成セラレタル陣地内ニ於テ頑強ニ抵抗シアルモ志氣沮喪シアルカ如シ
師團ハ明二十五日更ニ攻撃ヲ再興シ右翼隊正面ニ主攻撃ヲ指向シ之ヲ突破シテ大場鎮南北ノ線ニ
進出ヲ企圖ス
- 旅團ハ先ツ「イ」、「ロ」陣地奪取ヲ企圖ス
- 二 聯隊ハ先ツ「イ」、「ロ」陣地ヲ奪取セントス
- 三 諸隊ハ別紙攻撃計畫ニ基キ各當面ノ敵陣地ヲ攻撃スヘシ
- 四 予ハ依然普西ニ在リ

步兵第三十六聯隊長 大賀 大佐

別紙

步兵第三十六聯隊攻撃計畫

方針

- 一 聯隊ハ概ネ現在線ヨリ逐次攻撃陣地ヲ推進シ明二十五日午前六時マテニ突撃陣地ヲ構成シ以テ
突撃準備ヲ完了シ飛行機ノ爆撃及砲兵ノ突撃準備射撃完了ト共ニ突撃ス
- 二 攻撃重點ハ「ロ」陣地ニ指向シ敵ノ第一線後端附近ニマテ進出シ同地ヲ確保シ聯隊爾後ノ攻撃ヲ

步兵第三十六聯隊
攻撃計畫

準備ス

指導要領

- 一 攻撃陣地ヲ逐次推進シ二十五日午前六時マテニ突撃陣地敵前約百五十米ヲ完成シ諸準備ヲ完了ス
- 二 午前六時三十分ヨリ同八時マテハ第一線部隊ハ友軍飛行機ノ爆撃ニ依ル損害ヲ被ラサル如ク塹
壕内ニ後退シ概テ敵前三百米該地ニ國旗、標示幕ヲ布置ス
爆撃ヲ被ラサル敵ノ第一線ニ對シテハ各大隊適時敵ヲ制壓スヘシ
- 三 午前八時爆撃終了時各大隊ハ直ニ突撃陣地ニ就キ機ヲ待ツ
- 四 第一時期 午前八時ヨリ友軍砲兵先ツ「イ」陣地ニ突撃準備射撃ヲ實施シ其終了ト共ニ第一大隊
ハ之ニ突撃ス

此間第二大隊ハ爲シ得レハ自動火器、三一式山砲之ヲ右セハヲ以テ援助シ第三大隊ハ許シ得ヘキ火力
ヲ以テ各々側方ヨリ援助ス

五 第二時期 砲兵「ロ」陣地ニ對シ突撃準備射撃終了ト共ニ第二、第三大隊ハ一舉ニ各正面ノ敵陣
地ヲ突破ス

此際第一大隊ハ許シ得ヘキ火力ヲ以テ左前方ヨリ援助ヲ與フルモノトス
步兵第十九聯隊ハ右翼ヨリ援助スル筈

六 各大隊ハ「イ」、「ロ」陣地ヲ奪取セハ各々兵力ヲ集結シ地步ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

七 爾後ハ狀況ニ依リ示ス

八 通信班ハ聯隊本部ト右翼隊司令部及各大隊本部トノ間ニ通信網ヲ構成スヘシ

九 所要ノ資材ハ聯隊本部ニ請求スヘシ

十 行李其他ノ運搬ニ關シテハ各大隊聯隊本部ノ分ニ於テ計

畫スヘシ

步兵第三十六聯隊右第一線タル第二大隊長少佐 赤澤三六ハ二十四日正

午頃マテニ下圖ノ如キ敵情ヲ得タルヲ以テ大隊長ハ右翼隊命

令午前十時ニ基キ攻撃ノ腹案ヲ定メ午後二時頃各中隊長等ヲ吳

家宅南側第五中隊陣地内ノ展望臺上ニ集メ現地ヲ指示シツツ

左ノ命令ヲ下達セリ

附記 爾後攻撃計畫ノ變更、聯隊命令ノ下達アリタレトモ之カ爲特別ニ大

隊命令ヲ發セス

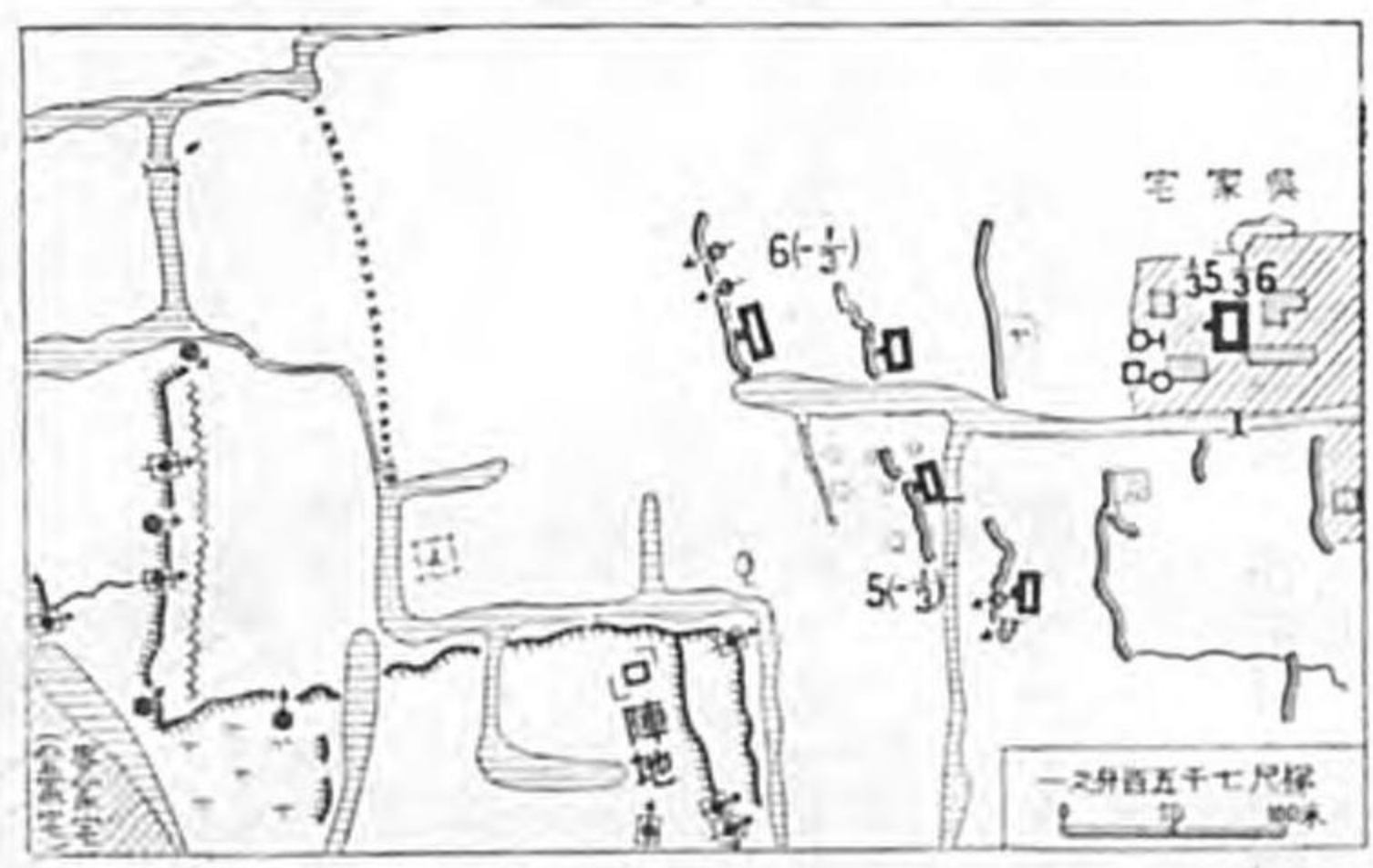
步兵第三十六聯隊第二大隊命令 於吳家宅南側

一 敵情目撃ノ通リトス現地 指示

二 大隊ハ聯隊ノ右第一線トナリ現在地ニ展開シ前面ノ敵

ヲ攻撃セントス

步兵第三十六聯隊第二大隊正面敵情要圖 昭和七年二月二十四日正午



三 第六中隊一小隊欠、工兵五名ヲ屬スハ右第一線、第五中隊一小隊欠、工兵五名ヲ屬スハ左第一線トス

機關銃中隊ハ一小隊ヲ第五、第六中隊間、主力ヲ第六中隊ノ右ニ展開シ各、第一線中隊ノ攻撃ニ

協力スヘシ

曲射歩兵砲分隊ハ現在地註、吳家宅西端ニ陣地ヲ占領シ主トシテ麥家宅(登家宅)東北端ノ掩蓋機關銃ヲ撲

滅シ大隊ノ攻撃ニ協力スヘシ

第五、第六中隊ノ各一小隊ハ中央後ノ豫備隊トス

大隊攻撃ノ重點ハ第六中隊正面トス

四 第一線諸隊ハ敵ノ第一線ヲ突破セハ先ツ麥家宅(登家宅)西端ノ線ニ於テ態勢ヲ整ヘ爾後ノ攻撃

ヲ準備スヘシ

五 第一線各中隊ハ明二十五日朝ノ攻撃ノ爲攻撃陣地ヲ推進スヘシ

細部ハ現地ニ於テ命令ス

六 予ハ明二十五日午前九時第六中隊ノ左後方第一攻撃陣地ニ在リ

大隊長 赤澤少佐

第一線兩中隊ハ「ロ」陣地東北角ヨリ百米内外ノ線ニ突撃陣地ヲ構築シ拂曉マテニ之ヲ完成セリ

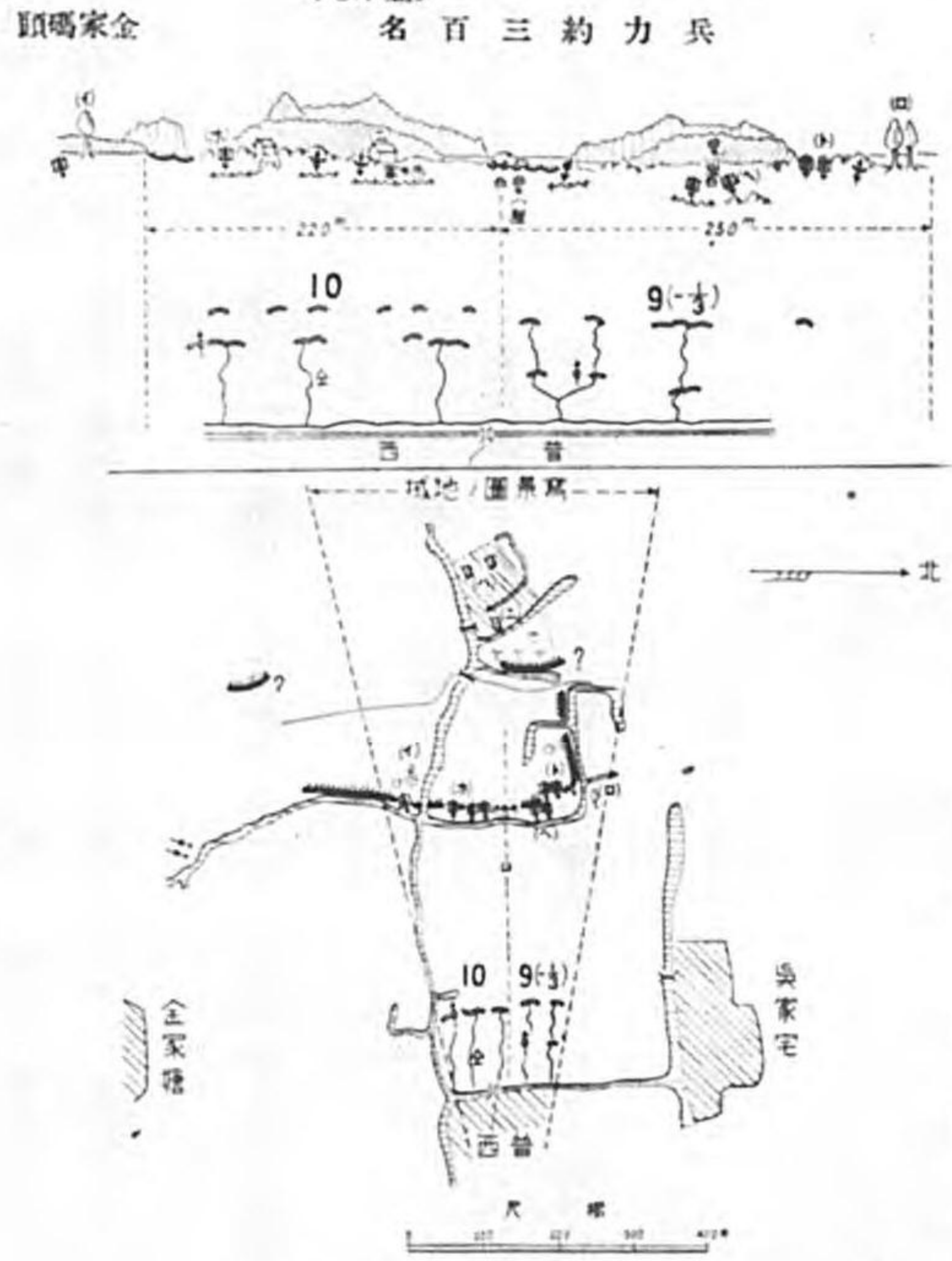
附記 此間第五中隊右小隊長少尉白井俊三郎ハ更ニ突撃ヲ容易ナラシムル爲水濠(「ロ」陣地東方約百米ヲ南北ニ通ス)ヲ越エテ獨斷陣地ヲ推進スルニ決シ之ニ架橋シ率先前岸ニ進出スルヤ「ロ」陣地北側ヨリ約三十名ノ敵出撃シ來リ彼我手榴彈戰ヲ交フルニ至リシカ間モナク之ヲ擊退セリ此時小隊長ハ「ロ」陣地東北角附近ノ敵機關銃ノ爲腹部ヲ射貫セラレテ即死セリ

歩兵第三十六聯隊
第三大隊
中隊
小隊長
和野吉普西ニ來ルヤ此狀況ヲ通報シ且明二十五日ノ攻撃ニ關シ所要ノ協定ヲ遂ケタリ

步兵第三十六聯隊中央第一線タル第三大隊市川元治ハ二十四日午後二時頃マテニ左圖ノ如キ敵情ヲ知
リタルヲ以テ同三時頃山砲兵第二大隊觀測班長廣石權三及同六時頃野戰重砲兵第三中隊ノ觀測小隊長
特務曹長和野吉普西ニ來ルヤ此狀況ヲ通報シ且明二十五日ノ攻撃ニ關シ所要ノ協定ヲ遂ケタリ

陣地寫景圖

昭和七年二月二十四日午後二時頃
參家宅
登家宅
兵力約三百名



附記 此協定ハ砲兵ヲシ
テ二十五日ノ攻撃ノ際歩
兵トシテ制壓ヲ希望スル
目標ヲ詳細ニ互リ確認セ
シメ砲兵ハ之ニ基キ敵陣
地ノ要部ニ對シ試射ヲ實
施シタレトモ未ダ歩兵
ノ敵陣地突入後ニ於ケル
歩、砲ノ協同ニ關シ協定
スルニ至ラス

大隊長ハ午後六時聯隊攻撃計畫ヲ受領シ之ニ基キ攻撃計畫ヲ立案シ左ノ如キ命令ヲ下達セリ

步兵第三十六聯隊第三大隊命令 二月二十四日午後八時四十分 於 普西大隊本部

- 一 敵陣地ノ狀況大隊正面ニ於ケルモノ別紙要圖ノ註、概テ前頁ノ如シ
- 二 大隊ハ明二十五日聯隊ノ計畫ニ基ク前面ノ敵陣地ヲ奪取シ其後端ノ線ニ進出シ之ヲ確保セントス
其細部ノ計畫別紙ノ如シ
- 三 第一線各中隊 第九中隊(一小隊欠)右第一線、第十中隊左第一線トス ハ本二十四日夜中ニ突撃陣地ヲ推進シ明拂曉マテニ突撃準備ヲ完了スヘシ
- 工兵小隊 二分ハ豫備隊ノ位置ニ於テ敵陣地突撃前鐵條網ノ破壊及陣地直前水濠ノ渡河準備ヲ爲シアルヘシ
- 第十一中隊ハ豫備隊トス現在地 普西ニ位置スヘシ
- 隊縋帶所、小行李ノ任務ハ前命令ノ如シ 註、普西ニ在リテ前任務續行
- 四 予ハ暫ク現在地 普西ニ在リ

別紙

大隊長 市川 少佐

細部ノ計畫

第五節 第二次攻撃

第一時期 第一大隊像定線進出マテ

三一式速射山砲分隊、機關銃一小隊、曲射歩兵砲一小隊ヲ以テ左第一大隊ヲ援助ス
此間第一線各部隊ハ前面ノ敵ニ對スル突撃準備ヲ續行ス

第二時期 第一大隊像定線進出後

三一式速射山砲分隊ノ外歩兵砲ノ一部ヲ以テ敵側防火器ノ制壓、其主力ヲ以テ前面ノ敵陣地ヲ破壊ス

第三時期 敵陣地概略破壊ヨリ大隊ノ敵陣地後端進出マテ

山砲兵小隊及三一式速射山砲分隊ハ敵陣地後方部隊ニ對シ射撃ス

附記 計畫中ニ山砲兵小隊ヲ示シアルハ二十二日普西ニ進出セル山砲兵第四中隊ノ一小隊(一分隊欠)カ依然配屬セララルモノト誤解セルナルカ如シ

三一式速射山砲分隊、平射歩兵砲、機關銃中隊ハ殘存セル敵自動火器ヲ制壓ス
歩兵中隊ハ工兵小隊ト協力シ敵陣地前障礙物ヲ破壊シ敵陣地前水濠ニ架橋後敵陣地ニ突入シ其後端ニ進出ス

工兵小隊ハ第一線中隊ノ障礙物破壊ニ協力シ敵陣地直前ニ於ケル水濠ニ架橋シテ第一線歩兵ノ突入ヲ援助シ爾後進路ニ於ケル障礙物ノ除去ニ任ス
豫備隊タル第十一中隊ハ大隊本部ニ續行ス狀況ニ依リ特ニ前進方向ヲ指示ス

歩兵第三聯隊
第十六聯隊
第一聯隊
ノ攻撃準備
ノ命令

第一線ハ逐次陣地ヲ推進シ拂曉マテニ敵前約八十米ノ水濠徒渉容易

ヲ利用シ輕易ナル掩體ヲ有スル突撃陣地ヲ構築セリ

歩兵第三十六聯隊左第一線タル第一大隊長少佐 森川浩平ハ二十三、二十四ノ兩日ニ得タル敵情下圖 參照ト右翼隊攻撃計畫並聯隊長ノ企圖ト

ニ基キ下圖ノ如キ攻撃ノ企圖ヲ定メ之ニ依リ攻撃ノ準備ヲ進メタリ

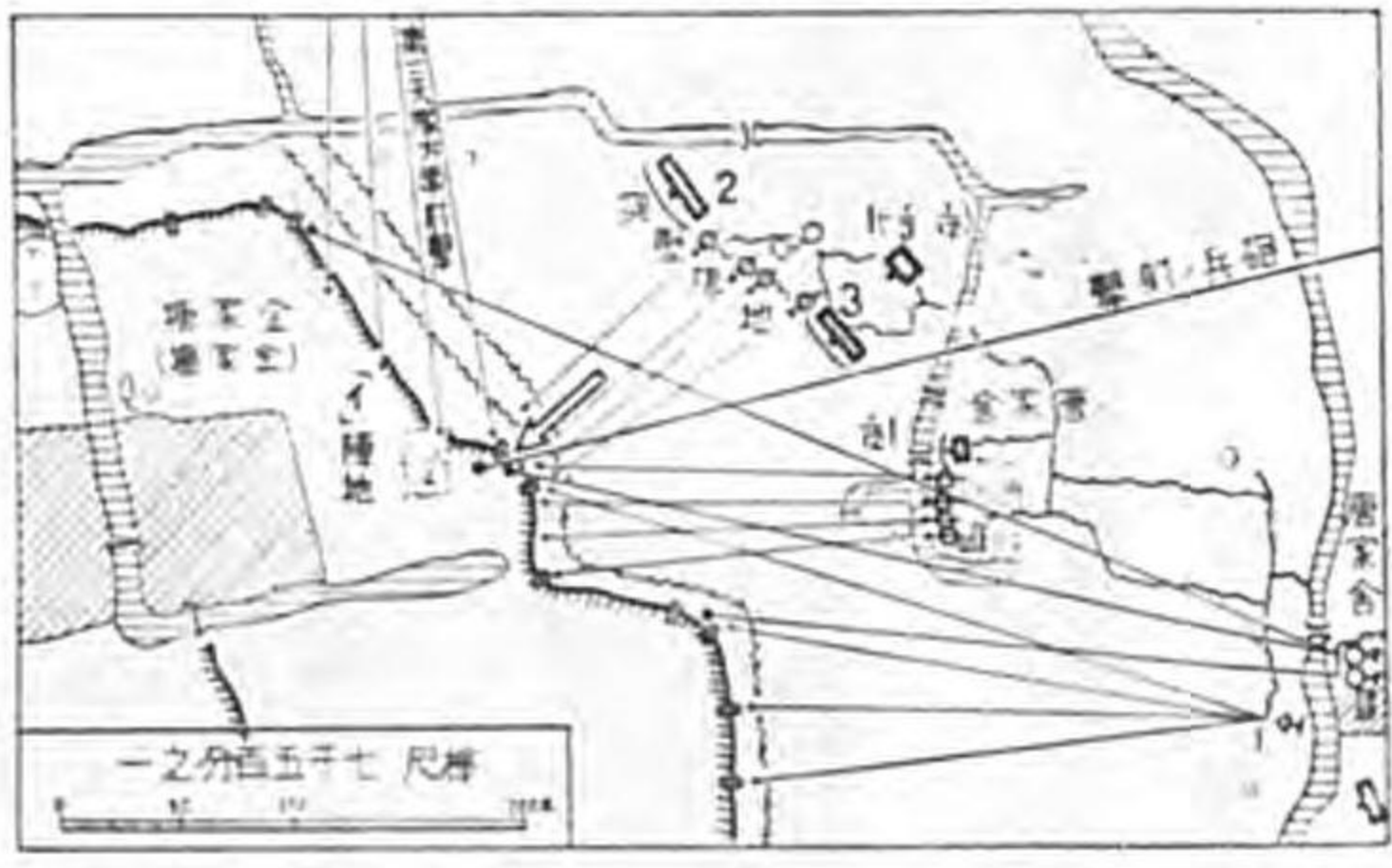
附記 大隊ハ二十四日午後三時ヨリ同五時ニ互ル金家塘附近ニ對スル飛行機ノ爆撃間第一線ノ作業ヲ中止シテ後方ニ退避シ夕刻ヨリ更ニ作業ヲ繼續セリ

午後二時頃歩兵砲隊長南部 大尉來リテ『第一大隊ハ成ルヘク金家塘ノ北方ヨリ重點ヲ指向シ第三大隊ト連繫スル如ク攻撃スヘキ』

聯隊長ノ企圖ヲ傳ヘタリ

附記 南部大尉ハ普西聯隊本部ヨリ唐家舍第一大隊本部ニ向フ途中孫家宅附近ニ於テ山砲兵第二大隊長ト會シ其依頼ニ依リ歩兵第一大隊方面ノ狀況特ニ大隊長ノ希望ヲ聴取シテ歸路之ヲ同官ニ傳ヘ歩、砲兩者ノ連絡ヲ爲セリ(當時第一大隊長ハ電話ノミニテハ意志ノ疎通困難ナルヲ認メ聯隊副官又ハ通信班長ノ來隊ヲ要請セシヲ以テ聯隊長ハ歩兵砲隊長ノ進メテ其任ニ當ラントスルノ希望ヲ容レ之ヲ第一大隊ニ派遣セルモノトス)

歩兵第三十六聯隊第一大隊攻撃企圖圖敵情要圖
昭和七年二月二十四日



午後五時頃野戰重砲兵第三中隊ノ觀測小隊長特務曹長 和田輝吉大隊本部ニ來リシヲ以テ大隊長ハ之ヲ第一線ニ連

行シ現地ニ就キ敵情及大隊ノ要求ヲ説明セリ

午後八時大隊長ハ攻撃ニ關スル聯隊命令第五六二頁參照 竝砲兵隊戰闘計畫第五七七頁參照 等ヲ受領セシヲ以テ之ニ基キ左ノ命令ヲ下達セリ午前九時三十分頃「明二十五日必ス豫定ノ時刻（午前九時四十三分）ニ突入スヘキ」聯隊通報ヲ受領セシヲ以テ大隊長ハ各中隊ニ特ニ突入ノ時刻ヲ明示セリ

步兵第三十六聯隊第一大隊命令二月二十四日午後八時三十分於東部唐家會大隊本部

- 一 當面ノ敵ハ頑強ニ抵抗シアリト雖志氣沮喪シアルモノノ如シ
- 二 大隊ハ右翼隊左聯隊ノ左第一線トナリ明二十五日萬難ヲ排シ極力「イ」陣地ヲ攻略シ該陣地ノ西端ニ向ヒ前進セントス

攻撃重點ハ「イ」陣地東北側トス

- 三 各中隊ハ明二十五日午前六時マテニ左ノ如ク突撃準備ヲ完了スヘシ

- 1 第二中隊工兵中分隊ヲ屬スハ右第一線トナリ「イ」陣地東北側ニ於テ敵陣地前約百五十米ニ突撃陣地ヲ構築スヘシ

- 2 第三中隊工兵中分隊ヲ屬スハ左第一線トナリ第二中隊ニ連繫シ「イ」陣地ニ對シ突撃陣地ヲ構築スヘシ

- 3 機關銃一小隊四銃及第一中隊ノ一分隊ハ西部唐家會附近ヨリ大隊ノ突撃ヲ容易ナラシメ大隊敵陣地突入後各所屬中隊長ノ指揮下ニ復スヘシ

- 4 機關銃中隊一小隊欠、四銃ハ第二中隊陣地東北側附近ニ位置シ大隊ノ突撃ヲ援助スヘシ

- 5 平射步兵砲小隊ハ現在地註、東部唐家會西側 附近ニ在リテ大隊ノ突撃ヲ援助スヘシ

- 6 曲射步兵砲分隊ハ現在地註、東部唐家會北側 ニ在リテ大隊ノ突撃ヲ援助スヘシ

- 7 第一中隊一小隊ト一分隊欠ハ豫備隊トナリ現在地註、東部唐家會西北側 ニ在リテ後命ヲ待ツヘシ

- 四 第一線各部隊ハ午前六時二十分マテニ豫メ指示スル地點ニ後退シ飛行機ノ爆撃ニ對シ退避スヘシ

步兵砲隊及機關銃中隊ハ飛行機ノ爆撃間大隊ノ突撃ヲ妨害スヘキ敵ニ對シ適宜破壊及制壓射撃ヲ實施スヘシ

- 五 飛行機ノ爆撃間退避セル部隊ハ午前八時マテニ突撃陣地ニ復シ砲兵ノ突撃準備射撃射程延伸ニ伴ヒ引續キ突撃ヲ敢行スヘシ

- 六 第一線各部隊ハ突撃實施後直ニ「イ」陣地ノ一角ヲ確保シ敵ノ逆襲ニ備フヘシ爾後ノ動作ニ就テハ適宜現場ニ於テ指示ス

- 七 豫備隊ハ左翼後ヨリ第一線部隊ニ跟隨スヘシ

- 八 予ハ現在地註、東部唐家會ニ在リ爾後第一線部隊ノ後方ヲ前進ス

大隊長 森川少佐

下達法

數回ニ互リ各中隊長ト會同シ或ハ陣地ヲ偵察シテ現地ヲ指示シ企圖ヲ示シタル後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

第一線兩中隊ハ徹宵作業ヲ繼續シ二十五日拂曉頃マテニ敵前約百米附近ニ突擊陣地ヲ完成シ且工兵分隊午後八時頃到着ノ援助ノ下ニ敵第一線鐵條網此鐵條網ノ後方ニ更ニ第二線鐵條網アリニ隱密作業ニ依リ二條ノ通路ヲ拓キ且我カ第一線後方ノ水濠ニ架橋セリ

步兵第十聯隊ノ攻撃準備

步兵第十九聯隊長大佐 酒匂宗太郎ハ二十四日午前十時過右翼隊攻撃計畫第五五六頁參照ヲ受領シ同十一時四十分田園ノ敵陣地攻撃ノ爲所要ノ命令ヲ下シ諸準備ヲ進メシカ午後六時十五分右翼隊攻撃計畫一部變更第五六〇頁參照ノ通報ヲ受ケタルヲ以テ直ニ之ヲ部下ニ傳ヘ尙二十五日午前零時三十分ニ至リ『二十五日第二大隊ノ一部ヲ以テ步兵第三十六聯隊ノ「ロ」陣地攻撃ヲ援助シ其他ハ依然攻撃作業ヲ續行スヘキ』ヲ命令セリ步兵第十九聯隊第二大隊長少佐 能崎清次ハ右命令ヲ受領シ『狀況ニ依リ田園ニ向ヒ攻撃前進スヘキ』ヲ聯隊長ニ具申セシカトモ許容セラルルニ至ラス然レトモ成ルヘク前方ニ據點ヲ占メ置クヲ有利ト認メ午後九時豫備隊第六中隊ノ一小隊ニ混成第二十四旅團ト略々齊頭面ニ推進スヘキヲ命セリ

附記 爾後大隊長ハ左第一線タル第六中隊(一小隊欠)ノ一小隊ヲ其陣地ニ殘シ主力ヲ大隊ノ豫備隊トシテ控置セリ

第六中隊ノ一小隊長長特務曹長 瀧澤正幸ハ同九時三十分頃齊家宅ヲ出發シ步兵第四十六聯隊一小隊長 福田特務曹長ト同行ス其西方約二百米第七中隊ノ陣地(第五五四頁中段附記參照)右翼ニ達セシトキ其南方ヲ大隊主力方面ニ夜襲中ノ敵百數十名ヲ發見シタルヲ以テ直ニ

附近ニ在リシ第七中隊ノ一小隊ト協力シテ其側面ヲ猛射シ大隊主力主トシテ第五中隊方面ヨリノ正面射ト相俟ツテ交戰約三十分ノ後之ヲ擊退シ麥家宅(客家宅)東南方約二百米附近ニ在ル步兵第四十六聯隊第二中隊ノ一小隊長長特務曹長 福田武ト交代シ附近ノ敵警戒兵ヲ驅逐シテ陣地ヲ占領セリ時ニ午後十一時頃ナリ

附記 翌朝第五中隊ノ調査ニ依レハ敵ハ第八十八師第二百六十四旅第五百二十七團ノ第十一連ニシテ連長傳允文以下三十餘ノ屍體ヲ遺棄シアリ

一方第七中隊長大尉 石原勲一郎ハ前記敵襲ヲ擊退スルヤ敵ノ潰走混亂ニ乘シ一舉ニ據點ヲ推進スルニ決シ前方ニ出シシ小隊長長特務曹長 山田嘉平ヲシテ敵ノ鐵條網ヲ強行破壊シ一部ノ警戒兵ヲ驅逐セシメ爾後第六中隊ノ一小隊ノ左ニ連繫シテ陣地ヲ占領シ補修工事ヲ行ハシメタリ

二十五日未明大隊長ハ友軍ノ爆擊及砲擊ヲ顧慮シ此兩小隊ヲ退避セシメタリ

附記 第七中隊ノ一小隊ハ齊家宅西北側ニ、第六中隊ノ一小隊ハ麥家宅(客家宅)東南側ニ退避セリ
此日第一大隊ハ聯隊ノ豫備隊トシテ天主堂及齊家宅附近ニ陣地及交通壕ヲ構築シ夜ニ入り白楊村ニ宿營シ各所ニ支分セル兵力ヲ集結セリ第五五四頁後段附記參照

其二 砲兵隊

二十三日砲兵隊ハ野戰重砲兵第一大隊及攻城重砲兵第一中隊ヲ以テ主トシテ江灣鎮東北端新民中學附近ノ敵陣地前日破壊セル部分ハ此日ニ至リ概ネ修理セラレアリ並江灣鎮西端附近ヲ射擊シテ左翼隊ノ左側背及天樂寺西方補給路ヲ脅威スル敵ヲ制壓シ其他ノ主力ヲ以テ爾後ノ攻撃ヲ準備ス而シテ特ニ山砲兵第三大隊ハ右翼隊ニ協力

江灣鎮ノ制壓並兩翼隊トノ協力

スル爲其觀測所ヲ白楊村西端ニ推進セリ

附記

山砲兵第九聯隊ハ中隊長以上、聯、大隊副官、同觀測班長並觀測、通信、連絡掛ノ外全部豫備將校ニシテ中隊ニハ觀測小隊及隊列ナク中隊ノ携行セル觀測器材ハ砲隊鏡一箇(練習用具)ノミニテ他ニ全ク通信器材ヲ缺キ大隊以上ニ於テモ觀測通信器材不足シアリテ第一線ニ出ス連絡者及觀測者自ラ限定セラレ步兵トノ連繫意ノ如クナラス而モ步兵ヨリノ要求ハ之カ爲毫モ緩和セラレズ兩者ノ意志動モスレハ疎通セサルモノアリ二十三日某步兵大隊戰聞詳報ノ一節ニ左ノ如キ記事アリ
歩、砲ノ協同タルヤ之ヲ要求スルノ切ナルコトハ明ニ典範令ニ示スコロナリ之カ爲少クトモ其觀測者又ハ補助機關カ第一線大隊長ノ位置ニ來リテ直接目標ノ種類、位置等ニ關シ步兵大隊ノ要求ト密接ニ連繫スルヲ必要トス然ルニ砲兵ハ第一線ノ後方約一軒ノ孫家宅附近ニ在リテ進出シ來ラス唯大隊ハ聯隊本部ヲ通シテ連絡シアルニ過キス砲兵自身ハ或ハ夫ニテ十分心得アリシヤモ知レサレトモ正ニ突撃ヲ實施シ死命ヲ決セントスル第一線步兵部隊トシテ直接手ヲ握ルコトハ效果其者ヨリモ寧ろ精神上ノ慰安ヲ求ムル上ニ於テ偉大ナル效果ヲ認ムルモノナリ此精神上ノ安心ト氣力ノ倍加コソ歩、砲協同ノ眞諦ニハアラサルカ再言ス當日ノ砲兵射撃ニ於テ我カ步兵力價ニ要求セサル敵線ノ部位ヲ射撃シ暴言セハ無駄彈丸ヲ撃チシコト少カラス我等ハ當時彼ノ彈丸カ我等ノ要求セル突撃セントスル點ニ集中センコトヲ要求スルコト切實ナルモノアリシヲ感セリ

砲兵隊長ハ午後二時頃ヨリ各大隊ノ陣地ヲ視察シタル後左翼隊長ヲ往訪シ之ト連絡スルトコロアリ

附記

一 此細路ノ際將來左翼隊ノ前、後郭家宅ニ向ヒ攻撃スルニ方リ砲兵隊長ハ之ニ集中射撃ヲ行フヘキヲ協定セシカ此協定ハ二十五日左翼隊長ノ獨斷攻撃ヲ企圖スル基礎トナレリ(第五八九頁參照)
二 此日大ナル戰聞ナキニ拘ラス消費セル彈藥ハ山砲彈約六百七十發(但第三大隊ハ射撃ヲ行ハス)、重砲彈(主トシテ江灣鎮附近ノ射撃ニ消費ス)約六百六十發ナリ

第二次攻撃ノ爲歩、砲兵ノ協定

午後七時砲兵隊長ハ師團長ヨリ招致セラレ二十五日攻撃ニ關スル指示(第五四三頁參照)ヲ受ケタルヲ以テ之ニ基キ砲兵大、中隊長等ト共ニ右翼隊副官ト協定シ(砲兵中佐藤田康一、同先ツ金家塘(江灣鎮西端北方一軒牛、當時地東側陣地此協定ノ際「イ」次テ麥家宅(金家塘西北方八百米、當時麥家宅ト誤讀セリ)東側陣地「ロ」陣地ト命名ス)最後ニ田園(麥家宅西北方五百米)陣地ト命名ス)攻路スルコトトシ細部ハ現地ニ於テ關係歩、砲兩指揮官直接綿密ニ協定スルニ決セリ

附記

此日ニ於ケル協定ノ大綱ハ二十四日朝ノ右翼隊攻撃計畫(第五五六頁參照)ニ現レアリ

砲兵隊長大佐岩野正治ハ限定セル目標ニ全砲兵火ヲ集中シ徹底セル射撃ニ依リ敵ノ心膽ヲ奪ヒ戰勝ノ途ヲ打開センコトヲ期シ二十三日夜二十五日ニ於ケル砲兵隊戰闘計畫ヲ立案シ二十四日午前十時砲兵各大隊長及攻城重砲兵第一中隊長ヲ劍窩砲兵隊本部ニ集メ戰闘計畫(第五七七頁參照)ノ大要ヲ示シ且概ネ左ノ如キ細部ノ指示ヲ爲セリ

砲兵隊長戰闘計畫ヲ示シ且概ネ左ノ如キ細部ノ指示ヲ爲セリ

- 一 各大、中隊ハ先ツ「イ」及「ロ」陣地ヲ確認スヘシ註、第三大隊ノ觀測所ヨリ目視シ得レトモ第一大隊方面ヨリハ見エサルヲ以テ觀測所ヲ進ムヘキヲ示セリ
 - 二 各隊ノ射撃スヘキ地域ハ要圖註、航空寫眞(垂直寫眞)ニ依リ調製セルモノニシテ當時ノ說明用トシテ示セルモノナリ(次頁要圖及斜寫眞參照)ノ如シ
 - 三 效力射準備射撃ハ我カ步兵ニ危害ヲ與ヘサル爲成ルヘク遠方向ヨリ行フヘシ
 - 友軍ハ位置標示ノ爲背ニ手拭ヲ附シ第一線陣地後崖上ニハ日章旗ヲ敷置ス
 - 四 突撃支援射撃ハ縱ヒ射撃中ト雖午前十時ニ至ラハ之ヲ中止シ且其時刻ヲ嚴守スヘシ
- 尙野戰重砲兵第一大隊ニ萬難ヲ排シテ梅園附近ニ陣地ヲ推進スヘキヲ命セリ

附記

一 當時「イ」及「ロ」陣地ニ對スル見解各隊毎ニ區々ニシテ就中其最深ニ關シテ然リトス砲兵隊長ハ集中地域トシテ部下ニ示セル金家塘、麥家宅ノ兩方面各、正面三百米、縱深百米ノ地域ナリト解シタレトモ右翼隊長ハ敵ノ第一線散兵壕ト思惟シアリシカ如シ而シテ師團幕僚中ニハ尙從深アル地區ト考ヘアリシ者アリ又其幅員ニ關シテモ師團命令ニハ唯概略ノ位置ヲ示シタルヲ以テ一般ニハ左右ノ限界ニ就テ的確ニ認識セラレサリキ
二 二十四日午前砲兵隊長ハ始メテ集成セル航空寫眞(第二七五頁後段附記參照)ヲ受領セリ

スル爲其觀測所ヲ白楊村西端ニ推進セリ

附記

山砲兵第九聯隊ハ中隊長以上、聯、大隊副官、同觀測班長並觀測、通信、連絡掛ノ外全部豫備將校ニシテ中隊ニハ觀測小隊及段列ナク中隊ノ携行セル觀測器材ハ砲隊鏡一箇(練習用具)ノミニテ他ニ全ク通信器材ヲ缺キ大隊以上ニ於テモ觀測通信器材不足シアリテ第一線ニ出ス連絡者及觀測者自ラ限定セラレ步兵トノ連繫意ノ如クナラス而モ步兵ヨリノ要求ハ之カ爲毫モ緩和セラレス兩者ノ意志動モスレハ疏通セサルモノアリ二十三日某步兵大隊戰況詳報ノ一節ニ左ノ如キ記事アリ

砲兵隊長ハ午後二時頃ヨリ各大隊ノ陣地ヲ視察シタル後左翼隊長ヲ往訪シ之ト連絡スルトコロアリ

附記

一 此訓練ノ際將來左翼隊ノ前、後郭家宅ニ向ヒ攻撃スルニ方リ砲兵隊長ハ之ニ集中射撃ヲ行フヘキヲ協定セシカ此協定ハ二十五日左翼隊長ノ獨斷攻撃ヲ企圖スル基礎トナレリ(第五八九頁參照)

午後七時砲兵隊長ハ師團長ヨリ招致セラレ二十五日攻撃ニ關スル指示(第五四三頁參照)ヲ受ケタルヲ以テ之ニ基

第二次攻撃ノ爲歩砲兵ノ協定

キ砲兵大、中隊長等ト共ニ右翼隊副官ト協定シ(砲兵中佐田康一、同先ツ金家塘(江灣鎮西端北方一軒半、當時地側陣地此協定ノ際「イ」次テ麥家宅(金家塘西北方八百米、當時登家宅ト誤讀セリ)東側陣地「ロ」陣地ト命名ス)最後ニ田園(麥家宅西北方五百米、陣地ト命名ス)ヲ攻

附記 此日ニ於ケル協定ノ大綱ハ二十四日朝ノ右翼隊攻撃計畫(第五五六頁參照)ニ現レアリ

砲兵隊長大佐岩野正治ハ限定セル目標ニ全砲兵火ヲ集中シ徹底セル射撃ニ依リ敵ノ心膽ヲ奪ヒ戰勝ノ途ヲ打開セシコトヲ期シ二十三日夜二十五日ニ於ケル砲兵隊長戰況計畫ヲ立案シ二十四日午前十時砲兵各大隊長及攻城重砲兵第一中隊長ヲ劍窩砲兵隊本部ニ集メ戰況計畫(第五七七頁參照)ノ大要ヲ示シ且概ネ左ノ如キ細部ノ指示ヲ爲セリ

砲兵隊長大佐岩野正治ハ限定セル目標ニ全砲兵火ヲ集中シ徹底セル射撃ニ依リ敵ノ心膽ヲ奪ヒ戰勝ノ途ヲ打開セシコトヲ期シ二十三日夜二十五日ニ於ケル砲兵隊長戰況計畫ヲ立案シ二十四日午前十時砲兵各大隊長及攻城重砲兵第一中隊長ヲ劍窩砲兵隊本部ニ集メ戰況計畫(第五七七頁參照)ノ大要ヲ示シ且概ネ左ノ如キ細部ノ指示ヲ爲セリ

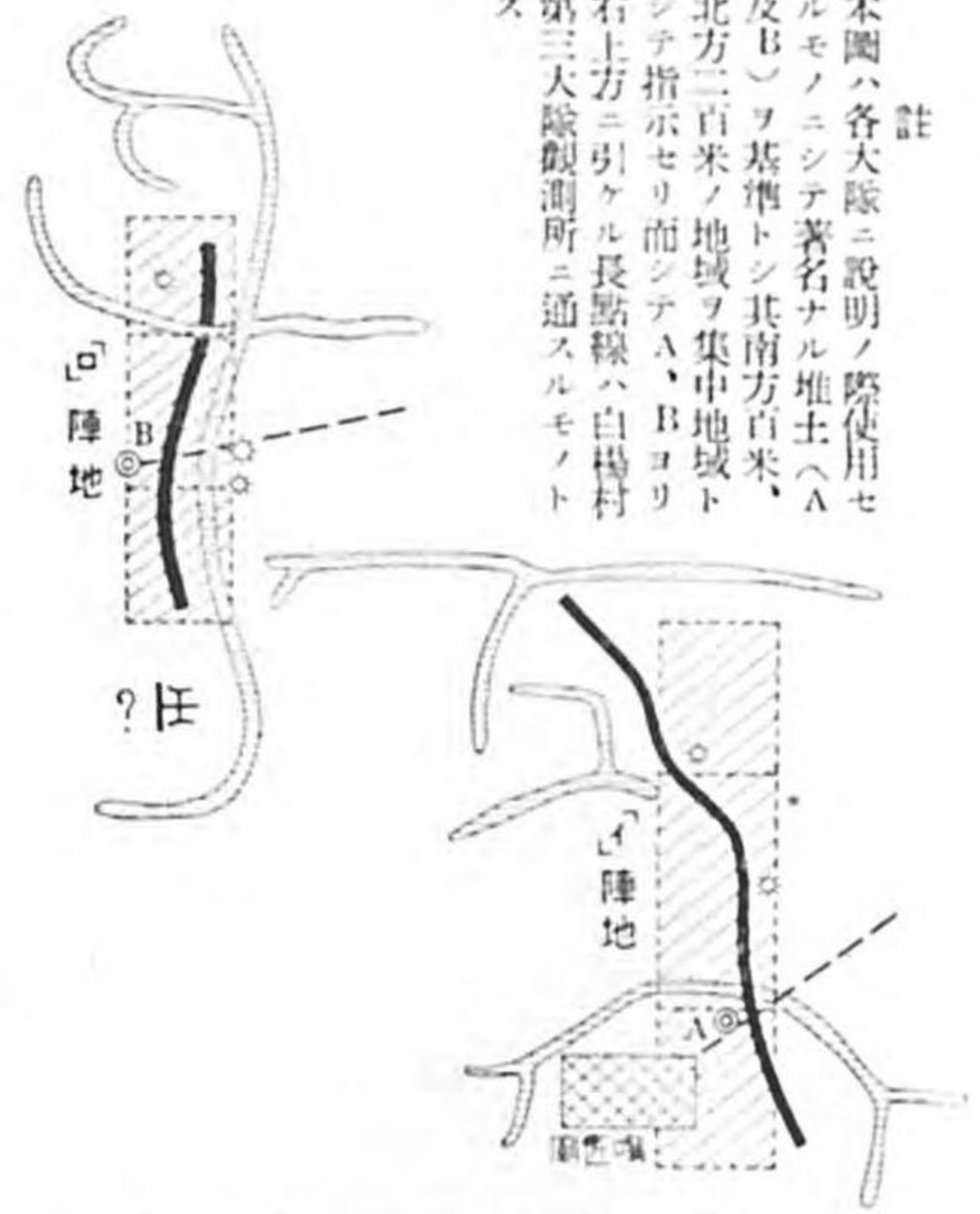
- 一 各大、中隊ハ先ツ「イ」及「ロ」陣地ヲ確認スヘシ註、第三大隊ノ觀測所ヨリ目視シ得レトモ第一大隊方面ヨリハ見エサルヲ以テ觀測所ヲ進ムヘキヲ示セリ
 - 二 各隊ノ射撃スヘキ地域ハ要圖註、航空寫眞(垂直寫眞)ニ依リ調製セルモノニシテ當時ノ說明用トシテ示セルモノナリ(次頁要圖及斜寫眞參照)ノ如シ
 - 三 效力射準備射撃ハ我カ步兵ニ危害ヲ與ヘサル爲成ルヘク遠方向ヨリ行フヘシ
 - 四 友軍ハ位置標示ノ爲背ニ手拭ヲ附シ第一線陣地後崖上ニハ日章旗ヲ敷置ス
- 尙野戰重砲兵第一大隊ニ萬難ヲ排シテ梅園附近ニ陣地ヲ推進スヘキヲ命セリ

附記

一 當時「イ」及「ロ」陣地ニ對スル見解各隊毎ニ區々ニシテ就中其縱深ニ關シテ然リトス砲兵隊長ハ集中地域トシテ部下ニ示セル金家塘、麥家宅ノ兩方面各、正面三百米、縱深百米ノ地域ナリト解シタレトモ右翼隊長ハ敵ノ第一線散兵壕ト思惟シアリシカ如シ而シテ師團幕僚中ニハ尙縱深アル地區ト考ヘアリシ者アリ又其幅員ニ關シテモ師團命令ニハ唯概略ノ位置ヲ示シタルヲ以テ一般ニハ左右ノ限界ニ就テ的確ニ認識セラレサリキ

砲兵隊集中地域分要圖

註
本圖ハ各大隊ニ説明ノ際使用セ
ルモノニシテ著名ナル堆土(ハA
及B)ヲ基準トシ其南方百米、
北方二百米ノ地域ヲ集中地域ト
シテ指示セリ而シテA、Bヨリ
右上方ニ引ケル長點線ハ白楊村
第三大隊觀測所ニ通スルモノト
ス



此寫眞ハ當時各隊ニ配布セラレキ
「イ」及「ロ」陣地附近斜寫眞



砲兵隊長ハ各隊ノ攻撃準備著々進捗シアルノ報告ヲ受ケ午後三時頃ヨリ觀測掛將校以下ヲ伴ヒ各大隊ノ觀測所ヲ巡視シ各大隊ニ左ノ如ク攻撃準備射撃ニ於ケル地域ヲ配當シ別ニ副官井上少佐三ヲ右翼隊長ノ許ニ派シ左記砲兵隊戰闘計畫ヲ交付シ右翼隊攻撃計畫第五五六頁參照ヲ受領セシメタリ

附記 此際若干ノ協定ヲ行ヒシカ單ニ圖上ニ於ケル研究ニ過キサリキ

野戰重砲兵第一大隊 「イ」、「ロ」陣地全正面

山砲兵第三大隊 「イ」、「ロ」陣地各右半部

同 第三大隊 「イ」、「ロ」陣地各左半部

同 第一大隊第一中隊 「イ」、「ロ」ノ主トシテ移動スル自動火器要スレハ嘴匠廟ノ側防機能

攻城重砲兵第一中隊 「イ」陣地後方家屋、「ロ」陣地後方要スレハ嘴匠廟陣地

尙砲兵隊長ハ各大隊ヨリ將校各一名ヲ白楊村第三大隊觀測所ニ集メ現地ヲ確認セシメ且航空寫眞ヲ交付シ副官井上少佐ヲシテ所要ノ説明ヲ爲サシム時ニ午後五時頃ナリ

砲兵隊長ハ午後七時三十分頃劍窩ニ歸來シ左ノ如キ戰闘計畫ヲ印刷交付シ明二十五日之ニ基キ行動スヘキヲ命令セリ

砲兵隊戰闘計畫

砲兵隊戰闘計畫

一方針

砲兵隊ハ主トシテ師團右翼隊正面敵陣地ノ據點「イ」ヲ先ツ破壊シ突撃支援ノ集中射撃ヲ行ヒ歩兵ヲ突

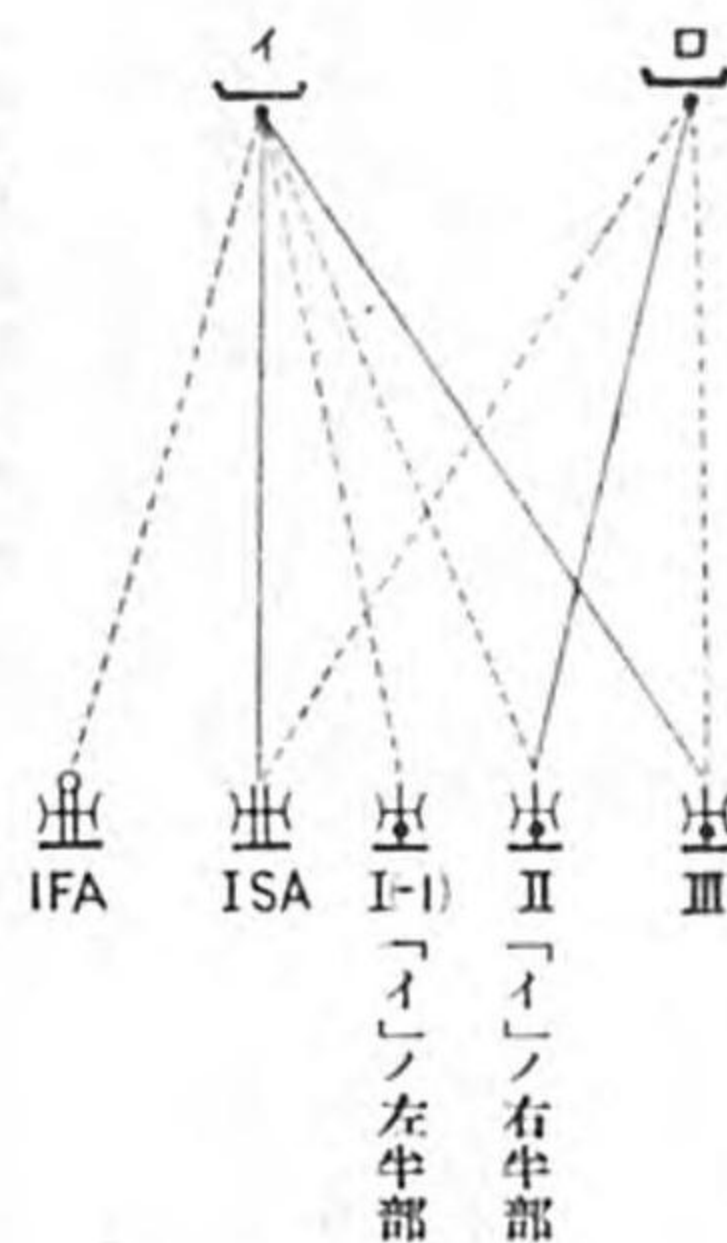
撃セシメ次テ「ロ」ノ突撃支援集中射撃ニ續イテ歩兵ノ該陣地突撃ヲ支援スル如ク戦闘ヲ指導ス。

二 戦闘指導ノ概要

一 效力射準備射撃

- 1 開始時刻 午前八時
- 2 實施時間 四十分
- 3 地點及順序 左圖ノ如シ

第一回
第二回



備考

- (一) 山砲兵第一大隊ハ第二回ノ時期ニ於テ左翼隊正面敵ノ出撃ヲ顧慮シ地物試射ヲ爲シ置クモノトス
- (二) 攻城重砲兵第一中隊ハ「イ」陣地南方嘴匠廟陣地ヲ試射シ右翼隊突撃支援射撃後之ニ對シ射撃スルモノトス

二 攻撃準備射撃

- 1 開始時刻 午前八時四十分
- 2 實施時間 一時間

3 配當目標及順序

效力射準備射撃ノ要領ニ準シ實施ス

障礙物ノ破壊ハ主トシテ山砲、散兵壕ノ破壊ハ主トシテ重砲ヲ以テ行ヒ特ニ重砲ハ「ロ」陣地

「コンクリート」製機關銃座ノ破壊ニ勉ム

三 突撃支援射撃

- 1 開始時刻 午前九時四十分
- 2 實施要領 左表ノ如シ

順序	目的	實施部隊	射撃地域	開始時刻	實施要領
「イ」陣地	殲	2BA II BA III BA ISA 1FA		午前九時四十分	FA 一門 二發 SA 一門 三發 BA 一門 五發 三分間
「ロ」陣地	滅	2BA II BA III BA ISA		午前九時五十分	SA 一門 三發 BA 一門 五發 三分間

考	備
一	集中射撃ノ爲重砲ハ破甲榴彈、山砲ハ著發榴彈ヲ使用ス
二	目標變換ノ爲十四分ヲ間スルモノトス
三	集中射撃實施ノ爲地域ノ配當ハ航空寫眞ニ依ル著名ナル地物ヲ基準トシテ實施ス
四	隨時現出スル目標ニ對シ臨機射撃セシムル爲GBA要スレハTBAヲ使用ス
五	特ニヒンハ飛行機トノ協力射撃ヲ爲シ得ル準備ヲ爲スモノトス 午前十時ニ至ラハ縦ヒ射撃中途ニ在リトモ之ヲ中止スヘキモノトス

四 使用彈藥ノ標準 概ネ一門一・二基數トシ左ノ如ク使用ス 註、一基數ハ山砲百發、重砲五十發トス

效力射準備射撃 約〇・一基數

攻撃準備射撃 約〇・六基數

突撃支援射撃 約〇・五基數

五 集中地域區分

要圖註、第五七六頁參照ノ如シ

六 其他

右翼隊ノ突撃支援後各隊ノ任務ヲ左ノ如ク豫定ス

- 1 混成第二十四旅團ノ戰鬥ニ協力 ISAノ一中隊
- 2 右翼隊配屬 IIBA
- 3 左翼隊攻撃ノ直接協同 GBA 及 ISAノ一中隊

注意

步兵突撃時機我カ第一線ヲ示ス爲ニ兵ノ背ニ手拭ヲ掛ケ其位置ヲ明示スルモノトス

山砲兵第二大隊長 少佐 松澤 浩 ハ午前十時砲兵隊長ヨリ計畫ノ大要ヲ承知シ午後二時頃觀測班長 中尉 廣石權三 ヲ右翼隊ニ派シテ諸打合セヲ行ハシメタリ

山砲兵第二大隊ノ準備

附記 觀測班長ハ右翼隊長ヨリ敵情第一線ノ狀況、右翼隊計畫ノ概要ヲ承知シ同隊長ニ砲兵ノ知得シアル敵情及大隊射撃實行計畫ノ腹案ヲ説明セシカ右翼隊長ヨリ特別ニ要求希望スル事項ノ開示ナカリシヲ以テ在普西步兵第三十六聯隊本部ニ到リ聯隊長ト概ネ前記ノ如キ協定ヲ達ケ次テ同聯隊第三大隊長等ト共ニ第一線近ク進出シ現地ニ就キ集中地域等ニ關シ打合セヲ行ヘリ當時步兵第三十六聯隊長ヨリ成ルヘク觀測所ヲ普西附近ニ推進スヘキ希望アリタレト同地ハ比較的的低クシテ觀測所ニ適セス特ニ「ロ」陣地方面ニ對スル視界十分ナラサリシヲ以テ砲兵ハ此希望ニ副フヲ得サリキ

觀測班長ハ次テ吳家宅附近ニ到リ同聯隊第二大隊長ト狀況ヲ交換シ邵甸宅ニ觀測所ヲ選定セリ

一方大隊長ハ自ラ觀測掛 少尉 阿野爲秋 ヲ伴ヒ吳家宅附近ニ於テ觀測所ノ偵察ヲ行フト共ニ敵陣地及第一線ノ狀況ヲ視察シ此間副官 中尉 松前未曾雄 ヲ山砲兵第三大隊ノ觀測所ニ派シ砲兵隊副官ヨリ所要ノ指示ヲ受ケシ

メ午後五時過觀測班長ノ選定セシ邵甸宅觀測所ニ到リ同五時七分ヨリ第四中隊ヲシテ「ハ」陣地、第五中隊ヲシテ「ロ」陣地ニ向ヒ效力射準備射撃ヲ實施セシカ時間ノ規正ナカリシ爲各大隊ノ射彈混淆シテ

觀測ニ困難ヲ來シ間モナク日沒トナレリ

附記 午後六時三十分頃觀測所ヲ撤シ梁殿宅ニ集結セリ

大隊長ハ午後十時十五分前記砲兵隊戰鬥計畫ヲ受領シ之ニ基キ同十一時命令ヲ下シ各中隊ヲシテ明朝午前六時マテニ射撃準備ヲ完了スヘキヲ示シ且左ノ如キ射撃實行計畫ヲ交付セリ

山砲兵第九聯隊第二大隊射撃實行計畫

一 效力射準備射撃

備考	第一回		第二回		備考
	地	陣	地	陣	
第二基點ハ竹園墩(圍墩)部落内ノ家屋 第三基點ハ麥家宅(登家宅)南端附近	「イ」	「ロ」	「イ」	「ロ」	至同八時四十分 著發信管
	基點二	基點三	基點二	基點三	
	榴霰彈	榴霰彈	榴霰彈	榴霰彈	備
	自午前八時	自午前八時	自午前八時	自午前八時	考
	榴霰彈	榴霰彈	榴霰彈	榴霰彈	
	既ニ得タル射撃成果ヲ 利用シ成ルヘク彈數ノ 節約ニ勉ムルヲ要ス	既ニ得タル射撃成果ヲ 利用シ成ルヘク彈數ノ 節約ニ勉ムルヲ要ス	既ニ得タル射撃成果ヲ 利用シ成ルヘク彈數ノ 節約ニ勉ムルヲ要ス	既ニ得タル射撃成果ヲ 利用シ成ルヘク彈數ノ 節約ニ勉ムルヲ要ス	

二 攻撃準備射撃

- 1 射撃開始時刻 午前八時四十分
- 2 實施時間 一時間「イ」、「ロ」各三十分
- 3 配當目標及順序
射撃目標ハ各中隊效力射準備射撃實施地點附近ノ主トシテ障礙物トス
順序ハ效力射準備射撃ニ同シ

三 突撃支援射撃

備考	第一回		第二回		備考
	地	陣	地	陣	
「イ」陣地ノ左三分ノ二	「イ」	「ロ」	「イ」	「ロ」	至同八時四十分 著發信管
	基點一	基點二	基點一	基點二	
	榴霰彈	榴霰彈	榴霰彈	榴霰彈	備
	午前九時四十分	午前九時四十分	午前九時四十分	午前九時四十分	考
	榴霰彈 一分間六發 三分間	榴霰彈 一分間六發 三分間	榴霰彈 一分間六發 三分間	榴霰彈 一分間六發 三分間	

四 使用彈藥ノ標準

- 一 門ニ付一・二基數トス
- 二 目標變換ノ爲十四分ヲ間ス
- 三 午前十時ニハ縦ヒ中途ニ在ルモ射撃ヲ中止スルモノトス
- 四 第一基點ハ廣東墓地ノ禮拜堂トス

山砲兵第一大隊

五 突撃支援射撃後大隊ハ右翼隊ニ配屬セラルル爾後ノ任務ハ別命ス

山砲兵第三大隊長^{少佐} 〆 午前十時砲兵隊計畫ノ大要ヲ示サレ午後一時三十分白楊村大隊觀測所^{敵陣地ニ}

面スル家屋二階ノ煉瓦壁ニ展望孔ヲ設ケタルモノニシテ視界廣ク且敵眼敵火ニ到リ此處ニ各中隊長及本部ノ機關ヲ集メ

ニ遮蔽シ觀測所ヲ求ムルコト困難ナル地形ニ於テ頗ル價値アルモノナリキ 現地ヲ指示シツツ大隊長ノ企圖ヲ示シ同四時十七分ヨリ「イ」、「ロ」、「ハ」ノ各目標ニ對シ第七、第八中

隊ヲシテ修正射ヲ實施セシメシカ此間歩兵第三十六聯隊ト連絡ノ爲連絡掛^{特務曹長}ヲ普西ニ派遣シ大

隊ノ射撃實行計畫ヲ通報セシメタレト歩兵ヨリ何等ノ要求ナク幾クモナク日没トナリシヲ以テ歩、砲

ノ現地ノ協定ヲ見ルニ至ラス二十五日午前一時五十分砲兵隊命令ヲ受領シ同六時五十分命令及射撃實

行計畫^{此計畫ハ戰間散逸セルヲ以テ掲載セズ}ヲ交付セリ

山砲兵第一大隊

山砲兵第一大隊長^{少佐} 〆 第二中隊ヲ以テ右翼隊ノ攻撃ニ參加セシムヘキ任務ヲ受ケ其計畫ヲ該中隊長ニ一任シ自ラ將來ノ戰況ヲ顧慮シ左翼隊長ノ許ニ到リ次テ歩兵第三十五聯隊本部ノ位置ニ進出シ協定スルトコロアリ^{第五九二頁參照}

附記 第二中隊長ハ砲兵隊ノ計畫ニ細部ヲ規定シアルヲ以テ特別ニ中隊ノ計畫ヲ作製セス右計畫ニ依リ諸準備ヲ整ヘタリ

野戰重砲兵第一大隊

野戰重砲兵第一大隊長^{少佐} 〆 午前十時砲兵隊長ノ許ニ到リ其計畫ノ大要ヲ知ルト共ニ陣地ヲ前方ニ推進スヘキ命令ヲ受領セシヲ以テ午後一時三十分各中隊ニ江灣競馬場ノ陣地ヲ撤シ陸家橋南側ニ陣地ヲ變換スヘキヲ命ス大隊ハ建制順序ヲ以テ翔般路、淤濕路、五權路ヲ經テ前進シ將ニ其先頭ヲ以テ天

樂寺西側橋梁^{一號}ヲ通過セントスルヤ忽然南方一杆江灣鎮東北端鐵道線路踏切及李家宅附近ノ敵陣地ヨリ猛烈ナル小銃及機關銃火ヲ受ケタリ

附記 大隊ハ豫メ一號橋附近ヲ通過スル際江灣鎮附近ヨリ射撃ヲ受クヘキヲ顧慮シ掩護ノ歩兵(歩兵第三十六聯隊第七中隊ノ一小隊)ヲ同橋梁西南側ニ配置シ砲手ヲ別路大樂寺ヨリ吳巷ヲ經テ前進セシメタリ

是ニ於テ先頭ノ第一中隊ハ直ニ駈歩ニ移リ中隊長大尉隅垂一ハ敵彈雨注ノ裡ニ鐵道線路踏切西方道路屈曲點ニ馬ヲ停メテ砲車ノ通過ヲ監視ス時ニ一砲架車ノ後馬敵彈ニ倒レテ道路ヲ閉塞シ一時困難ナル狀況ヲ現出セシカ中隊段列長^{軍曹}能ク其急ヲ救ヒ自ラ其前馬ヲ馭シテ陣地ニ進入スルヲ得タリ

此時劍窩南側ニ在リシ山砲兵第二中隊ハ此狀況ヲ知ルヤ周家宅附近ノ敵機關銃ヲ制壓シテ野戰重砲兵ノ陣地變換ヲ掩護シ此掩護ノ下ニ爾餘ノ中隊ハ砲車間ノ距離ヲ開キテ^{約五十}疾驅シ大ナル損害ナク^兵

午後五時頃大隊長ハ第三中隊ヲ以テ楊家沿附近ニ對シ試射ヲ行ハシメ同中隊ハ觀測所ヲ孫家宅、補助

觀測所ヲ普西西側ニ出シテ射撃ヲ實施セリ

大隊長ハ午後七時三十分砲兵隊戰闘計畫ヲ受領シ之ニ基キ左ノ如ク射撃實行計畫ヲ作製シ同十時之ニ依リ行動スヘキ大隊命令ト共ニ各中隊ニ交付セリ

野戰重砲兵第二聯隊第一大隊射撃實行計畫

一 效力射準備射撃

1 目標「ロ」

時刻 自午前八時至同八時二十分

彈種彈數 破甲榴彈二十發以内

2 目標「イ」

時刻 自午前八時二十五分至同八時四十分

彈種彈數 右ニ同シ

3 發射順序ハ大隊長之ヲ指示ス

二 攻撃準備射撃

1 目標「イ」

時刻 自午前八時四十分至同九時五分

彈種彈數 破甲榴彈約百發

2 目標「ロ」

時刻 自午前九時十分至同九時三十五分

彈種彈數 破甲榴彈約百二十發

3 實施要領別紙要圖

註、集中地域區分圖(第五七六頁砲兵隊集中地域區分要圖ト同シ)中「イ」、「ロ」各陣地ヲ三等分シ之ヲ各中隊ニ配當スノ如シ

三 突撃支援射撃

1 目標「イ」

時刻 自午前九時四十分至同九時四十三分

彈種彈數 破甲榴彈一門一分三發

2 目標「ロ」

時刻 自午前九時五十七分至同十時

彈種彈數 右ニ同シ

四 其他 註、此項ハ大隊命令本文中ヨリ便宜轉載セリ

各中隊ハ二十五日午前六時マテニ射撃準備ヲ完了スルモノトス午前十時以後第一中隊ハ混成第二十四旅團、第三中隊ハ左翼隊ノ戰闘ニ直接協力シ得ル如ク準備ス

攻城重砲兵第一中隊ノ準備

攻城重砲兵第一中隊長 大尉 淵山真英 ハ午前十時過砲兵隊計畫ノ大要ヲ受領シ午後二時四十分頃江灣競馬場時計臺上ニ觀測所ヲ推進シ同四時二十五分ヨリ同五時三十分ニ互ル間「イ」及「ロ」陣地ニ對シ效力射撃準備射撃ヲ實施セリ

其三 左翼隊

二月二十三日於

左翼隊長ハ二十三日午前八時頃ヨリ自ラ第一線ノ陣地ヲ巡視シテ將兵ノ志氣ヲ鼓舞激勵シ爾後ノ攻撃

準備ヲ命シ且夕刻來訪セル砲兵隊長ト爾後攻撃ニ際シ前、後郭家宅ニ集中射撃ヲ行フヘキコトニ關シ
 協定スルトコロアリ而シテ第一線ハ夜々トシテ攻撃陣地ノ推進ヲ續ケ且熾烈ナル敵彈下ニ在リテ彈藥
 糧食等ヲ補充セリ

此日山砲兵第一大隊ハ步兵第三十五聯隊ト密接ニ連絡シ前、後郭家宅ノ敵陣地特ニ機關銃ヲ制壓シ第
 一中隊ハ配屬砲兵トシテ午前十時頃劍窩附近ニ在リシ半部ヲ孫家宅西端主力ノ位置ニ推進シ此際小隊長
少尉森永四
郎兵衛負傷シ大隊副官長
中尉小笠原六男之ニ代ル 前面ニ於ケル敵機關銃ヲ求メテ之カ破壊ニ勉ム又野戰重砲兵第一大隊ハ午前九時
 過觀測斥候特務曹長
片岡三五郎ヲ顧家宅ニ進メ敵彈ヲ冒シテ後郭家宅附近ノ射撃ヲ指導セシメ大ニ步兵ノ志氣ヲ
 振起セシメタリ

附記 此野戰重砲兵ノ射撃ハ其精度十分ナラス步兵ニ危害ヲ及スノ慮アリシカハ幾クモナク之ヲ中止シ爾後同隊ハ我カ側背ニ危
 害ヲ與フル江瀧嶺北側ノ敵ヲ制壓セリ

左翼隊長ハ午後六時師團命令午後三時發九師作命第十
八號(第五四二頁參照)ヲ、同七時『攻撃ヲ二十五日ニ延期スヘキ』師團通
 報ヲ受領シ依然攻撃準備ヲ進ムルニ決シ同七時二十分命令ヲ下シ『狀況ノ許ス限り據點ヲ逐次推進ス
 ヘキ』ヲ示シ午後十時步兵第七聯隊第三中隊ヲ復歸セシメラレタ
ルニ付夜十二時之ヲ發射宅ニ招致シテ豫備隊トセリ 第一線タル步兵第三十五聯隊ハ之ニ基キ銳意攻
 撃陣地ヲ進メ且敵情ノ搜索ニ勉メ同聯隊配屬ノ山砲兵第一中隊長大尉
神森六郎ハ夜ニ入り第一線ニ進出シテ
 直接聯隊長及第一大隊ト連絡セリ而シテ聯隊長ハ午後十時三十分『第一線ハ左ノ目標ヲ占領スル如ク
 明日中ニ攻撃據點ヲ推進シ配屬砲兵中隊ハ敵ノ自動火器ヲ求メテ射撃スヘキ』ヲ命令シ且戰鬪地境

第二、第三大隊間顧家宅(顧家宅)北端ト後郭家宅北方約二百米略、東西ニ通スル水濠トヲ示セリ
 連メル線、第三、第一大隊間顧家宅(顧家宅)南端、前郭家宅北端、橫穿宅北端ヲ連メル線

- 第二大隊 嘴匠廟
- 第三大隊 後郭家宅
- 第一大隊 前郭家宅

二十四日午後四時過左翼隊長少將前原宏行ハ攻撃目標ヲ麥家宅(登家宅)、金家塘ニ限定スル旨ノ師團
 命令ヲ、又同十時三十分二十五日ノ攻撃ニ關スル師團命令午後九時發九師作命第二
十號(第五四七頁參照)ヲ受領ス而シテ左翼隊長
 ハ其與ヘラレタル任務ハ現陣地ニ在リテ爾後ノ攻撃ヲ準備シ主トシテ其配屬砲兵ヲ以テ右翼隊ノ攻撃
 ニ協力スルニ在リシカ右翼隊方面ノ戰況ニ依リテハ左翼隊ニ於テモ隨時攻撃ニ出ツルノ要アルヘキヲ
 豫想シ此場合數日來攻撃陣地ニ固著セル部隊ヲ驅ツテ直ニ之ニ應セシムルカ如キハ豫メ之ヲ準備セサ
 ル限リ時機ニ適合シ難キヲ常態トスヘク寧ロ最初ヨリ積極的攻撃ニ出テ機ニ應シテ之ヲ停止セシムル
 ヲ以テ有利ナリト爲シ斷然當面ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ尙本攻撃ニ於テ多クノ砲兵ノ協力ヲ期待シ得サ
 レトモ右翼隊ノ進出後一部ノ砲兵ノ協力左翼隊長ハ二十三日夕砲兵隊長トノ協定(第五七四頁後段
附記一參照)ニ依リ砲兵ハ當然協力スルモノト信シアリニ依リ戰果ヲ收
 メンカ爲攻撃開始ノ時機ヲ右翼隊進出後ニ選定シ左ノ命令ヲ下達印刷
配布セリ

六旅作命第十一號

左翼隊命令 二月二十四日午後十一時
 於梁股宅旅團司令部

左翼隊長
ノ攻撃企
圖及左翼
隊命令

ケル左翼
隊ノ左翼
長及左翼
第三十五
聯隊長ノ
攻撃準備
處置

- 一 敵ハ依然堅固ニ構成セラレタル陣地ヲ占據シ頑強ニ抵抗シアリ俘虜ノ言ニ依レハ我カ攻撃特ニ飛行機ノ爲極度ニ志氣沮喪シ戰意乏シキカ如シ
- 師團ハ攻撃ノ諸準備ヲ完了シ明二十五日更ニ攻撃ヲ再興シ其重點ヲ右翼隊方面ニ指向シ前面ノ敵ヲ突破シタル後大場鎮南北ノ線ニ進出ヲ企圖ス
- 二 左翼隊ハ明二十五日現在地ニ於テ攻撃ノ諸準備ヲ完了シ右翼隊ノ進出ニ伴ヒ嘴匠廟、前、後郭家宅ノ線ニ進出セントス
- 攻撃ノ重點ヲ後郭家宅ニ指向ス
- 三 第一線部隊ハ別紙計畫ニ基キ攻撃ヲ準備スヘシ
- 四 豫備隊ハ現在地註、梁ニ位置スヘシ
- 五 予ハ依然現在地ニ在リ二十五日午前十一時命令受領者ヲ出セ

左翼隊長 前原少將

左翼隊攻撃計畫

方針

左翼隊ハ二十五日先ツ現在ノ陣地ニ在リテ右翼隊方面ノ攻撃ヲ援助シ此間ニ於テ當面ノ敵ニ對シ攻撃ノ諸準備ヲ整ヘ右翼隊ノ攻撃ノ成果ニ伴ヒ逐次右翼方面ヨリ攻撃ノ進捗ヲ圖ル之カ爲先ツ後郭家

宅ノ陣地ヲ、次テ前郭家宅ヲ奪取シ諸偵察ヲ行ヒタル後嚴家橋ノ攻撃ヲ準備シ逐次穿貫的效果ノ擴大ニ勉ムルモノトス

指導要領

- 一 攻撃陣地ノ推進ハ二十三日夜ヨリ開始シ二十五日午前十時マテニ突擊陣地ヲ完成シ突擊ノ諸準備ヲ完了ス

此間配屬砲兵ヲ以テ右翼隊ノ戰鬥ニ協力セシム

- 二 砲兵隊ハ右翼隊ノ攻撃準備射擊終了後概ネ午前十時以後野戰重砲兵一中隊及山砲兵第一大隊配屬砲兵ヲ以テ左翼隊ノ攻撃ニ協力ス其射擊要領左ノ如シ

- 第一回 野戰重砲兵中隊及山砲兵大隊配屬砲兵ヲ以テ後郭家宅ノ陣地△陣地配屬砲兵ヲ以テ西部唐家舍西南側陣地

- 第二回 全火力ヲ以テ前郭家宅ノ陣地B陣地

- 第三回 全火力ヲ以テ嚴家橋ノ陣地C陣地

以上ノ順序ヲ以テ先ツA陣地ニ對シ約二十分間效力射準備射擊ヲ行ヒ引續キ約四十分間破壊射擊ヲ實施シ次テ以上ノ要領ニ依リB陣地、次テC陣地ニ指向スルモノトス

B陣地ニ對スル射擊間歩兵第三十五聯隊第一大隊ノ第一線ハ其危害ヲ被ラサル爲少クモ二百米後

方適宜ノ位置ニ後退スルモノトス

三 第一線ノ部隊ハ前項ノ砲兵射撃ノ最終弾ニ引續キ煙幕ヲ利用シテ直ニA陣地及其北方ニ連ル陣地ニ突入シ之ヲ奪取スルモノトス

次ニB陣地ニ對スル突撃モ前項ノ要領ニ依ルモノトス

四 以上ノ陣地ヲ奪取セハ之カ確保ニ勉メ當面ノ敵情地形ノ搜索ヲ行ヒ爾後ノ攻撃ヲ準備スルモノトス

步兵第三十五聯隊長ハ二十四日午前九時頃各大隊長第一大隊長ヲ除ク及山砲兵第一中隊長ヲ願家宅(願家宅)北方約三百米聯隊本部ニ集メ且折柄來會セル山砲兵第一大隊長ト共ニ爾後ノ攻撃ニ關スル打合セヲ行ヒ敵陣地ノ狀況特ニ敵重火器ノ位置ヲ砲兵指揮官ニ確認セシメ敵陣地及附近ノ地物ニ名稱ヲ附シ且十分ナル準備ヲ整ヘテ攻撃ヲ實施スヘキヲ命セリ

附記 山砲兵第一大隊長少佐石原重忠ハ步兵第三十五聯隊長等ト共ニ願家宅(願家宅)北方二百米附近ノ交通壕ニ到リ敵情ヲ觀察シ聯隊長ヨリ現地ニ就キ寫景圖ヲ以テ砲兵ニ對スル要求ノ説明ヲ受ケシカ其要求ハ全部敵機關銃ノ撲滅ニ在リシヲ以テ山砲兵第一大隊長ハ狀況ノ許ス限り此要求ニ應スヘキヲ告ケテ歸還セリ

爾後山砲兵第一中隊長ハ午後四時頃ヨリ嘴匠廟及前、後郭家宅ノ敵機關銃ヲ求メテ破壊ニ勉メタレト多數ノ機關銃ハ尙跳梁シテ猛威ヲ振ヘリ

聯隊長ハ午後十一時三十分左翼隊命令第五八九頁參照ヲ受領シ左ノ命令ヲ下達セリ

步兵第三十五聯隊命令 二月二十四日午後十一時三十分於孫家宅南側聯隊本部

一 聯隊當面ノ敵情大ナル變化ナシ

午後九時頃第二大隊正面ニ夜襲セシ敵ノ兵力ハ約三小隊ニシテ我カ火力ニ依リ敗退セリ

二 聯隊ハ明二十五日後郭家宅附近ノ敵陣地ニ突撃セントス

其時刻ハ後命ス

三 第二大隊、第三大隊第十中隊(一)小隊欠ハ左翼隊ノ計畫ニ基キ明拂曉マテニ後郭家宅ノ敵ニ對シ突撃準備ヲ完了スヘシ但突撃實施ハ午前十時以後實施スル野戰重砲兵ノ障礙物破壊後行フモノトス

四 第一大隊ハ第二、第三大隊ノ突撃ヲ容易ナラシムル如ク當面ノ敵ヲ制壓スヘシ

五 配屬砲兵中隊ハ明二十五日午前十時マテニ後郭家宅ノ敵陣地ノ側防機能ノ撲滅ヲ完成シ突撃ニ際シテハ後郭家宅ノ陣地攻撃ニ對スル阻止射撃、嘴匠廟及前郭家宅ノ敵機關銃ノ制壓射撃ヲ實施スヘシ

尙午前十時頃ヨリ步兵第三十六聯隊ノ唐舍註、金家塢ノ誤突撃ニ際シテハ之ヲ援助スルヲ要ス

六 豫備隊タル第十中隊ハ午前十一時願家宅(願家宅)ニ位置スヘシ

七 予ハ午前十一時願家宅(願家宅)ニ在リ

步兵第三十五聯隊長 德野大佐

注意

一 野戦重砲兵ノ破壊射撃及集中射撃間並飛行隊ノ爆撃時ハ突撃陣地ヨリ約三百米後退シ同射撃等終了後突撃陣地ヨリ突撃ヲ決行スルモノトス

野戦重砲兵隊ノ射撃並飛行隊ノ爆撃ニ關スル細部ニ就テハ別ニ示ス

二 突撃ニ際シテハ發煙筒ヲ以テ殘存スル側防機能ヲ無効ナラシムルノ著意ヲ要ス

各大隊ハ攻撃陣地ヲ推進シ拂曉頃マテニ聯隊本部ニ至ル交通壕ヲ略々完成セリ

附記 交通壕ノ完成ニ依リ後方ヨリノ補給大ニ容易トナリ二日間飲食意ノ如クナラサリ第一線ハ大ニ銳氣ヲ恢復セリ而シテ突撃陣地ハ第三、第一大隊ニ於テ敵前約百米、第二大隊正面ニ於テ約二百米ノ線ニ構成セリ

其四 混成第二十四旅團

二十三日混成第二十四旅團長ハ西方ニ對スル攻撃ヲ準備スル爲午前十時三十分命令混二十四旅作命 第三十一號ヲ下シ

步兵第四十八聯隊第一大隊步兵第十九聯隊第一中隊(一小隊欠)ヲ屬スヲシテ各一部ヲ以テ李家宅、南孫宅及金母宅ヲ占領セシ

メ主力ヲ以テ顧家宅附近ニ集結シテ旅團ノ右側ヲ掩護セシメ爾餘ノ部隊ヲシテ依然前任務ヲ續行セシ

ムル如ク部署ス而シテ第一線兩大隊特ニ右步兵第二十四聯隊第一大隊ハ敵ト近ク相對峙シ彈藥糧食ノ

補給困難ナル裡ニ在リテ現陣地ヲ補強シ逐次地步ヲ進メタリ

附記 步兵第二十四聯隊第四中隊ハ午前八時頃酒塘廟ヲ掃蕩シ俘虜ヲ得タリ(第五四一頁參照)

午後三時四十分頃旅團長ハ「午後三時二十分步兵三、四千名ノ敵縱隊馬橋宅大場鎮西端、北方二軒、李家樓廟巷鎮西

二月二十三日ニ於ケル旅團ノ態勢並陣地確保ニ關スル旅團長ノ部署

經テ廟巷鎮ニ向ヒ東進中』ナル師團通報飛行機報ニ基クヲ受領セシヲ以テ本夜極力現在ノ線ヲ保持スルニ決シ尙麥家宅(客家宅)附近ノ突出部ニ稍々危険ヲ感シタレトモ爾後ノ作戰ノ爲多大ノ流血ヲ以テ購ヒ得タル此地點ヲ確保スルヲ必要ト認メ午後四時四十分命令混二十四旅作命 第三十二號ヲ下シテ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 步兵第二十四聯隊第一大隊及步兵第四十六聯隊第一大隊第一中隊ヲ復歸スヲシテ警戒ヲ嚴ニシ現在ノ線ヲ固守セシム

二 步兵第四十八聯隊第一大隊ヲシテ候家木橋附近ヨリ金母宅ヲ經テ金馮宅西北端ニ互リ堅固ニ陣地ヲ占領シテ旅團ノ右側ヲ掩護セシム

三 步兵第十四聯隊第七中隊ヲシテ顧家宅附近ヲ堅固ニ陣地ヲ占領シテ旅團ノ右側ヲ掩護セシム

四 步兵第十九聯隊第一中隊一小隊欠ヲシテ朱家宅ヲ堅固ニ占領シテ旅團ノ右側背ヲ掩護セシム

五 戰鬪地境ヲ次ノ如ク定ム

步兵第十九聯隊第一中隊 南部孫家宅東端、李家宅西端ノ線

步兵第十四聯隊第七中隊 麥家宅客家宅北側東端、王家宅西端ノ線

步兵第四十八聯隊第一大隊 金馮宅、周行各西端ノ線

步兵第二十四聯隊第一大隊 故ノ如シ

步兵第四十六聯隊第一大隊

六 獨立山砲兵第二大隊工兵第二中隊ヲ屬スヲシテ既設陣地ニ在リテ夜間射撃ヲ準備セシム

七 豫備隊及衛生班ヲシテ旅團司令部ト共ニ白楊村ニ位置セシム

旅團長ハ豫備隊歩兵第十四聯隊第二大隊(第七、第八)ヲ率キテ午後六時頃順家宅出發、白楊村ニ到リ右翼隊長ト會シ同地ニ於テ二十四日攻撃ニ關スル師團命令午後三時發九師作命第十(第五四二頁參照)ヲ受領セシカ旅團ノ攻撃準備殊ニ彈藥ノ現況翌二十四日ノ攻撃ニ適セス右翼隊ノ狀況亦同様ナリシヲ以テ師團長ニ對シ攻撃實施ヲ二十五日ニ延期セラレタキ意見ヲ具申シ採用セラル

附記 旅團長ハ歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ左翼敵ニ暴露セルヲ以テ右翼隊長ニ其戰線ヲ推進センコトヲ要望セシカトモ採用セラレス

旅團長ハ白楊村ニ右翼隊司令部及其豫備隊アルヲ以テ午後八時三十分頃南齊家宅白楊村東北東方七百米ニ移リテ該地ニ露營セリ

附記 旅團長ハ衛生班ヲシテ白楊村ニ糞帶所ヲ開設セシメタリ

師團右翼隊ニ對スル協同力ノ爲メ旅團長ノ獨立山砲兵第二大隊ヲ部署ス

二十四日混成第二十四旅團ハ朝來一部ノ配備ヲ變更シ歩兵第十九聯隊第一中隊ハ午前七時頃原所屬ニ復歸セシム西方ニ對スル攻撃ヲ準備セシカ敵ノ妨害ニ依リ第一線ニ對スル補給意ノ如クナラサリシヲ以テ旅團長ハ午後五時頃ヨリ砲兵ヲシテ敵ヲ制壓セシメ其機ヲ利用シテ彈藥糧食ヲ送付シ且傷者ヲ收容後送セシメタリ

旅團長ハ午前師團長ニ對シ「師團ハ先ツ兵力ヲ集中シテ北方ノ敵ヲ擊破シタル後砲彈ノ到着ヲ待ツテ全線ニ互ル攻撃ヲ行フヲ可トシ且後退シアル師團右翼隊ノ右翼ヲ速ニ旅團ト同線上ニ推進セシムルヲ

要スル」旨意見ヲ具申セシニ北方ノ敵ヲ攻撃スル案ハ容認セラレサリシカトモ其他ハ同意ヲ得タルヲ以テ二十五日一部ヲ以テ右翼隊ノ攻撃ニ協力シ主力ヲ以テ依然現在ノ線ヲ堅固ニ占領シ爾後ノ攻撃ヲ準備スルニ決シ午後六時南齊家宅ニ於テ命令ヲ下シ第一線兩大隊ヲシテ工事ヲ補強シテ警戒ヲ嚴ニセシメ獨立山砲兵第二大隊ヲシテ一部ヲ以テ田園方面ヲ射撃シテ右翼隊ノ攻撃ヲ援助セシメ主力ヲ以テ第一線大隊正面ノ敵ヲ抑留スル如ク射撃ヲ準備セシメタリ

附記

旅團長ハ吳淞支隊ヨリ歩兵砲ヲ南齊家宅ニ招致シ(第五五一頁後段附記一參照)工兵一小隊ヲ梅園ニ出シテ師團主力方面ヨリ旅團方面ニ野戰重砲兵ヲ通スル如ク道路ヲ補修セシメタリ

獨立山砲兵第二大隊長ハ前記旅團命令ニ基キ午後七時麥家宅姚家宅北側ニ於テ左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

獨立山砲兵第三聯隊第二大隊命令ノ要旨

一 大隊ハ一部ヲ以テ田園方向ノ敵ヲ射撃シ師團右翼隊ノ攻撃ヲ援助シ主力ヲ以テ第一線大隊正面ノ敵ヲ抑留スル如ク射撃セントス

二 各中隊ノ任務左ノ如シ

第四中隊 廟巷鎮含以北王家宅ニ互ル間ノ敵重火器ノ制壓竝工事妨害使用彈數三十發以內トス

第五中隊 廟巷鎮含以南田園附近ニ互ル間ノ敵陣地主要部ノ制壓使用彈數五十發以內トス

細部ニ關シテハ觀測班長ヲシテ指示セシム

三 射撃開始ハ午前七時ト豫定スルモ別命ス

其五 飛行隊

二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、一月一日、二月一日、三月一日、四月一日、五月一日、六月一日、七月一日、八月一日、九月一日、十月一日、十一月一日、十二月一日

二十三日夜飛行隊長^{中佐鈴木越郎}ハ二十四日ノ爲「(一)江灣鎮西方地區、大場鎮北方地區間ノ寫真撮影、(二)午前中ニ江灣鎮西部及其北側ニ接スル兵營並兵營西側洋館ノ燒却、(三)敵陣地ノ變化並兵力移動ノ搜索、(四)南翔鎮方面ヨリスル敵軍増加ノ狀態搜索、(五)要スレハ敵機ノ攻撃」等ノ任務ヲ受ケ午後九時之ニ關スル命令ヲ下シ各中隊ニ夫々任務ヲ授ケシカ二十四日朝來雲低クシテ寫真撮影遂ニ不可能ナリシヲ以テ各飛行機ハ纒ニ斷雲ノ間ヨリ目視搜索ヲ行ヒタレト敵情大ナル變化ヲ認メサリキ

附記 燒却ハ燒夷彈ヲ携行セサル爲實施スルヲ得サリキ

飛行隊長ハ翌二十五日ノ爲左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

二 飛作命第二十六號

飛行隊命令(要旨) 二月二十四日午後七時五十分 於 公 大 大隊本部

- 一 敵ハ特ニ我カ飛行機ニ對シ極度ニ恐怖シアリ
- 二 飛行隊ハ明二十五日師團ノ攻撃續行ニ參加セントス
- 三 偵察中隊ハ明二十五日早朝飛行ヲ開始シ左記任務ニ服スヘシ
 - 1 第一中隊ハ搜索ニ關スル前任務ヲ續行スルト共ニ特ニ敵陣地ノ變化ヲ速ニ搜索スヘシ 指揮官任務機一機ヲ常時待機セシメアルヘシ

二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、一月一日、二月一日、三月一日、四月一日、五月一日、六月一日、七月一日、八月一日、九月一日、十月一日、十一月一日、十二月一日

2 第二中隊ハ搜索ニ關スル前任務ヲ續行スルト共ニ特ニ師團右側ニ於ケル敵情ノ變化ヲ搜索シ 尙一部ヲ以テ砲兵協力ニ任スヘシ一機^{偵察少尉桐畑嘉藤治}ハ地域寫真撮影ノ爲大隊長直轄機トシテ 明朝午前七時予ノ許ニ差出スヘシ

3 兩中隊ハ攻撃時歩兵ノ攻撃ニ協力スル目的ヲ以テ午前九時五十分ヨリ約一時間各一編隊^{機三}ヲ以テ威嚇ニ任スヘシ但第一中隊ハ右翼隊及左翼隊上空、第二中隊ハ混成第二十四旅團及右翼隊 上空ニ行動スヘシ

4 退却スル部隊ニ對シテハ機ヲ失セス主トシテ之ヲ爆撃スヘシ之カ地域ノ境界ハ江灣鎮西端、 真茹無電臺ヲ連スル線トシ其^含以南ヲ第一中隊、同^含以北ヲ第二中隊ノ地域トス

四 獨立飛行第三中隊ハ明早朝飛行準備ヲ完了シ主トシテ戰線上空ヲ巡邏シ敵機ノ驅逐及飛行場ノ 防空ニ任スヘシ

五 寫真班ハ桐畑機ノ撮影セル結果ヲ四通二十五日午後五時マテニ提出スヘシ

飛行隊長 鈴木 中 佐

第三款 攻撃實施 二月二十五日ノ狀況

其一 師團長ノ指揮^{附圖第十 九参照}

天候 二十五日快晴ナレトモ北西ノ寒風稍強シ

攻撃開始 師團右翼隊ハ概ネ拂曉頃マテニ諸準備ヲ完了シ命令一下直ニ行動ヲ發起シ得ルノ態勢ニ在リテ意氣正ニ敵ヲ呑ムノ概アリ

朝來海軍飛行隊ハ其堂々タル壯容ヲ以テ敵陣地ノ上空ニ出動シ豫定ノ如ク爆撃ヲ開始シ陸軍飛行機亦其颯爽タル勇姿ヲ連ネテ踴躍其任ニ就ケリ

午前八時ニ至ルヤ砲兵隊ハ一齊ニ沈黙ヲ破リ夫々計畫ノ如ク麥家宅(登家宅)、金家塘(金家塘)各東方陣地ニ對シテ砲撃ヲ實施シ殷々タル砲聲ハ轟々タル飛行機ノ爆音ト相和シ爆煙ハ天ニ沖シ砂塵ハ地ヲ捲キ其壯觀真ニ言語ニ絶スルモノアリ

師團長ハ第一次攻撃ノ際敵カ有力ナル部隊ヲ以テ我カ右側背ニ出撃シ來リシニ鑑ミ同方面ニ對スル警戒ノ爲師團豫備隊タル騎兵第一中隊一小隊欠、尙傳令トシテニヲ派遣スルニ決シ午前七時同中隊ニ「午前八時天樂寺出發、馬橋天樂寺北方向ニ前進シ油江上廟巷鎮東、北方三軒、張家宅油江上西北、方七百米、北孫宅油江上西、方七百米方向ノ敵情地形ヲ搜索スルト共ニ師團ノ右側背ヲ掩護スヘキ」ヲ命令セリ

附記 騎兵中隊ハ手馬ヲ殘置シテ出發シ午前八時三十分頃馬橋北北西方七百米姚家塘ニ到着シテ陣地ヲ占領シ直ニ將校及下士官ヲ長トスル各一分隊ノ斥候三組ヲ夫々油江上、張家宅及北孫宅方面ニ出シテ敵情ヲ搜索セシカ異狀ヲ認メス
中隊ハ午後四時ノ師團命令ニ依リ日没ヲ待ツテ天樂寺ニ歸還シ師團豫備隊トナレリ

師團長ハ午前八時三十分天樂寺出發、高境廟天樂寺北方七百米、高橋廟トモ稱ス、戰闘司令部當時梅園戰闘司令部ト稱セリニ移リテ戰闘ヲ

指揮シ師團參謀步兵大佐 實大ヲシテ右翼隊ノ指導ニ任セシメタリ

附記 一 師團豫備隊タル步兵第七聯隊ハ第一中隊(一小隊半欠)及第七中隊ヲシテ戰闘司令部ヲ、又第十一中隊ノ一小隊ヲシテ江灣莊

馬場ヲ警戒セシメ主力ハ天樂寺附近ニ位置シ直ニ前進シ得ル態勢ニ在リ

二 天樂寺西方鐵道線踏切附近ヲ通過スル人馬車輛ハ毎ニ江灣莊東部附近ノ敵陣地ヨリ射撃ヲ受ケシカ此日師團長以下數輛ノ自動車ヲ連ネテ此所ヲ通過シタレトモ一發ノ射撃ヲ受ケス江灣莊ノ敵ノ存否疑ハシキモノアリキ

飛行機ヨリ午前八時四十分「敵兵大場鎮方向ニ退却」トノ報告アリ又右翼隊ヨリモ同九時頃「我カ砲撃ノ爲敵兵動搖ノ色アリ」、次テ同九時三十分「敵兵退却開始」トノ報告アリシト雖當時尙突撃支援ノ集中射撃前ニシテ「俄ニ豫定ヲ變更シテ集中射撃ヲ中止セシムルハ通信連絡ノ關係上實行不可能ナリ」ト

ノ砲兵隊長ノ意見アリシカハ師團長ハ右翼隊ニ「計畫ノ時刻ニ突撃ヲ實施スヘキ」旨ヲ命令セリ

此頃右翼隊第一線ハ滿ヲ持シテ突撃ノ機ヲ窺ヒアリシカ我カ砲兵ノ集中射撃完了ノ機ニ乘シ午前九時四十分乃至十時ノ間先ツ「イ」陣地ニ、次テ「ロ」陣地ニ突撃シ忽チ敵ノ第一線ヲ奪取シテ之ヲ確保セリ

是ニ於テ師團長ハ右翼隊ニ更ニ戰果ヲ擴張スヘク命スルト共ニ午前九時五十分師團豫備隊ノ一中隊

同時頃左翼隊ヨリ「江灣鎮ノ敵西方ニ退却中」トノ報告アリ

附記 此報告ハ左翼隊配屬ノ山砲兵第一中隊長大尉神森六郎カ午前九時三十分頃楊家沿(當時島ノ集二軒屋ト稱セリ)附近ノ陣地

ヨリ百數十名ノ敵兵退却セルヲ目撃シ之ニ對シ追撃射撃ヲ實施セル旨左翼隊長ニ報告セシヲ誤リ傳ヘタルモノノ如シ。
 次テ飛行機ヨリノ報告砲兵協力ニ任シアリシ砲兵中尉 大沼清ヨリノ報告ナルカ如シニ依レハ我カ右翼隊正面ノ敵ハ續々大場鎮方向ニ退却中ナルヲ以テ此狀況ヲ各隊ニ通報スルト共ニ豫備隊ヲシテ有力ナル將校斥候ヲ以テ江灣鎮ノ敵退却ノ狀況ヲ搜索セシメシカ遂ニ何等ノ報告ニ接セザリキ

附記 歩兵第七聯隊長ハ午前十時頃第六中隊少尉森岡武吉及第九中隊特務曹長山中増太郎ノ兩斥候長以下各六名ヲシテ江灣鎮附近敵退却ノ眞偽ヲ確メシメタルニ午後五時過相前後シテ歸來シ敵兵尙後退ノ模様ナキヲ復命セリ

午前十時二十五分右翼隊長ヨリ「イ」及「ロ」陣地ヲ完全ニ占領セル旨事實ハ其第一線ヲ占領セルノミノ報告アリ次テ同十時三十分飛行隊ヨリ「江灣鎮西方陣地ノ敵ハ退却セリ而シテ大場鎮方向ヨリ出テ來ルモノト合シ江灣鎮、大場鎮ノ中間地區ニ據ルモノノ如シ」トノ報告到著セリ

乃チ師團長ハ右翼隊攻撃ノ進捗ニ鑑ミ午前十時三十分頃山砲兵一大隊第二大隊ヲ右翼隊ニ配屬シテ戰果ノ擴張ヲ企圖シ尙狀況ニ依リ左翼隊ノ戰線ヲモ推進スル爲同十一時豫備隊ヨリ一中隊歩兵第七聯隊第六中隊ヲ左翼隊ニ復歸セシメタリ

斯クテ正午ニ近ツクニ從ヒ彼我ノ銃砲聲漸次緩徐トナリシカ此頃一旦退却セシ敵ノ逐次反轉シ來ル徵アリシヲ以テ師團長ハ直ニ之ヲ第一線ニ通報シテ「其真相ヲ搜索スヘキ」ヲ命セリ

附記 正午頃江灣鎮馬場時兼砲兵觀測所ヨリ師團司令部ニ歸來セル砲兵中佐菟田康一ノ報告ニ依レハ右翼隊正面並揚家沿附近ノ敵ハ一時全線ニ互リ退却ヲ開始シタレトモ更ニ反轉陣地ニ就ケリト又午後得タル諜報ニ依レハ退却セシ敵ハ後方部隊ノ督戰ニ依リ反轉セルカ如シ

師團參謀
ノ右翼隊
指導

是ヨリ先右翼隊指導ノ爲戰線ニ派遣セル師團參謀歩兵大佐 實夫ハ午前九時三十分頃直路在普西步兵第三十六聯隊本部ニ到リテ戰況ヲ視察中當面ノ狀況逐次有利ニ進展シ第一線ハ忽チニシテ「イ」及「ロ」ノ陣地ニ突入シテ其最前線ヲ奪取シ聯隊長亦敵ヲ急追シテ一舉ニ大場鎮ニ向ヒ進出スヘキ決心ノ下ニ各大隊ニ「狀況ノ許ス限り前進スヘキ」ヲ命セシニ同十一時過右翼隊長ヨリ第一線ノ前進ヲ控制シ來リシカハ百方其前進ヲ慫慂スルトコロアリシト雖遂ニ果サス

附記 此狀況ハ普西、師團司令部間ニ直通ノ電話ナキ爲師團長ニ報告セラレス

右翼隊ノ
戰果擴張
中止

午後零時二十分右翼隊副官ヨリ爾後ノ戰鬪指導ニ關シ指示ヲ仰キ來リシカトモ當時師團戰鬪司令部所ニ於テハ第一線ノ真相及當面ニ於ケル的確ナル敵情明ナラサリシヲ以テ師團長ハ「第一線指導ノ爲現地ニ在ル谷參謀ノ指導ヲ受クヘキ」旨ヲ指示セシメタリ然ルニ同一時過再ヒ右翼隊副官ヨリ步兵第三十六聯隊ヲ更ニ續イテ攻撃前進セシムヘキヤ否ヤニ關シ問合セ來レリ
 師團長ハ當面ノ敵情並部隊ノ現況之ヲ許サハ固ヨリ戰果ノ擴張可ナレトモ本日ノ攻撃ノ目的ヲ達シタル現在ニ於テ師團長ハ右翼隊長ノ報告ニ依リ完全ニ「イ」及「ロ」陣地ヲ奪取セルモノト信シアリ強ヒテ攻撃ヲ續行スルノ要ナク混成第二十四旅團及左翼隊トノ連繫上ヨリスルモ獨り突出シテ多大ノ損害ヲ被ラシムルカ如キハ避クルヲ要スヘク尙爾後ノ攻撃準備ノ爲ニモ現在ノ線ニテ可ナルヲ以テ午後一時十分「此線ヨリ進出セサルヘキ」旨ヲ指示セリ

附記 谷參謀ハ右翼隊長ヨリ以上ノ如キ師團長ノ意圖ヲ承知シ午後二時過戰鬪司令部ニ歸來セリ

左翼隊ノ
前線ノ
家宅ノ
及其他ノ
正面ノ
状況

左翼隊長ハ右翼隊方面ノ成果特ニ敵兵退却ノ徴アルニ鑑ミ午前十時頃既ニ豫定ノ計畫ニ基キ前、後郭家宅ノ陣地ヲ攻略スルニ決シ砲兵隊ニ協力ヲ要求シタレトモ砲兵隊ハ準備彈藥不足ノ爲俄ニ之ニ應スルヲ得ス同十時三十分乃至午後二時頃ノ間一部ノ火力ヲ指向スルヤ敵兵動搖ノ色現レタルヲ以テ歩兵第三十五聯隊ハ此機ニ乘シ突撃ヲ敢行シ同四時頃マテニ後郭家宅、前郭家宅及其北方ニ連ル陣地ヲ占領シ師團將來ノ作戰指導上有利ナル態勢ヲ占ムルヲ得タリ

此日混成第二十四旅團ハ其砲兵ヲ以テ右翼隊ノ戦闘ニ協力シ主力ヲ以テ依然從來ノ戦線ニ在リテ爾後ノ攻撃ヲ準備ス吳淞支隊、海軍陸戰隊及其他ノ正面ニ於テハ狀況變化ヲ認メス

師團長ハ午後一時頃混成第二十四旅團長ヨリ「旅團ハ明後二十七日北方ノ敵ヲ攻撃シテ朱楊濱潮港鎮西南北ノ線ニ進出ヲ企圖スルヲ以テ第九師團山砲兵及野戰重砲兵ノ大部並飛行隊ヲ協力セシメラレタキ」旨ノ意見具申ヲ受領セシカ暫ク之カ指示ヲ保留セリ

附記 師團長ハ此意見具申ノ趣旨ニハ同意セシカ師團砲兵ノ大部分ヲ之ニ協力セシムルコトハ作戰上果シテ適當ナリヤ否ヤ尙十分考慮ノ餘地アルモノト爲セリ

此間師團長ハ飛行機ヨリ「四、五百名ノ敵ノ一集團「イ」及「ロ」陣地ニ向ヒ東進中ナリ」トノ報告午前九時五十七分砲兵協力ノ任務ヲ有スル砲兵中尉大沼清ノ寫セルモノニシテ何等カノ事情ニ因リ遲延シ午後二時三十分師團司令部ニ到着セリ ヲ受領セシカハ直ニ之ヲ右翼隊ニ通報スルト共ニ午後三時三十分頃ヨリ砲兵隊ヲシテ一部ヲ以テ飛行機ノ觀測ニ依リ大場鎮附近ヲ射撃セシメタリ 師團長ハ本日ニ於ケル師團ノ攻撃略々豫期ノ成果ヲ收メタルヲ以テ現在ノ戦線ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ

準備スル
師團命令

準備スル爲左ノ命令ヲ下達セリ

九師作命第二十一號

第九師團命令 二月二十五日午後四時 於梅園師團司令部(註、高境廟戰闘司令部所)

一 師團ノ攻撃ハ豫期ノ成果ヲ收メ第一線ハ概ネ麥家宅(客家宅)、麥家宅(登家宅)、金家塘、後郭家宅ノ線ニ進出セリ

麥家宅(客家宅)以北並江灣鎮以南ノ狀況變化ナシ

敵ノ第一線ハ一時擊退セラレタルモ後方部隊ノ督戰ニ依リ更ニ前方ニ推進セララルル等相當ノ混亂ニ陥リタルモノノ如シ

二 師團ハ現在地ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

三 第一線諸隊ハ現在地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ

混成第二十四旅團ハ特ニ北方ノ敵ニ對シ近ク攻撃ヲ實施スル目的ヲ以テ敵情地形ヲ搜索スヘシ

四 混成第二十四旅團ト右翼隊トノ戦闘地境ノ一部ヲ左ノ如ク更改ス
陸家橋江灣鎮馬場北、西北方二軒、白楊村中部、麥家宅(客家宅)南側閉鎖水濠麥家宅南、方三百米、田園北端以下從來ノ線

五 爾餘ノ諸隊ハ依然現在地ニ在リテ前任務ヲ續行スヘシ

六 給養ハ携帶糧秣ヲ使用スヘシ

其補充ハ明二十六日午前十時天樂寺師團糧秣交付所ニ於テス

七 予ハ天樂寺師團司令部ニ在リ

明二十六日午後二時命令受領者ヲ出スヘシ

第九師團長 植田 謙吉

附記 曩ニ右翼隊ニ増加セシ師團豫備隊ノ一中隊(步兵第七聯隊第七中隊)ハ右翼隊ノ現況其増加ノ要ナキニ至レルヲ以テ師團長ハ午後四時頃所屬聯隊ニ復歸ヲ命セリ

尙師團長ハ午後四時三十分翌日ノ爲飛行隊ニ左ノ任務ヲ與ヘタリ

師團長ノ任務ニハ飛行隊ノ飛航ハ任務ノ要ニ對シテ飛隊ニ對シテノ要及スル所ノ開及所ノ撤去

- 一 師團右側ノ搜索
- 二 大場鎮、眞茹鎮間敵陣地ノ寫眞攝影一分
- 三 敵後方部隊ノ移動及陣地變換狀態ノ搜索
- 四 師團主力前方ニ於ケル敵兵力移動ノ搜索
- 五 爾後三月一日マテニ瀏河口註、附圖、第五參照、七了口註、同上參照附近江岸ノ寫眞攝影一分
- 六 敵機ノ襲來時之ニ對スル攻撃

同時師團長ハ翌日ノ爲海軍飛行隊ニ對シ大場鎮及右側方面敵砲兵ノ爆擊、敵後方狀況ノ搜索竝敵機ノ監視ヲ要望シタル後午後四時五十分戰闘司令所ヲ去リテ天樂寺師團司令部ニ歸還セリ

師團豫備

師團長ハ左翼隊方面ノ戰況ニ鑑ミ午後五時頃步兵第七聯隊主力ヲ同隊ニ増加シテ江灣鎮西端附近ノ占

隊ノ行動

領ヲ命スルト共ニ右翼隊ヨリ步兵一大隊ヲ師團豫備隊トシテ招致セシカ間モナク江灣鎮ノ敵未タ撤退セサルコト判明シ且日沒トナリシヲ以テ步兵第七聯隊ノ増加ヲ中止セリ

敵ノ夜襲
並敵家橋
ノ占領

附記 步兵第十九聯隊第三大隊(第十一中隊欠)ハ午後八時三十分頃師團豫備隊トシテ天樂寺ニ到着セシヲ以テ師團長ハ之ヲ梅園ニ到ラシメ同地無名廟ニ露營セシメタリ

夜ニ入り左翼隊正面ニ稍々眞面目ナル敵ノ夜襲アリシカ同隊ハ之ニ大ナル損害ヲ與ヘテ撃退シ二十六日拂曉歩兵第七聯隊第六中隊午後三時四十五分歩兵第三十五聯隊ニ配屬ハ敵ノ撤退ニ乘シ嚴家橋ヲ占領セリ

其二 右翼隊(步兵第十八旅團)方面ノ狀況

甲 右翼隊長ノ指揮及步、砲、飛ノ協同

右翼隊ノ第一線ハ徹宵攻撃準備ヲ進メ拂曉頃マテニ略々之ヲ完了セリ

右翼隊長
ノ激勵

右翼隊長少將小野幸吉ハ午前六時普西ニ到リテ步兵第三十六聯隊長ニ會シ次テ同聯隊第三大隊ノ第一線陣地ヲ巡視シテ將兵ヲ鼓舞激勵セリ

海軍飛行
隊ノ爆撃

午前七時前後海軍前進基地飛行隊ノ攻撃機九機大尉小田原俊彦、同曹久恒雄、中尉崎長嘉郎ヲハ金家塘及楊家沿各一長トスル三編隊(一編隊ハ三機ヨリ成ル)附近ノ上空ニ飛來シ約一時間壯烈ナル爆撃ヲ敢行三十挺彈彈四セリ

附記 此日ニ於ケル海軍飛行隊ノ爆撃ハ主トシテ金家塘以南江灣鎮西端附近ニ指向セラレ其以北ニハ實施セラレス(第六〇九頁

後段附記參照)

砲兵隊ノ
效力射撃

砲兵隊ハ午前八時ヨリ豫定ノ計畫ニ基キ「イ」及「ロ」陣地ニ對シ效力射撃準備射撃ヲ開始シ同四十分頃マ

備射撃
テニ完了ス當時太陽ヲ背ニシ目視極メテ明瞭ニシテ既ニ效力射準備射撃間著々效果現レ敵ノ掩蓋機關銃座ノ飛散スルモノアリ

各大、中隊ハ狀況ノ許ス限リ觀測所又ハ補助觀測所ヲ前方ニ進メ且所要ノ人員ヲ出シテ當面ノ歩兵ト連絡シツツ觀測及連絡ニ任セリ

附記 山砲兵第三大隊長ハ前日來自楊村觀測所ニ在リ午前六時三十分大隊連絡掛特務曹長野口龍之助ヲ在普西步兵第三十六聯隊本部ニ派遣シテ連絡ニ任セシメ山砲兵第二大隊長ハ丁家宅觀測所ニ位置シ午前五時三十分觀測斥候トシテ大隊觀測掛少尉阿野爲秋及第四中隊特務曹長北島仙之助ヲ吳家宅附近ニ出シテ觀測ヲ補助セシメ野戰重砲兵第一大隊長ハ大、中隊ノ觀測所ヲ梅園西北方無名廟(第一中隊ハ白楊村)ニ設ケ第二、第三中隊ヲシテ補助觀測所ヲ普西ニ出サシメタリ

又飛行隊ハ一機偵察砲兵中尉大沼清ヲ以テ射彈ノ觀測ニ協力セリ

砲兵隊ノ準備及射撃ノ隊行

午前八時四十分ニ至ルヤ砲兵隊ハ攻撃準備射撃ニ移リ先ツ山砲兵第三大隊ヲ以テ「ロ」陣地、其他ノ主力ヲ以テ「イ」陣地ヲ射撃シ概ネ同九時頃山砲兵第二大隊及野戰重砲兵第一大隊ヲ以テ「ロ」陣地、其他ヲ以テ「イ」陣地ニ目標ヲ變換シ山砲兵第二中隊及攻城重砲兵第一中隊ハ依然「イ」陣地ヲ射撃ス砲聲般々トシテ敵ノ心膽ヲ奪ヒ既ニ同八時五十分頃「ロ」陣地ノ散兵壕ヨリ二、三十名ノ土民土工其他ノ用務ニ使用セラレアリシカ如シノ一群ニ次テ正規兵ノ逸出逃走スルヲ見タリシカ「イ」陣地ノ敵ハ我カ砲擊ノ間斷ヲ利用シ金家塘ヨリ第一線ニ増援シ破壊セラレタル陣地ヲ修復シ執拗ナル抵抗ヲ續ケタリ

山砲兵第三大隊長少佐渡邊望ハ敵兵ノ「イ」及「ロ」ノ陣地ヨリ退却スルヲ目撃シ午前九時十五分頃獨斷第七

中隊ヲ以テ「ロ」陣地、第八中隊ヲ以テ「イ」陣地正面ニ對シ射程ヲ延伸シツツ退却スル敵兵ヲ猛射セシカ同九時三十分頃「イ」陣地前面ニハ友軍歩兵近ク接近シ集中射撃ハ動モスレハ之ニ危害ヲ與フルノ虞アリシト敵兵既ニ退却ヲ開始セシトニ依リ此射撃ヲ中止スルヲ適當トスル旨砲兵隊長ニ意見具申セシカトモ採用セラレザリシテ以テ若干射程ヲ延伸シテ突撃支援射撃ヲ行フニ決セリ

附記 第三大隊以外ノ隊ニシテ退却セル敵ニ對シ追撃射撃ヲ行フヘキ意見ヲ具申セルモノ多カリシカ砲兵隊長ハ從來我カ砲擊ヲ免レテ殘存セル敵自動火器カ砲擊ノ止ムニ乘シ再ヒ猛威ヲ振ヒ我カ攻撃奏功セザリシ經驗ニ鑑ミ徹底的ニ敵ニ殲滅的打撃ヲ與ヘテ我カ砲兵ノ威力ヲ示サントシ火力ノ分散ヲ戒メ計畫通り集中射撃ヲ斷行スヘキヲ命セリ但突撃支援射撃開始マテノ時間ヲ利用シ獨斷追撃射撃ヲ行ヒ多數ノ彈藥ヲ發射セシ中隊アリキ

此頃午前九時十五分頃我カ海軍前進基地飛行隊ノ攻撃機各三機ヨリ成ル三編隊長大尉佐多直大、同松本眞實、同平林長元出動シ來リ金家塘附近ヨリ南方江灣鎮西端ニ至ル間ニ互リ爆撃ヲ實施シ二百四十疋爆彈十發、三十疋爆彈二十三發ヲ投下ス其噴煙天ニ沖シ一大壯觀ヲ呈セリ

附記 此爆撃ハ第一回ノ爆撃ト共ニ師團ノ攻撃重點タル「イ」及「ロ」ノ陣地ニ集中セラレス主トシテ左翼隊正面ニ指向セラレ一部ノ爆彈ハ誤ツテ歩兵第三十五聯隊第二大隊ノ陣地附近ニ落下セシト雖其威力ハ楊家沿、前、後郭家宅及嚴家橋並江灣鎮凸角陣地ニ於ケル敵ヲ壓倒シタルモノノ如ク此日午後實施セル左翼隊ノ前、後郭家宅ノ攻略、二十六日拂曉ニ於ケル嚴家橋ノ占領ニ與ツテ力アリシノミナラス楊家沿及凸角陣地前面ノ水濠内ニ落下セシ二百四十疋ノ爆彈ハ此水濠ノ一部ヲ埋填シテ通路ヲ形成シ三月一日第三次攻撃ノ際ニ於ケル突撃路トシテ左翼隊ノ利用スルトコロトナレリ(第八三四、第八五〇頁參照)

砲兵隊ノ突撃支援ノ集中射撃

午前九時四十分トナルヤ師團ノ重、輕砲總計三十六門ヲ以テスル突撃支援ノ集中射撃ハ先ツ「イ」陣地ニ向ツテ開始セラレタリ

此射撃ニ於テ金家塘東側陣地ハ全ク塵煙ニ覆ハレ掩蓋ハ粉碎セラレ鐵條網ハ飛散シ林立スル土砂ノ噴煙中ニ支那兵ノ兵器ト共ニ數米ノ上方ニ奔騰スル等光景轉々壯絶ヲ極ム 挿繪 参照
 スクテ四百二十二發ノ重、輕砲彈ハ僅々三分間ニシテ正面三百米、深サ百米ノ地域ニ集中ス 一砲ニ對シ山砲彈約百發、重砲彈約三十五發
 乃チ歩兵第三十六聯隊第一大隊ハ其終了ト共ニ「イ」陣地ニ突撃ヲ敢行セリ

附記 當時後方ヨリ展望スレハ第一線將兵ノ背ニスル白手拭、振り鬚ス白双ハ旭光ニ反映シ頗ル壯觀ヲ極メタリ

次テ砲兵隊ハ同九時五十七分「ロ」陣地ニ射向ヲ轉移シ再ヒ壯烈ナル突撃支援射撃ヲ實施 三分間ニ於ケル射彈三百四十八發
 シテ同聯隊第二、第三大隊ノ突撃ヲ誘起シ敵ノ心膽ヲ寒カラシメタリ

附記 「ロ」陣地ニ對スル集中射撃ノ際ハ敵兵ノ大部既ニ退却後ナリシヲ以テ諸隊ハ概ネ射程ヲ延伸シ特ニ野戰重砲兵第一大隊ハ主トシテ麥家宅(登家宅)附近ノ第二線陣地ニ據レル敵及退却中ノ敵ヲ猛射セリ

砲兵隊ノ協同配屬

砲兵隊長ハ前記ノ射撃終了スルヤ第三大隊ニ右翼隊直協ヲ命シ午前十時三十分頃師團命令ニ依リ第二大隊ヲ同隊ニ配屬セリ

附記 敵第一線陣地攻略後ニ於ケル砲兵ノ運用ハ専ラ直協及配屬砲兵ヲ以テ歩兵ノ戰闘ヲ支援スルニ在リシカ步、砲ノ協調ニ關スル當初ノ準備ヲ周到ナラシムルノ餘裕ナカリシ爲ニ敵後兩者ノ意志疏通セス歩兵ノ陣内戰ヲ開始スル頃ニ至ルヤ全ク砲兵ノ協力ヲ缺クノ結果トナレリ

右翼隊備隊ノ增加

右翼隊長ハ午前八時普西ヨリ白楊村西南端ニ歸來シ同所ニ在リテ以上ノ狀況ヲ視察シアリシカ午前十時頃歩兵第三十六聯隊各大隊ノ突撃ヲ決行スルヲ見ルヤ豫備隊ヨリ一中隊 歩兵第十九聯隊第十中隊ヲ先ツ普西ニ急進セシメ次テ之ヲ歩兵第三十六聯隊ニ増加配屬セリ

撃射中集ノ坂攻撃突ルメ對ニ陣地「イ」方東塘家金



(裏面説明参照)

午前九時四十分過ノ戦況ニシテ我カ散兵壕内ニ在リテ砲撃ノ光景ヲ觀望シツツアルハ突撃直前ノ歩兵第三十六聯隊第一大隊ノ第一線ナリ而シテ地上ニ敷置セル國旗ハ大軍飛行機ニ對スル戰線標示用ニ供セルモノトス

右翼隊長ノ第一線ノ前進ノ配屬ノ砲兵ニ對スル處置

午前十時三十分頃歩兵第十九聯隊長ヨリ田園附近ノ敵兵退却ノ狀況ヲ報告シ且攻撃前進ノ意見ヲ具申シ來リシカ右翼隊長ハ暫ク同聯隊ノ行動ヲ控制スルト共ニ午前十時四十分頃歩兵第三十六聯隊長ニ命スルニ『一部ヲ以テ敵ヲ追撃シ主力ヲ以テ占領地點ヲ確保シ速ニ占領工事ヲ施スヘキ』ヲ以テセリ

此頃『師團豫備隊ノ一中隊歩兵第七聯隊第七中隊ヲ右翼隊ニ増加スヘキ』師團命令アリ同十一時三十分頃同隊白楊村ニ到着セシカハ右翼隊長ハ之ヲ歩兵第十九聯隊長ノ指揮ニ入レタリ

附記 右翼隊長ハ歩兵第三十六聯隊長ヨリ谷參謀ノ意見ヲ傳ヘ大場嶺方向ニ追撃スルノ可否ヲ問合セ來リシカ現ニ目撃スルトコロニ依ルモ敵兵退却セス後方村落ヲ占領シアリテ之カ攻撃ノ爲ニハ新ナル計畫ヲ必要トスルモノト爲シ同聯隊ノ行動ヲ控制セリ

正午頃右翼隊長ハ配屬砲兵タル山砲兵第二大隊ニ『白楊村附近ニ陣地ヲ變換スヘキ』ヲ命ス而シテ午後二時三十分頃同砲兵ハ白楊村北側ニ陣地進入終レルヲ以テ右翼隊長ハ翌二十六日ノ爲ノ射撃準備及本夜敵襲ヲ顧慮シ右翼隊正面ニ對スル阻止射撃ヲ準備セシメタリ

附記 山砲兵第二大隊ノ大、中隊長ハ午後四時頃吳家宅ニ進出シ敵情地形ヲ搜索シ同四時三十分第四中隊ヲ以テ妻家宅(登家宅)第五中隊ヲ以テ田園ニ對シ射撃修正ヲ爲セリ

右翼隊長ハ午後一時過師團長ヨリ『現在地ヲ確保シテ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘキ』指示ヲ受ケシヲ以テ之ヲ兩聯隊ニ傳フ然ルニ同四時頃歩兵第七聯隊ノ一中隊ヲ、又同五時頃歩兵第十九聯隊ノ一大隊ヲ『即刻師團豫備隊トシテ差出スヘキ』師團命令アリシカハ同五時過歩兵第十九聯隊ノ一中隊第五中隊ヲ招致シ

陣地確保等ニ關スル右翼隊命令及夜ニ於ケル狀況

次テ同五時三十分白楊村ニ於テ左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

右翼隊命令ノ要旨

- 一 當面ノ敵ハ田園、金家碼頭東端ノ線ニ退却セシモノノ如ク該線ニハ相當堅固ナル陣地ヲ有スルモノノ如シ

江灣鎮ノ敵ハ西方ニ退却中ニシテ左翼隊ハ後郭家宅、嚴家橋ノ線ニ進出中ナリ
註、午後四時三十分頃左翼隊通報及師團通報ニ依ル

- 二 右翼隊ハ本日奪取セシ陣地線ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

混成第二十四旅團トノ戰鬪地境ハ陸家橋、白楊村、孟家宅南端、田園、童江宅ヲ連スル線トス

- 三 第一線兩聯隊ハ現在ノ線ヲ確保シ各々從來ノ戰鬪地域内ニ於ケル敵情地形ヲ搜索スヘシ

特ニ敵ノ恢復攻撃ニ對シ其地點ヲ守備スルヲ要ス又步兵第三十六聯隊ハ左翼隊ト連絡スヘシ

步兵第十九聯隊第十中隊ハ直ニ原所屬ニ復歸セシムヘシ

- 四 山砲兵第二大隊ハ白楊村附近ノ陣地ニ於テ明日ノ爲射撃準備ヲ行ヒ且本夜敵ノ夜襲ヲ顧慮シ右翼隊正面ニ射撃ヲ準備スヘシ

步兵第十九聯隊第三大隊ハ師團豫備隊トナリ直ニ天樂寺ニ到ルヘシ

- 五 步兵第七聯隊第七中隊ハ速ニ所屬ニ復歸スヘシ

步兵第七聯隊第七中隊ハ速ニ所屬ニ復歸スヘシ

六 步兵第十九聯隊第五中隊及工兵中隊長ノ指揮スル半小隊ハ豫備隊トシテ白楊村ニ位置スヘシ

附記 步兵第十九聯隊第五中隊ハ午後五時三十分白楊村ニ到着シテ同聯隊第三大隊(第十、第十一中隊欠)ト交代シ同大隊ハ同七時頃同地出發、天樂寺ニ向ヒ(第十中隊ハ間モナク普西ヨリ白楊村ニ歸來シ大隊ニ追及ス)步兵第七聯隊第七中隊ハ同四時頃白楊村出發、同四時三十分頃天樂寺ニ歸還セリ

午後九時右翼隊長ハ師團命令午後四時發九師命令第二十一號(第六〇五頁參照)ヲ受領シタレト別ニ處置スルトコロナク各隊ハ現在地ヲ確保シテ夜ヲ徹セリ

此夜數回步兵第三十六聯隊正面ニ敵襲アリシカトモ直ニ之ヲ擊退セリ

乙 步兵第三十六聯隊方面ノ狀況

突撃準備

步兵第三十六聯隊ノ各大隊ハ拂曉前飛行機ノ爆撃ヲ顧慮シテ敵陣地ヨリ二百乃至三百米ノ線ニ退避セシカ午前八時砲撃開始セララルヤ逐次第一線突撃陣地敵前概ネ百五十米ニ推進シテ突撃準備ヲ完了シ將兵ハ頭ヲ舉ケテ我カ砲撃ノ光景ヲ觀望シツツ悠然トシテ突入ノ機ヲ窺ヘリ

我カ砲兵ノ射撃ハ精度良好ニシテ效果著々顯レ敵兵漸ク動搖ノ色アリト雖「イ」陣地方面ノ敵ハ尙頑強ニ抵抗ヲ繼續セリ

第一大隊ノ突撃及陣内戰

午前九時四十分「イ」陣地第六一四、第六一五頁寫眞參照ニ向ヒ百雷ノ如キ鐵槌的集中射撃開始セララルヤ當面ノ第一大隊ノ志氣頓ニ高調シ同四十三分其最後ノ砲彈ニ尼シテ一齊ニ突撃ニ移リ第二中隊機關銃二銃及工兵半分隊ヲ屬スハ右、第三中隊機關銃一銃、工兵半分隊ヲ屬スハ左第一線トナリ何レモ二小隊ヲ第一線ニ展開シテ一舉ニ敵前五、六十米ノ線ニ

金家塘附近

二月二十五日朝ノ状況



躍進シ一瞬停止ノ後再ヒ前進ヲ起セリ。

附記 此時我カ重砲第一線ノ直後ニ落達セシモノアリ蓋シ砲手ノ操作ハ計畫ノ如ク一分間ニ三發ノ發射速度ヲ出ス能ハス最終ノ射彈ヲ強ヒテ撃拂ヒタル爲ナルカ如シ

然ルニ敵兵尙頑強ニ抵抗シ我カ砲撃ノ止ムヲ待チテ熾ニ猛射ヲ注キ第二中隊長大尉中島徹、第三中隊長大尉等原善修、同小隊長少尉西島常治相前後シテ負傷シ分隊長以下死傷續出セシト雖將兵之ニ屈セス豫メ準備セル豫備隊喇叭手ノ突撃號音ノ吹奏並後方ヨリスル重火器ノ支援ニ依リ志氣益々振ヒ勇ヲ鼓シテ敵陣地ニ突入スルヤ敵兵一齊ニ退却ヲ開始セリ

附記 我カ集中射撃ノ射彈ノ稠密部ハ金家塘ト敵第一線陣地トノ中間ニ在リ從テ陣地内ニハ比較的多数ノ敵殘存シテ集中射撃終了ト共ニ再ヒ射撃ヲ開始セルモノトス

同時機關銃中隊ハ機ヲ失セス第一線ニ追及シ歩兵砲隊ハ平射分隊ヲ以テ廣東墓地禮拜堂附近ノ

金家塘東側ノ陣地

戰後ノ状況



敵陣地ヲ、又曲射小隊ヲ以テ楊家沿及沈家附近ノ敵側防機關銃ヲ制壓シテ第一線ニ協力ス斯クテ大隊ノ主力ハ我カ砲彈ノ破壊口ヨリ鐵條網ヲ越エテ敵陣地ニ進入シ殘敵ヲ一掃ス時ニ午前十時十五分ニシテ兩中隊ハ算ヲ亂シテ退却一部ハ處々ニ停止シテ抵抗ススル敵ニ追躡シ第二中隊ヲ以テ概ネ金家塘北側ヨリ、第三中隊ヲ以テ金家塘部落内ヨリ前進シ機關銃中隊ハ主力ヲ以テ右中隊方面ニ進出シテ退却スル敵ヲ射撃ス此頃傭匠廟及楊家沿附近ノ敵機關銃ハ砲火ノ制壓ヲ免レテ熾ニ我カ左翼ヲ側射シ之カ爲第三中隊ハ死傷相次キ頗ル苦戰ニ陥リシカハ中隊豫備隊長少尉屋代二三ハ獨斷部下小隊ヲ左ニ増加シ大隊ノ左翼ヲ掩護シツツ楊家沿方向ニ前進セリ

此間大隊長少佐森川浩平ハ豫備隊タル第一中隊一小隊ヲ提ケ右第一線中隊ニ續行シテ攻略セル敵陣地ニ進出シ豫備隊ヨリ二組ノ掃蕩隊各組六名、手榴彈及燒却材料ヲ携行スヲ部署シ一意金家塘西端ニ進出ヲ企圖セシカ午前十時稍、過第三大隊方面突撃開始ノ狀況ニ鑑ミ機關銃一小隊及豫備隊ノ主力ヲ金家塘北側ニ出シテ側面ヨリ其突撃ヲ援助セシメ第一中隊ノ小銃一分隊及工兵一分隊ヲ大隊豫備隊トシテ掌握セリ

大隊ノ第一線ハ左側ヨリノ敵ノ側射ヲ受ケツツ逐次前進ヲ續行シ午前十一時頃概ネ金家塘西端ニ進出セシヲ以テ大隊長ハ右ヨリ第一、第二、第三中隊ノ順序ニ併列シ機關銃中隊ヲ第一線ニ進メテ「四車頭ニ追撃スヘキ」ヲ命セリ

附記 此頃聯隊長ヨリ第三大隊ノ戰鬪ヲ援助スヘキ命令到達セリ

退却セル敵ハ竹園墩(團墩)ヨリ廣東墓地ニ互ル第二線陣地ニ停止セルモノノ如ク竹園墩及沈家附近ヨリノ十字火殊ニ烈シク第三中隊ハ午前十一時三十分頃金家塘西南方約百五十米ニ進出シテ前進漸ク困難トナリ中隊長代理少尉佐治文哉堆土上ヨリ敵情ヲ確メントスルヤ頭部ヲ射貫セラレテ即死ス一方第二中隊長代理少尉ハ金家塘西方百米ノ水濠ニ妨ケラレ且竹園墩東側陣地ヨリノ側射ヲ受ケテ前進スル能ハス當時我カ砲兵ハ午前十一時頃マテ一部ノ射程ヲ延伸シテ退敵ヲ射撃シアリシカ敵兵ノ第二線陣地ニ就クト共ニ射撃ヲ中止シ大隊ニ最モ痛苦ヲ與フル敵機關銃ニ對シテハ一發ノ射彈モ指向セラレス第六頁後段附記參照唯歩兵砲午前十一時頃金家塘ニ進出ノ平射分隊ヲ以テ竹園墩、曲射小隊ヲ以テ沈家附近ヲ射撃シアルニ過キス此頃第一線特ニ機關銃ノ彈藥刻々ニ缺乏シ加之機關銃中隊長中尉末松巖負傷シ茲ニ大隊ハ中隊長ノ大部ヲ失ヒ爾後ノ前進愈々困難トナレリ是ニ於テ大隊長ハ副官少尉伊藤新作ヲ第三中隊ニ派シテ戰況ヲ視察セシメシカ時恰モ沈家附近ニ敵兵漸次増加シ逆襲ノ徵アリ而モ中隊ノ死傷漸ク多ク狀況轉々慘タリ

附記 第三中隊ノ機關銃第七分隊ハ直ニ増加セル當面ノ敵ヲ射撃シタレトモ分隊長以下殆ト全員負傷シ小銃分隊ノ援助ニ依リ射撃ヲ繼續ス會、中隊ノ小銃、輕機各一分隊ハ獨斷左前方約百米ノ堆土(敵第二線陣地ノ一部)ニ挺進シ忽チ該地ヲ占領ス此時敵兵近迫シ來リテ手榴彈ヲ投シ兩分隊協力シテ應戰セシト雖分隊長上等兵清水照雄ノ外全員死傷スルニ至ル

午後一時三十分頃敵兵少クトモ七、八十名尙後續隊アルカ如シ廣東墓地方向ヨリ逆襲ニ轉シ來ル當時中隊一小隊ノ兵力中隊長代理以下二十七、八名ニ過キス

附記 中隊定員百十六名中師團司令部乃至大隊本部ノ諸傳令及對空連絡班十二名、機關銃、歩兵砲要員八名、衛生勤務者三名、此日マテノ戰死、傷病者四十五名、第三小隊二十名ヲ缺ク

乃チ中隊ノ將兵ハ悲壯ナル決意ヲ以テ此位置ニ死セントシ輕機關銃、擲彈筒及配屬機關銃ヲ擧ケテ射撃シ小銃各分隊ハ突進ヲ準備ス然ルニ敵兵前方百五十米水濠ノ線ニ達スル頃我カ火力ニ依リテ潰走ス時ニ午後二時頃ナリ

附記 曩ニ大隊ノ左側ヲ楊家沿ニ向ヒシ第三中隊ノ一小隊、機關銃一分隊ヲ併セ指揮ス。ハ此頃楊家沿北側ノ水濠ト沈家附近ノ敵側防機關銃トニ阻マレ遂ニ迂回シテ劈匠廟ニ進出シ西南方ヨリ更ニ熾烈ナル銃火ヲ被リテ該地ニ停止セリ

大隊長ハ午後零時三十分聯隊長ヨリ「聯隊ハ豫備隊ヲ第二大隊ニ増加シテ右翼方面ヨリ戰果ヲ擴張ス第一大隊ハ爲シ得ル限リ追撃ヲ續行スヘシ」トノ電話命令ヲ受領セシヲ以テ先ツ彈藥ヲ補充シテ爾後ノ追撃ヲ準備セシメタリ

附記 此戰闘ニ於テ豫備隊ヨリ出サレタル掃蕩隊ハ其第一組ヲ以テ第二中隊、第二組ヲ以テ第三中隊ト行動ヲ共ニシ屋內及散兵壕内ニ殘存スル敵ヲ撲滅シツツ前者ハ金家塘東北角、後者ハ劈匠廟ニ進入シ完全ニ其任務ヲ果シタレトモ殆ト全員死傷セリ

第三大隊ノ突撃

第三大隊ハ爆撃、砲撃間第一線ヲ以テ敵前約二百八十米ノ陣地ニ退避シ機關銃中隊ノ一部三分及速射山砲一門ヲ以テ金家塘東北側ヲ射撃シテ第一大隊ノ攻撃ニ協力セリ

午前八時ヨリ砲兵隊ハ「ロ」陣地ニ對シ豫定ノ砲撃ヲ開始シ約一時間二十分ニシテ未タ其終ラサルニ敵兵既ニ動搖ノ色アルヲ見ル

附記 此砲撃間野戰重砲兵第二中隊觀測小隊長特務曹長片岡三五郎、同第三中隊觀測小隊長特務曹長和田輝吉ハ步兵ノ第一線ニ位置シ步兵第三大隊副官少尉棚田政吉、第三機關銃中隊長大尉矢後次郎平等ヨリ目標細部ノ指示ヲ受ケ逐次正確ナル射撃ヲ行

ハリ

此時右第一線第九中隊長大尉 馬淵口久平ハ工兵小隊長中尉 岩坪好秋ト敵陣地直前ノ水濠通過ノ協定中ナリシカ

午前九時二十五分頃俄然敵兵散兵壕ヨリ起チテ退却スルヲ認ムルヤ獨斷直ニ突撃陣地敵前約八十米ニ推進ヲ

令ス同時頃左第一線ニ在リテ野戰重砲兵第二中隊ノ觀測小隊長片岡特務曹長ト協定中ナリシ第十中隊長中尉 坂武徳

亦前記第九中隊ノ狀況ヲ知リテ直ニ前進ヲ命セリ

兩中隊第九中隊(一小隊欠)ハ一小隊、第十中隊ハ二小隊ヲ第一線トスハ一舉ニ約二百米ヲ前進シ突撃陣地ニ進出セシカ時恰モ突撃支援ノ集

中射撃開始セラレシヲ以テ隊伍ヲ整ヘテ突撃ノ機ヲ待ツ此間第九中隊長ハ突撃陣地直前ニ在リシ約十名ノ敵監視兵ヲ驅逐シ且傳令ヲ後方ニ派シテ砲兵ニ射程ノ延伸ヲ要求シ第十中隊長ハ金家塘北側及竹園墩(園墩)東側陣地ヨリ我カ左側ヲ猛射スル敵機關銃ニ對シ中隊配屬ノ機關銃及豫備隊ノ一部ヲ以テ之ヲ制壓セシメタリ

附記 當時我カ砲火全ク竹園墩及金家塘北側ニ及ハサリシ爲此附近ノ敵機關銃ハ猛威ヲ逞シウシ大隊ハ之ニ對シ砲兵ノ制壓射撃ヲ要求セシカトモ實施セラレス

午前十時過「ロ」陣地ニ對スル我カ砲兵ノ集中射撃概ネ終リ續イテ射程延伸スルヲ見ルヤ兩中隊ハ相前後シテ突撃ニ移リ機關銃中隊、速射山砲及歩兵砲ハ全力ヲ擧ケテ正面ノ敵ヲ制壓セリ

附記

- 一 我カ砲兵ノ射程ヲ延伸スルヤ殘敵陣地ニ現レテ射撃ヲ開始ス當時我カ近著砲彈尙第一線附近ニ落下シアリ
- 二 第九中隊ノ正面ノ水濠ハ第十中隊正面ノ其レニ比シ稍、障礙ノ度大ニシテ河底泥濘、深サ胸ニ達ス而シテ大隊ハ既ニ斥候(二

十五日拂曉前派遣セル第十中隊山本上等兵以下三名ノ偵察及土民ノ言等ニ依リ通過困難ナレトモ徒渉全ク不可能ナラサルヲ知得シアリキ

是ニ於テ第九中隊上等兵福岡一二、同松田三之助及一等兵青山勝次郎ノ三名ハ率先敵陣及友軍ノ砲彈ヲ冒シテ敵陣地直前ノ水濠ヲ徒渉シ敵第一線ノ凸角部ヲ占領スルヤ中隊主力之ニ續行シ一部竹梯子ノ輕架橋ニ依リ渡河ス白兵ヲ揮ツテ殘敵ト格闘シ豫備隊ハ右方第五中隊ノ後方ヨリ迅速ニ渡河シテ前面ノ敵ノ左翼ヲ包圍スル如ク進出シ遂ニ敵ヲ一掃シテ敵陣地附近ヲ確保シ爾後ノ前進ヲ準備ス時ニ午前十時三十分頃ナリ

附記 此時中隊ノ人員中隊長以下五十七名トナル

此間第十中隊ハ金家塘方面ヨリノ側射ニ依リ死傷續出スト雖之ニ屈セス一意突撃ヲ敢行シ右小隊一等兵坂井繁治ハ率先身ヲ挺シテ水濠ニ跳入り鐵條網ヲ越エテ敵陣地ノ一角ニ進入シ敵彈銃劍ヲ折損スルモ怯マズ敵兵三名ヲ殺シ一名ヲ捕ヘ其他ノ中隊ノ第一線齊シク水濠ヲ渡涉シテ敵陣内ニ殺到シ尙頑強ニ抵抗スル數十名ノ敵ト接戦格闘シ其大半ヲ斃ス此時金家碼頭、竹園墩(團墩)及其東側陣地ヨリノ射撃頗ル猛烈ナレトモ右小隊長少尉仲下弘既ニ突撃發起ノ際ニ負傷スハ小隊ノ先頭ニ立チ退敵ニ尼シテ西南方ニ追撃スルコト約百米ニ及フ同時左小隊長少尉長少尉岩崎隆作亦左方ヨリノ猛烈ナル側射ヲ冒シ右小隊ニ連繫シテ前進シ中隊長ハ豫備隊ヲ提ケテ之ニ續行ス斯クテ中隊ハ麥家宅(登家宅)南側ヲ略々東西ニ通スル水濠幅十數米、深サ二米餘ニシテ礮メ之カ存在ヲ知ラサリキニ遭遇シテ已ムナク停止セリ

附記 此際小隊長仲下少尉敵彈ニ中ツテ即死ス時ニ中隊ノ人員損傷ノ爲ニ頗ル減少シ約五十名トナル

此頃機關銃中隊ハ第一線ニ續イテ奪取セル敵陣地線ニ進出シ銃ヲ分解搬送シテ水濠ヲ徒渉ス追撃射撃ヲ行ヒ大隊ニ配屬セラレタル工兵小隊長中尉舟山貞義、二分隊欠ハ浮囊舟ヲ以テ第一線ノ後方水濠ニ架橋セリ

大隊長ハ豫備隊ト共ニ普西西方約百米附近此日朝ニ於ケル第一線ノ待機位置ニ達セシカ左側方ノ猛火ニ妨ケラレテ遂ニ北方第九中隊ノ右後方ヨリ迂回進出ヲ企圖スルノ已ムナキニ至ル

附記 當時第一、第三大隊間ニハ約三百米餘ノ間隙アリテ此間ニ於ケル敵第一線陣地ニ對シテハ我カ砲火指向セラレサリシ爲其自動火器ハ猛威ヲ振ヒテ大隊第一線ノ後方地域ヲ掃射シ豫備隊ノ前進意ノ如クナラサリキ

第二大隊ノ第一線兩中隊ハ我カ爆撃及砲撃ヲ顧慮シテ天明マテニ吳家宅西端第一攻撃陣地ノ線ニ退避シ大隊長ハ右第一線タル第六中隊一小隊欠ニ其一小隊大隊豫備隊ヲ復歸セシメタリ

午前八時三十分頃我カ砲撃ノ效果漸ク現レ第一線兩中隊ハ逐次突撃陣地ニ復シ砲兵ノ射程延伸ヲ待ツ

附記 第六中隊ハ更ニ突撃陣地ト敵鹿砦トノ中間ニ第一線ヲ推進シ斥候上等兵寺前甚太郎、一等兵山田秀信ヲシテ手榴彈ヲ以テ左前方約百米ノ敵監視部隊ノ據レル掩蓋陣地ヲ破壊セシメタリ

既ニシテ砲兵ノ集中射撃開始セラレ煙塵「ロ」陣地ヲ覆ヒ午前十時トナルヤ兩中隊ハ直ニ一齊ニ突撃ニ移ル

附記 此時我カ砲彈尙第五中隊右小隊ノ直前ニ落下中ナリシカハ大隊長ハ一時同小隊ヲ突撃陣地ノ稍々前方小水濠ノ線ニ後退セシメタリ

第二大隊ノ突撃及陣内戰ノ獨立山砲兵第五中隊ノ協力

麥家宅(登家宅)東方「ロ」陣地
北ノ方面ニシテ戰後掩蓋ヲ除キタル状況



第五中隊長石丸繁雄ハ「ロ」陣地東北角ノ水濠約五米、深サニ架橋ヲ命シ重、輕機關銃及擲彈筒ヲシテ此行動ヲ掩護セシムルヤ第一線ノ架橋上等兵宮崎泉及伍長木村一郎ヲ夫々長トスル各四名ノ二組ニシテ各一箇ノ竹梯子製輕橋ヲ携行スハ銃砲彈ヲ冒シテ迅速ニ架橋セリ

附記 右小隊ノ架橋ハ水面ニ密著シ安定良好ナリシヲ以テ突撃ニ際シテハ主トシテ之ヲ利用セリ

是ニ於テ大隊ハ砲兵ノ射程延伸ト共ニ敵陣地ニ突入セリ

當時第六中隊正面ニ於テハ敵兵既ニ退却セシカトモ第五中隊正面ニハ尙多數ノ敵兵殘存シアリ乃チ第五中隊主力ハ「ロ」陣地北側ノ北面セル敵散兵壕^{上掲寫眞參照}ニ沿ヒ行、壕内ノ敵ヲ掃蕩シツツ西進シ^{途中右小隊ハ水濠ニ架橋ス}麥家宅(登家宅)東側通過困難ナル水濠ニ遭遇シ且竹圍墩(圍墩)

及其東方陣地ヨリノ側射ヲ被リテ遂ニ停止ノ已ムナキニ至ル時ニ正午頃ナリ

附記 第五中隊(一小隊欠)ハ中隊長以下約七十名ニシテ此時一小隊ノ人員二十八名トナル

第六中隊長^{大尉}村中嘉二郎ハ破壊班二組^{長上等兵三木爲松}ヲ先頭トシ中隊主力ヲ率キテ敵第一線散兵壕^{敵既ニ在ラス}ニ

突入シ之カ確保ヲ命ス此時右小隊^{長少尉}佐々木成範ハ一躍既ニ約五十米ノ前方ニ在リ同時配屬工兵ハ右前方ノ

掩蓋機關銃座ヲ爆破セシカハ中隊長ハ右小隊ノ掩護ノ下ニ左小隊^{長少尉}本木千一、突撃發起ノ際ヲ同線上ニ

推進シ次テ擴大セル戰線整理ノ爲豫備隊^{長少尉}渡邊明ヲ左ニ増加シ右小隊ヲ豫備隊トシテ集結スヘク命令セ

リ當時田園及金家碼頭方向ヨリノ敵火熾烈ナリシカ左小隊ハ逐次前進ヲ續行シテ麥家宅(登家宅)西北

側ニ達シ豫備隊亦次テ同線上ニ進出シ中隊長ハ自ラ第一線ニ到ル此頃斥候上等兵馬場捨松、一等兵山

田秀信、同上杉幸太郎ノ三名ハ工兵分隊^{長上等兵}小幡銀太郎ト共ニ麥家宅(登家宅)ニ進入シテ殘敵ヲ掃蕩セ

リ

附記 此斥候及工兵分隊ノ行動ハ當時小隊長以上之ヲ知ラス麥家宅ニハ依然敵兵在リト爲セリ

然ルニ中隊ト第五中隊及大隊長トノ連絡絶エテ狀況判明セザリシヲ以テ中隊長ハ第五中隊長ヲ索メテ麥家宅(登家宅)東北方約百二十米附近ニ到リ同官ト連絡スルヲ得テ中隊ノ獨り突出シアルヲ知ルヤ戰線ヲ整理スルニ決シ敵火ノ下ニ辛ウシテ集結シ得タル舊右小隊ヲシテ既ニ攻略セル敵第一線陣地ヲ改築セシメ第一線兩小隊ヲ此線ニ收容セリ

附記 第一線ハ敵火ノ爲難間ノ行動困難ナリシヲ以テ日没ヲ待チ死傷者ヲ收容シテ後退セリ

第一線ノ突撃及陣内戦ニ於テ機關銃中隊ハ兩中隊ト共ニ概ネ最前線ニ進出シテ協力シ其前進ヲ妨害スル敵機關銃ヲ求メテ制壓ス然レトモ不明ノ位置ヨリ飛來スル流彈激シク小隊長少尉 榎野正春負傷シ軍曹竹内竹志之ニ代リテ左小隊ヲ指揮シ遂ニ單身麥家宅(登家宅)ニ近接シ手榴彈ヲ投シテ敵ヲ沈黙セシメタリ又曲射歩兵砲小隊及速射山砲長少尉 菅原此面ハ麥家宅(登家宅)及竹園墩(岡墩)東側ノ敵掩蓋機關銃ヲ射撃シテ大隊ノ攻撃ヲ援助セリ

朝來齊家宅西北側獨立家屋ノ觀測所ニ在リシ獨立山砲兵第五中隊長大尉上野仁ハ師團主力砲兵ノ火力麥家宅(登家宅)以北ニ及ハサルヲ見ルヤ大隊ノ前進ヲ妨害スル麥家宅(登家宅)東北側及西側並田園附近ノ敵重火器ヲ制壓シテ協力スルト共ニ數次敵ノ退却スル部隊ヲ射撃シテ之ヲ潰走セシメタリ

大隊長ハ豫備隊ヲ率キ第五中隊ニ續行シテ攻略セル敵陣地ニ入り第一線ノ攻撃ヲ督勵セシカトモ水濠ノ障礙ト左側背ヨリノ敵火トノ爲攻撃進捗セス正午頃工兵小隊長少尉 加藤俊次 以下十四名到著セシヲ以テ直ニ麥家宅(登家宅)東側竹林中ノ敵掩蓋機關銃ヲ燒却セシメタレト果サス依テ大隊長ハ現在地附近ヲ確保スルニ決シ之ヲ各中隊ニ命令セリ

附記 此工兵小隊ハ爆藥ヲ携行セサリシヲ以テ二箇ノ燒夷班ヲ編成シ小隊長之ヲ率キテ敵機關銃直前ノ家屋ニ放火セシカ敵火

猛烈ニシテ遂ニ近接ヲ許ササリキ

聯隊長ノ指揮

聯隊長大佐大賀一男ハ午前十時頃第一大隊ノ「イ」陣地ヲ占領セルヲ知ルヤ同大隊ニ命スルニ「一部ヲ以テ第三大隊ノ突撃ヲ援助スヘキ」ヲ以テ同十時三十分頃第二、第三大隊ノ相前後シテ「ロ」陣地ヲ奪取セルノ快報ニ接シ且同十時三十五分右翼隊豫備隊ノ一中隊步兵第十九聯隊第十中隊到著シ聯隊長ノ指揮ニ入りタルヲ以テ聯隊長ハ直ニ敵ヲ急追シテ一舉ニ大場鎮附近ニ進出スルニ決シ各大隊ニ「狀況ノ許ス限り前進スヘキ」ヲ命令セリ

附記 當時戰況觀察ノ爲聯隊本部ニ在リシ師團參謀(步兵大佐谷實夫)ハ直ニ聯隊長ノ此決心ニ同意ヲ表セリ(第六〇三頁參照)

午前十一時頃ニ至ルヤ聯隊長ハ右翼隊長ヨリ「一部ヲ以テ敵ヲ追撃シ主力ヲ以テ占領地ヲ確保スヘキ」命ヲ受ケタレトモ狀況上依然攻撃ヲ續行スルニ決シ午後零時二十五分歩兵第十九聯隊第十中隊長大尉 宮内徳司ヲ第二大隊長ノ指揮ニ入レ同方面ヨリ戰果ヲ擴張セシムル如ク處置スルト共ニ第三、第一大隊ニモ「爲シ得ル限り追撃ヲ續行スヘキ」ヲ命セリ

附記 當時聯隊本部ニ在リシ谷參謀ハ右翼隊命令ノ如何ニ拘ラス戰況ハ正ニ果敢ナル前進ヲ必要トスル旨ヲ特ニ強調セリ

然ルニ爾後第一線ノ戰況所期ノ如ク發展セス各大隊共敵第二線ヨリ熾烈ナル十字火ヲ受ケテ死傷續出シ我カ砲火ノ支援ナク彈藥漸次缺乏ス

斯クテ午後二時三十分ニ至ルヤ更ニ『現在ノ線ヲ確保シテ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘキ』要旨ノ右翼隊命令アリシカハ聯隊長ハ左ノ命令ヲ下達セリ

作命第二十號

陣地確保ニ關スル聯隊命令

步兵第三十六聯隊命令 二月二十五日午後四時十五分 於 普 西 聯 隊 本 部

- 一 敵ノ第一線ハ敗退セルモ更ニ後方ノ陣地ニ據リ頑強ニ抵抗ス別ニ三、四大隊ノ數團ハ午後三時頃大場鎮方向ヨリ「イ」、「ロ」陣地方向ニ前進中ナリ
- 右翼隊ハ概ネ現在ノ線ヲ確保シテ明日ノ攻撃ヲ準備ス
- 二 聯隊ハ麥家宅(登家宅)東方「ロ」陣地、金家塘ノ線ヲ確保シ夜ヲ徹セントス
- 三 第二大隊 第七中隊欠、工兵一分隊ヲ屬スハ概ネ現在ノ線ヲ確保シ明二十六日ノ攻撃ヲ準備スヘシ特ニ步兵第十九聯隊ノ左翼ト連繫スルヲ要ス
- 四 第三大隊 第九中隊ノ一小隊欠、步兵砲中隊、工兵一分隊ヲ屬スハ右第二大隊ト連繫シ概ネ現在ノ線ヲ確保シ明二十六日ノ攻撃ヲ準備スヘシ
- 五 第一大隊 第一中隊ノ一小隊欠、步兵砲中隊、工兵一分隊ヲ屬スハ現在ノ線ヲ確保シ明二十六日ノ攻撃ヲ準備スヘシ特ニ左翼隊ノ右翼ト連繫スルヲ要ス
- 東部唐家舎ハ一部隊ヲ以テ占領セシムヘシ

六 第一線大隊ノ戦闘地境左ノ如シ

- 步兵第十九聯隊
- 第二大隊 吳家宅、麥家宅(登家宅)、四車頭各北端ヲ連ヌル線
- 第三大隊 吳家宅南側獨立家屋、金家碼頭北端ヲ連ヌル線
- 第一大隊 東部唐家舎北側百米ノ水濠、竹園墩(團墩)南端ヲ連ヌル線
- 步兵第三十五聯隊 東部唐家舎、沈家各南端、廿三園、夏宅 大場鎮東部南方一軒半 各北端ヲ連ヌル線
- 七 各大隊ハ隊伍ヲ整頓シ左右ノ連繫ヲ密ニシ背後ノ警戒ヲ嚴ニスヘシ
- 八 予ハ依然普西ニ在リ

聯 隊 長 大 賀 大 佐

附記 右命令下達後第二大隊ニ配屬セシ步兵第十九聯隊第十中隊ヲ原所屬ニ復歸セシメタリ

各大隊ノ戰線整理ノ及陣地確保

第一大隊ハ午後ニ入り損害益々多ク戰線漸ク固著ノ狀アリ
大隊長ハ午後四時三十分頃前記聯隊命令ヲ受領シ戰線ヲ整理スルニ決シ逐次命令ヲ下シ日没ヲ待ツテ突出セル第三中隊ノ主力ヲ後退セシメ嘴匠廟西端附近ニ在ル同中隊ノ一小隊ヲ招致スルト共ニ第一中隊ヲ豫備隊トシテ金家塘ニ集結シ次テ同中隊ヲシテ交通其他ノ設備ニ任セシメタリ
第三大隊ハ水濠ノ爲爾後ノ進出困難ナリシヲ以テ攻略セル敵第一線陣地ノ線ニ隊伍ヲ整ヘ陣地ヲ改築

ス
大隊長ハ午後四時三十分頃前記聯隊命令作命第 二十號ヲ受領シ本夜概ネ現在ノ態勢ヲ以テ現陣地ヲ守備シ夜ヲ徹スルニ決シ午後五時之ニ關スル命令ヲ下達セリ

附記 第十中隊ハ大隊長ノ命ニ依リ夕刻マテニ突出セル戦線ヲ後退整理セリ

第二大隊ハ午後一時頃歩兵第十九聯隊第十中隊ノ増加ヲ受ケテ之ヲ右翼後ニ豫備隊トシテ控置セシカ
午後四時三十分頃前記聯隊命令作命第 二十號ヲ受領スルヤ大隊長ハ同四時四十分左ノ要旨ノ命令ヲ下達シ次
テ前記中隊ヲ原所屬ニ復歸セシメタリ

歩兵第三十六聯隊第二大隊命令ノ要旨

一 大隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹シ本夜當面ノ敵機關銃陣地ヲ爆破セントス

二 第六中隊機關銃一小ハ右第一線、第五中隊一分隊ハ左第一線、第五中隊ノ一分隊ハ豫備隊トス

三 各中隊ハ各、現在ノ線ヲ確保シ陣地ヲ鞏固ナラシムルト共ニ至嚴ノ警戒ヲ爲スヘシ

四 予ハ麥家宅(登家宅)東方百米ニ在リ

各中隊ハ隊伍ヲ整ヘテ陣地ヲ補修セリ

聯隊ニ對
抗セル敵

此日聯隊主力ニ對セシ敵ハ第五軍第八十八師ノ一部第二、第三大隊正面ニ在リシハ其第四團及義勇軍若干ニシテ多大ノ損害ヲ受ケテ第二線ニ後退セリ

聯隊ノ損
害

本戦闘ニ於ケル聯隊参加人員約一千四百七十名ノ損害第一大隊戰死二十三名內將校一名、負傷三十五名內將校三名、第二大隊戰死七名內將校一名、負傷二十七名內將校二名、第三大隊戰死十二名內將校一名、負傷三十一名內將校一名、其他戰死二名、負傷一名、以上合計百三十八名內戰死十四名、負傷十名ニシテ就中第二中隊戰死九名、負傷十三名、第三中隊戰死七名、負傷十名、第十中隊戰死九名、負傷十名ノ損害著シ

敵ノ夜襲

夜ニ入り各正面トモ敵ノ射撃猛烈ナリ

午後八時頃第一大隊前面ノ射撃俄ニ止ムヤ第三中隊特務曹長島田清市郎當時中隊主力ヲ指揮シアリハ自ラ兵一名ヲ伴ヒテ約百米前方ノ水濠ノ線ニ進出シ其西側近ク敵兵集中ニシテ夜襲ノ徵アルヲ察知セシカハ監視兵ヲ留メ主力ヲ率キテ夜間所命ノ陣地ニ後退シ連絡ヲ確保シテ此狀況ヲ大隊長ニ報告ス乃チ大隊長ハ直ニ豫備隊ヲ其直後ニ進メ自ラ副官ヲ隨ヘテ之ニ續行ス時恰モ午後十時ニシテ會々敵兵喇叭ヲ奏シ喊聲ヲ擧ケテ來襲セシヲ以テ第三中隊ノ第一線ハ敵ノ百五十米附近ニ近迫スルヲ待ツテ猛射ヲ注キ忽チニシテ之ヲ撃退セリ

午後七時三十分頃竹園墩(園墩)方向ニ當リ敵兵盛ニ喇叭ヲ吹奏シ逆襲ノ徵ヲ示ス依テ第三大隊長ハ豫備隊ヨリ第十一中隊ノ一小隊ヲ第十中隊ノ左翼後ニ出シテ之ヲ同中隊長ノ指揮ニ入レタリ

附記 同小隊ハ直ニ所命ノ位置ニ進出シテ陣地ヲ構築セシカ第十中隊長ハ此増援ヲ謝絶セリ然レトモ豫備隊長ハ大隊長ノ承認ヲ得テ依然同小隊ヲ現地ニ留メタリ

午後十一時頃果然敵兵少クトモ三百名南方ヨリ逆襲ニ轉シ來リシカハ第十中隊及第十一中隊ノ一小隊ハ相協力シテ火力ヲ以テ之ヲ至近ノ距離ニ擊退セリ

第二大隊正面ニ於テハ午後十一時及二十六日午前一時頃ノ兩回第六中隊正面ニ敵襲アリシカ敵ハ熾ニ射撃スルノミニテ敢テ近迫セス間モナク其陣地内ニ退却セリ

爾後各大隊共陣地ノ補強及交通ノ設備ニ任シ特ニ第三大隊ハ「イ」陣地東北角ヨリ普西ニ至ル交通壕ヲ構築シテ二十六日ニ至レリ

丙 歩兵第十九聯隊方面ノ狀況

歩兵第十九聯隊長ハ午前六時二十分白楊村出發、齊家宅ニ進出シ第二大隊長及豫備隊長第一大隊長ト共ニ戰況ヲ視察ス

午前八時我カ砲兵ハ射撃ヲ開始シ同十時頃歩兵第三十六聯隊ノ突撃ニ移ルヤ田園附近ノ敵兵退却ヲ始ム

附記

當時中隊長等ニシテ類ニ攻撃前進ノ意見ヲ具申スル者アリ聯隊長亦右翼隊長ニ具申スルトコロアリシカ容レラレス

午前十時四十分『混成第二十四旅團及歩兵第三十六聯隊ト連絡シ中間地區ヲ確保スヘキ』右翼隊命令電アリ同時田園ニ對スル攻撃ハ別命ヲ待ツテ行フ如ク控制セラル然ルニ飛行機ノ爆撃間最前線ヨリ退避シアリシ第六、第七中隊ノ各一小隊ハ午前十一時頃其位置ニ復シ一部ハ更ニ前方ニ據點ヲ占領

セシカハ聯隊長ハ第二大隊主力ヲ前記兩小隊ノ位置ニ進メ豫備隊ヲ齊家宅ニ推進ス乃チ第二大隊ハ主力ヲ以テ午後二時頃所命ノ位置ニ進出シ豫備隊タル第一大隊ハ同時頃白楊村ヨリ齊家宅ニ到着セリ

聯隊長ハ午後五時頃右翼隊命令ニ依リ第五中隊ヲ右翼隊豫備隊トシテ即時白楊村ニ出發セシメ爾餘ノ主力ヲ以テ明二十六日田園附近ノ攻撃ヲ準備スル爲同八時所要ノ命令ヲ下達シ概ネ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹セリ

此夜十一時三十分頃及午前四時頃ノ兩回第一線附近ニ敵ノ小夜襲アリシカ直ニ之ヲ擊退セリ

其三 左翼隊(歩兵第六旅團主力)方面ノ狀況

左翼隊ハ現陣地ニ在リテ攻撃準備ヲ進メ右翼隊攻撃ノ進捗ヲ待ツ

朝來我カ飛行機ノ爆撃ハ主トシテ金家塘以南左翼隊正面ニ指向セラレ特ニ楊家沿、嚴家橋附近ニ於テハ噴煙高ク昇騰シ其狀頗ル壯烈ナリ

附記 左翼隊長ハ我カ爆撃歩兵第三十五聯隊第二大隊ノ陣地附近ニ落下シ頗ル危険ナリシヲ以テ即時爆撃中止ヲ師團長ニ要請セリ

次テ午前八時頃ヨリ同十時頃ニ至ル間右翼隊正面陣地ニ向ヒ我カ砲兵主力ハ猛烈ナル射撃ヲ實施シ此間左翼隊配屬ノ山砲兵第一中隊ハ楊家沿及後郭家宅ヨリ右翼隊ヲ側射スル敵機關銃ヲ制壓シテ

攻撃準備
ノ完了

同隊ノ攻撃ニ協力シ尙午前九時三十分嘴匠廟附近ヨリ西走スル百數十名ノ敗兵ニ對シ追撃射撃ヲ行ヘリ

附記 午前七時頃山砲兵第一中隊ハ第一大隊本部ニ來レル第三大隊長ト爾後ノ攻撃ニ關シ詳細協定スルトコロアリ
歩兵第三十五聯隊ノ各大隊ハ午前十時マテニ攻撃準備ヲ完了ス

附記 午前十時頃敵兵續々大場鎮ニ向ヒ退却中ナル飛行機報アリシ旨ノ師團通報アリ

右第一線タル第二大隊ハ同時頃マテ重、輕機關銃及曲射歩兵砲ヲ以テ歩兵第三十六聯隊ノ突撃ヲ援助シアリシカ大隊長ハ續イテ一部ヲ以テ第三大隊ノ後郭家宅ニ對スル突撃ヲ援助シツツ之ト連繫シ重點ヲ右正面ニ指向スル如ク當面ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ概ネ左ノ如ク部署セリ 命令ハ既ニ午前四時三十分下達セリ

一 第六中隊、第二中隊約一ヲ第一線、第七中隊ノ一小隊ヲ豫備隊トス
後郭家宅及二軒家嘴匠廟ニ對スル重砲兵射撃ノ際ハ壕内ニ入り危険ヲ避ケシム

二 機關銃、歩兵砲ヲシテ現在ノ部署ヲ以テ第一線ノ突撃ヲ援助セシム

三 攻撃前進ノ時機ハ別命ス

四 大隊長ハ午前九時第六中隊ノ陣地内ニ位置シ爾後同中隊ノ後方ヲ前進ス
中央第一線タル第三大隊ハ重點ヲ右正面タル後郭家宅ニ指向シ之ヲ北方ヨリ包圍ヲ企圖シ大隊長ハ天明後各中隊長ヲ集メテ現地ヲ指示シツツ概ネ左ノ如ク部署セリ 第一線兩中隊ニ發煙筒各二十箇ヲ交付ス

一 第十一中隊ヲ右、第九中隊ヲ左第一線、第十中隊ノ一小隊ヲ右翼後ノ豫備隊トス

二 機關銃中隊ヲシテ一部ヲ以テ第十一中隊、主力ヲ以テ第九中隊正面ヨリ第一線ノ突撃ヲ援助セシム

三 歩兵砲隊ヲシテ依然現在地ニ於テ突撃ヲ援助セシム

左第一線タル第一大隊ハ現陣地ニ在リテ第三大隊ノ突撃ヲ援助スルノ準備ニ在リ

聯隊長 大佐 德野外太郎 ハ午前十時頃豫備隊ヲ率キテ願家宅(願家宅)ニ到レリ

砲兵隊ノ協力

午前十時過右翼隊ノ突撃功ヲ奏シ敵兵敗走セシヲ以テ左翼隊長ハ砲兵隊長ニ前協定ニ基キ後郭家宅ニ射撃ヲ要求セリ

然ルニ砲兵隊長ヨリ『右翼隊ノ攻撃援助ノ直後ニシテ殘彈僅少 野戰重砲兵ハ一門僅ニ三十發ヲ餘スノミナルノミナラス尙狀況ノ變化ニ應スル豫備彈ヲ控置スルノ要アルヲ以テ速ニ計畫外ノ射撃ヲ行フコト困難ナル』旨ノ回答アリ依テ左翼隊長ハ『既ニ攻撃命令下達後ナルヲ以テ是非協力ヲ切望スル』旨ヲ傳へ間モナク『先ツ野戰重砲兵第一大隊ヲシテ四十發ヲ限リテ後郭家宅ニ破壊射撃ヲ實施セシメ次テ野戰重砲兵及山砲兵各一中隊ヲシテ突撃支援射撃ヲ行ハシムル』旨ノ砲兵隊通報ヲ受領セリ

附記

一 當時左翼隊長ハ二十三日午後ノ砲兵隊長トノ協定(第五七四頁後段附記ニ參照)カ依然存續スルモノト爲シ右翼隊ノ突撃後當

然左翼隊正面ニ砲兵ノ射撃ヲ指向スルモノト信シタルニ反シ砲兵隊長ハ右協定ハ師團ノ第二次攻撃計畫策定以前ノコトニ屬スルヲ以テ當然該計畫ノ交付ト共ニ解消セルモノト解シアリテ茲ニ兩者ノ間ニ齟齬ヲ生セリ

二 砲兵隊長ハ左翼隊長ヨリ其攻撃ニ協力スヘキ要求ヲ受ケ山砲兵第一大隊長ヲ左翼隊司令部ニ派シテ彈藥ノ關係ニ依リ協力困難ナル事情ニ關シ瞭解ヲ求メタルニ左翼隊長ハ數段ニテモ協力セラレタキヲ希望シ遂ニ前記ノ實施ヲ見ルニ至レリ

是ニ於テ山砲兵第一大隊^{第一中隊}ハ午前十時十分ヨリ後郭家宅及前郭家宅ヲ射撃シ^{大隊長左翼隊司令部ニ到リ不在ナリシ爲中隊長獨斷射撃ヲ開}野戰重砲兵第一大隊長ハ第三中隊ニ命シテ午前十一時頃ヨリ後郭家宅ヲ射撃セシメシカ射彈少ク敵機關銃ヲ制壓スルニ至ラス約一時間ニシテ射撃ヲ中止セリ

附記 砲兵隊長ハ尙山砲兵第三大隊ヲシテ後郭家宅ニ向ヒ射撃セシムヘキヲ命シタレト同大隊ハ觀測不可能ナリシヲ以テ午前十一時二十分ヨリ楊家沿北側地區ニ擾亂射撃ヲ實施セリ

此間左翼隊配屬山砲兵第一中隊長大尉神森六郎ハ步兵第三十五聯隊第一大隊長ト共ニ步兵ノ散兵壕内ニ在リテ射彈ヲ觀測シツツ嘴匠廟、後郭家宅及前郭家宅東方墓地附近ノ敵機關銃ヲ求メテ制壓セリ^{持槍參照}正午過砲兵隊長ヨリ「砲兵ノ後郭家宅陣地ニ對スル破壊及突撃支援射撃ハ携行彈數ノ關係上遺憾ナカラ中止ノ已ムナキニ至レル」旨ノ通報アリ

然レトモ山砲兵第一大隊^{第一中隊}ハ彈藥ノ許ス限り依然左翼隊ニ協力シ午前十一時頃後郭家宅北方陣地附近ノ橋梁ヲ盛ニ通過スル敵兵ヲ認メ該橋梁ヲ破壊シ次テ同十一時五十分第一線步兵ノ要求ニ基キ連絡掛^{中尉}指導ノ下ニ前郭家宅北側ノ機關銃座二箇ヲ破壊シ次テ午後一時四十分ヨリ左翼隊配屬ノ第一中隊ト共ニ後郭家宅ニ向ヒ破壊射撃ヲ行ヒ午後二時ヨリ約二分間同地ニ對シ突撃支援ノ集中射撃ヲ

同協ノ砲歩ルケ於ニ略攻宅家郭後、前



(裏面説明参照)

午後三時頃歩兵第三十五聯隊第一大隊ノ陣地ヨリ其西方前、後郭家宅附近ヲ見セラル光景ナリ右方煙幕ヲ展張シツ攻撃前進中ナル第三大隊、近ク壕内ヲ移動中ナル第一大隊ニルテ砲隊ヲ使用セラル山砲兵第一中隊長神森大尉、其右方ニ於テ戰況ヲ觀察中ナル第一大隊長大澤少佐ナリ而シテ前方森林ニ似タル前郭家宅東方百五十米ノ墓地、其左後方ノ部落ハ前郭家宅、右端橋ノ上方ニ一掃ヲ現ハセラル後郭家宅トス

實施セリ

附記 此射撃ハ射弾少キ爲十分ナル效果ヲ發揮スルヲ得ス加之地形ノ關係上歩兵ノ第一線ト敵陣地線トノ識別困難ナリシ爲カ遠彈多ク第一線ヨリ屢、修正ヲ要求シタレトモ徹底セス從テ命中彈頗ル稀ナリ然レトモ敵ハ午前左翼隊正面ニ實施セシ我カ飛行機ノ爆撃及右翼隊方面ニ對スル砲兵ノ集中射撃ノ爲多大ノ恐怖ヲ感シアリシモノノ如ク午後二時集中射撃ヲ實施スルヤ忽チ動搖ノ色現レタリ

歩兵第六聯隊左翼隊第七中隊
中隊第六聯隊左翼隊第七中隊
第三聯隊第七中隊
隊第七中隊
隊第七中隊
隊第七中隊

是ヨリ先左翼隊長ハ『右翼隊ハ麥家宅(登家宅)、金家塘ノ線ニ進出シ當面ノ敵ハ大場鎮ニ向ヒ退却中』トノ師團通報ヲ受領シ、次テ『歩兵第七聯隊第六中隊ヲ左翼隊ニ増加スヘキ』師團命令ヲ受領セシヲ以テ正午頃同中隊ヲ左翼隊豫備隊トシ從來ノ豫備隊タル歩兵第三十五聯隊第七中隊ヲ原所屬ニ復歸セシメタリ

歩兵第三十五聯隊長ハ我カ砲撃ニ依リ敵兵動搖ノ微アルヲ知り午後二時攻撃前進ヲ命セリ

歩兵第三十五聯隊
第十中隊
第十中隊
第十中隊
第十中隊

附記 聯隊長ハ第七中隊復歸ノ左翼隊命令ヲ受ケ正午過之ヲ掌握セシヲ以テ直ニ第二大隊ニ復歸セシメ同大隊ニ『配屬ノ第二大隊ノ殘部ヲ見テ所屬ニ復歸セシムヘキ』ヲ命セリ

第三大隊長ハ前部署ニ基キ直ニ攻撃前進ヲ命ス

挿繪 參照

機關銃中隊ハ後郭家宅ニ射弾ヲ集中シテ突撃ノ誘起ニ勉メ第一線兩中隊ハ午後二時三十分砲兵ノ射撃中止ト共ニ第十一中隊ノ展張セル煙幕ニ掩ハレツツ何レモ二小隊ヲ第一線ニ展開シテ攻撃前進ニ移リ敵前約五十米ニ接近ス時ニ敵兵尙頑強ニ死守シテ死傷續出セシト雖將兵勇ヲ鼓シ同三時二十八分突撃ノ號音ト共ニ敵陣地ノ一角ニ突入シ殘兵約三十名ヲ斬突シテ後郭家宅陣地ヲ完全ニ占領シ大隊長ハ豫

備隊ト共ニ第一線ニ進出シテ直ニ第九中隊ニ前郭家宅ノ奪取ヲ命ス乃チ同中隊上等兵中川儀光ハ部下分隊ヲ率キテ前郭家宅ニ突入セリ

第一大隊ノ突撃

此頃マテニ現陣地ニ在リテ第三大隊ノ突撃ヲ援助シアリシ第一大隊ハ以上ノ戦況ヲ目撃スルヤ直ニ起ツテ前進ニ移リ江灣鎮方向ヨリノ側射ヲ冒シテ一舉ニ前郭家宅ヲ占領シ之ヲ確保ス時ニ午後四時ナリシ敵ハ屍體約百五十ヲ遺棄シ算ヲ亂シテ横罕宅方向ニ潰走セリ

第二大隊ノ突撃及陣内戦

第二大隊長ハ午後一時頃到着復歸セシ第七中隊一小隊ヲ直ニ左第一線トシテ第六中隊ノ左ニ展開シ第二中隊ノ一小隊ヲ豫備隊トシテ右後方ニ集結シ機關銃中隊ノ一部ヲシテ後郭家宅ノ敵陣地ヲ射撃シテ第三大隊ノ突撃ニ協力セシム

同一時四十分頃ヨリ我カ砲兵ハ後郭家宅附近ニ射撃ヲ指向シ敵兵漸ク動搖ノ色アリ然レトモ嘴匠廟及後郭家宅方向ヨリスル敵ノ射撃尙熾ニシテ我カ前進容易ナラス間モナク聯隊長ヨリ攻撃前進ノ命令アリシヲ以テ大隊長ハ午後二時三十分頃攻撃前進ヲ令セリ是ニ於テ第一線兩中隊ハ直ニ鐵條網破壊及架橋ノ部署ヲ整ヘテ第六中隊ハ既ニ水濠ヲ越エ前進ノ準備ヲ整ヘアリ前進ヲ起シ特ニ第七中隊ハ敵ヲ距ル約百五十米ニ於テ煙幕ヲ構成シ敵前概ネ六、七十米ニ達ス此時敵兵一齊ニ退却ヲ開始セシカハ兩中隊ハ鐵條網ヲ強行通過シテ敵陣地ニ突入シ敗殘兵數名ヲ刺殺シ次テ各、主力ヲ以テ嘴匠廟東側水濠ヲ越エテ追撃射撃ニ移ル時ニ午後四時頃トス

此際機關銃、歩兵砲ハ大隊當面ノ敵及側防機關銃ヲ猛射シテ第一線ニ協力セリ

大隊長ハ第一線中隊ノ突入ニ先タチ豫備隊ヨリ斥候ヲ出シ退却スル敵ニ尾シテ嘴匠廟ヲ搜索セム乃チ第七中隊斥候上等兵古田増藏以下四名ハ嘴匠廟ニ進入シテ敵ノ殘兵數名ト格闘シ之ヲ屠ツテ遍ク同部落ヲ搜索シ且之ヲ燒却シテ大隊ノ占領ヲ確實ナラシメタリ

附記

古田斥候ノ嘴匠廟ニ進出セシトキハ既ニ同地ニ在リシ歩兵第三十六聯隊第三中隊ノ一小隊ハ撤退後ニシテ大隊長ハ第二中隊ノ一小隊ヲ嘴匠廟ニ出シテ同地ヲ確保セシメ此間豫備隊タル第七中隊ノ一小隊ハ獨斷第六、第七中隊ノ中間ニ増加セリ

大隊當面ノ敵ハ二百餘名ニシテ數十ノ屍體ヲ遺棄シテ退却シタレトモ近ク楊家沿、沈家及横罕宅ノ第二線既設陣地ニ停止セリ

聯隊長ハ如上ノ狀況ヲ知り午後四時十分占領セル陣地ノ確保ヲ命セリ

陣地確保及砲兵隊スルニ關シテ
及砲兵隊スルニ關シテ
砲兵隊スルニ關シテ
砲兵隊スルニ關シテ

是ヨリ先左翼隊長ハ配屬砲兵中隊ノ彈藥缺乏セルヲ知り山砲兵第一大隊長ト協定シテ豫備隊ノ一小隊歩兵第七聯隊第六中隊ノ一小隊ヲ以テ之カ補給ヲ援助セシメタリ

附記

山砲兵第一大隊長ハ獨斷梁放宅附近ニ在リシ山砲兵第二大隊ノ榴彈五十發ヲ歩兵ノ臂力ニ依リ孫家宅南側山砲兵第一中隊ノ砲側ニ搬送セシメタリ

午後三時三十五分左翼隊長ハ展望哨歩兵第七聯隊第三中隊小隊長少尉和田利雄ニ依リ第一線ノ前、後郭家宅ヲ確實ニ占領シ敵

兵潰走セルヲ知ルヤ直ニ之ヲ師團長ニ報告スルト共ニ同三時四十五分豫備隊タル歩兵第七聯隊第六中隊長代理少尉若林猪之ヲ歩兵第三十五聯隊ニ増加シテ嚴家橋ノ攻略ヲ命シ次テ同六時頃『本日攻略セシ地點ヲ確

保シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘキ』要旨ノ命令ヲ下達セリ

歩兵第三十五聯隊ノ各大隊ハ占領セル陣地ヲ改修シ聯隊長ハ増加セラレタル歩兵第七聯隊第六中隊ヲ

第一大隊ニ配屬セリ

附記 同中隊ハ午後六時過前郭家宅東側墓地ニ到着シ第一大隊長ノ指揮下ニ入り江灣鎮方向ニ對シ大隊ノ左側背ヲ掩護セリ

又第二大隊長ハ午後六時頃第二中隊ノ一小隊ヲ第一大隊ニ復歸セシメタリ

附記 同小隊ハ後郭家宅附近ニ於テ二十二日夜戦死セシ中隊長以下ノ屍體ヲ收容シ顧家宅(顧家宅)ニ到リテ第一大隊長ノ指揮下ニ復セリ

聯隊長ハ午後八時三十分頃顧家宅(顧家宅)ニ於テ前記左翼隊ノ要旨命令ヲ受領シ同九時左ノ命令ヲ下達セリ

歩兵第三十五聯隊命令ノ要旨

- 一 聯隊前面ノ敵ハ西方ニ退却シ其一部ハ尙近ク停止シアルモノノ如シ
- 二 聯隊ハ現在占領セル地點ヲ確保シ當面ノ敵情地形ヲ搜索シ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス
- 三 第二大隊ハ現在地ヲ確保シ沈家方向ノ敵情地形ヲ搜索スヘシ
- 四 第三大隊ハ現在地ヲ確保シ橫罕宅前郭家宅西方五百米方向ノ敵情地形ヲ搜索スヘシ
- 五 第一大隊歩兵第七聯隊第六中隊ヲ屬スハ前郭家宅ヲ確保シ狀況之ヲ許サハ同地南方嚴家橋ノ占領ニ勉ムヘシ

六 配屬砲兵タル山砲兵第一中隊ハ依然現在地ニ位置スヘシ

七 豫備隊タル第十中隊一小隊ハ顧家宅(顧家宅)ニ位置シ特ニ江灣鎮方向ヲ警戒スヘシ

八 予ハ顧家宅(顧家宅)ニ在リ

第一大隊長ハ此命令ニ基キ歩兵第七聯隊第六中隊ニ嚴家橋ノ占領ヲ命セリ

左翼隊長ハ午後十時三十分『爾後ノ攻撃ヲ準備スヘキ』師團命令午後四時發九師作命第二十一號(第六〇五頁參照)ヲ受領シ同十一

時命令要旨ハ既ニ午後六時命令セリヲ下シテ第一線ヲシテ嘴匠廟、前郭家宅ノ線ヲ占領シ敵情地形ヲ搜索セシムル如ク部署セリ

此日晝間ノ戦闘ニ於ケル歩兵第三十五聯隊參加人員約一千二百六十名ノ損害ハ第一大隊戦死三名、負傷十一名、第二

大隊戦死六名内將校一名、負傷十四名、第三大隊戦死八名、負傷二十二名、其他負傷十三名、以上合計七十

七名内戦死十七名ヲ算セリ

午後九時頃前郭家宅西方ヨリ約百名ノ敵襲アリ同部落西端ヲ占領シアリシ第二中隊ノ一小隊長少尉佐野

五及機關銃一分隊ハ直ニ猛射ヲ注キ右後方前郭家宅北側ニ在リシ第三中隊輕機一分隊ヲ第二中隊ニ増援ス及機關銃二分

隊ト協力シ忽チニシテ之ヲ撃退セリ

附記 此夜月明(月齡二十、月出午後九時三十五分)ニシテ約五、六十米附近ヲ透視スルヲ得タリ

午前三時頃敵ノ射撃頗ル猛烈トナリ次テ第二回ノ敵襲アリ即チ敵ハ前郭家宅西方約百米及同西南方百

夜ニ於ケル敵ノ復讐ノ第一面ノ戦闘

歩兵第三十五聯隊ノ損害

五十米附近ヨリ異様ナル喇叭ヲ吹奏シ信號彈ヲ放チ射撃シツツ我カ陣地前方百米附近ニ近接シ喊聲ヲ發シテ殺到シ來ル其兵力西方正面ニ於テ約百名當時三百名ト稱セリ西南方正面ニ於テ二百名餘ヲ算セリ敵兵中一日本萬歳一等巧ナル日本語ヲ使用スル者アリ西方正面ニ於テハ第二中隊ノ一小隊及第三中隊並機關銃三分隊ハ敵ノ近ク迫ルヲ待チテ一齊ニ各種火器ノ最大威力ヲ發揮シ遂ニ手榴彈ヲ投シ白兵ヲ揮ツテ之ヲ擊退セシカトモ西南正面ニ於テハ既ニ一部ノ敵兵嚴家橋ニ通スル交通壕敵ノ設ケタルモノニシテ當時大隊ハ此在ヲ知ラザリシ爲此正面ニ配兵シアルスヲ傳ハリテ前郭家宅ニ侵入シ突如同部落東側ニ在リシ大隊本部ヲ至近ノ距離ニ襲ヒ次テ敵ノ主力亦更ニ上記交通壕及其東方水深ニ沿ヒ我カ射撃ヲ冒シテ躍進シ來リ前郭家宅東南端家屋自視明瞭ナル目標ニ射撃ヲ集中ス斯クテ彼我遂ニ手榴彈ヲ以テ相見エ慘烈ナル格闘ハ今ヤ處々ニ開始セララルルニ至ル

附記 敵ノ手榴彈ハ不發又ハ威力小ナルモノ多キニ反シ我カ投スルモノハ悉ク痛快ニ敵中ニ炸裂シ敵ノ態勢大ニ亂ルト雖勇敢ナル數名ノ敵ハ手ニ拳銃及支那刀ヲ携ヘテ我カ壕内ニ跳入ラントシ月明中ニ透視スレハ敵ノ幹部ハ後方ヨリ拳銃ヲ擬シテ督戰大ニ勉メツツアルカ如シ時ニ第一中隊軍曹合田正義、同森越兼二ハ奮然各、部下分隊(連日ノ戰鬥ニ死傷シ各、三名ヲ殘スノミ)ヲ提ケテ壕外ニ躍リ出テ接戰大ニ敵ヲ破ル偶、敵將校ノ發セル拳銃彈合田軍曹ヲ斃スヤ一等兵筏井兼次直ニ此將校(排長)ヲ射殺セリ

第一大隊長少佐大澤邦次ハ此敵襲ニ際シ歩兵砲及機關銃ニ射撃ヲ命スルト共ニ曲射歩兵砲小隊長少尉大野政雄ヲシテ第三中隊ヲ指揮シテ前郭家宅西方ノ敵ノ左翼ヲ包圍攻撃セシム

附記 第三中隊ハ中隊長以下死傷多キ爲二十四日二小隊ニ編成セリ而シテ中隊長代理ハ豫備役少尉奈田信一ナレト特ニ大隊命令

ニ依リ特務曹長深山信重中隊ヲ指揮ヲ執レリ

此時第一線ノ彈藥特ニ手榴彈缺乏シテ危急迫リシト雖勇敢ナル兵員ハ彈雨ヲ冒シ敵ノ潛入セル前郭家宅ヲ橫斷シテ豫備隊ヨリ彈藥ヲ補給セリ

聯隊長ハ電話ニ依リ此敵襲ヲ知ルヤ増援セントセシカ大隊長大澤少佐ハ之ヲ謝絶シテ彈藥ノ補給ヲ要請セシヲ以テ聯隊長ハ之カ處置ヲ講スルト共ニ山砲兵第一中隊ヲシテ此敵ヲ射撃セシメタリ

附記 山砲兵第一中隊ハ命ニ懸シ嚴家橋附近ニ對シ阻止射撃ヲ行フヤ敵ノ砲彈忽チ前郭家宅ニ飛來ス會、後方ヨリ歩兵第七聯隊第六中隊ノ發射スル機關砲第一線附近ニ炸裂シテ意外ノ混雜ヲ惹起セリ

此間大野少尉ノ指揮スル第三中隊ハ第二中隊ノ陣地前ニ進出セシカ敵兵ノ大部ハ既ニ退却セシヲ以テ前郭家宅ノ内部ヲ掃蕩シ潛入セル敵ヲ塵殺シ第一中隊亦激戰約一時間ニシテ敵ニ相當大ナル損害ヲ與ヘテ之ヲ擊退セリ時ニ午前四時過ナリ

敵ハ多數前郭家宅西方正面ノミニテ約四十、南方正面ハ尙多數ノ屍體ヲ遺棄シテ西方及西南方ニ退却セリ

附記 此敵襲ニ際シ第三大隊長ハ第一大隊ノ通報ニ接スルヤ直ニ第十一中隊長ヲシテ第十、第十一中隊ノ各一小隊(彈藥ヲ携行セシム)ヲ指揮シテ第一大隊ニ應援セシメシカ敵兵既ニ退却シタルヲ以テ同隊ハ午前四時三十分頃歸還セリ

大隊ハ戰死セル敵將校ヨリ敵ノ陣地配備要圖ヲ押收シテ聯隊長ニ提出セリ

此戰鬥ニ於ケル第一大隊ノ損害戰死九名、負傷十五名、計二十四名、射耗彈小銃彈六千三百五十三發、拳銃彈百發、手榴彈約三百發、山砲彈六十九發內榴彈二十四發ナリ

嚴家橋ノ
占領

嚴家橋占領ノ命ヲ受ケタル歩兵第七聯隊第六中隊長代理少尉 若林猪之ハ夜襲ノ準備中敵ノ逆襲アリシト月明ナリシトニ依リ拂曉攻撃ニ變更シ午前五時三十分前郭家宅南端出發、嚴家橋ニ通スル交通壕ニ沿ヒテ前進中先遣セル斥候ニ依リ嚴家橋ノ敵既ニ退却セルヲ知り直ニ同地ヲ占領シ其西南端ニ進出シテ之ヲ確保セリ時ニ旭日東天ニ現ル日出午前六時二十六分

其四 砲兵隊ノ行動附圖第二十一參照

砲兵隊ハ計畫ノ如ク午前八時ヨリ殆ト其全力ヲ以テ右翼隊ノ攻撃ニ協力シ第六〇七乃至第六一〇頁參照 次テ午前十時過ヨリ一部ヲ以テ左翼隊ノ攻撃ヲ支援シ第六三三頁參照 略々所期ノ目的ヲ達成セシヲ以テ砲兵隊長ハ爾後各大隊ニ命スルニ各擔任正面ニ於テ第一大隊ハ「イ」、第三大隊ハ「ロ」陣地各々三百米前方ニ對シ敵ノ逆襲阻止ノ準備ヲ行フヘキヲ以テセリ

午後二時三十分頃「大場鎮附近ヨリ東進中ナル敵ノ密集部隊アルヲ以テ飛行機協力ノ下ニ此敵ヲ射撃スヘキ」要旨ノ師團命令アリシカハ砲兵隊長ハ第三大隊ヲシテ之ヲ實施セシメタリ第六〇四頁參照

附記 第三大隊長ハ午後三時三十分ヨリ同四時ニ至ル間第八中隊ヲシテ飛行機(偵察砲兵中尉志村周一、操縦軍曹佐々木政治)ノ協力ヲ以テ徐宅(大場鎮東端東方一軒)ニ集結中ノ密集部隊ヲ射撃シ相當ノ效果ヲ收メタリ(第六四四頁參照)

次テ砲兵隊長ハ午後五時稍々前飛行機ヨリ大場鎮ニ密集部隊及高等司令部アルノ報ニ接シタルヲ以テ野戰重砲兵第一大隊ヲシテ擾亂射撃ヲ行ハシメタリ

附記 野戰重砲兵第二中隊ハ前記飛行機ノ協力ニ依リ午後五時頃ヨリ大場鎮中央ヲ射撃セシニ射撃之ニ命中セサリシカトモ同地

南側ニ於ケル敵ノ交通ヲ一時遮断セリ然ルニ飛行機ハ航續時間ノ關係上午後五時三十分頃歸途ニ就キタルヲ以テ爾後ノ射撃ヲ中止セリ

尙砲兵隊長ハ將來砲兵主力ヲ混成第二十四旅團方面ニ使用セラルヘキ場合アルヲ顧慮シ斥候ヲ派シテ所要ノ偵察ヲ遂ケシメタリ

其五 飛行隊ノ行動附圖第十九參照

飛行隊ハ午前六時飛行準備ヲ完了シ同六時四十分ヨリ任務ニ就キ師團ノ右側及敵陣地後方殊ニ右翼隊前面ノ敵情ヲ搜索シ一機偵察航空兵少尉柳畑嘉藤治 操縦 曹長牛谷美好ヲ以テ敵第一線陣地附近ヨリ大場鎮北方附近ニ互ル地域ノ寫眞撮影ニ從ヒ他ノ一機偵察砲兵中尉大沼清 操縦 曹長手塚小松ヲ以テ砲兵ノ觀測ニ協力シ特ニ此一機ハ早ク午前八時四十分頃敵退却ノ狀況ヲ確メテ師團長ニ報告セリ第六〇一頁參照

午前九時乃至同十時頃飛行隊長ハ兩中隊ヨリ夫々各三機ヨリ成ル一編隊長航空兵大尉西尾佐一郎 及同 福澤丈夫ヲ出動セシメテ敵陣地ノ上空ヲ威嚇飛行セシメ次テ同十時三十分頃指揮官任務機偵察步兵中尉中島正清 操縦 少尉杉浦勝次ヲ出シテ敵退却ノ狀況ヲ搜索セシメシニ同機ハ却テ敵ノ後方部隊ノ前進中ナル狀況ヲ齎セリ依テ午前十一時ヨ

リ逐次一機ヲ在空中セシメ敵兵力移動ノ狀況ヲ搜索セシムルト共ニ第二中隊ヨリ三機ヨリ成ル一編隊長歩兵大尉 池田直ヲ出動セシメ「機ニ應シテ敵ヲ爆撃スヘキ」ヲ命シ且獨立飛行第三中隊ニ「好目標ヲ發見セハ地上攻撃ヲ行フヘキ」ヲ命令セリ

第二中隊ノ編隊ハ正午前後大場鎮附近ニ到リ集結中ノ二、三百名ノ敵ニ對シ爆撃ヲ加ヘタリ

飛行隊ノ
地上部隊
ニ對スル
協力及地
域寫眞攝
影

附記 獨立飛行第三中隊ハ二機ヨリ成ル一編隊ヲ出シタレトモ交戦セス

飛行隊長ハ師團命令ニ依リ午後三時三十分頃一機 偵察砲兵中尉志村周一ヲシテ砲兵ニ協力シテ大場鎮附近ノ敵密集部隊ヲ射撃セシメ 第六四二頁前段附記参照 尙獨立飛行第三中隊ノ二機ヨリ成ル一編隊 谷村峻之助ヲシテ同時頃此附近ノ敵ニ對シ地上攻撃ヲ加ヘシメタリ

附記 此日ニ於ケル飛行機出動ノ延機數ハ第一中隊九機、第二中隊十二機、獨立飛行第三中隊十機ナリ

飛行隊長ハ翌日ノ爲師團長ヨリ與ヘラレタル任務 第六〇六ニ基キ概ネ左ノ如ク部署セリ

- 一 偵察中隊ヲシテ明早朝飛行ヲ開始シ前任務ヲ續行セシムルト共ニ特ニ敵陣地ノ變化ヲ速ニ搜索セシメ兩中隊ノ各一機ヲシテ大隊長ノ直轄機トシテ寫眞撮影ニ任セシム
- 二 獨立飛行第三中隊ヲシテ明早朝飛行準備ヲ完了シ一部ヲ以テ飛行場ノ防空ニ任セシメ主力ヲ以テ敵機來襲ニ對スル攻撃ヲ準備セシム
- 三 各中隊ヲシテ各一編隊ヲ以テ對地攻撃 偵察中隊ノ準備ヲ整ヘシム

附記 此日午後三時頃敵ノ便衣隊四百名飛行場附近ヲ襲撃スヘントノ諜報アリシヲ以テ飛行場ノ周圍ニ有刺鐵線ヲ繞ラシ終夜至嚴ナル警戒ヲ過シタレトモ何等異狀ナシ

航空記録 此日ニ於ケル航空記録 拔萃左ノ如シ

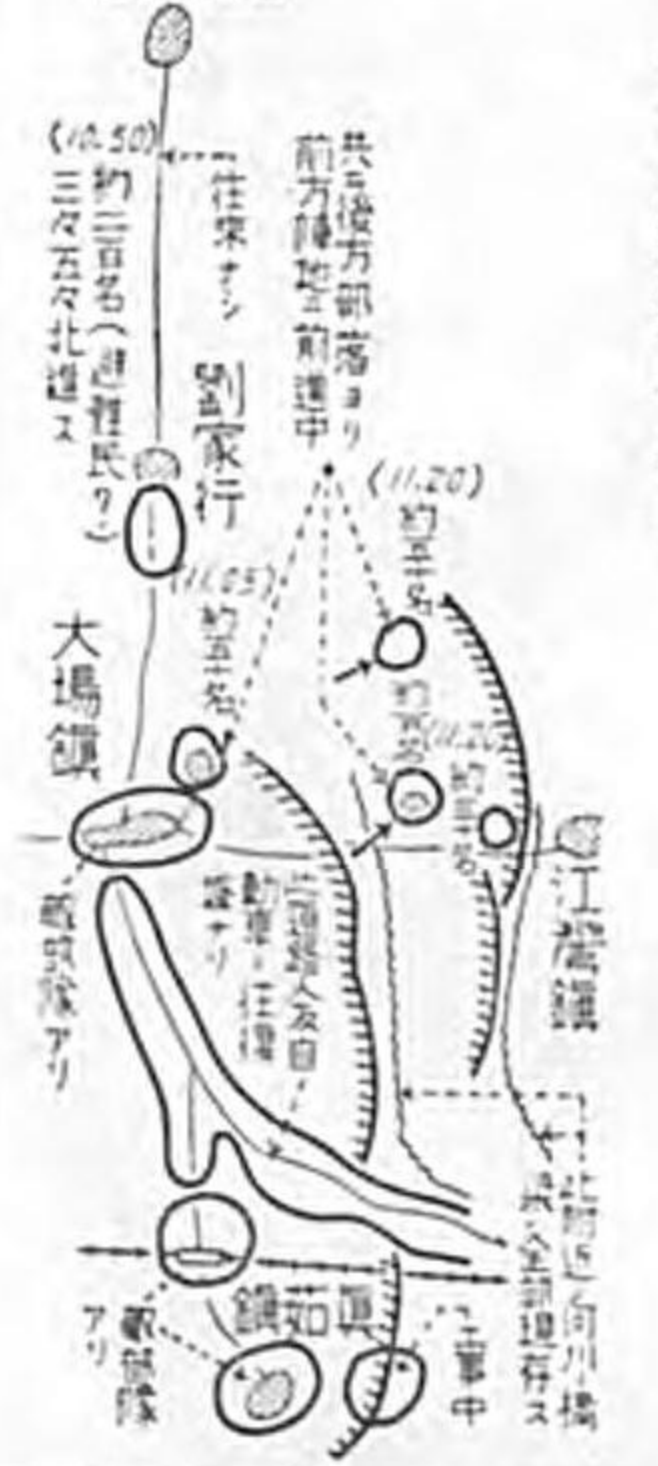
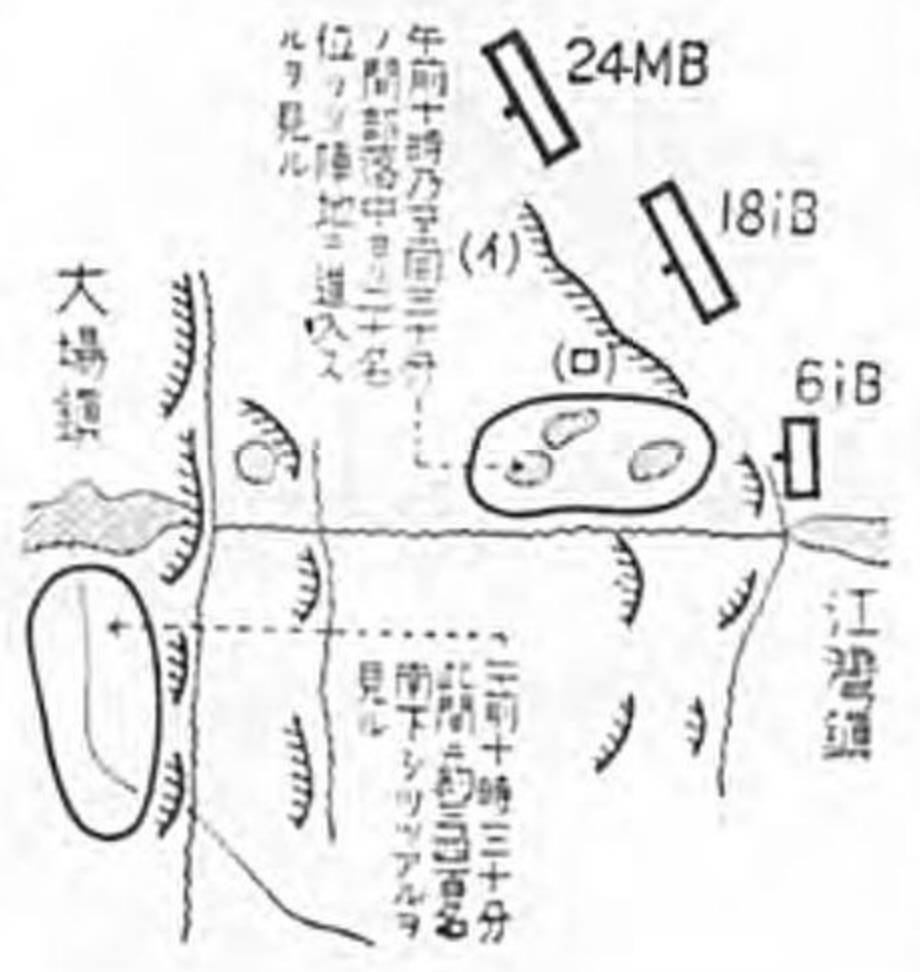
飛行第二大隊航空記録 (拔萃)

二月二十五日

隊中	隊中	隊中	隊中
機行飛	機察偵型一式乙	機察偵型一式乙	機行飛
者操操	者操操	曹軍木々佐	曹軍親金
者察偵	者察偵	尉大兵歩野天	尉少兵空航岡
任務	混成第二十四旅團方面及英一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	北ノ敵情搜索	主トシテ右翼隊正面ノ敵陣地變化ノ有無併テテ南翔鎮附近ノ敵情搜索
任務	一 敵ハ静止狀態ニ在リ散兵壕及村落附近ニ現出シアラス 二 英一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	概テ八百乃至一公里ノ高度ヲ以テ所望地區上空ヲ遊弋シ適時目視並寫眞偵察(眞茹驛東北側)ヲ行フ 彭浦鎮西側ニ新ニ増築シタル陣地アリ	敵陣地ノ變化ナク又兵力移動ヲ認メス 南翔鎮ニ貨車三十輛、機關車二輛ヲ見レト附近ニ敵部隊ヲ見ス 陣地ノ細部ハ斜寫眞撮影ヲ爲ス
經路	飛行場(齊家宅)東南側(紀家橋)最高(〇)平均(七〇〇)	飛行場(齊家宅)東南側(紀家橋)最高(〇)平均(七〇〇)	飛行場(齊家宅)東南側(紀家橋)最高(〇)平均(七〇〇)
高度(米)	最高(〇)平均(七〇〇)	最高(〇)平均(七〇〇)	最高(〇)平均(七〇〇)
氣象	晴	晴	晴
飛行時間	〇時四十一分	〇時四十一分	〇時四十一分
事故			
摘要			

隊	中	二	第
九八一一同 五八一一同九九〇一同	二九六同	三四七同	
尉中藤遠 曹軍島長尉少田入	長曹塚手	長曹谷牛	
尉大兵空航尾西長 曹軍川武尉中兵砲村志	尉中兵砲沼大	尉少兵空航畑桐	
行ル威嚇飛	砲兵協力	影ノ間ノ地区 牛方西北大 三軒西場橋 撰撰撰撰撰撰	
二 右翼隊正面及廟巷鎮附近ヲ威嚇飛行ス 大場鎮東側ノ敵部隊ニ對シ爆彈十一發ヲ投下ス	九 江津鎮北側敵第一線ニ增加ナルヲ發見ス 八 同時砲兵隊第一線ニ增加ナルヲ發見ス 七 却中ノ一部モ第一線ニ增加ナルヲ發見ス 六 果アル旨ヲ砲兵隊ニ報告ス 五 射撃ヲ實施シ師團司令部ニ報告ス 四 通信隊ニ依リ砲兵隊ニ對シ砲兵隊ニ對シ 三 午八時對シ砲兵隊ニ對シ砲兵隊ニ對シ 二 午八時對シ砲兵隊ニ對シ砲兵隊ニ對シ	大隊長直轄機トシテ所命ノ地区ノ撮影ヲ完了ス	
飛行場	廟巷鎮	飛行場	飛行場
平均 1000	最高 1300	平均 800	最高 1000
晴	快	晴	晴
1000	0700	0800	0700
テ歸著ス	編隊長機 振動ヲ生 セシ爲在 空五十八 分間ニシ	ス換へ出發	午前七時 三十分出 發セシモ 第一〇九 九號機ノ 發動機不 調ノ爲一 旦著陸シ 第六九二 號機ニ乗 換へ出發

隊	中	一	第
四六七同	九六七同 三五七同	九六七同 三五七同	
尉少浦杉	尉少曹軍澤野尉少川衣	尉少曹軍澤野尉少川衣	
尉中兵歩島中	尉中兵砲本松 尉中兵砲本松	尉中兵砲本松 尉中兵砲本松	
(指揮官) 任務	ノ威嚇飛	ノ威嚇飛	
敵第一線及第二線ノ状況ヲ退却ノ確否及其兵力ノ向ノ偵察	編隊ヲ以テ敵上空ヲ飛行シ九發ノ爆彈ヲ實施シ且要圖ノ如キ敵情ヲ得タリ	編隊ヲ以テ敵上空ヲ飛行シ九發ノ爆彈ヲ實施シ且要圖ノ如キ敵情ヲ得タリ	
鎮店羅	江津鎮、大場鎮上空ヨリ偵察セシ敵退却ノ模様ナシ 歸途師團司令部ニ通信筒ヲ以テ報告ス 敵情ノ細部要圖ノ如シ	江津鎮、大場鎮上空ヨリ偵察セシ敵退却ノ模様ナシ 歸途師團司令部ニ通信筒ヲ以テ報告ス 敵情ノ細部要圖ノ如シ	
飛行場	飛行場	飛行場	飛行場
平均 1000	最高 1300	平均 1100	最高 1300
良不流氣	シ強風北	晴快	晴
1000	0700	0700	0700
	本日ノ如ク砲撃ト協力シテ行フ爆撃ハ威嚇效果甚大ナルモノト認ム		

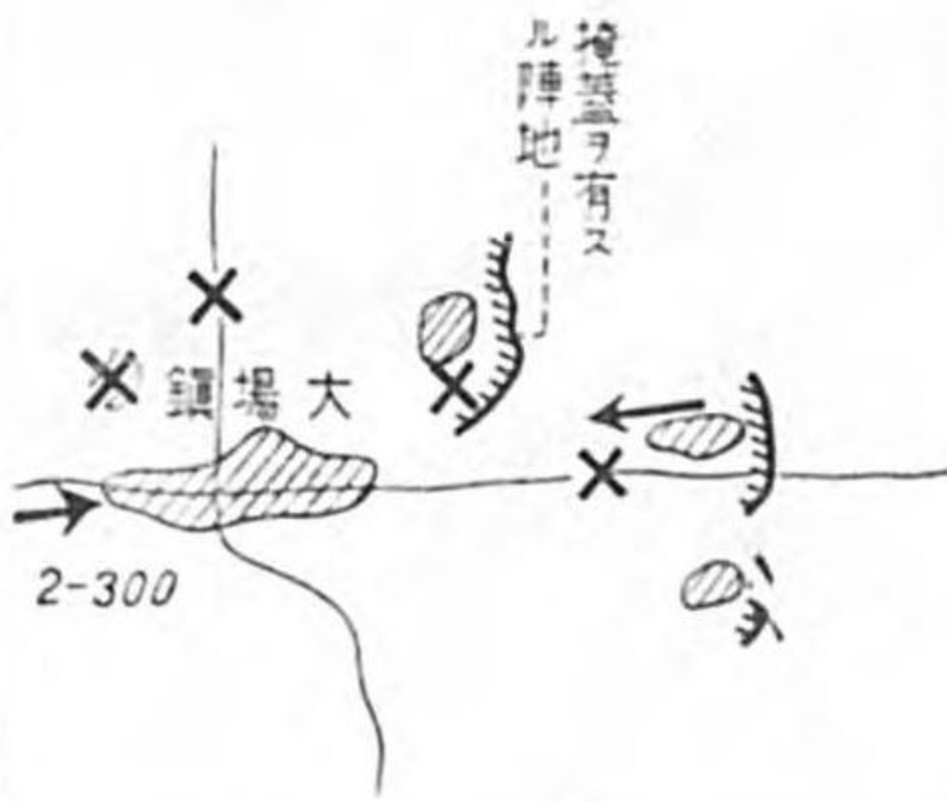


隊 中 一 第	九七〇一 同
曹 軍 本 宮	
尉 中 兵 空 航 木 青	
江灣鎮西 方敵部隊 移動ノ状 態搜索、 羅店鎮	
一 西大場鎮 二 東約三 三 敵第一 中百敵	
三 敵部隊 移動ノ状 如シ要部 ノ圖	
江灣鎮	
大場鎮	
羅店鎮	
飛行場	
平均 最高	
晴	
一二〇〇	
一三〇〇	

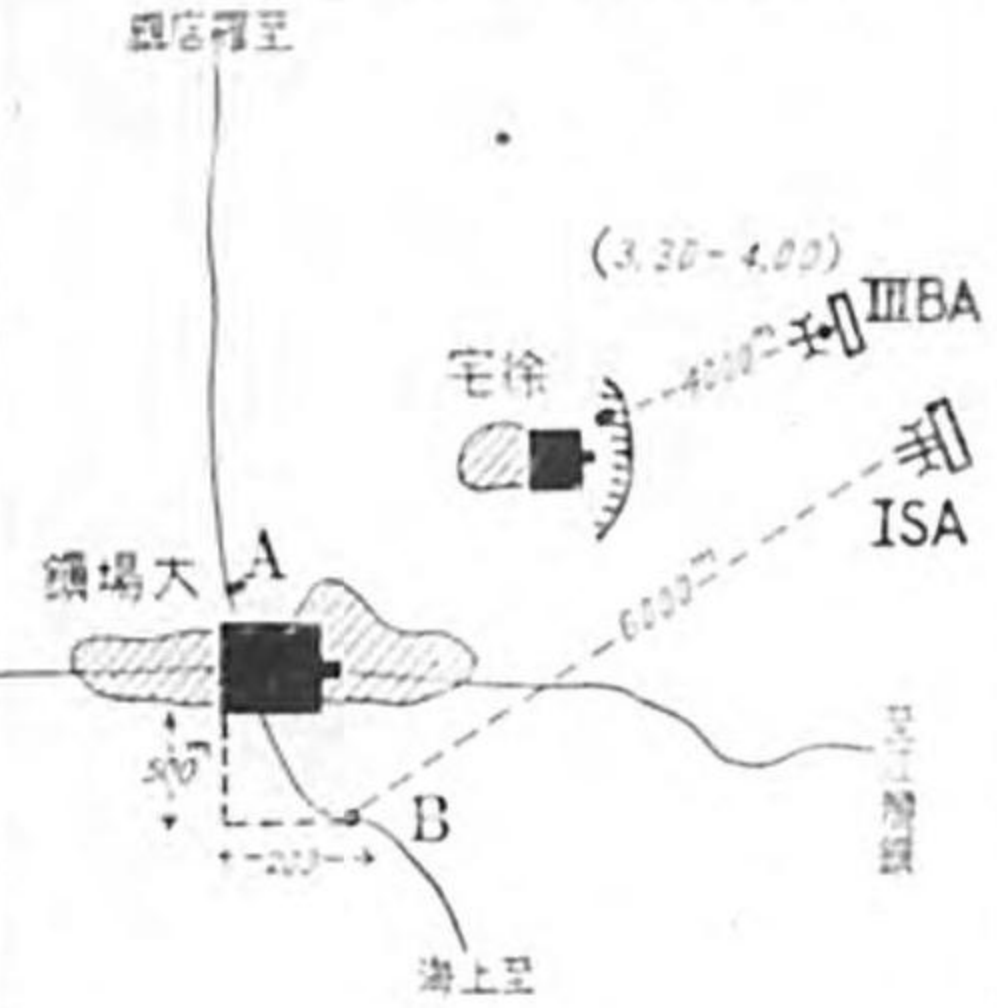
隊 中 二 第	七八一一同 九九〇一同 二九六同
曹軍木々佐 長曹谷牛 尉中藤遠	
長伍橋岩 尉少兵空航田入 尉大兵步中池 長	
混成第二 十四旅團 正面ノ敵 情搜索並 機ニ應ス ル爆撃	
大場鎮附近ニ約二、三百名ノ 敵集結中、其北方陣地ニ對シ 爆撃ヲ實施ス	
江灣鎮北 側	
飛行場	
平均 最高	
晴	
一二〇〇	
一三〇〇	

隊 中 一 第	六九六 同
曹 軍 田 内	
尉 中 兵 步 柿 大	
江灣鎮西 側附近ノ 敵陣地及 大場鎮ニ 通スル東 西南北ノ 諸道路ノ 搜索特ニ 敵ノ第一 線ニ對ス ル増援又 ハ退却狀 態搜索	
要圖ノ如キ狀況ヲ得タレト陣地ニ關シテハ別ニ大ナル變化ヲ認メス	
江灣鎮	
大場鎮	
飛行場	
平均 最高	
晴	
一二〇〇	
一三〇〇	

隊 中 二 第	九九〇一 同
長 伍 橋 岩	
尉 大 兵 步 野 天	
戰場一般 ノ搜索	
一 敵部隊移動ノ模様ナシ 二 大場鎮ヨリ胡家庄(大場鎮東端北方四軒)ニ通スル道路上ニ敵自動 車ノ南行スルヲ見ル又數名ノ敵兵ノ北行スルヲ見ル 三 沈家宅(紀家橋北方四百米)附近ニ於テ二名ノ敵兵移動スルヲ見ル 四 混成第二十四旅團ノ一部ハ張家橋(廟巷鎮西端西南西方七百米)ヲ 占領シアリ(註、誤ナリ)	
飛行場	
平均 最高	
晴	
一二〇〇	
一三〇〇	



隊中一第	隊中二第
七九六 同	九九〇一 同
曹軍親金	尉少畑桐
尉少兵空航岡	尉大兵空航山口
有無搜索	戦場一般ノ状況視察
敵陣地ノ變化並兵力移動ノ	大場鎮方面ノ敵後續部隊ニ對スル射撃指導
一 江灣鎮、廟巷鎮以西ノ地區ノ敵陣地並羅店鎮—大場鎮—眞茹鎮道並大場鎮以西各道路上ヲ搜索ス	一 北孫宅(廟巷鎮北北東方一軒半)附近ハ火災ヲ生シアリ敵ハ撤退シアルヘシ
二 廟巷鎮西北方ノ陣地ハ稍、堅固ナルモノノ如ク江灣鎮—大場鎮道南方及東横徑橋(大場鎮西端南方一軒半)附近ノ陣地ハ堅固ナルカ如ク	二 廟巷鎮西北方ノ陣地ヲシキモノアリ
三 廟巷鎮西北方ノ陣地ハ稍、堅固ナルモノノ如ク江灣鎮—大場鎮道南方及東横徑橋(大場鎮西端南方一軒半)附近ノ陣地ハ堅固ナルカ如ク	三 戦場一般並大場鎮附近ニ部隊ノ移動スルモノヲ見ス
四 揚行鎮方面ニハ部隊ヲ認メス	四 揚行鎮方面ニハ部隊ヲ認メス
要スルニ右翼方面ハ危険少キモノト認ム	要スルニ右翼方面ハ危険少キモノト認ム
三 其他兵力移動ヲ認メス	三 其他兵力移動ヲ認メス
飛行場、江灣鎮、大場鎮、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場
飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場
最高 1000	最高 1000
平均 1000	平均 1000
出發時刻 1230	出發時刻 1230
歸著時刻 1430	歸著時刻 1430
事故 ナシ	事故 ナシ
摘要 同	摘要 同



獨立飛行第三中隊航空記錄 (拔萃)

二月二十五日

機 關 戰 型 四 式 甲	飛 行 機 型 番 號	操 縱 者	任 務	任 務 遂 行 ノ 概 要	飛 行 經 路	高 度 (米)	時 刻	事 故	摘 要
九三〇 長谷村中尉	九三二 野口曹長	九三三 長古賀中尉	九三四 長谷村中尉	九三五 高山軍曹	九三六 長谷村中尉	九三七 長谷村中尉	九三八 長谷村中尉	九三九 長谷村中尉	九四〇 長谷村中尉
2 高岩軍曹	2 野口曹長	3 根木軍曹	3 野口曹長	3 野口曹長	3 野口曹長	3 野口曹長	3 野口曹長	3 野口曹長	3 野口曹長
戦線上空ニテ敵情監視並警戒、好目標ノ地上攻撃	戦場附近上空警戒、敵機ヲ求メテ攻撃、好目標ニ對スル地上攻撃	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入	江灣鎮、大場鎮ヲ連ニシテ、廟巷鎮、眞茹鎮、新公園方面ヨリ所命ノ空域ニ進入
飛行場、江灣鎮、大場鎮、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場	飛行場、江灣鎮、大場鎮、眞茹鎮、新公園、飛行場
最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000	最高 1000
平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000	平均 1000
出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230	出發時刻 1230
歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430	歸著時刻 1430
事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ	事故 ナシ
摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同	摘要 同

其六 混成第二十四旅團方面ノ狀況 (附圖第十 九参照)

混成第二十四旅團ノ各隊ハ依然爾後ノ攻撃ヲ準備ス但歩兵第四十六聯隊第一大隊ハ午前九時十分頃ヨリ一部ノ輕機三分隊及機關銃二小隊ノ火力ヲ以テ田園附近ヲ退却スル敵ヲ射撃シ師團主力方面ノ攻撃ニ協

方シ獨立山砲兵第二大隊亦其第五中隊ヲ以テ師團右翼方面ノ敵ヲ制壓シテ其攻撃ヲ援助セリ

第六二四頁參照

附記

此間歩兵第四十八聯隊第一大隊ハ一部ヲ以テ北孫宅及前日放棄セシ南孫宅ヲ燒却セリ

旅團長ハ午前十時頃豫備隊ト共ニ南齊家宅ヲ去リ同十時三十分頃顧家宅舊司令部ノ位置ニ復セリ

旅團長ハ廟巷鎮北側地區ニ於ケル敵ノ存在ハ將來ノ作戰ヲ掣肘スルノミナラス之カ爲旅團ノ右側ヲ永ク守勢鉤形ト爲シ置クハ爾後ノ攻撃ニ便ナラサルヲ以テ先ツ此煩累ヲ一掃スルノ要ヲ認メ午後一時師團長ニ對シ「二十七日ヲ期シテ北方ノ敵ヲ攻撃スヘキ」意見ヲ具申セリ

第六〇四頁參照

午後六時前後兩三回廟巷鎮正面ニ數十名ノ逆襲アリシカ當面ノ歩兵ハ直ニ之ヲ擊退シ尙獨立山砲兵第四中隊ハ同時頃廟巷鎮北側及沈家溝附近ヲ射擊セリ

其七 其他ノ部隊ノ狀況 附圖第十 九參照

吳淞支隊及左側警戒隊方面ノ狀況變化ナシ
海軍陸戰隊ハ此日砲隊ノ一部ヲ以テ江灣鎮西側ヲ火制ス日沒後當面ノ敵ハ砲擊ヲ開始シ徹宵之ヲ繼續シテ午前三時頃ニ至ル此間陸戰隊本部、北四川路、三義里、虬江路附近ニ熾ニ砲彈落下シ之カ爲若干ノ負傷者ヲ生セシノミナラス橫濱路大陸里 虹口「クリック」鐵道橋 北側(附圖第三參照) 附近ハ遂ニ火災ヲ起セリ

師團豫備隊

師團豫備隊 步兵第七聯隊主力 ハ一部ヲ以テ依然諸警戒ニ任シ主力ヲ以テ天樂寺附近ニ待機シアリ午後五時頃第一線ニ増加ヲ命セラレ 第一大隊(第一、第三中隊)ハ梁般宅左翼隊司令部ニ到リシカ日沒後中止ヲ命セラレ

師團通信隊

師團通信隊 構成セル通信網ハ二十二日、無線電信隊二十五日取扱ヒタル電報百二、輜重隊 支那苦力二百三十八名ヲ屬ス ハ前任務ヲ

輜重隊

輜重隊 於ケルト略、同機トス 續行ス

衛生隊

衛生隊ハ午前六時三十分天樂寺繙帶所ヲ撤シ同九時三十分固老橋ニ開設シ同十一時頃第一中隊ノ主力ヲ以テ普西、同一部ヲ以テ吳家宅ニ到リテ傷者ヲ收容シ第四中隊ヲ以テ麥家宅 白楊村 南側 附近ニ中繼所ヲ開設シテ後送ニ任シ百六十一名ヲ收療セリ

野戰病院

野戰病院ハ依然前任務ヲ續行ス 二十五日中ニ收容セル傷者前者ニ於テ百二十七名、後者ニ於テ二十七名トス

第四款 戰鬥ノ成績

師團ハ此攻撃ニ於テ麥家宅(登家宅)東方陣地ヨリ嚴家橋ニ互ル正面約二軒ノ敵第一線陣地ヲ奪取シ砲兵ノ集中射擊及飛行機ノ爆撃ノ威力ニ依リテ敵ノ心膽ヲ奪ヒ之カ爲敵ノ戰線漸次動搖ヲ來シ敵軍首腦部ヲシテ永ク現狀ヲ保持スルコト困難ナルヲ感セシメタルノミナラス爾後機ヲ見テ總退却ヲ行ハントスルニ至ラシメタルカ如シ

第二次攻撃ニ參加セル我カ陸軍ノ部隊數第一次攻撃ニ於ケルト略、同シク總員將校以下一萬二千六百

二十五名二千五百七十三名、非戦員ヲ含ム、馬一千三百十八頭六十頭ノ非戦馬ヲ含ムニシテ其損害ハ戦死九十九名非戦員六名ヲ含ム、馬三頭、負傷四百三名輕傷者三十三名、非戦員三、十五名(内輕傷四名)ヲ含ム、馬二十九頭輕傷七頭ヲ含ムナリ詳細附表第二其一及第二十五卷参照又消費彈藥附表第二其二ノ如シ

第六節 上海派遣軍ノ増遣及上海派遣軍司令官ノ會戰指導附圖第二十二参照

第一款 上海派遣軍ノ増遣

陸軍中央部ニ於テハ第九師團及混成第二十四旅團ノ上海派遣ニ伴ヒ日支關係益々惡化シ狀況ニ依リテハ機ヲ失セス更ニ第二次派遣部隊ヲ増遣シ徹底的ニ長江下流流域ニ於ケル抗日支那軍隊ヲ膺懲スルノ要アルヘキヲ考慮シ豫メ之カ研究準備ニ著手シアリ

然ルニ第九師團ノ攻撃開始セララルヤ其戰況豫期ノ如ク進展セス而モ敵ノ兵力逐次増加ノ傾向アリ

附記 二十二日ニ於ケル上海附近ノ兵力第十九路軍及第五軍ノ各三萬名ノ外上海方面へ移動中ノ蔣介石直系軍(第七、第九、第四十七、第五十四師)ノ四萬名ヲ算スルノ狀況ニ在リ

上海郊外ニ於ケル敵第一線ノ抵抗ノ度ト其後方地域ノ地形トニ依リ判斷スレハ敵ハ更ニ大場鎮、真茹鎮附近ノ陣地ニ於テ頑強ナル抵抗ヲ試ミルヘク此際在苒日ヲ曠シウセンカ内外ノ情勢更ニ惡化ノ虞ナシトセス

附記 當時上海附近商取引ノ減衰ニ依リ列國ハ相當ノ打擊ヲ被リ在留外人ハ齊シク急遽ナル時局ノ收拾ヲ懸望シ戰局ノ彌久ニ伴

ヒ漸次怨望反感ヲ昂メツツアリテ此等外人ノ態度ハ動モスレハ其本國ノ政策ニ反映セントスルノ情勢ニ在リ

會ニ二十二、二十三ノ兩日在上海帝國公使館附武官步兵中佐、原田熊吉、參謀本部附步兵大佐、今村均等ヨリ交々意見ヲ具申シ速ニ所要ノ兵力ヲ増派シ一舉ニ事件ノ解決ヲ圖ルヘキヲ電報シ來リ第九師團長亦敵陣地ノ強度ト特殊ノ地形トニ鑑ミ速ニ必要ノ部隊及資材ノ増加ヲ具申スルトコロアリ

是ニ於テ陸軍中央部ハ内外全般ノ情勢ニ稽へ上海附近ニ増兵スルヲ必要トシ二十三日午後七時四十分允裁ヲ仰キ翌二十四日上海派遣軍司令部、第十一師團、第十四師團及其他ノ諸隊派遣ノ件ヲ傳宣セリ

二十五日正午軍事參議官議定官大將白川義則ハ上海派遣軍司令官ニ親補セラレ且左ノ御沙汰書ヲ賜ハル

御沙汰書

朕今卿ニ委スルニ上海派遣軍統率ノ任ヲ以テス卿克ク派兵ノ主旨ヲ了シ其目的ヲ達成スルニ努メヨ同時ニ任務遂行ニ關シ特ニ左ノ親諭ヲ拜セリ

- 一 克ク列國ト協調ヲ保チ時局ニ對スルコト
- 二 條約ヲ尊重シ之ニ違背セサルコト
- 三 速ニ戰勝ヲ收ムルコト

軍司令官ハ二十五日奉勅命令ニ依リ上海附近ニ於ケル帝國臣民保護ノ任務ヲ授ケラレ同時ニ之ニ關ス

ル指示ヲ受領シ次テ作戰特ニ軍主力ノ上陸作戰ニ關スル陸海軍首腦者ノ打合セニ參列ス此際左ノ要旨ノ作戰要領案ヲ交付セラレタリ

上海派遣軍作戰要領案

方針

軍ハ主力ヲ以テ瀏河鎮、漕浦鎮間ノ地域ヨリ上海方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷シタル後之ヲ崑山以東ノ地區ニ於テ捕捉擊滅ス

要領

- 一 第十一師團ノ一部先行部隊ハ吳淞鎮附近ニ上陸シ一時第九師團長ノ指揮ヲ受ク
- 二 第十一師團主力ハ七了口狀況ニ依リ漕浦鎮方面ニ上陸シ速ニ京滬鐵道上ニ進出シ上海方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷ス
- 三 第十四師團ハ七了口狀況ニ依リ漕浦鎮方面ニ上陸ス
狀況ニ依リ有力ナル一部ヲ以テ乍浦鎮附近ニ上陸シ速ニ滬杭甬鐵道上ニ進出シ上海方面ノ敵ノ退路ヲ遮斷スルコトアリ
- 四 第九師團混成第二十四旅團ヲ含ムハ軍主力ノ進出ニ伴ヒ之ニ協應スル如ク行動ス
- 五 軍司令部ハ上海附近ニ先行シ後主力方面ニ移ル

上海派遣軍作戰要領案

六 敵ノ敗竄兵ヲシテ上海租界ニ遁入セシメサル如ク留意ス

附記 二十五日ノ作戰ノ打合セニ於テハ上陸點ニ關スル陸海軍意見ノ一致ヲ見サリシヲ以テ軍司令官ハ揚子江口到着後決定スルコトトシ二十六日東京ヲ出發セリ

此間第十一師團ハ動員ヲ完結シ且上陸ニ關スル周到ナル準備ヲ整ヘツツ二十七日其先頭部隊ヲ以テ海軍艦艇ニ搭乘シテ小松島ヲ出港シ軍司令官ハ先行幕僚參謀砲兵大佐岡部直三郎以下將校二十名、下士官五名ト共ニ之ト同行シ揚子江口

ニ向ヘリ第六三頁參照

附記 陸軍中央部ハ第十四師團及其他ノ軍直轄部隊ヲ三月二日乃至十日ノ間ニ大阪ニ輸送シ同地ニ於テ乗船セシメ三月七日乃至十五日ノ間ニ上海附近ニ到着スル如ク部署セリ

第二款 上海派遣軍司令官ノ會戰指導

軍司令官ハ二十七日午後五時妙高艦上ニ於テ軍命令上軍作命甲第一號ヲ下シ第十一師團先遣梯團ヲ其隸下ニ入レ

訓示附錄第六ヲ與ヘ次テ在上海部隊ニ「軍司令官ノ揚子江口著ノ際命令受領者等ヲ來會セシムヘキ」件ニ關シ電報セリ

此日軍司令官ハ第十一師團長中將厚東篤太郎及第二艦隊司令長官中將末次信正ト共ニ陸海軍ノ幕僚ヲ會シ作戰ニ關スル打合セヲ行ヒ第十一師團先遣梯團ノ上陸點ヲ概ネ七了口實稱七了口附近ト決定セリ

二十八日風浪高ク軍司令官ノ一行ハ難航ヲ續ク
此日軍司令官ハ在上海部隊ニ對シ電報ヲ以テ左ノ訓示ヲ與ヘタリ

上海派遣軍司令官ノ出發

上陸點ノ決定及軍司令官ノ訓示

訓示

戰場ニ在ル部隊ノ將士ニ告ク 義則茲ニ勅ヲ奉シ任ニ就キ今ヤ新ニ増派セララル部隊ヲ率キテ發進ニ方リ頻ニ戰勝ノ報ヲ耳ニシ切ニ諸士ノ健闘ヲ喜ブ 冀クハ益々志氣ヲ旺盛ニシ其任務ニ邁進セムコトヲ

昭和七年二月二十八日

上海派遣軍司令官 白川 義 則

附記 此夜參謀次長ヨリ軍司令官ニ「其後ニ於ケル内外一般ノ情勢ニ鑑ミルモ貴軍カ第十一、第十四師團主力ヲ以テ揚子江本流沿岸ニ上陸シ作戰ノ速決ヲ期セラルルコト益々緊要トナレリ從テ第十一師團ヲシテ其全力ノ集結ヲ待ツコトナク狀況ノ許ス限リ速ニ南進セシムルト共ニ之ニ呼應スル如ク第九師團ノ攻撃ヲ促進セシメラルル要アルモノト判斷セラルル」旨ノ電報アリ之ニ依リ軍司令官ハ其決心中央部ノ意圖ト一致セルヲ知得セリ

上陸日次
決定日次
ノ決定日次
攻撃ニ關スル軍令

二十九日午前四時揚子江口ニ到著ス此間軍司令官ハ依然幕僚ヲシテ作戰ニ關スル打合セヲ續行セシメ 上陸日時ヲ三月二日ト豫定セリ

同日午前九時在上海軍參謀長少將田代皖一郎ノ一行軍參謀步兵大佐喜多誠一、同歩兵少佐平田正判、同航空兵少佐服部武士、第九師團參謀砲兵少佐高橋坦、運輸部臨時上海派出所長 田尻昌次來艦シ更ニ打合セヲ開催シ「第十一師團先遣梯團ハ三月二日之ヲ七了口附近ニ上陸セシメ後續 第十四師團ハ第十一師團ノ上陸後一般ノ狀勢ヲ觀察シタル結果ニ依リ上陸點ヲ決定スヘキ」意見ニ一 致セントセシカ「明三月一日ハ風浪靜ナランモ明後二日ハ豫測ニ難シ」トノ海軍側ノ提供セル天氣豫

報ニ基キ軍司令官ハ三月一日豫定ノ如ク七了口附近ニ上陸ヲ敢行スルニ決シ午前十時五十分左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

上軍作命甲第二號

上海派遣軍命令(要旨) 三月二十九日午前十時 於 軍 艦 妙 高

- 一 軍ハ明一日第九師團ヲシテ張家橋、夏馬灣ノ線ヲ奪取セシメ第十一師團主力ヲ七了口附近ニ揚陸シ大場鎮、真茹鎮方面ニ對スル作戰ヲ準備セシメントス
- 海軍第三戰隊及海軍飛行機ハ軍ノ作戰ニ協力ス
- 二 第九師團飛行隊、臨時派遣工兵隊、軍無線電信一小隊ヲ除キ配屬部隊故ノ如ク新ハ明一日前面ノ敵ヲ擊攘シ廟巷鎮西方張家橋附近ヨリ大行橋江灣鎮西、孟家巷大行橋南ヲ經テ夏馬灣江灣鎮西附近ノ線ニ進出シ第十一師團ノ上陸ニ策應スルト共ニ大場鎮附近ノ敵ニ對スル爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ 第十一師團臨時派遣工兵隊、軍無線電信一小隊ヲ屬スハ明一日七了口附近ニ上陸シ且成ルヘク速ニ瀏河鎮ヲ急襲占領シテ大場鎮、真茹鎮方面ニ對スル攻撃ヲ準備スヘシ
- 上陸實施ニ關シテハ海軍第三戰隊司令官ト協議スヘシ
- 師團ノ揚陸作業ノ爲陸軍運輸部臨時上海派出所長田尻大佐並所要ノ海運材料ヲ配屬ス
- 四 軍飛行隊長江橋大佐、飛行第二大隊、獨立飛行第三中隊ハ二十九日及三月一日左ノ如ク行動スヘシ

- 1 二十九日瀏河鎮、羅店鎮、嘉定、太倉、崑山附近ノ敵情竝其動靜ヲ偵察ス
- 2 三月一日偵察一中隊ヲ以テ第九師團ニ協力シ其他ヲ以テ第十一師團上陸正面ノ上空ヲ掩護シ竝其上陸戦闘ニ協力ス

海軍飛行機ハ二十九日瀏河鎮、揚林口、七了口、六濱口附近河岸ノ狀況竝其附近陸上ノ偵察ヲ實施シ且杭州灣沿岸ニ偽偵察ヲ行ヒ三月一日第十一師團上陸正面ニ於テ師團長ノ要求ニ基キ爆撃及煙幕展張ニ任ス

五 予ハ三月一日午前中ハ軍艦妙高ニ在リ後上海東北端公大紡績第一工場註、公大第一紡廠ニ在リ

軍司令官 白川 義則

兩師團ノ狀況

第十一師團長ハ豫メ上陸計畫ヲ策定シ軍司令官ノ認可ヲ受ケシカ右命令ニ基キ直ニ上陸ニ關スル命令ヲ下達シ同日午後四時頃海軍輕艦艇ニ移乘シ同十時上陸點ニ向ヒ出發セリ第六六頁參照
一方第九師團長ハ第二次攻撃終了後第三次攻撃ヲ計畫シ二十八日所要ノ命令ヲ下達シ諸隊ハ之ニ基キ著々攻撃準備ヲ進メツツアリ

軍司令官ハ指揮連絡ノ便宜上依然妙高ニ坐乘シ會戰指導ニ任セリ

附記 軍司令官ハ第十一師團指導ノ爲參謀步兵中佐水見俊徳ヲ同行セシメ第九師團ト連絡ノ爲參謀航空兵少佐服部武士ヲ上海ニ歸還セシメタリ

三月一日未明軍司令官ハ第九師團長ヨリ敵兵退却ノ兆アル旨ノ電報竝午前七時頃第十一師團長其他ヨ

リ上陸成功ノ報告ヲ受領スルト共ニ海軍ノ通報ニ依リ七了口、瀏河鎮間距岸約八杆以内ニ敵兵ヲシキモノヲ認メス各方面トモ土民ハ續々避難シツツアルヲ知ル此頃第九師團ハ新ニ到著セル步兵第二十二聯隊ヲ併セ指揮シテ攻撃ヲ開始シ同師團ニ増加セラレタル野戰重砲兵第六聯隊第二大隊ハ朝來吳淞鐵道棧橋ニ於テ上陸中ニシテ同獨立野戰重砲兵第八聯隊第四中隊ハ午前九時四十分上海大阪商船碼頭ニ到著セリ

軍司令官ハ右砲兵ニ所要ノ命令ヲ與ヘタル後午前十時驅逐艦吹雪ニ移乘シ午後零時三十分吳淞鐵道棧橋ニ上陸、幕僚ヲ隨ヘテ同一時公大第一紗廠軍司令部ニ到リ聲明附錄第五頁參照ヲ發シテ親ラ上海附近ノ戰鬥ヲ指揮セリ

此日第九師團方面ノ戰況逐次有利ニ發展シ夕刻マテニ約四杆ノ正面ニ於テ縱深約一杆ニ互リ進出シ第十一師團亦逐次敵ヲ壓迫シテ瀏河鎮北方地區ニ到達セリ此兩師團ノ戰鬥ニ於テ軍飛行隊ハ早朝ヨリ各一部ヲ以テ之ニ協力シ特ニ敵ノ退却ニ際シテハ果敢ナル空襲ヲ行ヒテ敵ヲ潰亂セシメ海軍飛行機亦戰鬥ニ參加シ威力大ナル爆撃ヲ以テ敵ヲ震駭セシメタリ

軍司令官ハ本日ノ戰況ニ依リ當面ノ敵軍既ニ退却ヲ準備スルノ徵アルヲ知リ第十一師團ヲシテ直ニ瀏河鎮ヲ經テ嘉定ニ向ハシメ大場鎮附近ノ敵ノ退路ヲ遮斷セシムルニ決シ午後五時二十分電報ヲ以テ左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

上海派遣軍命令ノ要旨

第十一師團ハ明二日瀏河鎮ヲ奪取シ爾後嘉定方向ニ對スル攻撃前進ヲ準備スヘシ

明朝ヨリ偵察飛行隊ノ一部ヲ協力セシメ且海軍爆撃機ヲ以テ瀏河鎮ヲ爆撃セシムル豫定

二日ノ爲
ノ軍命令

軍司令官ハ第九師團方面ノ戰況有利ニ進展シタレトモ未タ大場鎮附近ノ敵主陣地ノ線ニ達シアラス而モ此日ノ攻撃ニ全力ヲ盡シ其損害僅少ナラス。又大場鎮附近ノ敵ハ動搖ノ色アルカ如シト雖未タ退却ヲ確認スルニ至ラサルヲ以テ同師團ノ現況ニ鑑ミ概ネ現在ノ線ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備セシムルニ決シ左ノ命令ヲ下達セリ

附記

午後七時參謀次長ヨリ「諸情報ヲ綜合スルニ本來ノ第十九路軍ハ其主力ヲ大場鎮、南翔鎮間ノ地區ニ移シ退却準備ヲ爲セルニアラスヤト判斷セラルル節アリ加フルニ聯盟總會ノ停戰提議早急實現ノ機運益々濃厚トナレリ從テ貴軍力敵ヲ後方ニ逸セサル如ク速ニ包圍的ニ爾後ノ作戰ヲ指導シ機ヲ失スルコトナク積極的ニ敵ニ大打撃ヲ與ヘラルルコトヲ期待シアル」旨ノ電報並參謀總長ヨリ「軍ハ速ニ敵主力ニ大打撃ヲ與フヘキ」旨ノ電報ニ接シタレトモ軍司令官ハ別ニ處置スルトコロナシ

上軍作命甲第四號ノ二

上海派遣軍命令 三月一日午後六時三十分
於上海軍司令部

- 一 第九師團正面ノ敵ハ同師團本日ノ果敢ナル攻撃ニ依リ動搖ノ色アルノミナラス第十一師團ノ上陸ニ依リ左ノ如ク兵力ヲ移動シアルカ如シ
- 寶山方面ヨリ羅店鎮方面へ

大場鎮方面ヨリ羅店鎮方面へ

大場鎮方面ヨリ南翔鎮西方へ

羅店鎮方面ヨリ瀏河鎮方面へ

諜報ニ依レハ第十一師團方面ニ於ケル敵ノ兵力配置ハ左ノ如シ

イ 瀏河鎮ニ第八十七師ノ約一千及保衛團五百

ロ 嘉定ニ第八十七師ノ一部及保衛團五百

ハ 太倉ニ保衛團二千

ニ 崑山ニ第八十九師ノ約二千及保衛團一千

尙瀏河鎮方面ニハ其後約六千ノ敵兵増加セリトノ諜報アリ

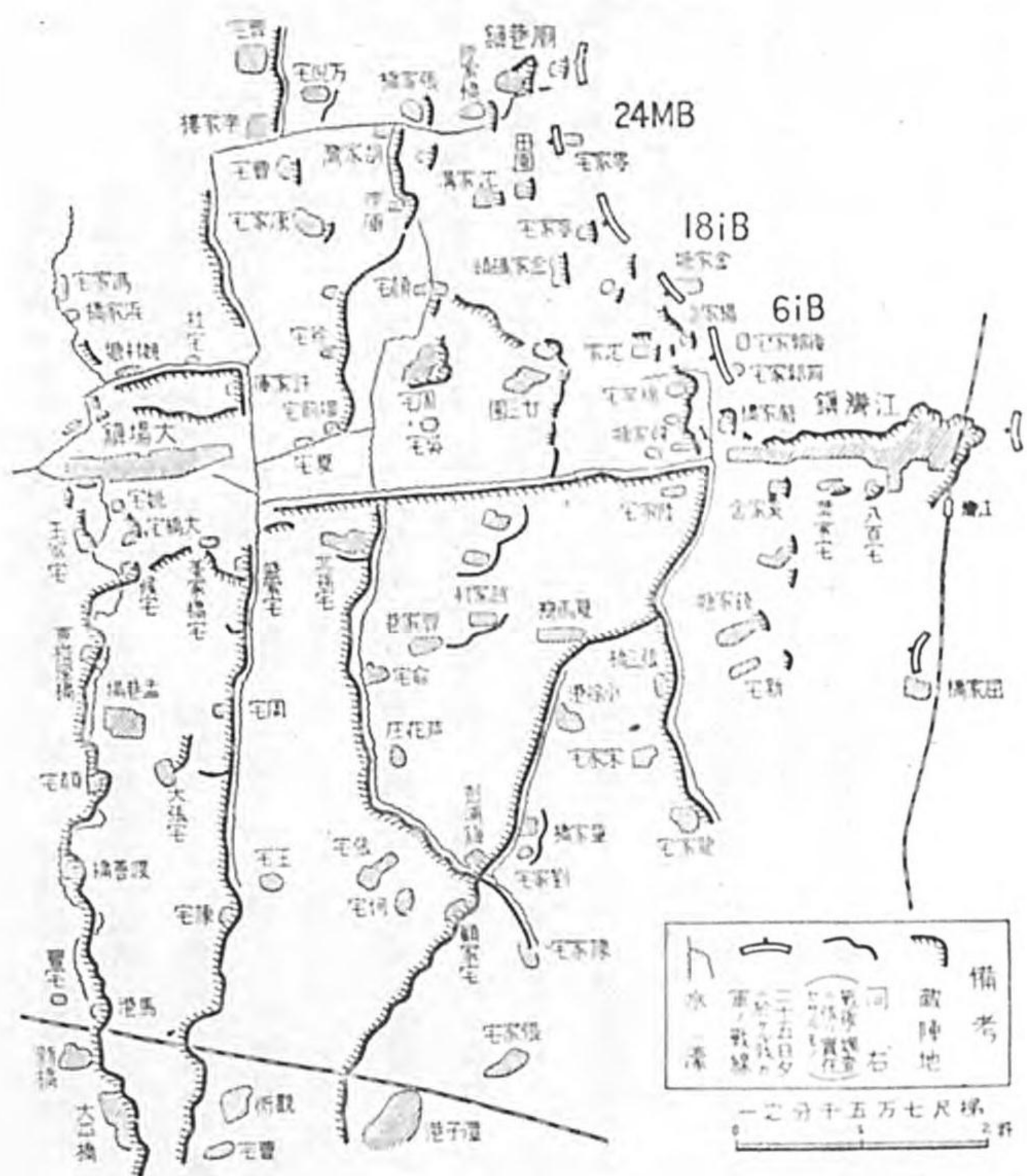
二 軍ハ明二日第十一師團ヲシテ瀏河鎮ヲ占領セシメ第九師團ト共ニ敵主力ニ對シ包圍攻撃ヲ準備セントス

三 第九師團ハ明二日概ネ現在ノ線ニ於テ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ但敵ノ第十一師團方面へノ兵力轉用ヲ抑留スル目的ヲ以テ適宜砲撃ヲ行フヲ要ス

軍司令部衛兵トシテ步兵一小隊ヲ公大紡績工場註、公大第一紗廠ニ差出スヘシ

四 第十一師團ハ明二日瀏河鎮ヲ奪取シ爾後嘉定方向ニ對スル攻撃前進ヲ準備スヘシ

敵陣地航空寫真要圖
昭和七年二月二十五日



師團長ハ午前十時命令電話ヲ下シ師團豫備隊タル步兵第七聯隊主力三中隊ヲ師團長ノ直ヲ左翼隊長ノ隷下ニ復歸セシメ右翼隊ヨリ步兵第十九聯隊ハ第二大隊欠、但第三大隊主力及工兵第一中隊ヲ師團豫備隊トシテ抽出シ前者ヲ天樂寺、後者ヲ白楊村ニ集結セシメタリ

附記 步兵第七聯隊ヨリ殘置セル三中隊ハ左ノ如ク配置ス

第二中隊 師團司令部ノ直接警戒(第一中隊ト交代ス)

第七中隊 梅園及劍窩附近師團砲兵隊主力ノ掩護

第五中隊 復旦大學及江灣競馬場附近ノ警戒並攻城重砲兵中隊ノ掩護(第九、第十中隊ト交代)

尙午前十時頃左翼隊副官、步兵第七聯隊長及砲兵隊長ヲ招致シ師團幕僚ト右攻撃ニ關スル打合せヲ行ハシメ其結果歩、砲、飛ノ密接ナル協調ノ下ニ一舉ニ江灣鎮西端咽喉部ヲ占領スル方針ノ下ニ左ノ如ク實施スル如ク決定セリ

- 一 海軍飛行機ハ二十七日拂曉ヨリ午前十一時三十分マテノ間江灣鎮東部約三分ノ一附近ヨリ逐次西部ニ向ヒ又午後一時三十分ヨリ江灣鎮西方凸角陣地附近ノ敵第二線ニ對シ爆發ヲ行ヒ此攻撃ニ協力ス

二十六日夜江灣鎮ノ敵退却セハ同部落ニ對スル爆發ヲ實施セス

- 二 攻城重砲兵中隊ハ同日正午ヨリ又野戰重砲兵一中隊ハ午後一時ヨリ何レモ同二時ニ至ルマテ各々百發ヲ以テ凸角陣地附近ニ對シ制壓射撃ヲ行フ
- 三 步兵ハ午後二時突撃ヲ開始ス

特ニ飛行機ニ對シ彼我ノ識別ヲ明瞭ナラシムル如ク背囊ニ手拭等ノ白布ヲ附ス

四 山砲兵第九聯隊左翼隊配屬ハ午後二時ヨリ凸角陣地附近ニ制壓射撃ヲ行ヒ左翼隊配屬砲兵山砲兵第一中隊ハ同時敵後方ノ交通遮斷及敵機關銃ノ制壓射撃ヲ行フ

附記 師團長ハ二十六日午前十時頃豫備隊ヲ隨ヘ天樂寺出發混成第二十四旅團右翼隊、左翼隊ノ順序ニ射ヲ第一線ヲ巡視シ將兵ノ勞ヲ憐ヒ志氣ヲ鼓舞スルトコロアリ午後二時頃歸還セリ

當時師團ニ於テハ連日ノ戦闘ニ依リ人馬ノ減耗漸ク多ク彈藥特ニ野戰重砲彈ノ缺乏憂慮スヘキモノアリ而シテ人員ノ補充ハ數日後補充員ノ上海到着ハ混成第二十四旅團ノ分ハ二ニ豫期シ得レトモ之ヲ戦闘ニ參加セシムルニハ尙一兩日ノ餘裕ヲ要スヘク又彈藥ノ集積ハ三月三日以後ニアラスハ之ヲ期待スル能ハサル狀況ニ在リ從テ戦力ヲ恢復シテ準備ヲ周到ニシ一舉ニ敵ヲ擊滅センカ爲次回ノ攻撃開始ヲ早クトモ三月三日頃ト豫定シ之ニ基キ爾後ノ攻撃ヲ準備スルコトトセリ但此間ニ於テモ乘スヘキ機會ヲ求メテ戦闘ノ進捗ヲ促シ又攻撃期日ヲ三月三日以前ニ繰上ケ實施スヘキコトアルヲ考慮セリ

附記 二十五日マテニ於ケル師團ノ戰鬥部隊人員ノ減耗約一千三百名(内將校約六十名)ニシテ參加人員(非職員ヲ除ク)ニ對スル百分比約十二ニ達セリ而シテ最も損害多キハ歩兵聯隊ニ於テ歩兵第三十五聯隊(死傷三百五十五名(内將校十三名)、參加人員ニ對スル百分比二十八)ニシテ歩兵第三十六聯隊(死傷三百一十一名(内將校十四名)、參加人員ニ對スル百分比二十一)之ニ次キ歩兵大隊ニ於テハ歩兵第三十六聯隊第一大隊(死傷百三十七名(内將校五名)、參加人員ニ對スル百分比三十四)ニシテ歩兵第三十五聯隊第一大隊(死傷百二十七名(内將校六名)、參加人員ニ對スル百分比三十一)、同第三大隊(死傷百十名(内將校二名)、參加人員ニ對スル百分比二十七)、歩兵第二十四聯隊第一大隊(死傷百二十三名(内將校三名)、參加人員ニ對スル百分比二十三)之ニ次ク二十六日午前八時ニ於ケル現在彈藥數小銃彈輕機銃彈ヲ含ム歩兵一聯隊ニ付約三十萬發(内百十二萬發ハ二十三日日海軍ヨリ補給ヲ受ク)、機關銃彈一銃ニ付約二千發(二十三日日海軍ヨリ補給ヲ受ケタル二十六萬發ニ略、相當ス)、曲射歩兵砲彈一門ニ付約百發、平射歩兵砲彈一門ニ付約百五十發、手榴彈歩兵一聯隊ニ付約一千發、山砲彈一門ニ付約百六十發(二十四日日海軍ヨリ補給ヲ受ケシ四千發ヲ含ム)、十五榴彈一門ニ付約百發(海軍ニ交付スヘキ一千發ヲ含ム)、十五日彈一門ニ付約百五十發ニシテ次回ノ攻撃實行ノ爲ノ所要彈藥ハ二十九日以後ニアラスハ充實ノ見込立タサル狀況ナリ而シテ第一線ノ彈藥ハ當分補給ノ見込ナシ

師團長ハ以上ノ狀態ニ鑑ミ翌二十七日以後第三次攻撃準備ノ爲左ノ命令ヲ印刷交付セリ

九師作命第二十二號

第九師團命令 二月二十六日午後二時 於天樂寺師團司令部

- 一 敵情格別ナル變化ヲ認メサルモ昨夜我カ全正面ニ互リ局部的小夜襲アリ各方面トモ之ヲ擊退セリ敵ハ尙大場鎮附近ニ兵力ヲ集結中ナルカ如シ
- 嚴家橋ハ本早朝左翼隊ノ一部之ヲ占領セリ
- 歩兵第十九聯隊一大ハ新ニ師團豫備隊トナリ天樂寺附近、又工兵第一中隊ハ師團豫備隊トシテ白楊村ニ位置シ豫備隊タリシ歩兵第七聯隊三中ハ新ニ左翼隊ニ増加セリ
- 混成第二十四旅團ノ補充員ハ來ル二十七日、師團ノ補充員ハ來ル二十九日上海到着ノ豫定ナリ
- 二 師團ハ明二十七日以降概ネ別紙豫定ヲ基準トシ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス
- 三 第一線諸隊ハ依然當面ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備スヘシ
- 四 左翼隊ハ特ニ其一部ヲ以テ江灣鎮西端附近ニ於テ江灣鎮—大場鎮道ヲ遮斷スヘシ
- 五 砲兵隊及飛行隊ハ其一部ヲ以テ左翼隊ノ右ノ行動ニ協力スヘシ

第三次攻撃準備ニ關スル師團命令

- 六 飛行隊ハ一部ヲ以テ本夜及明拂曉大場鎮並眞茹鎮ニ對シ威嚇飛行ヲ實施スヘシ
- 七 爾餘ノ諸隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ
- 八 糧秣ノ補充ハ天樂寺東端師團糧秣交付所ニ於テ行フ但上海野戰倉庫ヨリ受クルヲ便トスル部隊ハ該倉庫ニ就キ補充ヲ受クヘシ
- 九 予ハ依然現在地ニ在リ

明二十七日午後二時命令受領者ヲ出スヘシ

第九師團長 植田 謙吉

九師作命第二十二號別紙

二月二十
六日以後
ニ於ケル
豫定
豫定
豫定
豫定
豫定
豫定
豫定
豫定

二月二十六日以後ニ於ケル 第九師團行動豫定表

月	日	人馬材料ノ補充狀況	各隊行動ノ基準
二月	二十六日		
二月	二十七日		
二月	二十八日		
二月	二十九日	補充員上海上陸	備

備考	三月		
	一日	二日	三日
一 爾後ノ狀況ニ依リテハ二十八日頃豫備隊ノ一部ヲ以テ江灣鎮ヲ掃蕩スルコトアルヘシ	補充員ヲ部隊ニ配當及歩、砲兵ノ彈藥補充	補充員教育	敵第二線陣地ノ攻撃開始ヲ豫定ス但所要彈藥ノ集積狀況ニ依リ右豫定ヲ伸縮スルコトアルヘシ
二 敵情ノ如何ニ依リテハ左翼隊ヲ以テ二十九日頃江灣鎮西方敵陣地ノ突出部ヲ攻略スルコトアルヘシ	各隊攻撃準備	攻撃計畫ノ内示	

附記

- 一 右命令ニ於テ飛行隊ニ夜間威嚇飛行ヲ命シタルハ敵カ毎夜我カ飛行機ノ活動セサル時期ニ乘シテ砲撃並出撃ヲ行フヲ以テ夜間尙我カ飛行機ノ威力ヲ示スノ要ヲ生シタル爲ナリトス
- 二 混成第二十四旅團北翼方面ノ敵ハ我カ右側ニ對シ包圍的ニ陣地ヲ占領セルヲ以テ同旅團ノ攻撃進捗ニ伴ヒ右側背ノ慮慮上掩護ノ兵力ヲ殘置セサルヘカラサル不利ヲ認メ師團長ハ同旅團ノ希望ヲ容レテ此敵ニ一撃ヲ與ヘントシ之カ準備ヲ命令セリ

右命令下達後師團長ハ翌二十七日飛行隊ノ行動ニ關シ午後三時左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

第九師團命令ノ要旨

- 一 飛行隊ハ明二十七日左記任務ニ服スヘシ

二十七日
ノ爲飛行
隊ニ與フ
ル師團命
令

機及八七式輕機各一中隊ノ爲飛行場トシテ東溝瀝埋立地ヲ整備スル必要ヲ生セリ

- 1 午後一時三十分ヨリ江灣鎮西南方陣地ニ對シ威嚇飛行
- 2 敵砲兵陣地ノ偵察

- 3 敵陣地並兵力移動殊ニ江灣鎮、廟巷鎮ノ線ヨリ大場鎮東端南方ノ線ニ互ル間ノ敵情搜索
- 4 師團ノ右側方面ニ於ケル敵情偵察

- 5 敵機襲來時之ニ對スル攻撃

二 飛行隊ハ明二十七日ヨリ東溝灘埋立地ヲ八八式偵察機一中隊及八七式輕爆擊機一中隊ノ爲飛行場トシテ三月三日マテニ整備スヘシ

三 通信筒投下位置ハ天樂寺トス

附記 師團長ハ右命令下達後上海野戰病院ニ到リ傷者ヲ慰問激勵ス當時上海在留邦人間ニハ戰況ニ關シ憂慮ノ色アリ此間各種流言ノ人心ヲ惑ハシムルモノアリシカ此師團長ノ訪問ハ偶々此等ノ憂ヲ一掃スルノ結果ヲ招來セリ

二十六日第一線ハ終日攻撃準備ヲ進メ且戰線ノ整理、死傷者ノ處置等ヲ行フ

步兵第十九聯隊主力ハ午後三時頃天樂寺ニ到著シテ師團豫備隊トナリ同時頃步兵第七聯隊主力ハ天樂

寺出發左翼隊長ノ指揮ニ入ル第七三七頁參照

附記 步兵第十九聯隊第三大隊(第十一中隊欠)ハ午後四時梅園露营地出發、天樂寺ニ於テ聯隊長ノ指揮ニ入り聯隊長ハ同六時第

一中隊ノ一小隊ヲ張家宅、第九中隊ヲ復旦大學ニ出シテ警戒ニ任セシメ主力ヲ以テ紀家灣附近ニ露營セシム而シテ第九中隊ハ在復旦大學步兵第七聯隊第五中隊ト協力シ同七時三十分頃マテニ配備ヲ終ヘ特ニ一小隊ヲ江灣競馬場ニ出シ張家宅ノ一小隊並屈家橋ノ第十一中隊ト連絡セシメタリ

此日飛行隊ハ午前六時三十分飛行ヲ開始シ主力ヲ以テ楊行鎮、羅店鎮、南翔鎮、真茹鎮ヲ連ヌル線以

東ノ地區ニ於ケル敵兵力移動ノ狀況並敵陣地變化ノ有無ヲ搜索シ一部ヲ以テ瀏河鎮附近揚子江江岸及楊行鎮、吳淞鎮、白楊村ヲ含ム地域並大場鎮、南翔鎮、江橋鎮、真茹鎮ヲ含ム地域ノ寫眞攝影ヲ實施セシカ大場鎮東北方顔宅附近及真茹鎮西南側ニ新陣地ヲ發見シタル外敵情大ナル變化ヲ認メス晝夜ニ於ケル兩中隊ノ飛行回数各五回

附記 第一中隊福澤航空兵大尉(操縦野澤軍曹)ハ午前七時四十分飛行場出發、瀏河鎮附近ニ到リ高度一千五百米ニ於テ俯角三十分ノ斜寫眞ヲ攝影シ同八時三十分歸還シ、第二中隊立花航空兵中尉(操縦半谷曹長)ハ午前八時三十六分出發、高度二千五百米ニ於テ大場鎮附近及楊行鎮附近ノ地域寫眞攝影ヲ完了シ同十一時十五分歸還セリ

此日吳淞支隊及海軍陸戰隊方面ノ狀況大ナル變化ナシ

師團衛生機關ハ全力ヲ擧ケテ前日來ノ死傷者ヲ收容シ此日ノ收容人員衛生隊百六名、第一野戰病院八十七名、第四野戰病院十名其他ノ部隊ハ概ネ

前任務ヲ續行セリ

夜ニ入り敵陣地ヨリノ射擊依然猛烈ナレト毎夜北停車場附近ニ現出シテ師團司令部附近ヲ砲擊セシ列車砲ノ活動ヲ見ス蓋シ此夜始メテ我カ飛行機ノ夜間飛行ヲ決行シタル結果ニ依ルカ如シ

附記 第一中隊ノ一機(偵察青木航空兵中尉、操縦伴少尉)ハ午後七時五十分飛行場出發高度一千米ヲ以テ大場鎮、真茹鎮ノ上空ニ到リ照明彈ヲ併用シテ爆彈二發ヲ投下シ同八時三十分歸還シ次テ同中隊ノ他ノ一機(偵察福澤航空兵大尉、操縦野澤軍曹)ハ同八時五十五分出發略々同要領ニ依リ爆彈二發ヲ投下シ同九時三十三分歸還セリ此飛行間大場鎮、真茹鎮等ノ諸部落ニ於ケル敵軍ハ我カ飛行機ニ對シ猛烈ニ射擊セリ

此夜步兵第七聯隊ヨリ派遣セル斥候ノ報告ニ依レハ江灣鎮南側ニハ敵兵ヲ認メス

我カ海軍航空部隊ハ敵ノ飛行機二十數機杭州飛行場ニ集中シアルヲ知り敵ノ機先ヲ制シテ之ニ一大痛

二十六日
夜ニ於ケル
敵情

海軍ノ行
動ノ敵情

空勢力ノ掃

撃ヲ加フルニ決シ二十五日夜竊ニ杭州灣ニ向ヒ前進基地飛行隊ヨリ所要機ヲ母艦ニ歸還セシム二十六日拂曉頃加賀、鳳翔ノ攻撃機九機、戦闘機六機ヲ以テ杭州郊外笕橋飛行場上空ニ到リ先ツ飛行準備中ノ敵機五機ヲ襲ヒ次テ挑戦シ來レル敵ノ戦闘機三機ヲ撃墜シ午後更ニ攻撃機、戦闘機各六機ヲ以テ笕橋飛行場南方ノ新設飛行場ヲ爆撃シ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘテ上海附近ノ敵航空勢力ヲ一掃セリ詳細第十九卷第一〇四頁参照

二十七日朝師團長ハ幕僚參謀長田代少將及參謀谷步兵大佐ニ大部分撤退セルカ如キヲ以テ之ニ對スル飛行機ノ爆撃ヲ中止セシメ尙江灣鎮攻略後豫備隊タル步兵第十九聯隊ヲ江灣鎮南方地區ニ使用スヘキヲ企圖シ午前十時聯隊長ニ此旨ヲ傳ヘ所要ノ準備ヲ行ハシメタリ

此日二十七日正午頃豫定ノ如ク砲兵ハ射撃ヲ開始シ次テ午後二時頃步兵第七聯隊ハ一部ヲ以テ殆ト敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク江灣鎮西部ヲ占領シ茲ニ戦闘開始以來幾多ノ犠牲ヲ出セシ江灣鎮ヲ我カ手中ニ收ムルヲ得テ將來ノ作戰ニ一大光明ヲ認ムルニ至レリ第七五〇頁参照

江灣鎮ノ占領

是ヨリ先師團長ハ上陸ト共ニ其指揮ニ入ルヘキ第十一師團先遣部隊タル步兵第二十二聯隊ノ二十七日夜吳淞鐵道棧橋附近ニ上陸ヲ開始スル旨ノ通報陸軍運輸部臨時上海派出所發ニ接シタルヲ以テ午後一時同隊ニ「吳淞鐵道棧橋附近ニ上陸シ三月一日正午マテニ步兵一大隊ヲ混成第二十四旅團長下元少將ノ指揮ニ入ラシメ其他ハ天樂寺ニ來リ師團長ノ直轄タルヘキ」旨ノ命令ヲ下達セリ

步兵第二十二聯隊ニ對スル師團命令

附記 此日步兵第二十二聯隊到着セザリシヲ以テ此命令ハ翌日之ヲ同隊ニ交付セリ

二十八日爲攻撃ノ準備スル師團長ノ部署

尙師團長ハ午後二時稍、前步兵第七聯隊ノ江灣鎮占領ニ先タチ同部落ノ敵兵ノ大部既ニ退却シ第十九路軍ノ主力大場鎮、真茹鎮ノ線ニ後退シ兵力ヲ集結中ナル情報ヲ得依然攻撃ヲ準備スル爲同二時命令九師作命第天樂寺北附近ニ進出シ混成第二十四旅團ノ右翼ニ連繫シ北方二十四號軒中ヲ下シ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 騎兵隊ヲシテ明二十八日早朝道字濱天樂寺北附近ニ進出シ混成第二十四旅團ノ右翼ニ連繫シ北方及西北方ニ對シ警戒セシム

二 飛行隊ヲシテ左ノ任務ニ服セシム

1 瀏河口、七了口實稱七了口附近、真茹鎮附近ノ寫眞撮影

2 敵兵力ノ移動、大場鎮、廟巷鎮、江灣鎮西方陣地ノ變化搜索

3 混成第二十四旅團正面ニ於ケル敵砲兵陣地ノ搜索

三 砲兵隊ヲシテ適時第一線部隊ノ戦闘ニ協力シ得ル如ク準備セシメ山砲兵各一小隊ヲ兩翼隊ニ配屬セシム

四 工兵第一中隊ヲシテ交通路ヲ補修セシム

五 爾餘ノ部隊ヲシテ依然前任務ヲ續行セシム

尙師團長ハ後方交通路ノ破損漸ク甚シク補給其他ニ支障多キヲ以テ特ニ之カ補修ノ處置ヲ講セリ

附記 師團長ハ輜重兵第三中隊ノ約一小隊(工兵第一中隊ノ一部及支那苦力二百名ヲ屬ス)ヲ以テ道路補修班(長輜重兵少尉佐)

伯久一)ヲ編成シ天樂寺ヲ中心トスル主要道路ノ補修ニ任セシムルト共ニ工兵第一中隊主力ヲ以テ高境廟(天樂寺北方七百米)北側ヲ迂回スル自動車道ヲ補修セシメタリ

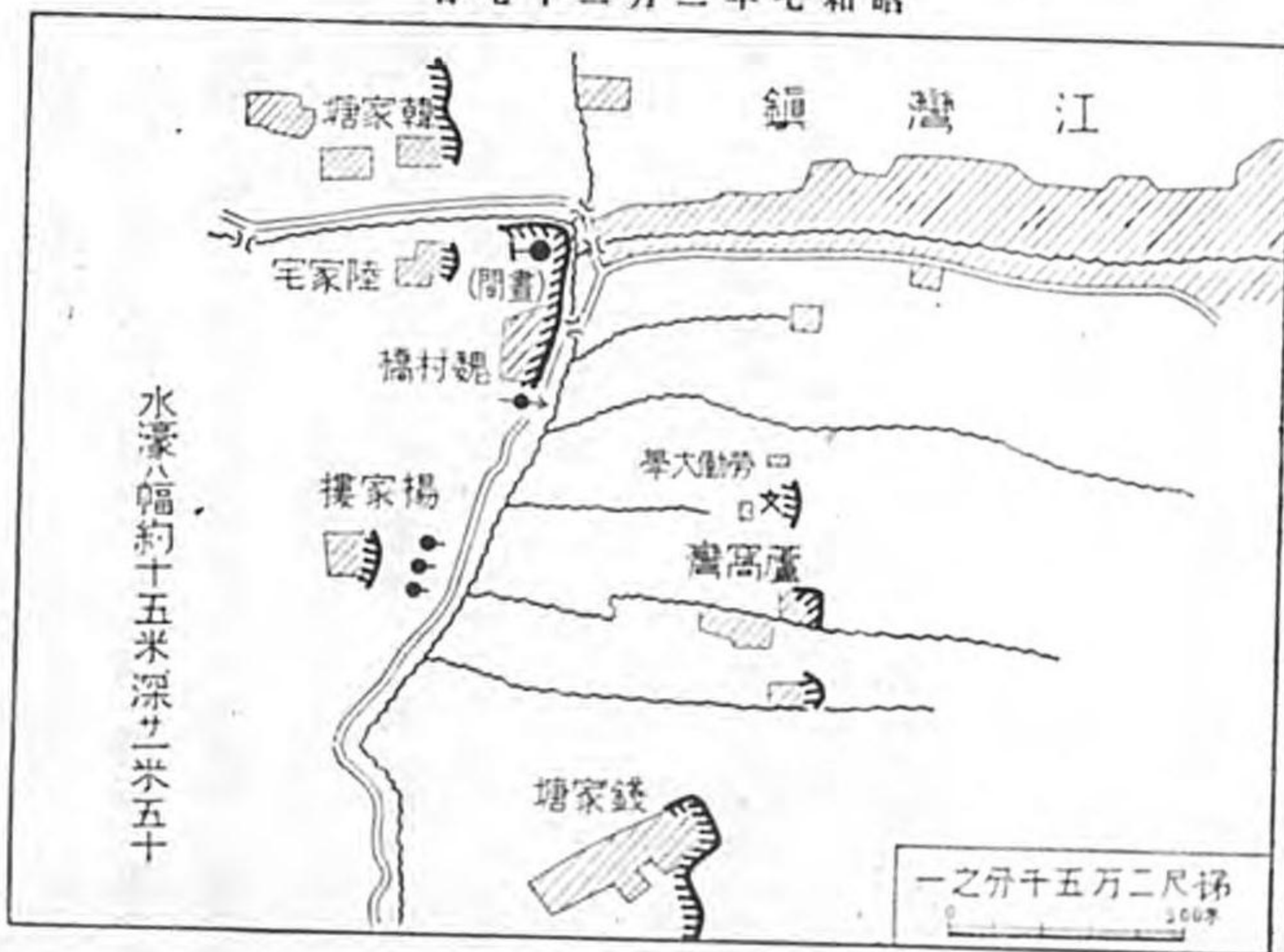
二十七日
ニ於ケル
一般ノ状
況

此日混成第二十四旅團及右翼隊ハ依然攻撃準備ヲ進メ其他ノ正面左翼隊正ニ於テハ、尙現狀ヲ維持ス

又飛行隊ハ一部ヲ以テ左翼隊ノ江灣鎮攻撃ニ協力シ(第七四九頁參照)主力ヲ以テ前任務ヲ續行セシカ敵情大ナル變化ヲ認メス

師團豫備隊タル歩兵第十九聯隊長ハ午前十時將來聯隊ヲ江灣鎮南側ニ使用スヘキ師團長ノ企圖ヲ承知スルヤ午後零時三十分各大隊ニ此旨ヲ傳ヘテ夫々準備ヲ命セシカ同四時頃歩兵第七聯隊ノ既ニ江灣鎮西部ヲ攻略セルヲ知ルニ及ヒ直ニ第一、

江灣鎮西南側敵情地形要圖
昭和七年二月二十七日



第三大隊ヨリ各、一組ノ將校斥候ヲ派遣シテ豫想戰場タル江灣鎮南側地區ヲ搜索セシメ次テ午後六時更ニ攻撃ノ目的ヲ以テ江灣鎮南方地區特ニ其西方敵第二線陣地ヲ搜索スル爲第三大隊ヲシテ江灣鎮南端、蘆窩灣北端、馬橋北端ヲ連ヌル線北側地區、第一大隊ヲシテ其南側地區ニ於テ特ニ江灣鎮西方水濠並其西岸敵陣地ノ状態、強度ヲ偵察セシムル如ク命令シ同九時頃マテニ主トシテ將校斥候第三中隊少尉志知光三以下六名及第十中隊少尉金子二一以下八名ニ依リ概ネ要圖前頁ノ如キ狀況ヲ知ルヲ得タリ

附記 第三大隊長ハ航空寫眞ニ依リ江灣鎮西側水濠ノ障礙及其西岸蘆窩灣附近ノ敵陣地ノ狀況相當圖畫ヲ要スヘキモノアルヲ認メ午後八時過聯隊長ニ右ノ狀況ト共ニ(聯隊ハ連ニ江灣鎮南側地區ニ兵力ヲ集結シ河岸ニ近ク搜索據點ヲ占領シ敵情地形ヲ搜索スルヲ要スル)旨ノ意見ヲ具申セリ

聯隊長亦之ニ同意セシカ當時攻撃開始期日タル三月三日マテニハ尙相當ノ餘裕アル狀況ナリシト步兵第七聯隊ノ既ニ江灣鎮西端ニ進出セシ現況ニ於テ江灣鎮南側ノ敵情大ナル圖畫ヲ要セサルヘシトノ判斷トニ依リ此意見具申ノ急速ナル實現ヲ見ルニ至ラス而シテ此結果不幸ニモ爾後ノ攻撃準備ニ重大ナル支障ヲ來セリ(第七六六頁附記參照)

師團衛生機關ハ依然傷者ノ收療ニ任シ(此日ノ收容人員、衛生隊四十六名、第一爾餘ノ諸隊ハ概ネ前任務ヲ續行セリ 野戰病院七十九名、第四野戰病院十一名)

二月二十八日朝第三艦隊參謀長少將島田繁太郎ハ師團司令部ニ來リ『昨二十七日支那第十九路軍參謀長黃強カ顧維鈞ト共ニ英國「アジア」艦隊司令官「ケリー」提督ヲ「セント」艦上海上ニ訪ヒ支那軍ハ若日本軍ニシテ共同租界ニ撤退スルニ於テハ自ラ二十軒外ニ撤退ノ用意アルヲ告ケタル』旨ヲ通報セリ尙諸情報ニ依レハ支那軍ハ二十五日ノ我カ攻撃ノ爲多大ノ損傷ヲ被リ恐惶ヲ來シタルモノノ如ク第十九路軍

ハ内訌ヲ生シ動モスレハ收拾スヘカラサル状態ヲ誘起セントスル状態ニ在ルヲ傳フ

附記

- 一 尙情報ニ依レハ第十九路軍長蔡廷楷ハ二十六日夜軍事會議ヲ開キ日本軍ノ攻撃ニ備フル爲第六十、第六十一師ノ主力ヲ大場鎮附近ニ集結シ該地ヲ固守シテ後續隊ノ來援ヲ待ツニ決セリト謂ヒ又第八十八師ノ損害ハ甚大ニシテ二千名ヲ下ラス第六十師ノ副師長兼參謀長李盛宗ハ重傷ヲ負ヒタリト稱セラル
- 二 支那軍トノ交渉ニ關シテハ師團ハ表面ニ立ツコトヲ避ケ依然攻撃準備ヲ進メタリ

上海派遣軍ノ先遣兵團タル第十一師團ハ三月一日頃七了口^{實稱}附近ニ上陸スル豫定ナリ

一方國際聯盟ノ空氣ハ其後益々惡化シ三月三日「ジュネーヴ」ニ開催セラルヘキ本會議ニ於テハ必然停戰ノ要求ヲ議決スヘキ形勢ニ在リ

師團攻撃開始期日ノ概上

是ニ於テ師團長ハ支那軍ノ動搖ニ乘シ速ニ之ニ一大痛撃ヲ與ヘ敵ヲシテ我カ要求ニ屈從スルノ餘義ナキニ至ラシメ且國際聯盟ノ企圖ヲ事前ニ排除シ之ヲシテ干涉ノ口實ヲ失ハシムルノ要アルノミナラス第十一師團ノ七了口附近上陸ニ策應スル爲ニモ攻撃開始ノ期日ヲ早ムルノ要ヲ感シ師團ノ現況ヲ考慮シ第三次攻撃開始ヲ三月一日ト決定セリ

附記 攻撃開始期日ヲ三月一日ト決定セル最モ主ナル理由ハ三月三日ノ國際聯盟總會マテニ結末ヲ告クル爲ニハ遅クトモ此日ニ攻撃ヲ決行セサルヘカラスト判断セシカ爲ナリ而シテ師團ノ現況ハ二十九日マテニ損傷ヲ補充シ得ヘク彈藥モ海軍ノ協力ニ依リ辛ウシテ所要量ヲ準備シ得タルヲ以テ多少ノ困難ハ伴フトモ同日攻撃ヲ斷行スルコト敢テ不可能トセサリシナリ

乙 攻撃計畫ノ策定

師團長ハ第二次攻撃終了後ヨリ逐次第三次攻撃ノ爲計畫ヲ立案セシメシカ攻撃期日確定シタルヲ以テ二月二十八日午前九時マテニ天樂寺^{寫眞}ニ於テ左ノ如ク攻撃計畫ヲ策定セリ

附記 本計畫ニ於テ混成第二十四旅團北翼ノ敵ヲ一掃スル爲ノ攻撃ヲ中止セルハ該方面ニ於テ敵ノ兵力漸次増加シ尙陣地堅固ノ度モ加リ師團主力方面ヨリ歩、砲兵ヲ増加スルニアラスンハ實施困難ナルノミナラス攻撃開始時日繰上ノ爲到底此企圖ヲ實行スヘキ餘裕ヲ有セサルニ至レルカ爲ナリ混成第二十四旅團長亦此攻撃ヲ實行スル爲旅團主力ヲ廟莊鎮以北ノ地區ニ膠著セシムルニ至ランカ師團ノ作戰ニ不利ヲ及スヘキ慮アルヲ認メ二十八日朝之カ中止ノ意見ヲ具申セリ

第九師團攻撃計畫^{二月二十八日}於天樂寺

第一 方針

方針

師團ハ敵ノ第一線陣地ヲ突破シ敵ノ退却ニ尾シテ胡家灣^{廟莊鎮西端}、顏宅^{胡家灣南}、小行橋^{廟莊鎮南}、曹家巷^{廟莊鎮南}ノ線ニ進出シ大場鎮ノ陣地

天樂寺ニ於ケル第九師團司令部



向ツテ右ヨリ師團長植田中將、參謀谷步兵大佐、參謀長田代少將ニシテ後方ニ立テルハ作戰主任參謀上村步兵中佐トス

ニ對スル攻撃ヲ準備ス之カ爲ノ一般要領ハ現在ノ第一線ニ對シ主ナル準備射撃ヲ行ヒ爾後火力ト運動トノ協調ヲ一層緊密ニスルト共ニ敵ヲ急追シ再ヒ抵抗ノ餘裕ナカラシムルコトヲ勉ム
 攻撃開始ハ三月一日午前トシ目標線進出ハ同日夕ト豫定ス

指導要領

第二 指導要領

一 師團ノ攻撃重點ハ江灣鎮西端ヨリ大場鎮ニ通スル水濠^{走馬塘}兩岸ニ沿フ地區^{左翼隊 正面}トス

附記 攻撃ノ重點ヲ江灣鎮西端ニ選定セルハ主トシテ次ノ理由ニ依ルモノトス

- (一) 右翼隊方面ヨリ敵ヲ西南方ニ壓迫スルハ戰術上有力ナル一案タルヲ認ムレトモ該方面ハ二十五日第二次攻撃ノ結果ニ微シ地形其他ノ關係上積極的ニ戰果ヲ擴張スルニ適セス殊ニ道路網ノ關係ハ重砲兵主力ノ陣地ヲ選定スルコト困難ナリ
- (二) 江灣鎮西端ハ敵陣地ノ樞軸部ニシテ其前面ニ存スル水濠ノ障礙ト相俟ツテ相當堅固ニ設備セラレト江灣鎮ノ我カ手中ニ在ル現況ニ於テ敵ニ近ク十分攻撃準備ヲ整ヘ得ヘク道路網ノ關係ト相俟ツテ砲火ヲ有利ニ集中シ得ルヲ以テ成功ノ公算アリ而モ一旦之ヲ奪取センカ全陣地ノ瓦解ヲ生起セシムル見込大ナリ
- (三) 右翼隊正面ハ第二次攻撃以來敵トシテモ相當準備シアルヘク敵ノ不意ニ乘スル爲攻撃ノ重點ヲ變更スルモ亦一案ナリ

二 先ツ砲兵ノ集中射撃ヲ以テ師團主攻擊正面内ノ據點ニ在ル側防機能ヲ破壊シ且敵火特ニ重火器ヲ制壓スルト共ニ歩兵ノ突撃ヲ敢行ス

附記 第二次攻撃ノ經驗ニ依リ砲兵ノ攻撃準備射撃ハ敵ノ鐵條網(多クハ一線ニ設ケラレ其深サ一般ニ小ナリ)破壊ヨリモ寧ろ其重火器ヲ制壓スルノ要アルヲ認メ之ヲ強調セリ

三 歩兵ノ突撃ト共ニ砲兵ハ射程ヲ延伸シ逐次後方ノ部隊ニ猛火ヲ集中シ第一線ニ於ケル敵ノ退却

ヲ阻止スル敵ヲ火制シ第一線陣地ニ在ル敵ノ敗退ニ乘シ極力攻撃ヲ續行ス

附記 敵ノ督戰隊ヲ火制スル如ク示シタルハ第二次攻撃ノ經驗ニ依ルモノトス

四 砲兵ハ隣接正面ニ火力ヲ移動シ此正面ノ突破亦前要領ニ依ル

斯クテ兩翼隊交互ニ相協力シテ其第一線ヲ推進シ所望ノ進出目標ニ到達ヲ圖ル

五 以上ノ細部ハ兩翼隊長及砲兵隊長現地ノ狀況ニ基キ密接ニ協定スルモノトス

六 第一回ノ攻撃目標ニ對スル飛行機ノ爆撃開始ハ午前七時トシ同八時三十分ニ至ル一時間三十分以內ニ於テ實施ス又砲兵ノ左翼隊方面ニ對スル射撃開始ハ一日午前八時三十分トシ同十時ニ至ル一時間三十分砲撃ヲ實施シ右翼隊正面ニ對シテハ午前十時ヨリ一時間之ヲ實施ス

各部隊ノ突入時刻左ノ如シ

左 翼 隊	午前十時
右 翼 隊	午前十一時
混成第二十四旅團	午前十一時

七 第一線部隊長ト砲兵隊トノ連繫ヲ密ニシ效果ノ狀態ニ依リ敵兵退走ノ場合等ニ於テハ適時射撃ヲ中止シ機ヲ失セス追撃ヲ爲シ得ル如クス

附記 適時砲兵ノ射撃ヲ中止スル如ク示シタルハ第二次攻撃ノ經驗ニ依ルモノトス

八 敵ノ準備セル正面ニハ一部ヲ充テ配備薄キ方面ヨリ極力侵入ヲ圖ル

軍隊區分

第三 軍隊區分

吳 淞 支 隊

混成第二十四旅團ノ步兵一中隊機關銃四銃ヲ含ム

騎兵第一中隊ノ一小隊

海軍裝甲自動車二輛

混成第二十四旅團

缺除部隊

步兵一中隊機關銃四銃ヲ含ム

配屬部隊

步兵第二十二聯隊ノ一大隊二十九日到着後

野戰重砲兵第一大隊ノ一中隊

輜重兵第三中隊ノ一小隊

第九師團衛生隊擔架第一中隊ノ一小隊二分隊欠

同 第四中隊ノ一分隊

右 翼 隊

長 小 野 少 將

步兵第十八旅團第十九聯隊及第三十聯隊ノ二小隊欠

工兵二分隊

左 翼 隊

長 前 原 少 將

步兵第六旅團第七聯隊ノ一中隊及第三十五聯隊ノ一小隊欠

步兵第十九聯隊

工兵第一中隊二分隊欠

陸 戰 隊

海軍陸戰隊

缺除部隊

海軍裝甲自動車隊

配屬部隊

獨立戰車第二中隊ノ一小隊

砲 兵 隊

第七節 第九師團第三次攻撃

長 岩 野 大 佐

山砲兵第九聯隊集中射擊終了直後一中隊ヲ右翼
隊ニ、二中隊ヲ左翼隊ニ配屬ス

野戰重砲兵第一大隊一中隊
隊欠

攻城重砲兵第一中隊

野戰重砲兵大隊(十五榴)三月一日頃
到着後配屬

獨立野戰重砲兵中隊(十加)同
右

飛行 隊

長 鈴木 中 佐

步兵第三十五聯隊ノ一小隊

飛行第二大隊

獨立飛行第三中隊

豫 備 隊

步兵第七聯隊ノ一中隊

步兵第二十二聯隊一大
隊欠

獨立戰車第二中隊一小
隊欠

騎兵第一中隊一小
隊欠

海軍裝甲自動車隊二輛
欠

高 射 砲 隊

第一野戰高射砲隊

第二野戰高射砲隊

通 信 諸 隊

師團通信隊

無線電信第二十二小隊

同 第二十三小隊

輜 重 隊

輜重兵第三中隊一小隊ト二
十二名欠

兵站自動車第五中隊

衛 生 勤 務 隊

第九師團衛生隊第一中隊ノ一小隊(二分隊
欠)及第四中隊ノ一分隊欠

第一野戰病院

第四野戰病院

衛兵 諸 隊

步兵第三十六聯隊ノ二小隊碼頭倉庫

步兵第七聯隊ノ一分隊第一野戰病院

輜重兵第三中隊ノ兵二十二名

各部隊ノ任務

第四 各部隊ノ任務

一 吳淞支隊ハ吳淞「クリーク」北岸ノ敵ニ對シ吳淞鐵道棧橋附近ヲ確保シ師團ノ右側ヲ警戒ス

二 混成第二十四旅團ハ一部ヲ以テ北方ノ敵ニ對シ師團ノ右側ヲ掩護セシメ主力ヲ以テ西方ノ敵ヲ

攻撃シ胡家灣剛巷鎮西端西、南方一軒、李庫胡家灣南、方六百米ノ線ニ進出ス

突撃開始ハ午前十一時トス

旅團自體ニテ戰況ノ發展ヲ圖ル

三 右翼隊ハ當面ノ敵ヲ攻撃シ顏宅李庫東南、方八百米、吳宅顏宅南方、五百米ノ線ニ進出ス特ニ左右ノ連繫ニ大ナル考

慮ヲ拂フコトナク一意其正面ノ突破ニ勉ム

突撃開始ハ午前十一時トス

四 左翼隊ハ先ツ江灣鎮西端凸角陣地ノ奪取ニ火力及器材ノ大部ヲ集中シ爾後該方面ヨリ水濠走馬塘

北方地區ニ於ケル戰果ノ擴張ヲ圖リ小行橋顏宅南、方一軒、北楊湖小行橋南、方七百米、曹家巷北楊湖南、方八百米ノ線ニ進出ス

突撃開始ハ午前十時トス

五 陸戰隊ハ機ヲ見テ當面ノ敵ヲ攻撃ス

六 砲兵隊ハ其大部ヲ擧ケテ左翼隊ノ戰鬪ニ協力シ一部ヲ以テ右翼隊ノ戰鬪ニ協力ス

射撃ハ別命ヲ待ツコトナク午前八時三十分之ヲ開始ス

兩翼隊突撃實施ノ時刻ニ從ヒ先ツ左翼隊ニ協力シ次テ右翼隊ニ、爾後戰況ニ應シ重點ヲ左翼隊ニ置キ該方面ヨリ戰況ノ發展ヲ促進スル如ク協力スルモノトス其細部ニ關シテハ兩翼隊長ト直接協定スルモノトス

步兵ノ第一線、砲兵隊間ノ連絡ヲ一層迅速的確ナラシメ以テ機ヲ失セス兩者ノ提携ニ遺憾ナキヲ期ス

砲兵陣地ノ大部ハ江灣鎮以北ノ地區トシ一部ハ同南方地區トス

使用彈藥ノ一門ニ對スル標準左ノ如シ註、一基數ハ山砲百發、重砲五十發トス

山 砲 三基數

十五 榴 二基數

十五 臼 一基數半

集中射撃終了後左ノ如ク山砲ヲ配屬ス

右翼隊ニ 一中隊

左翼隊ニ 二中隊

陸戦隊ノ砲兵ヲ以テ午前八時ヨリ同十一時ニ至ル間ニ於テ大場鎮附近ヲ射撃シ敵ノ後方ヲ擾亂ス

七 飛行隊ハ左ノ任務ニ服ス

1 偵察ニ關スル事項

一部ヲ以テ砲兵ニ協力

攻撃時歩兵ノ攻撃ニ協力

一般及後方ニ對スル偵察

2 爆撃ニ關スル事項

海軍機ヲ以テ師團主攻撃方面ニ對シ砲兵ノ攻撃準備射撃ト相俟ツテ攻撃ヲ準備ス
退却部隊ニ對シテハ之ヲ攻撃ス

附記 二十九日午後四時ノ命令ニ依リ軍隊區分及任務ノ一部ヲ變更セリ(第六九二頁參照)

第五 戦闘地境註、原文ニハ要圖ヲ以テ示シアリ

戦闘地境

一 混成第二十四旅團、右翼隊間

陸家橋北端、白楊村中部、吳家宅白楊村西北端、吳家宅西南北端、顏宅顏宅西南南端、南孟宅顏宅西南南端、童江宅童江宅大

二 右翼隊、左翼隊間

朱家橋江灣驛馬場北端、朱家橋北端南端、廿三園西部唐家舍西北端、香花橋宅大場鎮東側北端ノ線

補給、通信、衛生

第六 補給、通信、衛生

一 補給、通信、衛生ニ關シテハ二月二十五日ニ於ケルモノニ準ス

二 糧秣ハ携帶口糧二日分ノ外晝食及夕食ヲ炊事シテ携行スルモノトス

三 衛生隊ハ三月一日午前八時マテニ江灣鎮東部附近ニ繙帶所ヲ開設ス

其他

第七 其他

一 背囊ヲ卸シ輕裝トスル場合ニ於テハ携行器具ノ外糧食及彈藥ヲ十分携行シ得ル如ク考慮スルモノトス

二 上空及砲兵ノ識別ヲ容易ナラシムル爲手拭、手巾ノ類ヲ背部ニ附著スルモノトス

三 干潮ノ開始ハ午前十時ニシテ最低潮ハ午後一時三十分乃至午後四時ノ間ナリ

丙 攻撃計畫策定ニ伴フ師團長ノ部署

攻撃計畫ノ内示

二十八日午前九時師團長ハ混成第二十四旅團參謀步兵中佐、片村四八、右翼隊副官少佐、平井亮助、左翼隊副官少佐、谷虎次郎、步兵第十九聯隊長大佐、酒匂宗太郎、砲兵隊長大佐、野正治等ヲ天樂寺師團司令部ニ招致シ攻撃計畫ヲ内示シ高級參謀步兵大佐、實大ヲシテ所要ノ説明ヲ爲サシメタリ

附記 當時一師團ノ正面ヲ同時ニ攻撃スルコトナク尙準備ヲ周到ニシテ、砲ノ威力ヲ發揮シ逐次一方向ツツ攻略スルヲ可トスル。左翼隊長ヨリノ意見其中アリシカ谷參謀ハ現下ノ狀況ハ其方法ニ依ル能ハサルノミナラス支那軍内部動搖ノ徴アルニ鑑ミ此際寧ロ一舉ニ猛烈果敢ナル攻撃ヲ決行スルヲ要スル旨説明セリ

尙師團長ハ爾後ノ攻撃準備ノ爲江灣鎮ヲ完全ニ掃蕩スルノ要ヲ認メ午前十時頃豫備隊ヨリ步兵一大隊ヲ出シ之ニ戰車一小隊八九式、三輛、工兵第一中隊ヲ配屬シ同部落ノ掃蕩竝道路道路ハ我カ掃蕩ノ爲家屋ノノ清掃ニ倒壊ニ依リ閉塞セラレアリ任セシメタリ

附記 步兵第十九聯隊第一大隊ハ午前十一時宿營地板橋出發、江灣競馬場ニ到リ正午頃ヨリ掃蕩ヲ開始シ敵ヲ發見スルコトナク午後三時三十分江灣鎮西部步兵第七聯隊ノ位置ニ達シ之ト連絡セリ
右掃蕩ト共ニ支那軍陣地ニ關スル資料收集ノ爲師團長ハ步兵第十九聯隊第三機關銃中隊長中尉太田梅一郎ヲシテ江灣鎮東端附近ノ敵陣地ノ調査ヲ行ハシメタリ

攻撃準備ノ師團命令

師團長ハ攻撃準備ノ爲二十八日午後四時四十五分命令九師作命第二十五號ヲ下シ上海派遣軍ノ戰場到着ヲ知ラシメ軍隊區分及戰鬪地境攻撃計畫ニ示セヲ示シ各部隊ヲシテ翌二十九日拂曉マテニ其地域内ニ兵力ヲ移動セシムル如ク部署セリ

附記 師團長ハ飲用水缺乏セル爲補重隊ノ一部自動貨車三輛ヲ以テ給水班ヲ編成シ復旦大學ヨリ井水ヲ第一線ノ後方ニ運搬セシメタリ

師團參僚ノ異動

二十九日師團參謀長少將田代皖一郎ハ軍參謀長ニ、師團幕僚ノ大部ハ軍幕僚ニ轉シ正午天樂寺師團司令部ヲ去リテ公大第一紗廠ニ到リ師團參謀步兵大佐谷實夫ハ師團參謀長トナル

補充員及後援隊ノ到著處

混成第二十四旅團ノ補充員步兵大尉玉田弥五郎以下四百七名ハ二十七日午後四時上海日本郵船碼頭ニ到著シ同九時天樂寺ニ來リシヲ以テ師團長ハ之ニ訓示ヲ與ヘタル後顧家宅混成第二十四旅團司令部ノ位置ニ向ハシム該補充員ハ同十一時四十分同地旅團司令部ニ到著宿營シ二十八日午前大々所屬部隊ニ配布セラレ又第九師團ノ補充員步兵少佐小川權之助以下五百十八名ハ二十八日午後五時三十分上海大阪商船碼頭ニ到著セルヲ以テ師團長ハ同夜之ヲ船中ニ宿泊セシメタリ

步兵第二十二聯隊ハ二十八日午後四時頃吳淞鐵道棧橋ニ到著シテ第九師團長ノ指揮ニ入リシカハ師團長ハ參謀步兵少佐、石野芳男ヲシテ前日ノ命令第六七四頁參照及細部ノ指示ヲ與ヘシム乃チ同隊ハ同五時三十分ヨリ上陸ヲ開始シ夜半頃マテニ大部ノ揚陸ヲ完了シ吳淞機關庫附近ニ宿營セリ

二十八日一般狀況

師團第一線各隊ハ師團攻撃期日ノ線上ニ伴ヒ諸準備ヲ急キ部隊ノ交代移動、他隊トノ協同連繫竝諸打合せ等ヲ行ヒ特ニ步兵第十九聯隊主力ハ午後三時頃天樂寺附近出發、齊家宅江灣鎮南側ニ到リ同七時左翼隊長ノ指揮ニ入り同十時過マテニ聯隊長ハ右翼隊ヨリ復歸セシ第二大隊ヲ掌握セリ
飛行隊ハ此日八日二十日前任務ヲ續行シ各一部ヲ以テ寫眞攝影、砲兵協力竝敵後方地域ノ爆撃ヲ實施セリ

附記 第一中隊福澤航空兵大尉操縦野澤軍曹ハ午前九時十二分出發、高度二千米ニ於テ江灣鎮西端、大場鎮東端ニ互ル間ノ寫眞攝影ヲ行ヒ同十時三十分歸還午後四時四十分更ニ前線敵除地域ノ再攝影ヲ行フ同五時二十五分歸還又第一中隊大沼砲兵中尉操縦手塚曹長ハ午前七時四分ヨリ砲兵協力實施中同七時三十七分敵歩兵約一千名彭浦鎮西南方ヨリ大場鎮ニ向ヒ前進中ナルヲ

發見シ之ヲ師團長及砲兵隊長ニ報スルト共ニ同八時三十分ヨリ九時ニ至ル間山砲兵第八中隊ノ射撃ヲ指導シテ相當ノ損害ヲ與フ此間同中隊大島砲兵大尉(操縦立花中尉)並天野歩兵大尉(操縦長島軍曹)ハ大隊命令ニ依リ此敵ヲ爆撃セリ
 輻重隊ハ攻撃準備ニ應スル彈藥集積ニ忙殺セラレ爾餘ノ部隊ハ依然前任務ヲ續行セリ

附記 此日衛生隊ハ二十名第一、第四野戰病院ハ夫々十八名及七名ノ傷者ヲ收療セリ

攻撃計畫及
 攻撃命令及
 攻撃指示及
 攻撃地圖及
 攻撃長ノ
 攻撃指示

二十九日午前九時師團長ハ攻撃計畫ヲ印刷配布シ内容ハ前日內示セルモノニ同シケレト別命セル軍隊區分及戰闘地域ハ之ヲ省略シアリ午後四時更ニ左ノ命令ヲ下シテ攻撃實行ヲ命シ軍隊區分及各部隊ノ任務ノ一部ヲ變更追加セリ

九師作命第二十六號

第九師團命令 二月二十九日午後四時 於天樂寺師團司令部

- 一 敵情其後大ナル變化ナク敵陣地ノ狀況亦曩ニ指示セルトコロノ如シ
- 二 師團ハ別冊攻撃計畫註、第六七九頁參照ニ基キ明一日敵ヲ攻撃セントス
- 三 第一線諸隊ハ攻撃計畫ニ準據シ明一日攻撃ヲ開始スヘシ
- 四 獨立戰車第二中隊一小隊欠ハ明一日拂曉マテニ葉家宅江灣鎮中部南側附近ニ進出シ左翼隊長ノ指揮ヲ受ケ戰鬪ニ參加スヘシ
- 五 騎兵第一中隊ハ其主力ヲ以テ明一日姚家頭天樂寺北方二軒附近ニ進出シ混成第二十四旅團ノ右側ニ連繫シ當面ノ敵情地形ヲ搜索シ且吳淞支隊ト連絡スヘシ
- 六 爾餘ノ諸隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ

七 豫備隊ハ現在地註、天樂寺附近ニ位置シ午前八時マテニ出發準備ヲ整ヘアルヘシ爾後白楊村及後郭家宅

方向ニ前進ヲ準備スヘシ

又其一中隊ヲ以テ師團司令部衛兵ヲ步兵第七聯隊ヨリ繼承スヘシ

海軍装甲自動車隊二輛欠ハ依然復旦大學ニ待命スヘシ

八 糧秣ノ補充ハ故ノ如シ

九 予ハ依然現在地ニ在リ

明一日午前九時以降江灣鎮東端勞働大學ニ在リ午前七時現在地ニ命令受領者ヲ出スヘシ

第九師團長 植田謙吉

尙師團長ハ翌三月一日ノ攻撃力重大ナル意義ヲ有シ其成果ノ影響スルトコロ頗ル大ナルモノアルニ鑑

ミ右命令下達ト共ニ『必勝ノ信念ヲ以テ勇躍奮闘スヘキ』旨ヲ訓示セリ附錄第二其四

曩ニ揚子江口ニ派遣セシ師團參謀砲兵少佐高橋坦ハ二十九日午前九時「ベルブイ」ニ著シ軍司令部ノ乘艦タル妙

高ニ到リ三月一日ノ爲ノ軍命令上軍作命甲第二號(第六五九頁參照)ヲ受領シ夕刻天樂寺ニ歸還セシカ師團長ハ既ニ同趣旨ニ

依リ命令ヲ下達セルヲ以テ改メテ處置スルトコロナシ

附記 右軍命令ニ依リ飛行隊及無線電信第二十二小隊ハ二十九日午前十時ヨリ師團長ノ指揮ヲ脱シ軍直轄トナル

補充員及 第九師團補充員ハ二十九日午前十一時天樂寺ニ到着セルヲ以テ師團長ハ之ニ訓示ヲ與ヘタル後夫々各

部隊ニ配屬セリ

步兵第二十二聯隊

附記 各隊ノ配屬人員ハ步兵第七聯隊百三十名、步兵第三十五聯隊百二十八名、步兵第十九聯隊百二十九名、步兵第三十六聯隊百二十九名、其他二名トス

步兵第二十二聯隊ハ午前六時三十分全部ノ揚陸ヲ完了シ聯隊長大佐山脇正隆ハ各大隊長及各副官ヲ伴ヒ先行シテ同十一時三十分頃師團司令部ニ著シ聯隊第三中隊ノ一小隊ハ先任者大尉中原寛治ノ指揮ヲ以テ正午吳淞機關庫出發、淞滬鐵道ニ沿ヒ午後二時天樂寺ニ集結シテ豫備隊トナリ直ニ師團司令部護衛ノ爲第五中隊第三大隊ハ同二時顧家宅ニ到リテ混成第二十四旅團長ノ指揮ニ入レリ

師團長ハ參謀長谷步兵大佐ヲシテ步兵第二十二聯隊ノ幹部ヲ江灣競馬場時計臺上ニ誘導シ一般ノ戰況、支那軍ノ慣用戰法特ニ其弱點並陣地設備ノ特徴等ニ就キ説明セシメタリ

附記 師團長ハ午後七時步兵第二十二聯隊ヨリ一中隊(第五中隊)ヲ出サシメ其主力ヲ以テ師團司令部ノ護衛、一小隊及一分隊ヲ以テ夫々在復且大學高射砲隊及在江灣競馬場戰車隊ノ掩護ニ任セシメ同八時更ニ同聯隊ニ命スルニ三月一日正午マテニ其一小隊(但其半部ハ午前十一時三十分マテニ先ツ吳淞機關庫ニ到リ軍司令部ノ上陸及行動間ノ護衛ヲラシム)ヲ公大第一紗廠軍司令部ニ派遣シテ之カ警戒ニ任セシムヘキヲ以テス依テ步兵第二十二聯隊長ハ吳淞鐵道棧橋ニ殘置セシ第三中隊ノ一小隊ヲ之ニ充當セリ

二十九日
ニ於ケル
一般狀況
此日師團ノ各隊長ハ翌三月一日ノ爲細部ノ計畫ヲ作製シテ之ヲ各々其部下ニ示シ諸隊ハ之ニ基キテ銳意攻撃準備ヲ進メ特ニ右翼隊ニ於テハ麥家宅(登家宅)、左翼隊ニ於テハ蘆窩灣附近ニ各々一部ヲ進メテ據點ヲ占領セリ

東八字橋
附近海軍
陸戰隊ノ
戰況

師團衛生機關ハ蘆窩灣附近ニ於ケル傷者ヲ收療シ此日ノ收容人員衛生隊四十六名、第一、輜重隊ハ特ニ一部ヲ以テ攻城重砲兵第一中隊ノ陣地變換ヲ援助シ其他ノ部隊ハ依然前任務ヲ續行セリ

海軍陸戰隊正面ノ敵ハ連日ノ我カ爆撃及砲撃ノ爲動搖ノ色アリシヲ以テ指揮官植松少將ハ此機ニ乘シテ東八字橋附近ノ敵陣地ヲ奪取シ江灣鎮方面ニ通スル主要ナル交通路ヲ扼シ且虹口「クリーク」西岸ニ據點ヲ獲得スルニ決シ第五大隊長少佐太田寛ヲシテ部下大隊他大隊ノ一ヲ以テ海軍飛行機及第六大隊砲、海軍裝甲車隊並陸軍獨立戰車第二中隊ノ一小隊協力ノ下ニ二十九日ヲ期シテ攻撃ヲ決行セシム

附記 第五大隊長ノ指揮スル部隊ハ部下タル大隊附屬隊、第十中隊(第八中隊ノ一小隊ヲ屬ス)並第十一中隊(第八、第九中隊ノ各一小隊ヲ屬ス)ノ外第九中隊(二小隊欠)、第十四中隊並曲射砲隊(曲射步兵砲四門)等トス

海軍陸戰隊指揮官ハ二十八日夜細部ノ計畫並所要ノ命令ヲ下達シ第五大隊長ハ之ニ基キ諸隊協力ノ下ニ第十四中隊長大尉林孝善ヲシテ東八字橋西側敵陣地ヲ奪取セシメ第十一中隊長大尉喜多山三郎ノ一部ヲシテ日本人墓地附近ヲ攻撃シテ之ニ協力セシメ爾餘ノ部隊ヲ以テ敵ヲ牽制シテ第十四中隊ノ攻撃ヲ支援セシムル如ク部署セリ

斯クテ二十九日午前五時三十分先ツ砲撃ヲ開始シ同九時海軍飛行機及砲隊主力十二機四門、山砲八東八字橋及日本人墓地附近ニ夫々爆撃並砲撃ヲ行ヒ陸海軍ノ戰車、裝甲車ハ水電路上ヲ東八字橋ニ近迫シテ共ニ敵陣地ヲ制壓スルヤ海軍陸戰隊指揮官午前十時四十分四明公所ニ移ルハ午前十時五十五分攻撃前進ヲ令シ第一線ハ前進ヲ開始ス以下次頁挿圖參照

東八字橋附近海軍陸戰隊戰隊經過要圖
昭和七年二月二十九日



二十九日
夜ノ状況

然ルニ當面ノ敵ハ頗ル頑強ニシテ所在ノ家屋圍墻ヲ利用シテ防戦大ニ勉メ我カ死傷續出セシカ同十一時三十分前後第八中隊ノ一部先ツ日本人墓地ヲ占領シ次テ戦車小隊東八字橋東側敵陣地ニ進出シ此間第十四中隊ノ第一線兩小隊長中尉塚田正雄及兵曹長塩崎秀治ハ逐次水電路南側ノ敵ヲ驅逐シ續イテ其北側地區ヨリ陳氏園附近ノ敵ニ迫リ苦戦ノ後午後二時過虹口「クリーク」東岸ノ敵ヲ西方ニ撃退シ爾後占領セル陣地ヲ確保シテ敵ノ逆襲ニ備ヘタリ東八字橋附近戰隊ノ詳細ハ第十八卷ニ譲ル

附記 此戰闘ニ於ケル我カ損害戦死十名、負傷十六名ニシテ敵ノ遺棄屍體七十五（内便衣ノ者三十二）ヲ算セリ

二十九日夜全戦線ニ互リ格別ノ變化ヲ認メス唯混成第二十四旅團方面ニ敵ノ小夜襲ア

リシカトモ之ヲ撃退セリ而シテ右翼隊ヨリノ報告ニ依レハ同方面ニ於ケル敵ノ兵力若干減少セルニアラサルカヲ思ハシムルモノアリ

連日戰場ノ防空ニ任シ目標ノ現出ヲ待望セル高射砲隊ハ遂ニ射撃ノ機ナク脾胃肉ノ嘆ニ禁ヘサルモノアリ依テ師團長ハ將兵ノ志氣ヲ鼓舞シ敵ヲ擾亂スル目的ヲ以テ午後八時ヨリ約一時間李家樓及大場鎮ニ對シ擾亂射撃ヲ行ハシメタリ射彈百五十三發

午後十時四十分左ノ軍通報アリ

敵ハ本夜或ハ退却ヲ開始スルコトアルヘシ其理由次ノ如シ

- 1 支那軍ハ大場鎮ニ於テ掠奪ヲ開始ス
- 2 第十九路軍長蔡廷楷ハ上海ニ於テ銀行家ト會見セリ退却前ニ於ケル軍資金ノ調達ト判斷ス
- 3 第十九路軍ニ内訌發生セリ
- 4 支那軍ハ明三月一日ノ我カ總攻撃ヲ探知シアリ
- 5 本二十九日陸戰隊方面ノ戦況有利ニ發展セリ

附記 二十八日午後第三艦隊司令長官カ松岡洋右ト共ニ英國軍艦「ケント」ヲ訪ヒ同國司令官斡旋ノ下ニ第十九路軍參謀長黃強及顧維鈞ト會見シ約二時間半ニ互リ會談セル際支那側ハ國志頗ル衰ヘタルカ如ク概ネ二十日提出ノ我カ要求ノ大部ヲ承認スルノ風アリシト謂フ

師團長ハ直ニ之ヲ第一線ニ傳ヘシメ且敵ヲ逸セサル如ク注意ヲ喚起スルトコロアリ

其二 各部隊ノ攻撃準備

附圖第二十四參照

甲 混成第二十四旅團

二十六日
旅團長ノ
部及各
勢

旅團長下元少將ハ二十六日午前七時ヨリ第一線部隊ヲ巡視シ將兵ノ志氣ヲ鼓舞シ此間參謀渡邊

ヲシテ各部隊ノ命令受領者ニ從來ノ經驗ニ基ク細部ノ注意ヲ與ヘシメ爾後ノ戦闘ノ資料ニ供セシム

附記 午前十時過師團長旅團司令部ヲ巡視スルヤ旅團長ハ戰況其他ニ就キ報告スルトコロアリ

旅團長ハ午後三時攻撃準備ニ關スル師團命令午後二時發九師作命第二十二號(第六六九頁參照)ヲ受領シ之ニ基キ同八時命令ヲ下シ

依然警戒ヲ嚴ニシテ爾後ノ攻撃ヲ準備セシメタリ

第一線諸隊ハ陣地ヲ補強シ且後方ニ通スル交通壕ヲ構築シ後方部隊ハ主トシテ側背ノ搜索警戒ニ任シ

爾餘ノ諸隊ハ依然前任務ヲ續行セリ

附記 右第一線タル步兵第二十四聯隊第一大隊方面ニ於テハ第四中隊長(大尉柴田二郎)ノ意見具申ニ基キ午後三時頃同中隊ヲ以テ約七、八十米前方ノ三軒屋ヲ燒却シテ其附近ニ陣地ヲ推進シ敵陣地ト近ク五十米ヲ隔テテ相對峙スルニ至ル

又左第一線タル步兵第四十六聯隊第一大隊方面ニ於テハ第二中隊ヲ以テ早朝ヨリ妻家宅(客家宅)、孟家宅間ニ交通壕ヲ構築シ夕刻略之ヲ完成セリ

獨立山砲兵第二大隊ハ此日西港、周行、西部廟恭鎮、田園等ノ諸地點ニ對シ射擊修正ヲ行ヒ夜ニ入り周行及田園ニ對シ阻止射擊ヲ實施シテ敵ノ出撃ニ備フ

工兵第二中隊ハ野戰重砲兵ノ通過ヲ容易ナラシムル爲午前七時頃ヨリ午後五時ニ至ル間東周宅、北陶家灣、南陶家灣、固老橋、劍高道ヲ補修セリ

二十七日
旅團長ノ
處置各

二十七日午前旅團長ハ參謀步兵中佐古賀龍太郎ヲシテ第一線ヲ視察セシメ午後三時副官少佐ヲ上海ニ派遣シテ補充員第六九一頁參照ヲ誘導セシメタリ

部隊ノ
勢

午後二時依然攻撃ヲ準備スヘキ師團命令午後二時發九師作命第二十四號(第六七五頁參照)ヲ受領ス

附記 此際二十五日撮影セシ一萬分一航空寫眞ノ配布ヲ受ケ爾後ノ攻撃ニ資スルトコロ頗ル多シ

第一線ハ依然現陣地ニ在リテ攻撃準備ヲ進メ一部配備ヲ變更シ其他ノ部隊ハ依然前任務ヲ續行セリ

附記 步兵第二十四聯隊第一大隊ニ於テハ午前十時頃第二中隊ヲ新ニ第一線トシ第四中隊ト交代セシメ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ於テハ午後五時頃第一線ニ第三、第二中隊ヲ出シ夫々第四、第一中隊ト交代セシメタリ

二十八日午前九時旅團長ハ師團長ニ對シ旅團北翼ノ敵ニ對スル攻撃ヲ中止スヘキ意見ヲ具申シ第六七九頁附記參照同九時三十分ヨリ補充員ニ訓示ヲ與ヘタル後夫々各隊ニ配當セリ

附記 各隊ノ配當人員ハ步兵第十四聯隊第二大隊七十六名、步兵第二十四聯隊第一大隊百十二名、步兵第四十六聯隊第一大隊百四名、步兵第四十八聯隊第一大隊七十名、獨立山砲兵第二大隊五名、工兵第十八大隊第二中隊三十名、混成第二十四旅團通信隊八名、同衛生班二名トス

旅團長ハ午前師團攻撃計畫ノ内示ヲ受ケ次テ午後五時攻撃準備ニ關スル師團命令午後四時四十五分發九師作命第二十五號(第六六九頁參照)ニ接スルヤ西方ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備スル爲午後六時左ノ要旨ノ命令要旨命令ハ既ニ午前十時三十分頃之ヲ下達セリヲ下達

シ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 第一線ヲ步兵第十四聯隊第二大隊及步兵第四十八聯隊第一大隊トシ其戰鬥地境ヲ孟家宅廟巷鎮東南方五百

米南端、嚴家橋孟家宅西南西南端、南金宅嚴家橋西南南端ヲ連スル線ト豫定ス

二 步兵第十四聯隊第二大隊ヲシテ二十九日午前中ニ步兵第二十四聯隊第一大隊ト第一線ノ守備ヲ交代セシメ尙一部ヲ妻家宅(客家宅)ニ出シテ步兵第四十六聯隊第一大隊ノ一部ト交代セシ

ム

三 歩兵第二十四聯隊第一大隊ヲシテ前項第一線ノ交代ヲ行ハシメ尙一中隊ヲ以テ二十九日拂曉マテニ金馮宅西北端ニ在ル歩兵第四十八聯隊ノ一中隊ト、又二十八日中ニ一部ヲ以テ吳淞支隊ト守備ヲ交代セシム

四 歩兵第四十八聯隊第一大隊ヲシテ二十八日中ニ一部ヲ麥家宅(客家宅)南方墓地附近ニ出シテ師團右翼隊ノ一中隊ト交代セシム

五 歩兵第四十六聯隊第一大隊ヲシテ明二十九日午前中ニ其二中隊ヲ以テ麥家宅(客家宅)北側、顧家宅、朱家宅ニ於ケル部隊ト守備ヲ交代セシム

附記 旅團長ハ前記ノ部署ヲ行フト共ニ各部隊ニ第一線部隊ノ交代ニ方リ特ニ警戒ヲ中絶セサル如ク細密ニ協議ノ上實施ス
 (キ注意ヲ與ヘ尙工兵中隊ニ二十九日重砲兵ノ陣地進入援助及第一線後方交通路ノ施設ヲ行フヘキヲ命令セリ)

右命令ニ基キ各步兵大隊ハ逐次交代ノ爲所要ノ處置ヲ講シ其他ノ諸隊ハ概ネ前任務ヲ續行ス又旅團ニ配屬セラレタル野戰重砲兵第一中隊長ハ午後二時頃旅團司令部ニ來リ所要ノ命令ヲ受ケタル後姚家宅附近ニ陣地ヲ偵察セリ

旅團左翼隊ノ編成
 旅團長ハ二十八日歩兵第二十二聯隊第三大隊ヲ新ニ配屬セラレシヲ以テ該隊ノ吳淞鐵道棧橋上陸後直ニ旅團ノ戰況並支那軍ニ對スル戰法等ニ關シ通報スルトコロアリ而シテ旅團ノ指揮單位増加ニ伴ヒ戰團指揮ヲ容易ナラシムル爲旅團參謀(步兵中佐)片村四八ヲ翼隊長トシ之ニ所要ノ機關ヲ屬シ臨時旅團左翼隊本部ヲ

編成セリ 片村參謀ヲ翼隊長ト爲シタルヲ以テ步兵第二十四聯隊第一大隊小隊長步兵中尉三原七郎ヲ參謀業務ヲ輔佐セシム

師團砲兵ト交渉ノ輕緯

此日二十午後六時頃師團砲兵隊長旅團司令部ニ來リ三月一日ノ攻撃ニ於テ午前十時ヨリ約一時間旅團ノ攻撃重點タル田園ニ師團砲兵ノ大部ヲ集中協力スヘキヲ告ケタリ

附記 此協定ニ關シ旅團長ト師團砲兵隊長トノ意思疎通セサル點アルカ如ク混成第二十四旅團長ハ「田園ナル一小地點ニ對シ旅團ノ砲兵火力ヲ集中スルヲ觀測上適當ナラス」とノ師團砲兵隊長ノ意見ニ從ヒ該地點ノ射擊ハ震駭的威力ヲ現シ得ヘキ師團砲兵ニ委スルヲ適當ト信セリ而シテ師團砲兵隊長ノ田園陣地ニ集中射擊ヲ行ハントセシハ該陣地カ師團右翼隊ノ攻撃ニ大ナル關係ヲ及スヘキヲ以テ同隊ニ對スル協力上之カ制壓ヲ必要ト認メタルカ爲ナリ但後刻作製セル砲兵隊戰團計畫(第七九二頁參照)ニハ大部ノ砲兵ヲ用ヒス山砲兵一大隊、野戰重砲兵一中隊ノミヲ使用スル如ク記載シアリシカ同計畫ハ混成第二十四旅團ニ送達セラレス之カ爲三月一日ノ攻撃ニ於テ離隔ヲ來セルモノトス(第八八九頁參照)

步兵第二十四聯隊第一大隊長ハ二十八日午前十一時頃吳淞支隊交代ニ關スル旅團命令ニ基キ第四中隊機關銃一小ヲシテ正午頃廟巷鎮東側出發、吳淞機關庫ニ到ラシメタリ

附記 同隊ハ午後二時頃吳淞機關庫ニ到著シ同八時頃該地ニ在リシ步兵第十四聯隊第八中隊及機關銃一小隊ト交代ヲ終ヘ此隊ハ同夜機關庫附近ニ宿營シ二十九日午前四時頃同地出發、同六時頃東部廟巷鎮ニ來リテ原所屬ニ復歸セリ

各部隊ノ態勢

各步兵大隊ハ旅團命令ニ基キ守備地交代ノ爲所要ノ準備ヲ整ヘ特ニ歩兵第四十八聯隊第一大隊長ハ日沒頃其一部(第一中隊及機關銃一小隊)ヲ以テ麥家宅(客家宅)南側ノ歩兵第十九聯隊ノ一部ト交代セシム而シテ爾餘ノ部隊ハ依然前任務ヲ續行セリ

二十九日ニ於ケル旅團長ノ部署

二十九日午前八時旅團長ハ各隊長ヲ集メ攻撃ノ爲左ノ命令ヲ下達セリ
 混二四旅作命第三十七號

混成第二十四旅團命令 二月二十九日午前八時
於南部孫家宅(註)、顧家宅(註)旅團司令部

一 敗殘セル當面ノ敵ハ志氣全ク沮喪シ著シク戰意ヲ失ヒ其内部ハ相當混亂ノ状態ニ在ルモノノ如シ
新ニ増加セラレタル上海派遣軍 第九師團ヲハ近ク戰場ニ到著スル豫定ニシテ其先遣部隊 步兵一聯隊ハ
重砲若干 昨二十八日吳淞鎮附近ニ上陸セリ

師團ハ明一日主力ヲ江灣鎮西方地區ニ保持シ當面ノ敵ヲ攻撃ス

二 旅團 步兵第二十二聯隊第三大隊、野
戰重砲兵第一中隊ヲ屬セラル ハ明一日重點ヲ田園方向ニ指向シ西方ノ敵ヲ攻撃シテ胡家灣、顏
宅ノ線ニ進出セントス

三 旅團右翼隊 步兵第二十二
聯隊第三大隊 ハ明一日午前六時マテニ中心巷附近ニ展開シ西港及周行ノ敵陣地ヲ攻撃
スヘシ

北方ニ對シ警戒スヘシ

四 旅團左翼隊 長片村步兵中佐、步兵第十四聯隊第二大隊、步兵第四十六聯隊第一大隊、步兵
第四十八聯隊第一大隊、步兵第二十四聯隊第一大隊ノ步兵砲隊、工兵第二中隊 ハ午前六時マテニ突擊
準備ヲ完了シタル後廟巷鎮ヨリ田園ニ互ル間ノ敵ヲ攻撃シテ胡家灣、顏宅ノ線ニ進出スヘシ
敵陣地突入ハ午前十一時ト豫定ス

五 旅團兩翼隊ノ戰鬪地境ハ金馮宅西北端ト寶龍巷(寶龍巷) 廟巷鎮西北
方七百米 ヲ連ヌル線トシ線上ハ右翼隊
ニ屬ス

六 旅團砲兵隊 長福村砲兵少佐、獨立山砲兵第
二大隊、野戰重砲兵第一中隊 ハ午前八時ヨリ獨立山砲兵第二大隊ノ主力ヲ以テ約一時間

旅團右翼隊ノ攻撃ニ協力シ爾後全力ヲ以テ旅團左翼隊ノ攻撃ニ協カスヘシ

七 步兵第二十四聯隊第一大隊 吳淞守備隊及
步兵砲隊欠 ハ豫備隊トナリ麥家宅 姚家宅
北側 附近ニ位置スヘシ但一部ヲ
以テ金馮宅西北端、顧家宅及朱家宅ヲ占領スヘシ

八 第一線諸部隊ノ交代ハ本二十九日日沒マテニ完了スヘシ

九 旅團通信隊ハ旅團兩翼隊及砲兵隊ト旅團司令部トノ間ノ連絡ニ任スヘシ

十 予ハ暫ク現在地ニ在リ

本日午後三時姚家宅 註、姚家宅
北側、麥家宅 西南端ニ到ル

混成第二十四旅團長 下 元 少 將

下達法

要旨ハ二十八日午後傳達シ後筆記命令ヲ交付ス

附記 旅團攻撃ノ重點ヲ田園方向ニ選定セシハ第九師團主力ニ近ク協カスルト堅固ナル廟巷鎮ノ敵陣地ヨリ勉メテ遠サカラ
ントノ爲ナリ

尙旅團長ハ三月一日午前十時以後ニ於ケル旅團砲兵隊ノ運用ヲ主トシテ左翼隊長ノ意圖ニ委スヘキヲ
指示スルト共ニ團下將兵ニ對シ『本戰鬪力或ハ最後ノ決ヲ與フルヤモ測リ難キヲ以テ旅團擔任正面ノ

重要ナルニ鑑ミ畢生ノ努力ヲ傾倒シ敵軍ヲ粉碎シ以テ聖旨ニ應ヘ國民ノ期待ニ副フヘキ旨ノ訓示ヲ
與ヘ午後五時麥家宅純家宅ニ移レリ

旅團左翼
隊長ノ攻
撃部署

旅團左翼隊長ハ旅團命令ニ基キ獨立山砲兵第二大隊長ト所要ノ協定次ノ命令第六項參照ヲ遂ケタル後午前十時左
ノ命令ヲ下達セリ

混成第二十四旅團左翼隊命令 二月二十九日午前九時三十分 於 顧家宅

一 旅團左翼隊ハ午前六時マテニ敵陣地前約三百米ニ於テ突撃準備ヲ完了シ主力ヲ以テ田園附近ノ
敵ヲ攻撃シ胡家灣、顔宅ノ線ニ進出セントス

二 歩兵第十四聯隊第二大隊 歩兵第二十四聯隊第二大隊ノ歩兵砲隊、三一式連射山砲一門、工兵一小隊ヲ屬スハ右第一線トナリ廟巷鎮東端附近ヨリ
麥家宅（客家宅）西端附近ニ互ル間ニ於テ廟巷鎮、陸家橋、嚴家橋ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備スヘ
シ

特ニ主力ヲ左翼方面ニ保持スヘシ又右側ヲ警戒スヘシ

三 歩兵第四十八聯隊第一大隊 歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ歩兵砲隊、三一式連射山砲一門、工兵第二中隊ノ主力ヲ屬スハ左第一線トナリ麥家宅（客家宅）
東南側墓地附近ヨリ其以南ニ於テ田園ニ對スル攻撃ヲ準備スヘシ
特ニ左側ヲ警戒スヘシ

四 戦闘地境左ノ如ク線上ハ右ニ屬ス

旅 團 右 翼 隊

金馮宅西北端、寶龍巷（寶尤巷）ヲ連ヌル線

歩兵第十四聯隊第二大隊

孟家宅南端、嚴家橋南端、李庫北端ヲ連ヌル線

歩兵第四十八聯隊第一大隊

吳家宅北端、顔宅北端、童江宅ヲ連ヌル線

師 團 右 翼 隊

五 歩兵第四十六聯隊第一大隊 歩兵砲隊欠ハ豫備隊トナリ孟家宅ニ位置スヘシ

六 各部隊行動ノ基準左ノ如シ

1 旅團砲兵隊ノ效力射準備射撃ハ午前十時マテニ終了ス

2 第一次

旅團砲兵隊ハ午前十時ヨリ約十分間東部廟巷鎮西半部及西部廟巷鎮ニ對シ破壊射撃ヲ行フ
砲撃間歩兵ハ後方交通壕及外壕ニ退避ス

砲撃終了後歩兵ハ成ルヘク西方ニ前進ス此際特ニ國旗ヲ第一戰ノ位置ニ高く掲クルヲ要ス

3 第二次

師團砲兵隊ハ午前十時ヨリ田園（イ）ニ全火力ヲ集中ス

師團砲兵隊田園ニ對スル射撃中止後歩兵ハ攻撃前進ニ移リ前進間旅團砲兵隊ノ山砲兵一中隊ハ

田園（イ）ノ敵ヲ制壓シ次テ射程延伸ヲ爲ス

野戰重砲兵第一中隊ハ西部廟巷鎮（ホ）及陸家橋（ニ）ニ對シ破壊射撃ヲ行フ

山砲兵一中隊ハ嚴家橋(ハ)及戴家宅(ロ)ノ敵ヲ制壓ス

歩兵ハ午前十一時田園(イ)ニ突入シ次テ朱家宅(ヌ)ニ一舉ニ前進ス

4 第三次

旅團砲兵隊ハ山砲ヲ以テ約三分間戴家宅(ロ)ニ對シ制壓射撃ヲ行ヒ歩兵ハ(ロ)ニ前進ス

歩兵(ロ)ヲ占領セハ野戰重砲及山砲ハ全力ヲ以テ約六分間嚴家橋(ハ)ヲ射撃シ次テ歩兵ハ攻撃前進ス

前進間獨立山砲兵大隊ハ尙(ハ)ヲ射撃シ次テ其一中隊ハ射程ヲ延伸シ他ノ一中隊ハ陸家橋(ニ)ヲ射撃ス

野戰重砲兵中隊ハ西部廟巷鎮(ホ)ヲ射撃ス

歩兵ハ朱家宅北側ニ進出ス

5 第四次

旅團砲兵隊ハ全力ヲ以テ西部廟巷鎮(ホ)ヲ約十五分間射撃ス

次テ歩兵ハ攻撃前進ヲ行ヒ野戰重砲兵中隊ハ陸家橋(ニ)ヲ射撃シ獨立山砲兵大隊ハ歩兵ノ西進ニ伴ヒ逐次西方ニ射撃ヲ移轉ス

歩兵(ニ)ヲ占領セハ野戰重砲兵中隊及獨立山砲兵大隊ノ一中隊ヲ以テ南曹宅(ヘ)、獨立山砲兵ノ一中隊ヲ以テ張家橋(ト)ヲ射撃シ次テ射程ヲ延伸ス

歩兵ハ(ヘ)(ト)ヲ占領ス

6 第五次

第九師團右翼隊ト連絡シ且觀測所ヲ戴家宅(ロ)、嚴家橋(ハ)附近ニ推進シ先ツ李庫(リ)ニ全火力ヲ集中シ次テ胡家灣(チ)ニ集中ス

歩兵ハ概ネ到達線ニ進出ス

七 各大隊通信班ハ旅團左翼隊本部ト各大隊トノ連絡ニ任スヘシ

八 予ハ本二十九日午後四時孟家宅ニ到ル

旅團左翼隊長 片村 中 佐

注意

一 歩兵ハ砲兵ノ集中射撃ニ近ク跟随シテ突入スルコト

二 歩兵ハ擲彈筒ノ使用ヲ巧ニシテ砲兵火力ノ缺ヲ補フコト

三 砲撃ニ先タチ爆撃ヲ行フコトアルヲ以テ第一線ハ位置ヲ標示シ危害ヲ避クルコト

四 第一線ハ常ニ國旗ヲ樹立シ且布板ヲ敷置スルコト

五 各人ハ彼我ノ識別ヲ容易ナラシムル爲手拭等ノ白布ヲ背囊ニ附著スルコト

六 砲兵集中射撃ノ最後ハ必ス曳火彈射撃ヲ行ヒ終了セシコトヲ明ニスルコト

七 通信班ハ電話線切斷セラレタル場合ヲ顧慮シ他ノ連絡法ヲ講スルコト

旅團左翼
大隊各步兵
隊ノ攻撃
準備

八 各隊ハ一日夕食マテノ行厨及携帶口糧乙一日分ヲ携行スルコト
歩兵第十四聯隊第二大隊ハ午前九時三十分頃マテニ概ネ所要ノ交代ヲ完了シ新ニ第一線トナリテ攻撃
準備ヲ進メ大隊長ハ午後二時頃マテニ全兵力ヲ掌握セリ

附記 第五中隊ハ二十八日日夜没頃既ニ東部廟巷鎮ニ進出シテ該地ニ於テ夜ヲ徹シ其他ノ主力(第七中隊ヲ除ク)ハ二十九日未明願
家宅出發、東部廟巷鎮(第六中隊ハ齊家宅)ニ前進シテ直ニ歩兵第二十四聯隊第一大隊(第六中隊ハ歩兵第四十六聯隊第一大隊)ト
第一線ノ守備ヲ交代シ在北部孫家宅第七中隊ハ北部孫家宅及朱家宅ニ小銃各一分隊ヲ殘シ主力ヲ以テ午後零時三十分麥家宅(姚
家宅北側)ニ集結シタル後同一時金馮宅ニ到着セリ(殘置分隊ハ歩兵第二十四聯隊ノ一部ト交代シ同二時頃歸隊ス)

大隊長ハ午後一時三十分旅團左翼隊命令ヲ受領シ之ニ基キ左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

歩兵第十四聯隊第二大隊命令(要旨) 二月二十九日午後四時五分
於 東 部 廟 巷 鎮

一 大隊 歩兵第二十四聯隊第一大隊ノ歩兵砲隊、ハ旅團左翼隊右第一線トナリ明三月一日午前六時マテニ東
部廟巷鎮東側ヨリ麥家宅(客家宅)ニ互リ展開シ西部廟巷鎮、陸家橋、戴家宅ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準
備セントス

進出線ハ胡家灣南北ノ線トス

二 第五中隊 第七中隊ノ一小隊及ハ現在陣地 註、東部廟 巷鎮東部 廟ノ前端ニ於テ攻撃ヲ準備スヘシ

攻撃ニ際シテハ特ニ右側背ニ對シ警戒スヘシ

三 第八中隊ノ一小隊ハ泗塘廟南側附近ニ展開シ攻撃ヲ準備スヘシ

四 第六中隊ハ麥家宅(客家宅)西端附近ニ展開シ攻撃ヲ準備スヘシ

五 機關銃中隊 一小ハ第八中隊ノ一小隊及第六中隊ノ後方ニ陣地ヲ占領シ主トシテ第六中隊ノ攻撃
ニ協力スヘシ

六 歩兵砲隊 長中尉國本九郎、歩兵第二十四 聯隊第一大隊ノ歩兵砲隊ヲ屬スハ泗塘廟南側附近ニ陣地ヲ占領シ第一線兩中隊特ニ左中隊方
面ノ攻撃ニ協力スヘシ

七 工兵小隊ハ第五中隊ニ續行シ村落内ノ掃蕩、交通壕ノ設備ニ任スヘシ

八 通信班ハ大隊本部ト在孟家宅旅團左翼隊本部並第一線兩中隊トノ間ニ電話線ヲ架設シ通信ニ任
スヘシ

九 第七中隊 一小、第八中隊 一小ハ豫備隊トス

十 予ハ午前十時泗塘廟ニ在リ爾後左翼後ヲ前進ス

大 隊 長 岡 本 少 佐

大隊ハ右命令ニ示ス如キ配備ニ就キテ諸準備ヲ整ヘ特ニ機關銃中隊 一小ハ日没頃麥家宅(客家宅)ニ進
出シ全線至嚴ナル警戒ノ下ニ夜ヲ徹セリ

歩兵第四十八聯隊第一大隊長ハ午前十時頃麥家宅 姚家宅 北側ニ於テ旅團左翼隊命令ヲ受領シ左ノ要旨ノ命
令ヲ下達ス

歩兵第四十八聯隊第一大隊命令(要旨) 二月二十九日午後一時三十分
於 麥 家 宅

一 大隊 歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ歩兵砲隊、三一ハ旅團左翼隊ノ左第一線トナリ麥家宅(客家宅)南側墓地

附近ヨリ其以南ニ於テ田園ニ對シ攻撃ヲ準備セントス
攻撃ノ重點ヲ田園ニ指向ス

二 第三中隊機關銃一小ハ右第一線トス右歩兵第十四聯隊第二大隊ニ連繫シ麥家宅(客家宅)南側墓地南方百米ニ互ル間ニ展開シ田園北側地區ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備スヘシ

三 第一中隊機關銃一小ハ左第一線トス右第三中隊ニ連繫シ左麥家宅(登家宅)ニ互ル間ニ展開シ田園及其以南ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備スヘシ
特ニ左側ヲ警戒シ師團右翼隊ト連絡スルヲ要ス

四 機關銃中隊二小ハ第一線兩中隊ノ兩側附近ニ陣地ヲ占領シ側方ノ敵ニ對シ射撃ヲ準備スヘシ

五 歩兵砲隊長中尉甲木警一、歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ歩兵砲隊ヲ屬スハ邵甸宅西側附近ニ陣地ヲ占領シ側方ノ敵ニ對シ射撃ヲ準備スヘシ

六 速射山砲兵分隊長廣瀬軍曹以下六名ハ邵甸宅西端附近ニ陣地ヲ占領シ田園並其以南ノ地區ニ射撃ヲ準備スヘシ

七 工兵第二中隊ハ主力ヲ以テ左中隊正面、一部ヲ以テ右中隊正面ニ於テ渡河設備並障礙物破壊ニ任スヘシ

八 通信班ハ大隊本部ト旅團左翼隊本部並第一線兩中隊トノ間ニ電話網ヲ構成シ第一線兩中隊ニ視號通信手各三名ヲ配屬スヘシ

九 爾餘ハ豫備隊トス邵甸宅ニ位置スヘシ

十 予ハ邵甸宅ニ在リ

大隊長 岩佐少佐

第一中隊ハ前夜來ノ陣地歩兵第十九聯隊ノ一部ト交代セル陣地ヲ補強シ逐次前方ニ據點ヲ推進シ第三中隊二十八日夜金馮宅ニ在リ

三聯隊ト交代シ二十九日拂曉頃麥家宅ニ到ルハ午後二時頃第一中隊ノ右翼ニ進出シテ配備ニ就キ機關銃中隊及歩兵砲隊亦同時頃

マテニ陣地ヲ占領セリ

大隊長ハ午後三時頃第四中隊ト共ニ麥家宅北側出發、邵甸宅ニ到リ同五時頃同地ニ於テ第二中隊午後三時三十分

金母宅出發ヲ掌握セリ

爾後大隊ハ終夜攻撃準備ヲ進メ拂曉マテニ概テ完了ス

工兵第二中隊ハ朝來麥家宅北側ニ位置シ旅團豫備隊トシテ各一部ヲ以テ金馮宅、東部廟巷鎮間ノ交通路並梅園ニ至ル野戰重砲兵ノ進路設備ニ任シ午後一小隊一分隊ヲ歩兵第十四聯隊第二大隊ニ配屬シ其

他ノ主力ヲ以テ同四時出發、同三十分邵甸宅ニ到リ歩兵第四十八聯隊第一大隊長ノ指揮ニ入ル

歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ第一線第二、第三中隊、機關銃中隊ハ歩兵第十四聯隊ノ一部ト交代シテ午前十一時頃マ

テニ孟家宅ニ集結シ爾後大隊主力ハ該地ニ於テ旅團左翼隊ノ豫備隊トシテ夜ヲ徹セリ

附記 第一、第四中隊ハ歩兵第四十八聯隊ノ一部ト交代ノ爲午前十時頃南部孫家宅ニ到リシカ旅團命令ニ依リ午後二時頃孟家宅

ニ歸還セリ

旅團砲兵
隊ノ攻撃
準備

獨立山砲兵第二大隊長ハ午前旅團命令ニ基キ旅團左翼隊長ト會同シテ所要ノ協定^{第七〇四頁參照}ヲ遂ケ午前十一時大隊觀測班ヲ孟家宅ニ進メ午後三時頃マテニ左ノ如ク觀測所ヲ配置セリ

第四中隊 廟巷鎮東端

第五中隊 孟家宅西北端三軒家^{主觀測所}及麥家宅(客家宅)^{補助觀測所}

野戰重砲兵第一中隊 同 右

附記 野戰重砲兵第一中隊ハ午前八時陸家橋附近ノ放列陣地ヲ撤シ同九時姚家宅南側陣地ニ進入シ同九時二十分獨立山砲兵第二大隊長ノ指揮ニ入ル

大隊長ハ午後一時左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

混成第二十四旅團砲兵隊命令(要旨) 二月二十九日午後一時 於 孟家宅

一 旅團砲兵隊ハ本二十九日麥家宅^{北側}及白楊村附近ニ陣地ヲ占領シ明三月一日山砲ノ主火力ヲ以テ先ツ旅團右翼隊ヲ、後全力ヲ以テ旅團左翼隊ヲ直接支援セントス

二 山砲兵兩中隊及野戰重砲兵第一中隊ハ主トシテ廟巷鎮以南田園以北ヲ射撃シ得ル如ク本二十九日夕マテニ陣地及主觀測所ヲ占領設備シ明三月一日午前六時マテニ射撃準備ヲ完了スヘシ

三 射撃實行計畫ハ觀測班長ヲシテ指示セシム



四 山砲兵兩中隊ハ本二十九日中ニ各門榴霰彈七十五發、榴彈二百二十五發ヲ其陣地附近ニ集積ス

ヘシ

五 予ハ二十九日午後三時以降孟家宅大隊主觀測所ニ在リ午後五時觀測小隊長ヲ出セ

旅團砲兵隊長 福村 少佐

午後四時三十分大隊長ハ各中隊觀測小隊長ニ左ノ如キ射撃實行計畫ヲ交付シ觀測班長ヲシテ細部ノ指示ヲ爲サシメタリ

三月一日 混成第二十四旅團砲兵隊射撃實行計畫		二月二十九日	
(時) 步兵ノ行動)	時刻	火力指向要領	(彈管種)
右翼隊攻撃 前進及突撃	自午前八時 至同九時		發射法
左翼隊正面 效力射準備	自同九時 至同十時		發射時機
		(著發) 榴彈	摘 要
		一分六發 三分間 三回復行	臨機目標ヲ 合シ一門三 十發ヲ起ユ ヘカラス
		決定表尺電話ヲ以テ 示ス	

<p>攻撃準備射撃</p>	<p>自午前十時 至同十時十分</p>		<p>榴彈(著發) 山砲一分四發 但山砲ノ第一 重砲一分二發 榴彈(曳火) 三回復行毎回 一分ヲ間ス</p>	<p>山砲兵第五 中隊ノII、 IIIハ田園突 入後ノ射撃 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>	<p>第五中隊及 重砲ノ火力 ヲ重疊ス 步兵ノ第一 線ニ攻撃準 備射撃後該 ヲ樹ツ</p>
<p>歩四八ノ攻 撃前進及突 撃間</p>	<p>自同 三十分</p>		<p>田園突入マ テニ山砲各 門三十發、 重砲各門十 發以內、榴 彈、榴彈 各半數但重 砲ハ榴彈 (著發) 急襲</p>	<p>攻撃前進ノ 時機及山砲 兵第五中隊 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>	<p>山砲兵第五 中隊ノII、 IIIハ田園突 入後ノ射撃 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>
<p>歩一四ノ嚴 家橋占領ノ 爲ノ突撃支 援</p>	<p>自同 十一時 二十分ノ豫定</p>		<p>(I) 第一回 榴彈(著發) 六發三分間 重砲ハ好機 ニ投シ制壓 但(II)ノ際 ハ一分六發 三分ヲ間シ 二回復行</p>	<p>突撃時要 テ突撃支援 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>	<p>突撃時要 テ突撃支援 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>

<p>歩一四ノ嚴 家橋占領ノ 爲ノ突撃支 援</p>	<p>自正午(嚴家 宅發進時)ノ 豫定</p>		<p>榴彈(著發) 山砲一分 六發三分間 重砲ハ好機 ニ投シ制壓 機能ノ制壓</p>	<p>第一線ノ要 求ニ依リ電 命ス</p>	<p>突撃時要 テ突撃支援 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>
<p>西部廟巷鎮、 陸家橋、嚴 家橋、沈家 溝ノ線占領</p>	<p>自午後一時ノ 豫定</p>		<p>榴彈(著發) 山砲ノ射撃 ハ一分二發 ヲ三分間四 回復行、毎 同約一分ヲ 間ス</p>	<p>山砲一分四發 榴彈(曳火) 四發 重砲一分二發 四分間</p>	<p>突撃時要 テ突撃支援 ノ突撃支援 射撃時機ノ ミ電命他ハ 第一線ノ要 求ニ依リ中 隊長ノ獨斷 アリ</p>

備 凡テ突撃支援射撃ノ最後彈ハ各分隊共榴霰彈(曳火)ヲ發射スルモノトス
考

大隊長ハ午後六時二十分再ヒ旅團左翼隊長ト會同シ細部ノ協定ヲ爲シ爾後連絡ノ爲夜間青木軍曹通信一構 屬ス、翌拂曉前山口中尉ヲ同隊長ノ許ニ派遣ス

大隊ハ拂曉マテニ概ネ諸準備ヲ完了セリ。

附記 三月一日午前一時頃旅團長ヨリ「敵兵退却ノ微アルヲ以テ砲兵隊ハ周行、廟莊鎮及田園方向敵ノ據ルヘキ要地ニ對シ擾亂射撃ヲ實施スヘシ」トノ命令アリシニ依リ大隊長ハ直ニ第四中隊ヲ以テ周行及西部廟莊鎮西端ニ、第五中隊及野戰重砲兵第一中隊ヲ以テ田園ニ對シ約三十分間射撃ヲ行ヘリ

旅團右翼
隊ノ攻撃
準備

旅團右翼隊タル步兵第二十二聯隊第三大隊長少佐 奧島盛惠ハ二十九日午前七時三十分マテニ吳淞鐵道棧橋ニ上陸ヲ終ヘ午後二時顧家宅旅團司令部ニ集合シテ旅團命令混二四旅作命第三十七號(第七〇一頁參照)ヲ受領シタル後旅團參謀渡邊歩ノ誘導ニ依リ東部南孫宅當時金母宅ト誤ルニ到リ現地ノ指示ヲ受ケ午後四時大隊長ハ左ノ要旨ノ右翼隊命令ヲ下達セリ

混成第二十四旅團右翼隊命令(要旨) 二月二十九日午後四時 於金母宅(註、東部南孫宅)

一 當面ノ敵兵力不詳ナルモ別紙要圖(註、航空寫真ニ依リ調製(第七一八頁挿圖參照))ノ如ク陣地ヲ占領シ相當ノ工事ヲ施シア

旅團ハ明一日午前八時ヲ期シ一舉ニ之ヲ攻略ス

二 大隊ハ旅團右翼隊トナリ北孫宅ヨリ南孫宅西方無名部落註、西部南孫宅ニ互ル間ヲ占領シ周行方面ニ對シ攻撃ヲ準備シ且北方及西方ニ對シ警戒セントス

三 第十一中隊隊一、小、隊欠、第十中隊、第九中隊第一線トス左ノ如ク攻撃ヲ準備スヘシ

第十一中隊隊一、小、隊欠ハ北孫宅西端附近ヲ占領シ周行方向ニ對シ攻撃ヲ準備シ且西北方ニ對シテ警戒
第十中隊ハ第十一中隊ノ左ニ連繫シ南孫宅西方無名部落註、西部南孫宅ニ至ル中間ヲ占領

第九中隊ハ無名部落註、西部南孫宅西端ヲ占領

機關銃中隊ハ一小隊ヲ以テ第十一中隊要スレハ第十中隊ノ戰鬪ニ協力シ他ノ一小隊ヲ以テ第十、第九兩中隊ノ中間地區ニ在リテ主トシテ第十中隊ノ戰鬪ニ協力シ且第九中隊ニモ協力シ得ル如ク準備スヘシ

四 搜索警戒地境左ノ如シ

第十一、第十中隊間 北孫宅南端、西灣北端ノ線

第十、第九中隊間 金母宅註、東部南孫宅北端、周行北端ノ線

五 第十一中隊ノ一小隊ハ豫備隊トス金母宅註、東部南孫宅西端附近ニ位置シ特ニ後方ノ警戒及顧家宅友軍部隊トノ連絡ニ任スヘシ

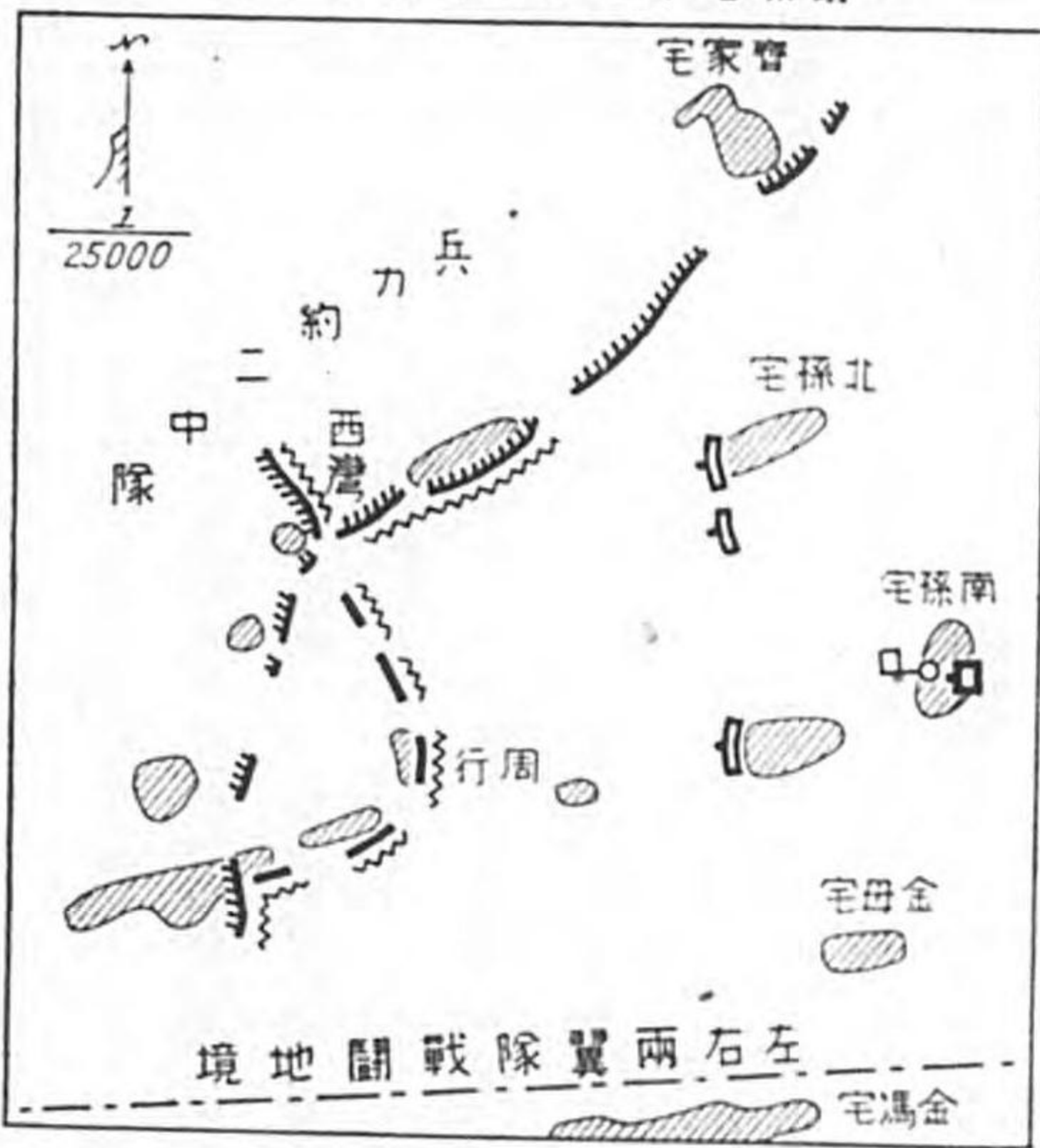
六 各中隊ハ薄暮ヲ利用シテ陣地ヲ占領シ直ニ工事ヲ實施スヘシ

七 子ハ金母宅註、東部南孫宅西端ニ在リ

旅團右翼隊長 奥 島 少 佐

旅團右翼隊命令別紙要圖註、地名ニハ所要ノ修正ヲ施セリ

旅團右翼隊正面敵陣地要圖
昭和七年二月二十九日午後



混成第二十四旅團右翼隊命令 三月一日午前二時
於金母宅(註、東部南孫宅)

各中隊ハ午後六時頃大隊長所命ノ配備ニ就キ至嚴ナル警戒ヲ以テ夜ヲ徹ス此夜十一時頃第十中隊正面ニ、午前二時頃第十一、第十中隊正面ニ各々數十名ノ敵襲アリシカ前方四、五十米ノ線ニ於テ之ヲ撃退セリ
大隊長ハ三月一日午前二時頃マテニ搜索ニ依リ當面ニ於ケル敵情ノ概要竝旅團通報ニ依リ砲兵協力ノ狀況ヲ知リタルヲ以テ更ニ左ノ如キ攻撃命令ヲ口達セリ

一 西灣及周行ノ敵ハ兵力約二中隊ナルモノノ如ク昨二十九日夕來稍々活氣ヲ呈シ其一部ハ兩次夜間攻撃ヲ實施シタルモ我ノ拒止スルトコロトナリ其陣地ニ後退セリ

北方齊家宅方面ハ頗ル靜肅ナリ

旅團ハ重點ヲ左翼隊方面ニ保持シ砲兵火力ト相俟ツテ天明後敵ヲ攻撃ス

二 旅團右翼隊ハ午前六時マテニ概ネ現在ノ線ニ展開シ西灣及周行ノ敵陣地ヲ攻撃セントス

午前八時以後約一時間當隊正面ニ砲兵火力ノ協力アル筈

攻撃ノ重點ヲ周行ニ指向ス

三 第一線諸隊ハ午前六時マテニ左ノ如ク攻撃準備ヲ完了スヘシ

第十一中隊ノ一小隊ハ北孫宅西端附近ニ於テ西港ノ敵ニ對シ

第十中隊ハ北孫宅南側附近ニ於テ周行ノ敵ニ對シ

第九中隊ハ無名部落註、西部南孫宅西端ニ於テ周行ノ敵ニ對シ

機關銃中隊ハ第九、第十兩中隊ノ中間地區ニ於テ火力ノ重點ヲ周行ニ指向スヘシ

四 第十一中隊一小隊ハ豫備隊トナリ無名部落註、西部南孫宅附近ニ集結シ爾後第十中隊ノ後方ヲ前進スヘシ

從來豫備隊タリシ一小隊ハ午前八時其指揮ニ復歸セシム

五 攻撃前進ハ午前八時以後砲兵火力ノ成果ヲ待ツテ別命ス

六 子ハ無名部落^註、西部西端ニ在リ爾後機關銃中隊ノ後方ヲ前進ス

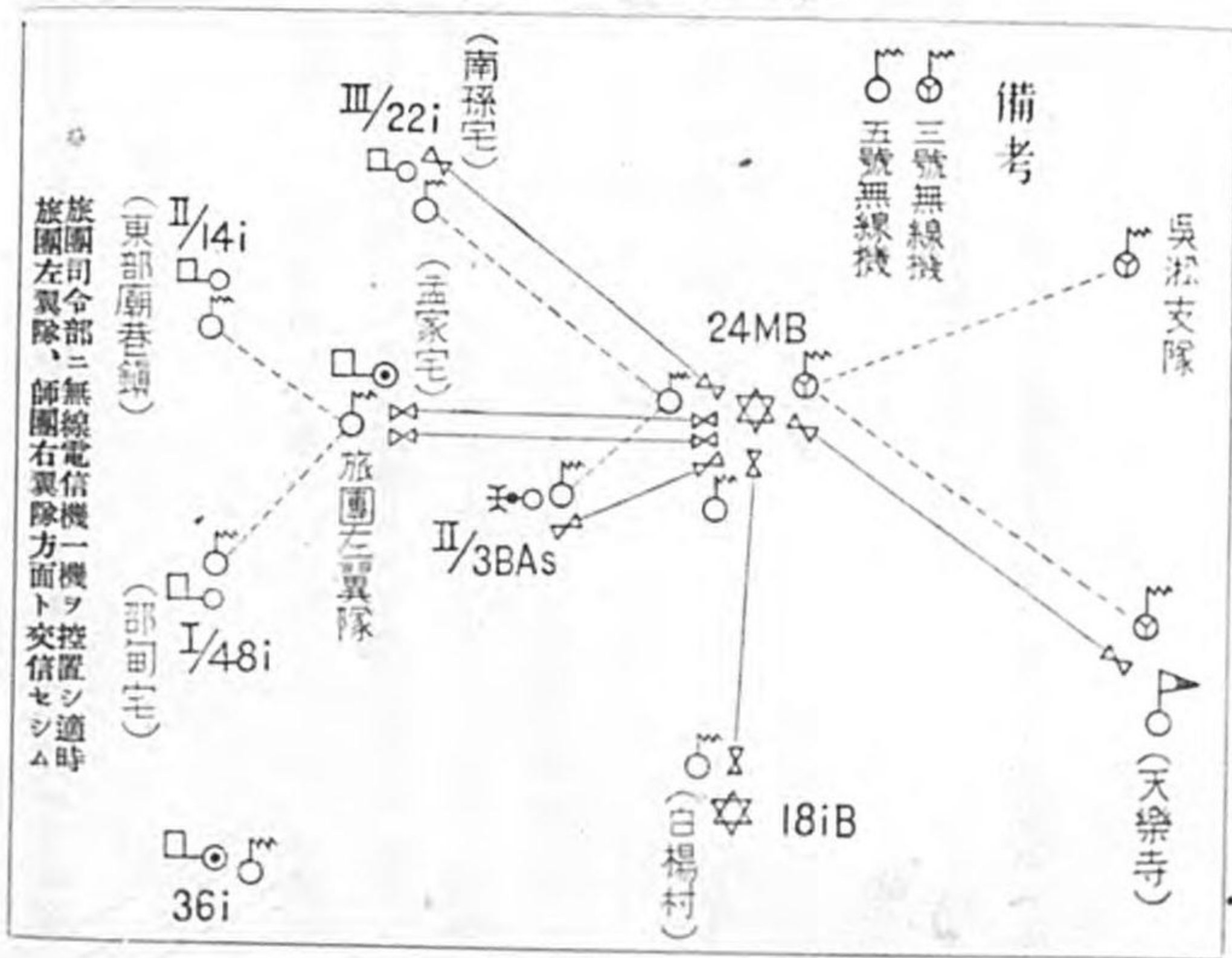
右翼隊長 奥島 少佐

附記 當時大隊長以下西部南孫宅ヲ無名部落ト稱呼セシカ中心巷ナルヘシト判斷シアリシカ如シ
又大隊長以下翌一日ノ攻撃ニ於テ大隊ハ旅團ノ助攻方面ヲ擔任スルヲ以テ十分ナル砲火ノ協力ヲ期待シ得サルヲ熟知シアリ

步兵第二十四聯隊第一大隊ハ逐次第一線ノ守備ヲ步兵第十四聯隊第二大隊ニ引繼キ願家宅附近ニ後退集結シテ旅團豫備隊トナリ一部ヲ砲兵隊ノ掩護等ニ派遣セリ
附記 第三中隊ハ拂鷲頃金馮宅ニ於テ步兵第四十八聯隊第三中隊ト交代シ爾後該地ノ守備ニ任シ尙午後一部ヲ以テ在北部孫家宅步兵第十四聯隊第七中隊ノ一部ト交代セリ
旅團通信隊ハ午後四時マテニ概ネ下圖ノ如キ通信網ヲ構成セリ

旅團豫備隊及直轄部隊ノ狀況

混成第二十四旅團通信網要圖
二月二十九日午後四時



旅團輜重隊ハ金馮宅及孟家宅ニ彈藥、土囊、渡河材料ヲ運搬シ衛生班ハ依然白楊村繙帶所ニ在リテ前任務ヲ續行セリ

乙 右翼隊

二十六日朝來右翼隊ハ第一線ノ陣地ヲ補強シ交通ノ施設並戰鬪後ノ諸整理ヲ行ヒシカ午前十時三十分頃師團長ノ白楊村及普西ヲ巡視スルヤ右翼隊長ハ戰況其他ヲ報告シ共ニ第一線ニ到リテ狀況ヲ視察セリ
午前十一時右翼隊長ハ師團命令ニ依リ先ツ步兵第十九聯隊^{第二、第三大隊欠}及工兵第一中隊ヲ師團豫備隊ト爲シ白楊村ニ集結ヲ命シ次テ同聯隊主力ヲ天樂寺ニ向ヒ出發セシメタリ

二、十六日於テ一般ノ步兵ノ戰況ハ第一線ノ兵力九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

附記 步兵第十九聯隊主力後退ニ方リ右翼隊長ハ配屬ノ山砲兵第二大隊ヲシテ午後一時三十分頃ヨリ田園及麥家宅(登家宅)ノ敵陣地ヲ射撃セシメ聯隊ハ此掩護ノ下ニ同一時三十分頃齊家宅出發、白楊村ヲ經テ同二時五十分天樂寺ニ著シ第三大隊(第十一中隊欠)ヲ併セタリ

工兵第一中隊ハ午前十一時マテニ白楊村ニ集結シ爾後該地ニ位置セリ

右翼隊長ハ午後四時師團命令^{午後二時發九師作命第二十二號(第六六九頁參照)}ヲ受領シ同四時四十分ニ依然前任務ヲ續行スヘキヲ命令シ第一線諸隊亦此趣旨ニ依リ攻撃ヲ準備シ特ニ步兵第三十六聯隊主力方面ニ於テハ二十六日正午頃普西ヨリ麥家宅(登家宅)東側第二、第三大隊陣地ニ至ル交通壕ヲ完成シ^{主トシテ第十一中隊(中隊長以下五十二名)ヲ以テ三十數時間ノ努力ニ依リ延長約五百米、立安一列川ノ壕ヲ完成ス}爾後ノ連絡補給頗ル圓滑トナル但竹園墩(園墩)東側ノ敵陣地ヨリノ側射依然猛烈

ニシテ第一線ハ之カ爲屢、損害ヲ被レリ

附記 聯隊長ハ地形特ニ敵情ニ鑑ミ將來重點ヲ右翼方面ヨリ指向スルヲ適當ト認メ午後三時頃第三大隊ヨリ曲射歩兵砲一門ヲ第二大隊ニ轉屬セリ

第一大隊方面ニ於テハ午後二時頃一部戦線ヲ整理シ右翼第二中隊主力ヲ金家塘西端第三中隊ト同線上ニ後退セシメ舊陣地ニ小銃、輕機各一分隊ヲ殘置シテ警戒ニ任セシメタリ

右翼隊長ハ二十六日夜歩兵第三十六聯隊方面ニ於ケル無益ノ損害ヲ避ケ兼ネテ兵力ヲ休養セシムヘク從來敵ノ企圖心薄弱ナルニ鑑ミ爾後約五日間一部ヲ最前線ニ配置シ主力ヲ適宜後方ニ集結スヘキヲ命ス依テ聯隊長ハ二十七日午前六時三十分各大隊ニ命スルニ『最小限一中隊ヲ第一線ニ殘シ主力ヲ後方 第二大隊ハ吳家宅、第三大隊ハ 二集結スヘキ』ヲ以テセリ

二十六日夜十一時頃歩兵第十九聯隊第二大隊方面ニ五、六十名ノ敵襲アリシカ至近ノ距離ニ於テ之ヲ擊退セリ

二十七日午後四時右翼隊長ハ攻撃準備ニ關スル師團命令 午後二時發九師作命第二十四號(第六七五頁參照)ヲ受領シ同四時二十分ニ基キ所要ノ命令ヲ下シテ前任務ヲ續行セシム

第一線諸隊ハ二十七日陣地ノ補強、戰場ノ掃除ヲ行フト共ニ歩兵第三十六聯隊ノ各大隊ハ聯隊命令ニ基キ戦線ノ整理ヲ行ヘリ

附記 第三大隊長ハ午後一時頃ヨリ豫備隊タル第十一中隊及機關銃一小隊ヲ以テ第一線南中隊ト守備ヲ交代シ同四時頃マテニ主

二十七日
於ケル
一般ノ
一歩兵
勢ヲ
第三十六
聯隊ノ
整理ノ
戰

カヲ普西ニ集結シ第二大隊長ハ午後六時三十分第五中隊ヲ第一線ニ殘シ主力ヲ吳家宅ニ後退集結シ同七時頃配備ヲ完了ス而シテ第一大隊ハ概キ現在ノ戦線ヲ守備シ一部ヲ陣地ニ配置シテ主力ヲ休養セシメタリ

二十七日夜七時頃歩兵第三十六聯隊第一大隊左翼方面ニ百數十名、同九時頃歩兵第十九聯隊第二大隊正面ニ前夜ノ如ク三、四十名ノ敵襲アリタレトモ其他ノ正面ニ於ケル敵ノ射撃稍、緩漫トナリ自動火器ノ數稍、減少セルカ如シ

二十八日右翼隊第一線ハ依然攻撃ノ準備ヲ進メ一部兵力ヲ休養セシメ且諸整理ヲ行フ

右翼隊長ハ二十八日午前十一時頃師團第三次攻撃計畫ノ内示ヲ受ケ之ヲ歩兵第三十六聯隊長ニ通報シ次テ午後二時頃左ノ如ク部署セリ

一 歩兵第十九聯隊第二大隊ヲシテ現在ノ第一線ヲ混成第二十四旅團ト交代シ天樂寺ニ到リテ原所屬ニ復歸セシム

二 歩兵第三十六聯隊 第六中隊トシテ現在ノ線ニ在リテ爾後ノ攻撃ヲ準備セシム

三 歩兵第三十六聯隊第六中隊ヲ右翼隊豫備隊トシテ白楊村ニ位置セシム

二十八日午後四時三十分頃砲兵隊長ハ右翼隊長ノ許ニ來リ歩、砲ノ協同ニ關シ主トシテ砲兵射撃開始時刻及其實施法、歩兵ノ第一線標示法及突擊實施ノ要領ニ就キ協定シ且敵陣地ニ名稱ヲ附セリ 此協定ノ結果ハ各ノ計畫ニ現レアリ

二十八日
於ケル
一般ノ
一歩兵
勢ヲ
第三十六
聯隊ノ
整理ノ
戰

午後五時右翼隊長ハ師團命令午後四時四十五分發九師作命第二十五號(第六九〇頁參照)ヲ受領シ攻撃計畫ヲ立案セリ

是ヨリ先歩兵第三十六聯隊長ハ午後一時頃第三大隊ノ大、中隊長及所要ノ命令受領者ヲ普西ニ集メ師團攻撃計畫ノ概要ヲ示シ次テ前記右翼隊長ノ部署ニ依リ取敢ス將來聯隊攻撃ノ重點ヲ右翼方面ニ指向スヘキコト竝左ノ如ク軍隊區分ヲ變更スヘキコトヲ命シ且第六中隊ヲ白楊村ニ出發セシメタリ

右第一線 第二大隊第六中隊欠、曲射步兵砲一小隊ヲ屬ス

中央第一線 第三大隊二小隊欠、平射、曲射步兵砲各一分隊ヲ屬ス

左第一線 第一大隊二小隊欠、平射步兵砲一分隊及曲射步兵砲一小隊ヲ屬ス

豫備隊 第一、第三大隊ノ各一小隊

附記 第六中隊ハ午後三時吳家宅出發、同四時三十分白楊村ニ到リ歩兵第十九聯隊第五中隊ト交代シテ右翼隊豫備隊トナリ聯隊豫備隊タル第七中隊(一小隊欠)ハ同二時三十分所屬大隊ニ復歸シ直ニ第五中隊ト第一線ヲ交代シ機關銃一分隊ヲ併セ同四時頃マテニ配備ヲ終ヘ第一、第十一中隊ノ各一小隊ハ新ニ聯隊豫備隊トナリ夫々二十八日夜及二十九日午後普西ニ到着セリ

次テ歩兵第三十六聯隊長ハ午後八時四十五分左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

歩兵第三十六聯隊命令ノ要旨

- 一 聯隊一中隊ト二小隊欠ハ三月一日拂曉マテニ攻撃準備ヲ完了セントス
- 二 各大隊ハ依然現在地ヲ堅固ニ守備シ三月一日午前六時マテニ攻撃準備ヲ完了スヘシ

三 戦闘地境左ノ如シ

- 第二大隊 吳家宅南端、金家碼頭北端、徐宅大場鎮東端、東北方一軒北端
- 第三大隊 普西南端、竹園墩(團墩)南端、冬青園註、廣東墓地西方一軒、現地ニ部落ナシ北端
- 第一大隊

四 細部ハ別命ス

注意

倉庫衛兵ヨリ輕機關銃ヲ除クモ可ナリ尙此際交代セシムルヲ可トス
二十八日夜戦線比較的靜穩ナリ

此日二十右翼隊右第一線タル歩兵第十九聯隊第二大隊ハ爾後ノ攻撃ヲ準備中午後二時頃突如撤退ノ命令ヲ受ケ先ツ第六中隊ノ一小隊ヲ殘置シテ混成第二十四旅團ト交代セシメ主力ハ薄暮後退ヲ開始シ一旦齊家宅東端ニ集結シタル後同七時頃白楊村ニ到着殘置セル小隊ハ同八時同地出發、江灣鎮ニ前進セリ歩兵第三十六聯隊ノ第一線ハ二十九日午前中ニ略々諸整理ヲ終ヘ專念攻撃準備ヲ整フ

附記 第一大隊長ハ午前十時頃各中隊長ヲ第一線ニ集メ現地ヲ指示シツツ攻撃陣地推進ニ關シ所要ノ命令ヲ與ヘ第三大隊長ハ同

九時頃ヨリ重火器ヲ以テ敵陣地ノ要部特ニ竹園墩ニ對シ試射ヲ行フ
二十日以來野戰重砲兵ノ掩護ニ任シアリシ第七中隊ノ一小隊ハ午前九時第二大隊ニ復歸セリ

右翼隊長ハ午前九時過師團攻撃計畫第六七九頁參照ヲ受領シ午後一時左ノ命令ヲ下達セリ

右翼隊長ノ攻撃命令

歩兵第十九聯隊第十大隊ノ進江灣鎮轉

二十九日ニ於ケル一般ノ態勢

右翼隊命令(要旨) 二月二十九日午後一時
於白楊村旅團司令部

一 當面ノ敵ハ依然陣地ヲ占領シアルモ其行動活潑ナラス

師團ハ明三月一日午前攻撃ヲ再興ス

新ニ増加セラレタル上海派遣軍 當師團ヲ合
シ三師團 ハ逐次昨二十八日夕ヨリ上陸中ナリ

二 右翼隊ハ明三月一日午前十一時ヲ期シ當面ノ敵陣地ニ突入シ顔宅、吳宅ノ線ニ進出セントス

其重點ヲ普西ヨリ金家碼頭ニ指向ス

師團砲兵ハ右翼隊ノ戰鬪ニ協力スル筈

三 第一線聯隊 第六中隊ト二小隊欠、
工兵二分隊ヲ屬ス ハ別紙攻撃計畫ニ基キ當面ノ敵ヲ攻撃スヘシ

四 混成第二十四旅團及左翼隊トノ戰鬪地境(略ス) 註、師團攻撃
計畫ニ同シ

五 師團砲兵ノ集中射撃後右翼隊ニ配屬セラルヘキ山砲兵第五中隊ハ集中射撃後適時第一線ノ戰鬪

ニ協力シ得ル如ク準備スヘシ

六 豫備隊ハ依然現在地ニ位置スヘシ

攻撃開始ニ方リテハ普西ニ進出スヘシ

七 予ハ現在地ニ在リ

明三月一日午前九時白楊村出發普西ニ到ル

右翼隊長 小野 少將

下達法

先ツ要旨ヲ傳へ後印刷セルモノヲ交付ス

右翼隊攻撃計畫 二月二十九日
於白楊村旅團司令部

一方針

一 右翼隊ハ師團砲兵ノ協力ト相俟テ三月一日午前十一時ヲ期シテ麥家宅(登家宅)、竹園墩(團墩)
ノ敵ヲ驅逐シ續イテ金家碼頭ノ敵ヲ驅逐シテ顔宅西端、吳宅東端ノ線ニ進出ス

二 右翼隊攻撃ノ重點ハ普西ヨリ金家碼頭ニ指向ス

二 指導要領

一 攻撃準備ノ爲ノ部隊配置變更ハ二月二十九日拂曉マテニ完了ス

工兵二分隊ハ二十九日第一線聯隊ニ配屬ス

二 右翼隊正面ノ敵陣地ニ左ノ如ク符號ヲ附ス

竹園墩(團墩)附近陣地 「イ」

麥家宅(登家宅)附近陣地 「ロ」

金家碼頭陣地 「ハ」

右翼隊攻
撃計畫

三 第一線聯隊ハ三月一日拂曉マテニ攻撃準備ヲ完了シ機ノ至ルヲ待ツ
午前七時ヨリ一時間三十分飛行機ノ爆撃行ハルル筈

四 左翼隊ハ午前十時ヲ期シテ敵陣地ニ突入ス同時師團砲兵ハ右翼隊正面ニ向ヒ砲撃ヲ開始ス其要領左ノ如シ

1 制壓地域ハ「イ」、「ロ」、「ハ」及田園ノ敵陣地ニシテ同時ニ之ヲ制壓ス

2 午前十時ヨリ二十分間試射註、砲兵隊戰闘計畫ト異ナル

午前十時二十分ヨリ三十五分間攻撃準備射撃

午前十時五十五分ヨリ五分間集中射撃

五 第一線聯隊ハ右砲兵射撃間敵陣地ヨリ三百米後方ノ線ニ位置ス

背部ニ白布ヲ纏ヒ砲兵ノ觀測ヲ容易ナラシムルヲ要ス

六 午前十一時第一線ハ集中射撃ニ追從シテ敵陣地ニ突入ス

第一線ハ敵ノ薄弱部ヨリ銳意進出ヲ圖ルヘシ

又左翼隊方面砲兵射撃ノ效果ニ依リ敵兵敗走スヘキコトアルヲ豫想シ斯クノ如キ場合ニ於テハ第

一線ハ機ヲ失セス追撃シ得ル如ク準備シアルヘシ此場合ニ於テハ速ニ報告スヘシ

七 砲兵ノ集中射撃終了後山砲兵一中隊ヲ右翼隊ニ配屬セラル

本砲兵ノ使用ハ右翼隊長命令スルモ第一線聯隊長ハ適宜直接砲兵ニ對スル要求ヲ爲スヘシ殊ニ

「イ」、「ロ」陣地奪取後「ハ」陣地占領ニ方リ或ハ其必要ナル狀況生起スヘキヲ豫想ス

砲兵觀測斥候ハ聯隊本部ト同行セシメ密ニ連絡スヘシ

八 師團砲兵ハ集中射撃完了後直ニ射程ヲ延伸シ後方敵督戰隊ノ位置ト豫想スル地點ニ制壓竝追撃

射撃ヲ施行ス

九 沈家陣地ノ側防機關銃ハ右翼隊攻撃實行時更ニ復活スヘキコトアルヘキヲ豫想シ準備スルノ必要アルコトニ注意スヘシ

十 「ハ」陣地奪取後第一線ハ顔宅西端、吳宅ノ線ニ進出ス

其間要スレハ周家宅、四車頭ノ線ニ於テ統制スルヲ要ス

十一 豫備隊ハ右翼隊司令部ト共ニ普西ニ進出ス

三 通信其他

一 右翼隊司令部ハ三月一日拂曉マテ現在地註、白楊村ニ位置シ砲兵ノ射撃開始直前普西ニ前進ス

通信班ハ現在地ヨリ司令部ト共ニ行動通信ノ準備ニ在ルヘシ但現在白楊村ニ在ル歩兵第三十六聯

隊通信班ハ混成第二十四旅團トノ連絡ニ任シ別ニ右翼隊司令部、歩兵第三十六聯隊本部間ニ一通

信網ヲ架設スヘシ其基點ハ普西トス

二 戰鬪資材ハ現在ノモノヲ使用スル外渡河材料トシテ厚板二百枚ヲ二十九日中ニ支給ス

三 給養其他ハ師團命令ニ依ルヘシ

步兵第三十六聯隊長ハ前記右翼隊命令ニ基キ左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

作命第二十五號

右翼隊命令ニ基キ
步兵第三十六聯隊
進攻計畫

步兵第三十六聯隊命令(要旨) 二月二十九日午後四時三十分
於 普 西 聯 隊 本 部

一 聯隊第六中隊ト二小隊欠、
工兵二分隊ヲ屬スハ明三月一日午前十一時ヲ期シ當面ノ敵陣地ニ突入シ顔宅、吳宅ノ線ニ

進出セントス

攻撃ノ重點ヲ中央大隊ノ右翼方面ニ指向ス

二 各大隊ハ別紙攻撃計畫ニ基キ當面ノ敵ヲ攻撃スヘシ

三 豫備隊ハ先ツ普西ニ位置シ爾後中央大隊ノ右翼後ヲ前進スヘシ

聯 隊 長 大 賀 大 佐

步兵第三十六聯隊攻撃計畫(要旨) 二月二十九日午後五時三十分
於 普 西 聯 隊 本 部

方 針

一 聯隊ハ師團砲兵ト協力シ三月一日午前十一時ヲ期シテ前面ノ敵ヲ驅逐シテ顔宅西端、吳宅東端ノ線ニ進出ス

二 聯隊攻撃ノ重點ヲ普西ヨリ金家碼頭ニ指向ス

指導要領

一 第一線大隊ハ三月一日午前六時マテニ攻撃準備ヲ完了シ機ノ至ルヲ待ツ

午前七時ヨリ一時間三十分飛行機ノ爆撃主トシテ左翼隊正面ニ行ハルル筈ナレト聯隊正面ニ於テモ行ハルルコトアルヘキヲ願慮シ第一線ニ日章旗、標示幕ヲ標示シ危害ヲ被ラサル如ク敵線ヨリ約三百米後退スヘシ

二 左翼隊ハ午前十時ヲ期シテ敵陣地ニ突入ス

三 聯隊正面ニ對スル砲兵ノ射撃要領(略ス) 註、砲兵隊戰闘計畫(第七九一頁參照)中ヨリ
右翼隊ニ關スル部分ヲ拔萃セルモノニ同シ

突撃支援集中射撃後山砲兵第二大隊ハ右翼隊直協トナリ其一中隊ハ聯隊ニ配屬セララルモノトス

四 第一線各大隊ハ砲兵射撃間敵陣地ヨリ約三百米ノ線ニ位置シ危害ヲ被ラサル如クス
背囊ニ白布ヲ貼布スルヲ要ス

五 第一線各大隊ハ午前十一時ヲ期シ集中射撃ニ追從シテ敵陣地ニ突入ス

六 各大隊ノ行動

1 第二大隊第六中隊欠、
小隊及工兵一分隊ヲ屬ス曲射步兵砲一

第三大隊ノ金家碼頭攻撃ニ協力、爾後金家碼頭北端ニ進出シ周家宅ヲ攻撃シ一舉ニ顔宅西端ニ進出ス